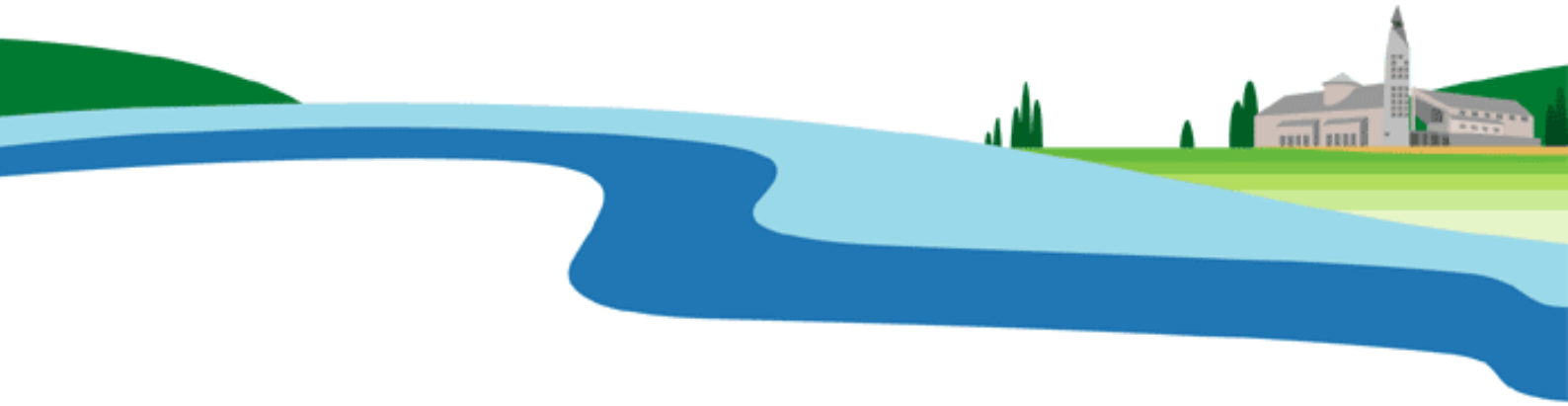
滋賀県立大学



滋賀県立大学
平成３０（２０１８）年度

講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo（https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/）で、ご確認ください。

目　　次

1110121 英語ＩＡ（活性化コース）（人文①） 渡　寛法 前期 ・・・ 1
1110122 英語ＩＢ（活性化コース）（人文①） 渡　寛法 後期 ・・・ 3
1110131 英語ＩＡ（活性化コース）（人文②） 香山　恵美※ 前期 ・・・ 5
1110132 英語ＩＢ（活性化コース）（人文②） 香山　恵美※ 後期 ・・・ 7
1110141 英語ＩＡ（活性化コース）（人文③） 佐久間　思帆※ 前期 ・・・ 9
1110142 英語ＩＢ（活性化コース）（人文③） 佐久間　思帆※ 後期 ・・・ 11
1110151 英語ＩＡ（活性化コース）（人文④） 西澤　裕一※ 前期 ・・・ 13
1110152 英語ＩＢ（活性化コース）（人文④） 西澤　裕一※ 後期 ・・・ 15
1110161 英語ＩＡ（活性化コース）（人文⑤） 関　初海※ 前期 ・・・ 17
1110162 英語ＩＢ（活性化コース）（人文⑤） 関　初海※ 後期 ・・・ 19
1110331 英語ⅡＡ（応用コース）（人文①） Carl John Boland※ 前期 ・・・ 21
1110332 英語ⅡＢ（応用コース）（人文①） Carl John Boland※ 後期 ・・・ 23
1110341 英語ⅡＡ（応用コース）（人文②） Armando Duarte 前期 ・・・ 25
1110342 英語ⅡＢ（応用コース）（人文②） Armando Duarte 後期 ・・・ 27
1110351 英語ⅡＡ（応用コース）（人文③） Ashley Stevens※ 前期 ・・・ 29
1110352 英語ⅡＢ（応用コース）（人文③） Ashley Stevens※ 後期 ・・・ 31
1110361 英語ⅡＡ（応用コース）（人文④） Gordon Maclaren※ 前期 ・・・ 33
1110362 英語ⅡＢ（応用コース）（人文④） Gordon Maclaren※ 後期 ・・・ 35
1110371 英語ⅡＡ（応用コース）（人文⑤） Karl Hedberg※ 前期 ・・・ 37
1110372 英語ⅡＢ（応用コース）（人文⑤） Karl Hedberg※ 後期 ・・・ 39
1110531 英語ⅢＡ（充実コース）（人文①） 西澤　裕一※ 前期 ・・・ 41
1110532 英語ⅢＢ（充実コース）（人文①） 西澤　裕一※ 後期 ・・・ 43
1110541 英語ⅢＡ（充実コース）（人文②） 真田　満※ 前期 ・・・ 45
1110542 英語ⅢＢ（充実コース）（人文②） 真田　満※ 後期 ・・・ 47
1110551 英語ⅢＡ（充実コース）（人文③） Armando Duarte 前期 ・・・ 49
1110552 英語ⅢＢ（充実コース）（人文③） 坂本　輝世 後期 ・・・ 51
1110561 英語ⅢＡ（充実コース）（人文④） 佐久間　思帆※ 前期 ・・・ 53
1110562 英語ⅢＢ（充実コース）（人文④） 佐久間　思帆※ 後期 ・・・ 55
1110571 英語ⅢＡ（充実コース）（人文⑤） Carl John Boland※ 前期 ・・・ 57
1110572 英語ⅢＢ（充実コース）（人文⑤） Carl John Boland※ 後期 ・・・ 59
1110741 英語ⅣＡ（展開コース）（人文①） 神田　眞喜子 前期 ・・・ 61
1110742 英語ⅣＢ（展開コース）（人文①） 神田　眞喜子 後期 ・・・ 63
1110751 英語ⅣＡ（展開コース）（人文②） 渡　寛法 前期 ・・・ 65
1110752 英語ⅣＢ（展開コース）（人文②） 渡　寛法 後期 ・・・ 67
1110761 英語ⅣＡ（展開コース）（人文③） 菰田　真由美 前期 ・・・ 69
1110762 英語ⅣＢ（展開コース）（人文③） 菰田　真由美 後期 ・・・ 71
1110771 英語ⅣＡ（展開コース）（人文④） 渡　寛法 前期 ・・・ 73
1110772 英語ⅣＢ（展開コース）（人文④） 渡　寛法 後期 ・・・ 75
1110781 英語ⅣＡ（展開コース）（人文⑤） 坂本　輝世 前期 ・・・ 77
1110782 英語ⅣＢ（展開コース）（人文⑤） 坂本　輝世 後期 ・・・ 79
1120505 英語ＩＡ（国際a） 山本　薫 前期 ・・・ 81
1120506 英語ＩＢ（国際a） HAIG, John Havens※ 前期 ・・・ 83
1120507 英語ＩＡ（国際b） 山本　薫 前期 ・・・ 85
1120508 英語ＩＢ（国際b） HAIG, John Havens※ 前期 ・・・ 87
1120515 英語ⅡＡ（国際a） Karl Hedberg※ 前期 ・・・ 89
1120516 英語ⅡＢ（国際a） Walter Klinger 前期 ・・・ 91
1120517 英語ⅡＡ（国際b） Karl Hedberg※ 前期 ・・・ 93
1120518 英語ⅡＢ（国際b） Walter Klinger 前期 ・・・ 95
1120525 英語ⅢＡ（国際a） 谷口　真紀 前期 ・・・ 97
1120526 英語ⅢＢ（国際a） 坂本　輝世 前期 ・・・ 99
1120527 英語ⅢＡ（国際b） 谷口　真紀 前期 ・・・ 101
1120528 英語ⅢＢ（国際b） 坂本　輝世 前期 ・・・ 103
1120535 英語ⅣＡ（国際a） Walter Klinger 後期 ・・・ 105
1120536 英語ⅣＢ（国際a） Armando Duarte 後期 ・・・ 107
1120537 英語ⅣＡ（国際b） Walter Klinger 後期 ・・・ 109
1120538 英語ⅣＢ（国際b） Armando Duarte 後期 ・・・ 111
1120541 ドイツ語ＩＡ（国際） 吉村　淳一 前期 ・・・ 113
1120542 ドイツ語ＩＢ（国際） Anja Sliwa※ 前期 ・・・ 115
1120551 ドイツ語ⅡＡ（国際） 吉村　淳一 後期 ・・・ 117
1120552 ドイツ語ⅡＢ（国際） Anja Sliwa※ 後期 ・・・ 119
1120561 フランス語ＩＡ（国際） 橋本　周子 前期 ・・・ 121
1120562 フランス語ＩＢ（国際） Gilles Fernandez※ 前期 ・・・ 123
1120571 フランス語ⅡＡ（国際） 橋本　周子 後期 ・・・ 125
1120572 フランス語ⅡＢ（国際） Gilles Fernandez※ 後期 ・・・ 127
1120581 中国語ＩＡ（国際） 地蔵堂　貞二 前期 ・・・ 129
1120582 中国語ＩＢ（国際） 呉　凌非 前期 ・・・ 131
1120591 中国語ⅡＡ（国際） 地蔵堂　貞二 後期 ・・・ 133
1120592 中国語ⅡＢ（国際） 呉　凌非 後期 ・・・ 135
1120601 朝鮮語ＩＡ（国際） 河　かおる 前期 ・・・ 137
1120602 朝鮮語ＩＢ（国際） 松井　聖一郎※ 前期 ・・・ 139
1120611 朝鮮語ⅡＡ（国際） 河　かおる 後期 ・・・ 141
1120612 朝鮮語ⅡＢ（国際） 松井　聖一郎※ 後期 ・・・ 143
1120620 リーディング（中級）ａ 谷口　真紀 後期 ・・・ 145
1120621 リーディング（中級）ｂ 谷口　真紀 後期 ・・・ 147
1120630 英語会話（中級）ａ/ Carl John Boland※ 前期 ・・・ 149

1120631 英語会話（中級）ｂ/ Carl John Boland※ 前期 ・・・ 151
1120632 Integrated English a Carl John Boland※ 前期 ・・・ 153
1120633 Integrated English b Carl John Boland※ 前期 ・・・ 155
1120640 リスニング（中級）ａ Graham Jones※ 前期 ・・・ 157
1120641 リスニング（中級）ｂ Graham Jones※ 前期 ・・・ 159
1120650 ディベート＆ディスカッションａ/ Martin Hawkes 前期 ・・・ 161
1120651 ディベート＆ディスカッションｂ/ Martin Hawkes 前期 ・・・ 163
1120653 Introduction to Discussion & Debate a Martin Hawkes 前期 ・・・ 165
1120654 Introduction to Discussion & Debate b Martin Hawkes 前期 ・・・ 167
1120670 エッセイ・ライティング/ John Rippey 後期 ・・・ 169
1120675 Essay Writing John Rippey 後期 ・・・ 171
1120685 留学英語対策基礎講座/ John Rippey 前期集中 ・・・ 173
1120686 Intermediate Academic English John Rippey 前期集中 ・・・ 175
1120690 留学英語対策講座Ⅰ/ Martin Hawkes 後期 ・・・ 177
1120695 Advanced Academic English I Martin Hawkes 後期 ・・・ 179
1120700 留学英語対策講座Ⅱ/ John Rippey 後期 ・・・ 181
1120705 Advanced Academic English II John Rippey 後期 ・・・ 183
1120715 English for Business Fuisting Bjorn※ 前期集中 ・・・ 185
1120720 メディアの英語/ Walter Klinger 後期 ・・・ 187
1120725 English in Media Walter Klinger 後期 ・・・ 189
1130090 情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a) 山本　洋紀※ 前期 ・・・ 191
1130100 情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b) 亀田　彰喜※ 前期 ・・・ 193
1130110 情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c) 山本　洋紀※ 前期 ・・・ 195
1130120 情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d) 山本　洋紀※ 前期 ・・・ 197
1130200 情報科学概論（人文b) 亀田　彰喜※ 後期 ・・・ 199
1130210 情報科学概論（人文a) 山本　洋紀※ 後期 ・・・ 201
1130220 情報科学概論（人文c) 山本　洋紀※ 後期 ・・・ 203
1130230 情報科学概論（人文d) 亀田　彰喜※ 後期 ・・・ 205
1150391 人間探求学（国際コミュニケーション） 学科教員 前期 ・・・ 207
1150451 川の未来学 村上　修一 前期 ・・・ 209
1150540 History of Japanese Cinema Carl John Boland※ 前期 ・・・ 211
1150550 Patterns in Japanese Culture & Society Carl John Boland※ 後期 ・・・ 213
1150560 Model United States of America Benjamin John McCracken※ 前期 ・・・ 215
1150570 Model United Nations Benjamin John McCracken※ 後期 ・・・ 217
1201180 経済学Ⅱ（国際経済を含む） 村上　一真 前期 ・・・ 219
1203110 法学概論（国際法を含む） 坂田　雅夫※ 前期 ・・・ 221
1400011 アカデミック・ライティング/ Martin Hawkes 後期 ・・・ 223
1400012 アカデミック・リスニング/ Walter Klinger 前期 ・・・ 225
1400013 Discussion & Debate Walter Klinger 前期 ・・・ 227
1400014 Academic Writing Martin Hawkes 後期 ・・・ 229
1400057 アジア文化特論Ａ 地蔵堂　貞二 後期 ・・・ 231
1400058 アジア文化特論Ｂ 河　かおる 前期 ・・・ 233
1400059 アジア文化特論Ｃ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 235
1400061 アジア文化論Ａ 地蔵堂　貞二 前期 ・・・ 237
1400062 アジア文化論Ｂ 河　かおる 後期 ・・・ 239
1400063 アジア文化論Ｃ 島村　一平 前期 ・・・ 241
1400064 アジア文化論Ｄ 棚瀬　慈郎 後期 ・・・ 243
1400071 異文化交流史 Borjigin Burensain 前期 ・・・ 245
1400072 移民社会論Ａ 窪田　暁※ 後期 ・・・ 247
1400074 移民社会論Ｃ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 249
1400081 イングリッシュレクチャーＡ/ Martin Hawkes 後期 ・・・ 251
1400082 イングリッシュレクチャーＢ/ Martin Hawkes 前期 ・・・ 253
1400083 イングリッシュレクチャーＣ/ 小熊　猛 後期 ・・・ 255
1400084 イングリッシュレクチャーＤ/ 谷口　真紀 前期 ・・・ 257
1400085 イングリッシュレクチャーＥ/ Balachandran Jeyadevan 前期 ・・・ 259
1400091 English Lecture A Martin Hawkes 後期 ・・・ 261
1400092 English Lecture B Martin Hawkes 前期 ・・・ 263
1400093 English Lecture C 谷口　真紀 前期 ・・・ 265
1400094 English Lecture D 小熊　猛 後期 ・・・ 267
1400095 English Lecture E John Rippey 前期後半 ・・・ 269
1400096 English Lecture F 谷口　真紀 後期 ・・・ 271
1400097 English Lecture G Balachandran Jeyadevan 前期 ・・・ 273
1400102 英語学概論 小熊　猛 後期 ・・・ 275
1400103 英語文献講読Ａ 棚瀬　慈郎 前期 ・・・ 277
1400104 英語文献講読Ｂ 棚瀬　慈郎 後期 ・・・ 279
1400107 英米文学概論 山本　薫 前期 ・・・ 281
1400108 英米文学講読 山本　薫 後期 ・・・ 283
1400221 欧米文化特論Ａ 吉村　淳一 後期 ・・・ 285
1400222 欧米文化特論Ｂ 橋本　周子 後期 ・・・ 287
1400223 欧米文化特論Ｃ 山本　薫 後期 ・・・ 289
1400224 欧米文化特論Ｄ John Rippey 後期 ・・・ 291
1400225 欧米文化論Ａ 吉村　淳一 前期 ・・・ 293
1400226 欧米文化論Ｂ 橋本　周子 後期 ・・・ 295
1400227 欧米文化論Ｃ 山本　薫 後期 ・・・ 297
1400228 欧米文化論Ｄ 谷口　真紀 前期 ・・・ 299
1400261 海外留学 学科教員 通年 ・・・ 301
1400361 環琵琶湖文化論実習（国際） 学科教員 通年 ・・・ 303
1400421 基礎演習Ⅰ（国際コミュニケーション） 学科教員 前期 ・・・ 305
1400422 基礎演習Ⅱ（国際コミュニケーション） 学科教員 後期 ・・・ 307
1400611 研究演習Ⅰ（国際コミュニケーション） 学科教員 前期 ・・・ 309

1400612 研究演習Ⅱ（国際コミュニケーション） 学科教員 後期 ・・・ 311
1400632 言語接触論 呉　凌非 前期 ・・・ 313
1400633 現代英文法 小熊　猛 前期 ・・・ 315
1400634 英語学基礎 小熊　猛 前期後半 ・・・ 317
1400635 日本語教育基礎 安本　博司※ 前期集中 ・・・ 319
1400861 国際関係論 赤尾　光春※ 前期 ・・・ 321
1400965 英語E-learning A Martin Hawkes 後期集中 ・・・ 323
1400966 英語E-learning B John Rippey 前期集中 ・・・ 325
1400967 英語E-learning C 小熊　猛 後期集中 ・・・ 327
1400975 実践英語演習Ｅ/ Martin Hawkes 後期集中 ・・・ 329
1400976 実践英語演習Ｆ/ John Rippey 前期集中 ・・・ 331
1400977 実践英語演習Ｇ/ 小熊　猛 後期集中 ・・・ 333
1400979 実践英語対策講座/ John Rippey 前期 ・・・ 335
1400981 Introduction to Academic English John Rippey 前期 ・・・ 337
1400985 Debating Global Issues Martin Hawkes 前期集中 ・・・ 339
1401759 西洋史 村上　司樹※ 後期 ・・・ 341
1401821 卒業研究論文（国際コミュニケーション） 学科教員 通年研究 ・・・ 343
1401862 多民族社会論Ｂ/ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 345
1401863 多民族社会論Ｃ/ 河　かおる 前期 ・・・ 347
1401865 多文化社会論Ａ 河　かおる 前期 ・・・ 349
1401866 多文化社会論B Borjigin Burensain 後期 ・・・ 351
1402061 チベット語基礎Ⅰ 棚瀬　慈郎 前期 ・・・ 353
1402062 チベット語基礎Ⅱ 棚瀬　慈郎 後期 ・・・ 355
1402081 中国語コミュニケーションⅠＡ 地蔵堂　貞二 後期 ・・・ 357
1402082 中国語コミュニケーションⅠＢ 呉　凌非 後期 ・・・ 359
1402083 中国語コミュニケーションⅡＡ 地蔵堂　貞二 前期 ・・・ 361
1402084 中国語コミュニケーションⅡＢ 呉　凌非 前期 ・・・ 363
1402086 中国語コミュニケーションⅡＤ/ 呉　凌非 前期 ・・・ 365
1402087 中国語留学対策 呉　凌非 前期 ・・・ 367
1402151 朝鮮語コミュニケーションⅠＡ 崔　眞善※ 後期 ・・・ 369
1402152 朝鮮語コミュニケーションⅠＢ 松井　聖一郎※ 後期 ・・・ 371
1402153 朝鮮語コミュニケーションⅡＡ 河　かおる 前期 ・・・ 373
1402154 朝鮮語コミュニケーションⅡＢ 松井　聖一郎※ 前期 ・・・ 375
1402156 朝鮮語コミュニケーションⅡＤ/ 崔　眞善※ 前期 ・・・ 377
1402157 朝鮮語留学対策 崔　眞善※ 前期 ・・・ 379
1402203 通訳ガイド講座 石井　隆之※ 前期 ・・・ 381
1402281 ドイツ語コミュニケーションⅠＡ 吉村　淳一 後期 ・・・ 383
1402282 ドイツ語コミュニケーションⅠＢ Anja Sliwa※ 後期 ・・・ 385
1402283 ドイツ語コミュニケーションⅡＡ 吉村　淳一 前期 ・・・ 387
1402284 ドイツ語コミュニケーションⅡＢ Anja Sliwa※ 前期 ・・・ 389
1402286 ドイツ語コミュニケーションⅡＤ/ Anja Sliwa※ 前期 ・・・ 391
1402287 ドイツ語留学対策 Anja Sliwa※ 前期 ・・・ 393
1402540 人間文化論Ａ 細馬　宏通 前期 ・・・ 395
1402550 人間文化論Ｂ 小熊　猛 後期 ・・・ 397
1402560 人間文化論Ｃ 宮本　雅子 後期 ・・・ 399
1402621 発展演習Ⅰ 学科教員 前期 ・・・ 401
1402622 発展演習Ⅱ 学科教員 後期 ・・・ 403
1402623 パブリック・スピーチ/ John Rippey 前期 ・・・ 405
1402624 Public Speaking John Rippey 前期 ・・・ 407
1402901 フランス語コミュニケーションⅠＡ 橋本　周子 後期 ・・・ 409
1402902 フランス語コミュニケーションⅠＢ Gilles Fernandez※ 後期 ・・・ 411
1402903 フランス語コミュニケーションⅡＡ 橋本　周子 前期 ・・・ 413
1402904 フランス語コミュニケーションⅡＢ Gilles Fernandez※ 前期 ・・・ 415
1402906 フランス語コミュニケーションⅡＤ/ Gilles Fernandez※ 前期 ・・・ 417
1402907 フランス語留学対策 Gilles Fernandez※ 前期 ・・・ 419
1402960 文化人類学概論Ａ 島村　一平 前期 ・・・ 421
1402970 文化人類学概論Ｂ 棚瀬　慈郎 後期 ・・・ 423
1402980 文化人類学特論 棚瀬　慈郎 前期 ・・・ 425
1402991 ポストコロニアル論 栢木　清吾※ 後期 ・・・ 427
1402992 翻訳文化論 呉　凌非 後期 ・・・ 429
1403036 モンゴル語ＩＡ 島村　一平 前期 ・・・ 431
1403037 モンゴル語ＩＢ 島村　一平 前期 ・・・ 433
1403038 モンゴル語ⅡＡ 堀田　あゆみ※ 後期 ・・・ 435
1403039 モンゴル語ⅡＢ 島村　一平 後期 ・・・ 437
1403051 モンゴル語コミュニケーションＩＡ 内田　孝※ 後期 ・・・ 439
1403052 モンゴル語コミュニケーションＩＢ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 441
1403053 モンゴル語コミュニケーションⅡＡ Borjigin Burensain 前期 ・・・ 443
1403054 モンゴル語コミュニケーションⅡＢ 堀田　あゆみ※ 前期 ・・・ 445
1403061 モンゴル語史料講読ＩＡ/ Borjigin Burensain 前期 ・・・ 447
1403062 モンゴル語史料講読ＩＢ/ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 449
1403063 モンゴル語史料講読Ⅰ Borjigin Burensain 前期 ・・・ 451
1403064 モンゴル語史料講読Ⅱ Borjigin Burensain 後期 ・・・ 453
1403075 比較宗教論 島村　一平 後期 ・・・ 455

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文①）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

（１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（60%）。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（20%）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（20%）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文①）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言
英語学習の基本は音読です。まずはTOEICレベルの英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文①）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

（１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（60%）。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（20%）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（20%）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文①）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	前期の振り返り、後期の目標確認。
第2回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 15	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 16	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 17	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 18	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 19	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 20	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 21	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 22	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 23	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 24	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言
音読のスラスラ度をさらに磨いていきましょう！

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文②）							担当教員	香山　恵美※
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、 テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活 、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30%　授業内での取り組み
30%　授業内の課題
40%　到達度確認テスト（2回）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文②）							担当教員	香山　恵美※
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方説明、自己紹介
第2回	Unit 1	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第3回	Unit 2	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第4回	Unit 3	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第5回	Unit 4	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第6回	Unit 5	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第7回	到達度確認テスト	これまでの授業内容について確認テストを行う
第8回	Unit 6	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第9回	Unit 7	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第10回	Unit 8	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第11回	Unit 9	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第12回	Unit 10	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第13回	復習	これまでの授業で学んだ文法や表現などを復習する
第14回	復習	これまでの授業で学んだ文法や表現などを復習する
第15回	到達度確認テスト	これまでの授業内容について確認テストを行う

担当者から一言

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文②）							担当教員	香山　恵美※
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、 テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活 、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30%　授業内での取り組み
30%　授業内の課題
40%　到達度確認テスト（2回）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文②）							担当教員	香山　恵美※
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Unit 11	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第2回	Unit 12	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第3回	Unit 13	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第4回	Unit 14	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第5回	Unit 15	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第6回	Unit 16	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第7回	到達度確認テスト	これまでの授業内容について確認テストを行う
第8回	Unit 17	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第9回	Unit 18	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第10回	Unit 19	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第11回	Unit 20	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第12回	問題演習	TOEIC問題演習 コミュニケーションアクティビティ
第13回	復習	これまでの授業で学んだ文法や表現などを復習する
第14回	復習	これまでの授業で学んだ文法や表現などを復習する
第15回	到達度確認テスト	これまでの授業内容について確認テストを行う

担当者から一言

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文③）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本ｄ語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST Revised Edition	妻鳥千鶴子、田平真澄	センゲージラーニング	978-4-86312-293-2
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

※２回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文③）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	英語の基礎事項の確認	基礎事項の確認
第2回	Part1の演習	Unit1～6のPart1
第3回	Unit1	Part2，3，6を演習
第4回	Unit1	Part4，5，7を演習
第5回	Unit2	Part2，3，6を演習
第6回	Unit2	Part4，5，7を演習
第7回	Unit3	Part2，3，6を演習
第8回	Unit3	Part4，5，7を演習
第9回	Unit4	Part2，3，6を演習
第10回	Unit4	Part4，5，7を演習
第11回	Unit5	Part2，3，6を演習
第12回	Unit5	Part4，5，7を演習
第13回	Unit6	Part2，3，6を演習
第14回	Unit6	Part4，5，7を演習
第15回	Unit1～6の復習	Unit1～6の復習

担当者から一言
※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文③）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本ｄ語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST Revised Edition	妻鳥千鶴子、田平真澄	センゲージラーニング	978-4-86312-293-2
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

※２回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文③）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Part1の演習	Unit7～12のPart1
第2回	Unit7	Part2，3，6を演習
第3回	Unit7	Part4，5，7を演習
第4回	Unit8	Part2，3，6を演習
第5回	Unit8	Part4，5，7を演習
第6回	Unit9	Part2，3，6を演習
第7回	Unit9	Part4，5，7を演習
第8回	Unit10	Part2，3，6を演習
第9回	Pre-test演習	12月2日のTOEIC受験の予行練習
第10回	Unit10	Part4，5，7を演習
第11回	Unit11	Part2，3，6を演習
第12回	Unit11	Part4，5，7を演習
第13回	Unit12	Part2，3，6を演習
第14回	Unit12	Part4，5，7を演習
第15回	Unit7～12の復習	Unit7～12の復習

担当者から一言
※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。　語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1.TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2．映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3．映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4．映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	英語シナリオで楽しむ美女と野獣		Gakken	9784053046420
2	キクタンTOEIC TEST SCORE 500	一杉武史	アルク	9784757428584
3	こまったカタカナ英語　つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画（1）	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画（2）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画（3）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画（4）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画（5）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画（6）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画（7）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画（8）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画（9）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画（10）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画（11）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画（12）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画（13）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画（14）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画（15）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画（16）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画（17）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画（18）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画（19）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画（20）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画（21）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画（22）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画（23）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画（24）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画（25）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画（26）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画（27）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画（28）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画（29）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画（30）/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言
12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。　語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1.TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2．映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3．映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4．映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	英語シナリオで楽しむ美女と野獣		Gakken	9784053046420
2	キクタンTOEIC TEST SCORE 500	一杉武史	アルク	9784757428584
3	こまったカタカナ英語　つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/映画（1）	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	映画（2）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	映画（3）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	映画（4）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	映画（5）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	映画（6）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	映画（7）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	映画（8）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	映画（9）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	映画（10）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	映画（11）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	映画（12）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	映画（13）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	映画（14）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	映画（15）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	映画（16）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	映画（17）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	映画（18）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	映画（19）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	映画（20）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	映画（21）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	映画（22）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	映画（23）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	映画（24）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	映画（25）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	映画（26）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	映画（27）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	映画（28）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	映画（29）	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	映画（30）/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言
12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文⑤）							担当教員	関　初海※
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、国際紛争、国際協力、戦争、平和といったトピックを扱い、グローバル社会に生きる大学生に必要な社会問題に関する基礎知識を英語で学びます。そして、学んだ知識を英語で発信できるようにします。さらに、TOEIC受験を視野に入れ、プリント教材を用いて、TOEICの問題形式に慣れてもらい、スコアアップを目指します。

到達目標

(1) 英語の語彙力を身につける
(2) リスニング能力の向上
(3) リーディング能力の向上
(4) ライティング能力の向上
(5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2),(3),(4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について２回の到達確認テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価（20%）

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa他	南雲堂	9784523177418
2	TOEICテストワードマスターアプローチ（単語熟語集）	松井こずえ他	成美堂	9784791900725
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文⑤）							担当教員	関　初海※
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーションとUnit 1	授業の進め方についての説明 Unit 1　教育とジェンダー
第2回	Unit 1(2)	Unit 1　教育とジェンダー （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第3回	Unit 2(1)	Unit 2　地球温暖化 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第4回	Unit 2(2)	Unit 2　地球温暖化 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第5回	Unit 3(1)	Unit 3 飲料水の確保 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第6回	Unit 3(2)	Unit 3 飲料水の確保 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第7回	Unit 4(1)	Unit 4 貧困と飢餓 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第8回	到達確認テスト①とフィードバック　Unit 4(2)	到達確認テスト①実施と解説 Unit 4 貧困と飢餓
第9回	Unit 5(1)	Unit 5 病との闘い （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第10回	Unit 5(2)	Unit 5 病との闘い （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第11回	Unit 6(1)	Unit 6　テロリズム （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第12回	Unit 6(2)	Unit 6　テロリズム （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第13回	Unit 7(1)	Unit 7 日本人強制収容所 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第14回	Unit 7(2)	Unit 7 日本人強制収容所 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第15回	到達確認テスト②とフィードバック	到達確認テスト②実施と解説 前期の総復習

担当者から一言

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文⑤）							担当教員	関　初海※
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、国際紛争、国際協力、戦争、平和といったトピックを扱い、グローバル社会に生きる大学生に必要な社会問題に関する基礎知識を英語で学びます。そして、学んだ知識を英語で発信できるようにします。さらに、TOEIC受験を視野に入れ、プリント教材を用いて、TOEICの問題形式に慣れてもらい、スコアアップを目指します。

到達目標

(1) 英語の語彙力を身につける
(2) リスニング能力の向上
(3) リーディング能力の向上
(4) ライティング能力の向上
(5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2),(3),(4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について２回の到達確認テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価（20%）

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa他	南雲堂	9784523177418
2	TOEICテストワードマスターアプローチ(単語熟語集)	松井こずえ他	成美堂	9784791900725
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文⑤）							担当教員	関　初海※
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Unit 8(1)	Unit 8 核兵器 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第2回	Unit 8(2)	Unit 8 核兵器 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第3回	Unit 9(1)	Unit 9 カンボジア大量虐殺 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第4回	Unit 9(2)	Unit 9 カンボジア大量虐殺 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第5回	Unit 10(1)	Unit 10 地雷撤去 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第6回	Unit 10(2)	Unit 10 地雷撤去 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第7回	Unit 11(1)	Unit 11 難民 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第8回	到達確認テスト①とフィードバック　Unit 11(2)	到達確認テスト①実施と解説 Unit 11 難民
第9回	Unit 12(1)	Unit 12　ネルソン・マンデラ （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第10回	Unit 12(2)	Unit 12　ネルソン・マンデラ （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第11回	Unit 13(1)	Unit 13 アウン・サン・スー・チー （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第12回	Unit 13(2)	Unit 13 アウン・サン・スー・チー （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第13回	Unit 14(1)	Unit 14 国際赤十字の活動 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第14回	Unit 14(2)	Unit 14 国際赤十字の活動 （DVD視聴と内容理解、リーディング、ライティング、スピーキング、TOEIC演習）
第15回	到達確認テスト②とフィードバック	到達確認テスト②実施と解説 後期の総復習

担当者から一言

講義名	英語ＩＩＡ（応用コース）（人文①）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, ‘socially interactive’ classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term writing test
レポート課題	25	Mid-term speaking test/quiz
上記以外	50	Final Test

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Required Textbook: Living English I - by Karl Hedberg and Peter Mauser (Keystone Press).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文①）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction/Getting to Know You 1	LE 1 Unit1, Part 1, Conversation phrases and strategies for talking about yourself and other people.
第2回	Getting to Know You 2	LE 1 Unit1, Part 2, Conversation phrases and strategies for talking about yourself and other people.
第3回	Family & Friends 1	LE 1 Unit 2 Part 1, Conversation phrases and strategies for talking about your family and friends.
第4回	Family & Friends 2	LE 1 Unit 2 Part 2, Conversation phrases and strategies for talking about your family and friends.
第5回	Around Town 1	LE 1 Unit 3 Part 1, Conversation phrases and strategies for talking about your hometown and places.
第6回	Around Town 2	LE 1 Unit 3 Part 2, Conversation phrases and strategies for talking about your hometown and places.
第7回	School and Free Time 1	LE 1 Unit 4 Part 1, Conversation phrases & strategies for talking about college life, study and free time activities.
第8回	School and Free Time 2	LE 1 Unit 4 Part 2, Conversation phrases & strategies for talking about college life, study and free time activities.
第9回	Mid Term Test 1	Students will take a writing test. Students will take a speaking test/quiz with the teacher.
第10回	Mid Term Test 2	Students will take a writing test. Students will take a speaking test/quiz with the teacher.
第11回	What's going on? Pt.1	LE 1 Unit 5 Part 1. Conversation phrases & strategies for talking about recent/current activities.
第12回	What's going on? Pt.2	LE 1 Unit 5 Part 2. Conversation phrases & strategies for talking about recent/current activities.
第13回	Numbers & Money 1	LE 2 Unit 6 Part 1. Conversations about money and personal spending. How to say large numbers.
第14回	Numbers & Money 2	LE 2 Unit 6 Part 2. Conversations about money and personal spending. How to say large numbers.
第15回	Course Review/Test Preparation	Students will complete unit review and final test preparation exercises.

担当者から一言
Students should be prepared to do some self-study in order to follow the course. In class, students will work in pairs and small groups and will be expected to participate actively at all times.

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（人文①）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

The course aims to progressively develop fluency skills and build on the learners' existing grammatical foundations. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. This course emphasises the development of practical English skills through stimulating, ‘socially interactive’ classroom activities. Students will also be encouraged to express their ideas and opinions across a range of topics. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term essay project
レポート課題	25	Mid-term essay reading/speaking test
上記以外	50	Final test

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Required Textbook: Living English II - by Karl Hedberg and Peter Mauser (Keystone Press).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文①）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction/Memory and The Past 1	LE 2 Unit 7 Part 1, Conversation phrases and strategies for talking about past activities and events.
第2回	Memory and The Past 2	LE 2 Unit 7 Part 2, Conversation phrases and strategies for talking about past activities and events.
第3回	The Real You 1	LE 2 Unit 8 Part 1, Conversation phrases and strategies for talking about past activities and events.
第4回	The Real You 2	LE 2 Unit 8 Part 2, Conversation phrases and strategies for talking about past activities and events.
第5回	Preferences 1	LE 2 Unit 9 Part 1, Conversation phrases & strategies for talking about favorites and preferences.
第6回	Preferences 2	LE 2 Unit 9 Part 2, Conversation phrases & strategies for talking about favorites and preferences.
第7回	Food 1	LE 2 Unit 10 Part 1, Conversation phrases & strategies for talking about food and eating out.
第8回	Food 2	LE 2 Unit 10 Part 2, Conversation phrases & strategies for talking about food and eating out.
第9回	Mid Term Test 1	Students read aloud their essay project to the teacher. Students will also work on unit review exercises.
第10回	Mid Term Test 2	Students read aloud their essay project to the teacher. Students will also work on unit review exercises.
第11回	Sharing Experiences 1	LE 2 Unit 11 Part 1, Conversation phrases & strategies for talking about experiences.
第12回	Sharing Experiences 2	LE 2 Unit 11 Part 2, Conversation phrases & strategies for talking about experiences.
第13回	Future Plans 1	LE 2 Unit 12 Part 1, Conversation phrases & strategies for talking about future plans.
第14回	Future Plans 2	LE 2 Unit 12 Part 2, Conversation phrases & strategies for talking about future plans.
第15回	Course Review/Exam Preparation	Students will complete unit review and exam preparation exercises.

担当者から一言
Students should be prepared to do some self-study in order to follow the course. In class, students will work in pairs and small groups and will be expected to participate actively at all times.

講義名	英語ＩＩＡ（応用コース）（人文②）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher meets with each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read their essay or story aloud and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

Final Presentation: Students read aloud 1 of their 8 essays to the class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	50	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each, Writing Objective 3 - 50%
上記以外	25	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 学生はクラスを３回以上欠席なると毎回欠席は採点から３点減らす。Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＡ（応用コース）（人文②）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Course introduction, syllabus quiz, getting to know other students. Begin writing one-page story/essay. Topics will be discussed in class.
第2回	Week 2	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第3回	Week 3	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第4回	Week 4	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第5回	Week 5	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第6回	Week 6	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第7回	Week 7	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第8回	Week 8	Students read aloud their writing to the class. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第9回	Week 9	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第10回	Week 10	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第11回	Week 11	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第12回	Week 12	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第13回	Week 13	Discuss the weekly topic in pairs, groups, and as a class. Use the weekly writing skill in textbook and other activities.
第14回	Week 14	Final presentations.
第15回	Week 15	Final presentations.

担当者から一言
It's OK to make mistakes as long as you try your best. A word on plagiarism (盗作): do your own original work on all assignments. Do not copy from the internet. Do not copy from other students. Students caught engaging in plagiarism will be subject to discipline

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（人文②）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will complete weekly speaking homework assignments using their smartphones and Google Drive. Students will receive weekly comments and feedback on their speaking abilities. Writing skills from the previous semester will be used again, and new writing skills will be introducted.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Midterm Presentation: 50% (each speaking objective 25% each; writing objectives 1 & 3 25% each, writing objective 3 50%), in class time week 8. Students will write and present about their summer vacation.
レポート課題	25	Homework: There will be writing and speaking homework on various topics.
上記以外	25	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 学生はクラスを３回以上欠席なると毎回欠席は採点から３点減らす。Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（人文②）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Homework: Begin writing midterm paper.
第2回	Week 2	Pronunciation practice, using "would".
第3回	Week 3	Interviewing someone.
第4回	Week 4	Midterm practice presentations.
第5回	Week 5	Respond to video media.
第6回	Week 6	Using "after, before, when".
第7回	Week 7	Writing groups/peer feedback.
第8回	Week 8	Midterm presentations.
第9回	Week 9	Cause and effect.
第10回	Week 10	Using "whereas, however".
第11回	Week 11	Respond to video media.
第12回	Week 12	Writing groups/peer feedback. Homework: None.
第13回	Week 13	Final presentation preparation. Homework: Work on final presentation.
第14回	Week 14	Final presentation preparation and practice presentations. Homework: Continue working on final.
第15回	Week 15	Final presentations.

担当者から一言
It's OK to make mistakes as long as you try your best. A word on plagiarism (盗作): do your own original work on all assignments. Do not copy from the internet. Do not copy from other students. Students caught engaging in plagiarism will be subject to discipline

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文③）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＡ（応用コース）（人文③）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page story or essay.
第2回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第3回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher checks students have begun their writing.
第4回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第5回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues advising and correcting Students' writing.
第6回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher corrects pronunciation of students' writing.
第7回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第8回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第11回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第12回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第13回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad.
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.

担当者から一言

講義名	英語ⅡB（応用コース）（人文③）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test and a final writing test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（人文③）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction and Useful English	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page self-introduction.
第2回	Unit 1: Getting to know you	Communicative activities to learn about the other students in the class. Teacher checks that students have begun to write their self-introductions.
第3回	Pronunciation: learning to speak English	Teacher looks at Students' self-introduction writing, gives advice on how to write better and more complex sentences.
第4回	Unit 2: Family and friends	Learning key vocabulary and how to talk about family and friends. Teacher continues advising and correcting Students' self-introduction writing.
第5回	Unit 2: Family and friends	Learning key vocabulary and how to talk about family and friends. Teacher continues advising and correcting Students' self-introduction writing.
第6回	Unit 3: Around town	Giving and receiving directions. Learning key vocabulary about places and directions. Students read aloud their self-introduction writing to Teacher.
第7回	Unit 3: Around town	Giving and receiving directions. Learning key vocabulary about places and directions. Teacher continues to correct pronunciation.
第8回	Unit 4: School and free time	Focusing on activities and how students spend their time. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	Unit 5: What's going on	Focus on present continous tense and communicative tasks about activities in daily life.
第11回	Unit 5: What's going on	Focus on present continous tense and communicative tasks about activities in daily life.
第12回	Unit 6: Numbers and money	Focus on both large and small numbers, how to pronounce them and diffictulties faced by Japanese learners with some English numbers.
第13回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test and writen exam.
第14回	Interview Tests	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.

担当者から一言

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文④）							担当教員	Gordon Maclaren※
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3nd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times.In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the intructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

(1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
(2) Students will be able to speak English with fluency.
(3) Students will be able to speak English with good delivery.
(4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total)Pairs rewrite 75-90% of a ‘new’ scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文④）							担当教員	Gordon Maclaren※
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	INTRODUCTION	Class &Pair reading of Luggage Mix-Up; Accusation and Apology
第2回	Patching Things Up	Offering Help and Getting to Know a Stranger [II] 第2回-13回 PAIR-ACT DRAMA SCENE
第3回	Realization Of & Panic Over a Mistake	Calming Someone Down [III]
第4回	Calling For Assistance	Giving Information over the Phone [IV]
第5回	Upholding Household Rules	Receiving and Confirming Good News [V]
第6回	Getting Over Jet Lag	Talking About Sleepiness and One's Job [VI]
第7回	A 'Thank You' Coffee	Expressing Gratitude and Setting Up a Date [VII+VIII]
第8回	Sharing and Eliciting Wonderful News	Warning Over High Expectations [IX]
第9回	Relating a Tough Situation	Asking About Job Qualifications [X]
第10回	Returning to the Beginning	The Luggage Mix-Up Conflict [I]
第11回	First Date	Banter, Sharing Likes, Dislikes and Goals in Common [XI]
第12回	Under the Table	Sharing Suspicions and Teasing About Anxieties [XII]
第13回	Stand-In	Subbing For Someone ill at Work [XIII] ; NEW SCENE BRAINSTORMING
第14回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.
第15回	COMPLETE FINAL VERSION & ACT OUT (in pairs)	THE 75-90% ORIGINAL SCENE YOU WROTE, BASED on SCENES VII and VIII joined together.

担当者から一言

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文④）							担当教員	Gordon Maclaren※
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation,choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

(1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
(2) Students will be able to speak English with fluency.
(3) Students will be able to speak English with good delivery.
(4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文④）							担当教員	Gordon Maclaren※
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	INTRODUCTION	Review Scenes I-XIII; Class>> Pair reading of Doing Someone ' s Hair
第2回	Keeping Up With Friends ' Lives	Shocking News Over the Phone [XV] 第2-8回PAIR-ACT DRAMA SCENE
第3回	Sharing Mixed Results	Celebrating, Evading and Consoling [XVI]
第4回	Adjusting to a Changed Situation	A Dream Future [XVII]
第5回	Breaking Some Bad News...But with a Silver Lining	Signing On [XVIII]
第6回	Working Out	Sharing Success; Asking a Big Favour [XIX]
第7回	The End'	The Drama's Resolution [XX]
第8回	Review Entire Story	Scene XIV Performance for any Excused Absence students
第9回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第10回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第11回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第12回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第13回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第14回	WRITE QUIZZES ON MOVIES WATCHED	WATCH FILMS WITH BILINGUAL SCREENPLAYS PREPARING FOR QUIZZES WHILE THE TEACHER INTERVIEWS ONE STUDENT ABOUT HER /HIS PERSONAL REPORT
第15回	OFFICIAL EXAM DATE	Interviews for yet-to-be interviewed / late students & reports

担当者から一言

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（人文⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.
第4回	Family & Friends	Quiz 2, Talking about your family, memory game 1, song 1.
第5回	Family & Friends	Talking about your friends and learning to learn 2.
第6回	Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.
第7回	Around Town	Getting to know Shiga, song 2.
第8回	School & Free Time	Quiz 4, School life, part-time jobs and schedules
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	School & Free Time	Free time and hobbies. Comparing Japanese / American college life.
第11回	What's Going On?	Quiz 5, Talking on the phone, leaving messages.
第12回	What's Going On?	Making invitations and suggestions, song 3.
第13回	Numbers & Money	Quiz 6, Numbers and money.
第14回	Numbers & Money	Do the math!
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語ⅡB（応用コース）（人文⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（人文⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Memory and the Past	Talking about your weekend.
第3回	Memory and the Past	Quiz 1, Asking about the past.
第4回	The Real You	Quiz 2, Talking about your good and bad points, song 1.
第5回	The Real You	Your horoscope and learning to learn 2.
第6回	My Favorites	Quiz 3, Talking about books, movies, and music.
第7回	My Favorites	Which do you prefer...?, song 2.
第8回	Let's Eat!	Quiz 4, Talking about food and cuisine.
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	Let's Eat!	Tastes and textures.
第11回	Experiences	Quiz 5, Talking about some of you good and bad experiences.
第12回	Experiences	Have you...?, song 3.
第13回	Future Plans	Quiz 6, Can you see your future?
第14回	Future Plans	Hopes and dreams for the future.
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文①）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらにそれらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。　また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む）を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes,すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。４回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。　通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	9784010943007
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文①）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文①）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。　また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1．大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む）を身につけること。
2．映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3．映画の音声に親しむことで、Englishes,すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4．映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。４回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。　通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	9784010943007
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文①）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文②）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またTEDの素材を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において、英語を音読し、発言することで弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

①一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
②テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
③テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
④自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
⑤正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標①②④について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標①②④に関し、2回小テストを行い、評価の20%とする。 到達目標③と⑤に関しては、授業での発表をもとに、評価の40%とする。この40%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
30分以上の遅刻は認めない。
遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかり行うこと。
TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage	978-1-305-96504-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文②）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	授業の説明 予習の手順等の説明
第2回	Unit 1 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第3回	Unit 1 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第4回	Unit 2 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第5回	Unit 2 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第6回	Unit 3 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第7回	Unit 3 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第8回	1st Quiz Presentation	第一回小テスト 英語で発表
第9回	Unit 4 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第10回	Unit 4 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第11回	Unit 5 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第12回	Unit 5 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第13回	2nd Quiz Presentation	第二回小テスト 英語で発表
第14回	Unit 6 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第15回	Unit 6 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える

担当者から一言
英語辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文②）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。また、正確な英文法に注意しながら、論理的な英語を書く力を養う。英語を書くだけでなく、自分の考えをメモ等に頼ることなく発表し、他学生と議論する能力も培う。

到達目標

①一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
②テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
③テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
④自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
⑤正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標①②④について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標①②④に関し、2回小テストを行い、評価の20%とする。 到達目標③と⑤に関しては、授業での発表をもとに、評価の40%とする。この40%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
30分以上の遅刻は認めない。
遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかり行うこと。
TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage	978-1-305-96504-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文②）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	授業の説明 英語III Aで学んだことの復習
第2回	Unit 7 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第3回	Unit 7 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第4回	Unit 8 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第5回	Unit 8 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第6回	1st Quiz Presentation	第一回小テスト 英語で発表
第7回	Unit 9 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第8回	Unit 9 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第9回	Unit 10 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第10回	Unit 10 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第11回	Unit 11 Lesoon A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第12回	Unit 11 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える
第13回	2nd Quiz Presentation	第二回小テスト 英語で発表
第14回	Unit 12 Lesson A and B	リーディング・パッセージの読解 ディクテーション
第15回	Unit 12 Lesson C, D, and E	TED Talkの聴解 教科書の設問、および教員の質問に英語で答える

担当者から一言
英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文③）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

This class will introduce a new problem or aspect of society every week. Students will read authentic English materials about the topic, learn vocabulary, and complete comprehension activities. There will also be homework which will develop the 4 skills of language.

到達目標

Each class will have many activities. Is it important that students bring their textbook, paper, and pencils/pens to class every week.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	There will be 4 quizzes in this class, each worth 5% of your final grade.
レポート課題	30	There will be 8 writing assignments in this class, each worth 3.75% of your grade.
上記以外	50	Final examination.

Students who miss more than 3 classes will receive a 3% grade penalty for each class after 3 classes.
Homework and other late assignments will have a 10%.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Different Perspectives: Understanding Current World Issues	Allen, B., Ichioka, N., Iwamasa, S., Ohno, M.,		978-4-7647-3980-2
2				
3				

There are many difficult vocabulary words in this textbook - be careful!

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文③）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Syllabus review, syllabus quiz; earthquakes and disasters.
第2回	Week 2	Animal rights and animal issues.
第3回	Week 3	Humans and animals.
第4回	Week 4	War and arts.
第5回	Week 5	Nationality and citizenship.
第6回	Week 6	Education and women.
第7回	Week 7	Gender issues and identity.
第8回	Week 8	Guns and society.
第9回	Week 9	Video games and violence.
第10回	Week 10	Social media.
第11回	Week 11	Families and society.
第12回	Week 12	Environmental protection.
第13回	Week 13	Foods and crops.
第14回	Week 14	Child labor.
第15回	Week 15	Religious and supernatural beliefs.

担当者から一言
This class will be very challenging for you, but I am here to help you in any way. Please email me or talk to me before/after class about anything. I'm excited to meet you all!

講義名	英語IIIＢ（充実コース）（人文③）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、リーディングを中心に英語の全般的な運用力を総合的に高めることを目的とする。テキストは、文化、社会、テクノロジー、環境、経済の５つの分野にわたるトピックを扱ったもので、これを用いて、現代社会のさまざまな側面について、英語で読み、考え、発表する活動に取り組んでもらいたい。また、毎週必ずテキストの音源等を聞いてリスニング・ジャーナルに記録し、クラスでのアクティビティーに積極的に参加することで、リスニングとスピーキングの力も伸ばしていきたい。期末課題として、小グループ単位でテキストの内容についての英語プレゼンテーションを行う。

到達目標

（１）必要に応じて辞書を使いながら、英文の内容を確実に理解する力を養う。
（２）英語の音とリズムに慣れ、リスニング力を向上させる。
（３）英語で読んだり調べたりしたトピックについて、その内容を人に伝えるスピーキング力を向上させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標（１）（３）について、期末プレゼンテーションによって評価する。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標（１）（２）（３）について、予習（15%）とクイズ（30%）によって評価する。 到達目標（２）について、リスニング・ジャーナルの提出（15%）によって評価する。 到達目標（３）について、授業への参加度（10%）によって評価する。

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週１回のクラスだけではできません。英語を聞いたり読んだりする活動に、自宅や通学時にも積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Understanding Our New Challenges	Dave Rear, 杉藤久志	成美堂	9784791934263
2				
3				

英和辞典（電子辞書または紙の辞書）と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文③）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業の進め方の説明 担当ユニットの決定
第2回	Group activities	担当ユニットの内容確認と発表に向けての話し合い English activities
第3回	Unit #1	クイズ テキスト内容の確認と発展
第4回	Unit #2	クイズ テキスト内容の確認と発展
第5回	Unit #3	クイズ テキスト内容の確認と発展
第6回	Unit #4	クイズ テキスト内容の確認と発展
第7回	Unit #5	クイズ テキスト内容の確認と発展
第8回	Mid-term preview	グループ発表の準備状況確認 English activities
第9回	Unit #6	クイズ テキスト内容の確認と発展
第10回	Unit #7	クイズ テキスト内容の確認と発展
第11回	Unit #8	クイズ テキスト内容の確認と発展
第12回	Unit #9	クイズ テキスト内容の確認と発展
第13回	Unit #10	クイズ テキスト内容の確認と発展
第14回	Unit #11	クイズ テキスト内容の確認と発展
第15回	期末プレゼンテーション準備	クイズ、English activities

担当者から一言
専門分野の国際的な研究を理解し、それに基づいて自分の研究を進めるためには、英語の文章を確実に読み取る力が必要です。また、理解した内容をわかりやすく人に伝える力も欠かせません。このクラスで、そのための第一歩を踏み出しましょう！

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文④）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、TOEIC問題とドラマ（Full　House）を使い演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位でのドラマのスクリプトを作る課題の提出があります。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本ｄ語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The TOEIC Test Practice with Core Vocabulary BOOK2	吉塚弘、Bill Benfield	成美堂	978-4-7919-1093-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

※３回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文④）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	英語の基礎事項の確認	基礎事項の確認
第2回	Unit1とFull House1	Unit1とFull House1を演習
第3回	Unit1とFull House2	Unit1とFull House2を演習
第4回	Unit2とFull House3	Unit2とFull House3を演習
第5回	Unit3とFull House4	Unit3とFull House4を演習
第6回	Unit4とFull House5	Unit4とFull House5を演習
第7回	Unit5とFull House6	Unit5とFull House6を演習
第8回	Unit6とFull House7	Unit6とFull House7を演習
第9回	Unit7とFull House8	Unit7とFull House8を演習
第10回	Unit8とFull House9	Unit8とFull House9を演習
第11回	Unit9とFull House10	Unit9とFull House10を演習
第12回	Unit10とFull House11	Unit10とFull House11を演習
第13回	Unit11とFull House12	Unit11とFull House12を演習
第14回	Unit12とFull House13	Unit12とFull House13を演習
第15回	Unit1～12の復習とFull House14	Unit1～12の復習とFull House14を演習

担当者から一言
※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語IIIＢ（充実コース）（人文④）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、TOEIC問題とドラマ（Full　House）を使い演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位でのドラマのスクリプトを作る課題の提出があります。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本ｄ語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The TOEIC Test Practice with Core Vocabulary BOOK2	吉塚弘、Bill Benfield	成美堂	978-4-7919-1093-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

※３回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文④）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	前期の復習とFull House15	前期の復習とFull House15を演習
第2回	Unit13とFull House16	Unit13とFull House16を演習
第3回	Unit14とFull House17	Unit14とFull House17を演習
第4回	Unit15とFull House18	Unit15とFull House18を演習
第5回	Unit16とFull House19	Unit16とFull House19を演習
第6回	Unit17とFull House20	Unit17とFull House20を演習
第7回	Unit18とFull House21	Unit18とFull House21を演習
第8回	Pre-test	TOEICの予行練習
第9回	Unit19とFull House22	Unit19とFull House22を演習
第10回	Unit20とFull House23	Unit20とFull House23を演習
第11回	Unit21とFull House24	Unit21とFull House24を演習
第12回	Unit22とFull House25	Unit22とFull House25を演習
第13回	Unit23とFull House26	Unit23とFull House26を演習
第14回	Unit24とFull House27	Unit24とFull House27を演習
第15回	Unit13～24の復習とFull House28	Unit13～24の復習とFull House28を演習

担当者から一言
※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文⑤）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

This social studies themed course focuses on building vocabulary as well as improving reading comprehension and listening skills. This approach will have clear benefits for those students taking the TOEIC test. Students will also work on their paragraph/essay writing skills and receive coaching from the tutor. In class, the students will work in pairs and small groups on discussion exercises related to course text topics. Students will also be introduced to a number of self-study techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term essay speaking/reading test
レポート課題	25	Mid-term essay writing
上記以外	50	Final Test

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Required Text: Hot Topics Japan I - Stephanie Alexander [Compass Publishing].

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（人文⑤）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction/ People & Society Pt.1	Overview of Assignments. Hot Topics Japan 1, Unit 1 'Personal Space'.
第2回	People & Society Pt.2	Hot Topics Japan 1, Unit 2, 'Japanese Restaurant Culture'.
第3回	People & Society Pt.3	Hot Topics Japan 1, Unit 3, 'Collectivism'.
第4回	Health & Fitness Pt.1	Hot Topics Japan 1, Unit 4, 'Natural vs. Artificial Ingredients'.
第5回	Health & Fitness Pt.2	Hot Topics Japan 1, Unit 5, 'Medical Masks in Japan'.
第6回	Health & Fitness Pt.3	Hot Topics Japan 1, Unit 6, 'Japanese Tea'.
第7回	Children & Education Pt.1	Hot Topics Japan 1, Unit 7, 'Youth Subcultures'.
第8回	Children & Education Pt.2	Student mid-term essay reading/speaking tests Hot Topics Japan 1, Unit 8, 'Juku Culture'.
第9回	Children & Education Pt.3	Student mid-term essay reading/speaking tests Hot Topics Japan 1, Unit 9, 'Studying Abroad'.
第10回	Science & Technology Pt.1	Hot Topics Japan 1, Unit 10, 'Cell phone ettiquette'.
第11回	Science & Technology Pt.2	Hot Topics Japan 1, Unit 11, 'Vending Machines'.
第12回	Science & Technology Pt.3	Hot Topics Japan 1, Unit 12, 'Robotics Research'.
第13回	Art & Culture Pt.1	Hot Topics Japan 1, Unit 13, 'Manga'.
第14回	Art & Culture Pt.2	Hot Topics Japan 1, Unit 14, 'Karaoke'.
第15回	Art & Culture Pt.3	Hot Topics Japan 1, Unit 15, 'Japanese Gardens'.

担当者から一言
Students should be prepared to do some self-study in order to follow the course. In class, students will work in pairs and small groups and will be expected to participate actively at all times.

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文⑤）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

This social studies themed course focuses on building vocabulary as well as improving reading comprehension and listening skills. This approach will have clear benefits for those students taking the TOEIC test. Students will also work on their paragraph/essay writing skills and receive coaching from the tutor. In class, the students will work in pairs and small groups on discussion exercises related to course text topics. Students will also be introduced to a number of self-study techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term essay speaking/reading test
レポート課題	25	Mid-term essay writing
上記以外	50	Final Test

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Required Text: Hot Topics Japan II - Stephanie Alexander [Compass Publishing].

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（人文⑤）							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction/ People & Society Pt.1	Overview of Assignments. Hot Topics Japan 2, Unit 1 'Holidays in Japan'.
第2回	People & Society Pt.2	Hot Topics Japan 2, Unit 2, 'The low crime rate of Japan'.
第3回	People & Society Pt.3	Hot Topics Japan 2, Unit 3, 'Divorce in Japan'.
第4回	Health & Fitness Pt.1	Hot Topics Japan 2, Unit 4, 'The healthy habits of Japanese women'.
第5回	Health & Fitness Pt.2	Hot Topics Japan 2, Unit 5, 'Otsukare'.
第6回	Health & Fitness Pt.3	Hot Topics Japan 2, Unit 6, 'Traditional Japanese foods'.
第7回	Children & Education Pt.1	Hot Topics Japan 2, Unit 7, 'Martial Arts in Schools'.
第8回	Children & Education Pt.2	Student mid-term essay reading/speaking tests Hot Topics Japan 2, Unit 8, 'Whole Person Education'.
第9回	Children & Education Pt.3	Student mid-term essay reading/speaking tests Hot Topics Japan 2, Unit 9, 'The Suzuki Method'.
第10回	Science & Technology Pt.1	Hot Topics Japan 2, Unit 10, 'Internet Cafe Kids'.
第11回	Science & Technology Pt.2	Hot Topics Japan 2, Unit 11, 'E-wallets'.
第12回	Science & Technology Pt.3	Hot Topics Japan 2, Unit 12, 'The Space Program'.
第13回	Art & Culture Pt.1	Hot Topics Japan 2, Unit 13, 'J-pop sensation'.
第14回	Art & Culture Pt.2	Hot Topics Japan 2, Unit 14, 'Taboo Tattoos'.
第15回	Art & Culture Pt.3	Hot Topics Japan 2, Unit 15, 'The Business of Cosplay'.

担当者から一言
Students should be prepared to do some self-study in order to follow the course. In class, students will work in pairs and small groups and will be expected to participate actively at all times.

講義名	英語IVA（展開コース）（人文①）							担当教員	神田　眞喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

本授業では、４技能を統合的に活用し、英語力の向上を目指します。英語の4技能をバランスよく伸ばすために、語彙学習、文法学習、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングといった様々な活動を通して英語を学びます。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

到達目標

（1）リスニング力を向上させる
（2）リーディング力を向上させる
（3）語彙力や文法力を向上させる。
（4）積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標（1）（2）（3）について、期末試験で40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標（1）（2）（3）について、到達度確認テストを２回行い、30%として評価。 到達目標（2）（3）について、毎回の課題で20%として評価。 到達目標（4）について、授業中の積極的な発言や発表で10%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ｊａｐａｎ　Ｇｏｅｓ　Ｇｌｏｂａｌ	Stuart Gale他	南雲堂	978-4-523-17860-6
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（人文①）							担当教員	神田　眞喜子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業概要や方針についての説明。　受講者同士の自己紹介。テキストを用いて、授業の流れや予習範囲の確認。
第2回	Unit 1　One Piece and the world's favorite pirates	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第3回	Unit 1　One Piece and the world's favorite pirates	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第4回	Unit 2 Japan's company culture	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第5回	Unit 2 Japan's company culture	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第6回	Unit 3 The genious of Japanese animation	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第7回	Unit 3 The genious of Japanese animation	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第8回	到達度確認テスト（1）	Ｕｎｉｔ １～Ｕｎｉｔ ３までの確認テストを実施する。
第9回	Unit 4 How supersitious is Japan?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第10回	Unit 4 How supersitious is Japan?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第11回	Unit 5 Bousouzoku: very Japanese rebels	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第12回	Unit 5 Bousouzoku: very Japanese rebels	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第13回	Unit 6 Why do Japanese students sleep in class?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第14回	Unit 6 Why do Japanese students sleep in class?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第15回	到達度確認テスト（2）	Ｕｎｉｔ ４～Ｕｎｉｔ ６までの確認テストを実施する。

担当者から一言

講義名	英語IVB（展開コース）（人文①）							担当教員	神田　眞喜子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

本授業では、４技能を統合的に活用し、英語力の向上を目指します。英語の4技能をバランスよく伸ばすために、語彙学習、文法学習、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングといった様々な活動を通して英語を学びます。ペアワークやグループワークを通してコミュニケーション活動も行います。

到達目標

（1）リスニング力を向上させる
（2）リーディング力を向上させる
（3）語彙力や文法力を向上させる。
（4）積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目到達目標（1）（2）（3）について、期末試験で40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標（1）（2）（3）について、到達度確認テストを２回行い、30%として評価。 到達目標（2）（3）について、毎回の課題で20%として評価。 到達目標（4）について、授業中の積極的な発言や発表で10%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ｊａｐａｎ　Ｇｏｅｓ　Ｇｌｏｂａｌ	Stuart Gale他	南雲堂	978-4-523-17860-6
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（人文①）							担当教員	神田　眞喜子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Unit 7 Attraction of onsen	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第2回	Unit 7 Attraction of onsen	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第3回	Unit 8 Virtual love	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第4回	Unit 8 Virtual love	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第5回	Unit 9 Otaku and proud!	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第6回	Unit 9 Otaku and proud!	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第7回	Unit 10 Similar but not the same	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第8回	到達度確認テスト（1）	Ｕｎｉｔ ７～Ｕｎｉｔ １０までの確認テストを実施する。
第9回	Unit 11 The Japanese writing systmen	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第10回	Unit 11 The Japanese writing systmen	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第11回	Unit 12 The grey area of gambling	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第12回	Unit 12 The grey area of gambling	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第13回	Unit 13 Pokemon:Do we really have to catch'em all?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第14回	Unit 13 Pokemon:Do we really have to catch'em all?	リスニング、リーディング、問題演習、コミュニケーション活動。
第15回	到達度確認テスト（2）	Ｕｎｉｔ １１~Ｕｎｉｔ １３までの確認テストを実施する。
担当者から一言		

講義名	英語IVA（展開コース）（人文②）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

本授業は、英語の発音の仕方を学び、TOEICリスニング・セクションのスコアアップを目指します。英語力の基礎は発音力です。なぜ日本人は英語を聞き取れないのか、また逆に、なぜ日本人の話す英語（ジャングリッシュ）は聞き取ってもらえないのか。伝わらないカタカナ発音と通じる英語発音の違いを理解することで、リスニング能力だけでなくスピーキング能力も育成します。授業では、教科書を用いて音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。

到達目標

（1）英語発音の特徴を理解し、TOEICレベルのリスニング問題を聞き取れる。
（2）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（3）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標（1）に関しては、期末試験で評価します（60%）。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標（2）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（20%）、到達目標（3）に関しては、各回の小テストで評価します（20%）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『Listening Steps』	米山明日香 / Lindsay Wells 著	金星堂	978-4-7647-4039-6
2				
3				

初回授業では音読のタイムトライアルなどを行うので、スマートフォンを持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（人文②）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

担当者から一言
英語学習の基本は音読です。まずは教科書にでてくる英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語IVB（展開コース）（人文②）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

前期に引き続き、世界各国を旅するレポーターからの英語ニュースとインタビューを視聴しながら、その国の言語・文化への理解を深めつつ、英語の四技能（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養う。後期は特に、英語が世界共通語と呼ばれるまでに至った背景的知識を得るため、サブテキストとしてDavid Crystal著 English as a Global Language を参照する。前期同様、受講者には、翻訳作業を除いて、可能な限り英語で受け答えをし、ディスカッションすることが求められる。リーディングとリスニング問題を軸に、英語でレポートを作成したり（ライティング）、英語の質問に対して英語で答え、それを録音する（スピーキング）などの課題も随時提示される。

到達目標

(1) “World Englishes”に関する発展問題に、自らの意見や引用文を用いて解答する
(2) 世界の旅事情、今後の英語事情について議論し、その結果を英語で発表する
(3) 世界の国々の特色について、英語で詳細に説明する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標（１）について、期末テストを行い、全体の40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標（２）について、到達度確認テストを行い、全体の30%として評価。 到達目標（３）について、隔週の小テスト(10%)および各回のレポート作成・録音作業(20%)で評価。

＜出席について＞
授業への積極的な参加は前提である。出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく４回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は３回で欠席１回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	On Board for More World Adventures	Scott Berlin・小林めぐみ	金星堂	978-4-7647-3991-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English as a Global Language	David Crystal	Cambridge University Press	978-1107611801
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

＜辞書について＞
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（人文②）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・前期の振り返り＆後期の目標確認 ・サブテキストの紹介
第2回	Chapter 2 INDONESIA - Reading	【前半】 ・ディスカッション
第3回	Chapter 2 INDONESIA - Listening	【前半】 ・小テスト
第4回	Unit 4 CHINA - Reading	【前半】 ・ディスカッション
第5回	Unit 4 CHINA - Listening	【前半】 ・小テスト
第6回	Unit 6 MEXICO - Reading	【前半】 ・ディスカッション
第7回	Unit 6 MEXICO - Listening	【前半】 ・小テスト
第8回	Unit 8 FINLAND - Reading	【前半】 ・ディスカッション
第9回	Unit 8 FINLAND - Listening	【前半】 ・小テスト
第10回	Unit 10 SPAIN - Reading	【前半】 ・ディスカッション
第11回	Unit 10 SPAIN - Listening	【前半】 ・小テスト
第12回	Unit 13 MOROCCO -Reading	【前半】 ・ディスカッション
第13回	Unit 13 MOROCCO - Listening	【前半】 ・小テスト
第14回	Review	・世界の言語について ・サブテキストの講読
第15回	到達度確認テスト	グループで前期のまとめ課題に取り組む ・トラベルガイド作成完了

担当者から一言
後期は、インドネシア、中国、メキシコ、フィンランド、スペイン、モロッコを英語で旅します！前期に引き続き、言語とは何かについて、また英語の将来について考えていきましょう。

講義名	英語IVA（展開コース）（人文③）							担当教員	菰田　真由美
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

海外旅行や留学などの機会において、私たちは、他の文化について多くを学びます。この授業では、日本人学生の体験を通して、私たちが外国で遭遇しがちなさまざまな問題とその解決法について学びながら、同時にリスニング、スピーキング、リーディング能力の向上を目指します。授業内の小テストで語彙を確認し、ペア・ワークによって会話の練習を行います。さらに、テーマにまつわる文章を聴いて、読み、その内容を理解します。

到達目標

(1)海外旅行や留学の際、想定されるさまざまな場面で必要な語彙を習得する。
(2)正しい発音とイントネーションを身に付け、音読することができる。
(3)テーマごとに、まとまった内容の文章を聴いて、読み、理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(3)については、期末試験によって評価する。
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(20%)、到達目標(2)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。

授業を４回以上欠席した場合は、評価の対象となりません。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。授業中は携帯電話等の通信機器は鞄に入れる必要があります。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となります。

授業外学習

毎週末までに、授業内容に関して、語彙の確認とテキストの音読をする習慣を付けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Communicate Abroad	Simon Cookson, Chihiro Tajima	センゲージ・ラーニング	978-4-86312-277-2
2				
3				

英和辞書または英英辞書は毎回忘れずに持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（人文③）							担当教員	菰田　真由美
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction/授業概要	自己紹介/授業の進め方等の説明
第2回	Unit1: My Suitcase Is Overweight	導入、語彙確認、音読活動
第3回	Unit1: My Suitcase Is Overweight	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第4回	Unit2 : I'm Suffering from Jet Lag	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第5回	Unit2 : I'm Suffering from Jet Lag	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第6回	Unit3 : Each Host Family Is Different	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第7回	Unit3 : Each Host Family Is Different	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第8回	復習とまとめ①	小テスト、Unit 1, 2, 3のまとめ
第9回	Unit4 : I'm Experiencing Culture Shock	導入、語彙確認、音読活動
第10回	Unit4 : I'm Experiencing Culture Shock	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第11回	Unit5 : My Dormitory Is too Noisy	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第12回	Unit5 : My Dormitory Is too Noisy	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第13回	Unit6 : How Can I Make Friends?	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第14回	Unit6 : How Can I Make Friends?	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第15回	復習とまとめ②	小テスト、Unit 4, 5, 6のまとめ

担当者から一言
授業内の学習だけで英語力を身に付けることは難しいので、隙間時間等を利用して語彙力の定着やリスニング力の養成に努めて下さい。具体的な教材や学習方法についてのアドバイスを行いますので、気軽に質問してください。

講義名	英語IVB（展開コース）（人文③）							担当教員	菰田　真由美
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

海外旅行や留学などの機会において、私たちは、他の文化について多くを学びます。この授業では、日本人学生の体験を通して、私たちが外国で遭遇しがちなさまざまな問題とその解決法について学びながら、同時にリスニング、スピーキング、リーディング能力の向上を目指します。授業内の小テストで語彙を確認し、ペア・ワークによって会話の練習を行います。さらに、テーマにまつわる文章を聴いて、読み、その内容を理解します。

到達目標

(1)海外旅行や留学の際、想定されるさまざまな場面で必要な語彙を習得する。
(2)正しい発音とイントネーションを身に付け、音読することができる。
(3)テーマごとに、まとまった内容の文章を聴いて、読み、理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(3)については、期末試験によって評価する。
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(20%)、到達目標(2)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。

授業を４回以上欠席した場合は、評価の対象となりません。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。授業中は携帯電話等の通信機器は鞄に入れる必要があります。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となります。

授業外学習

毎週末までに、授業内容に関して、語彙の確認とテキストの音読をする習慣を付けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Communicate Abroad	Simon Cookson, Chihiro Tajima	センゲージ・ラーニング	978-4-86312-277-2
2				
3				

英和辞書または英英辞書は毎回忘れずに持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（人文③）							担当教員	菰田　真由美
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction/授業概要	授業の進め方等の説明/ウォームアップ
第2回	Unit7: What Should I Talk About?	導入、語彙確認、音読活動
第3回	Unit7: What Should I Talk About?	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第4回	Unit8: I Feel Homesick	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第5回	Unit8: I Feel Homesick	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第6回	Unit9: How Do I Order Food?	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第7回	Unit9: How Do I Order Food?	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第8回	復習とまとめ①	小テスト、Unit 7, 8, 9のまとめ
第9回	Unit10: I Lost My Passport	導入、語彙確認、音読活動
第10回	Unit10: I Lost My Passport	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第11回	Unit11: I Need to Go to Hospital	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第12回	Unit11: I Need to Go to Hospital	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第13回	Unit12: I Don't Want to Leave	小テスト、導入、語彙確認、音読活動
第14回	Unit12: I Don't Want to Leave	パッセージの内容理解、質問応答、応用表現
第15回	復習とまとめ②	小テスト、Unit 10, 11, 12のまとめ

担当者から一言
授業内の学習だけで英語力を身に付けることは難しいので、隙間時間等を利用して語彙力の定着やリスニング力の養成に努めて下さい。具体的な教材や学習方法についてのアドバイスを行いますので、気軽に質問してください。

講義名	英語IVA（展開コース）（人文④）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

本授業は、英語の発音の仕方を学び、TOEICリスニング・セクションのスコアアップを目指します。英語力の基礎は発音力です。なぜ日本人は英語を聞き取れないのか、また逆に、なぜ日本人の話す英語（ジャングリッシュ）は聞き取ってもらえないのか。伝わらないカタカナ発音と通じる英語発音の違いを理解することで、リスニング能力だけでなくスピーキング能力も育成します。授業では、教科書を用いて音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。

到達目標

（1）英語発音の特徴を理解し、TOEICレベルのリスニング問題を聞き取れる。
（2）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（3）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標（1）に関しては、期末試験で評価します（60%）。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標（2）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（20%）、到達目標（3）に関しては、各回の小テストで評価します（20%）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『Listening Steps』	米山明日香 / Lindsay Wells 著	金星堂	978-4-7647-4039-6
2				
3				

初回授業では音読のタイムトライアルなどを行うので、スマートフォンを持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（人文④）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第9回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。

担当者から一言
英語学習の基本は音読です。まずは教科書にでてくる英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語IVB（展開コース）（人文④）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

TEDからの素材を使い、英文を読み、Video教材を視聴することで、英語の読解力と聴解力を伸ばす。また、批判的にテキストを読み、聞く力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、聞くだけの受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書き、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

①テキストの英文を正確に理解できる。
②テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
③テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
④正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
⑤正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標①と④について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標①と④に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標②と③に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
30分以上の遅刻は認めない。
遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかり行うこと。
TOEIC対策も兼ねた語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（人文④）							担当教員	渡　寛法
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	英語IVAで学んだことの復習
第2回	Unit 7. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第3回	Unit 7. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第4回	Unit 8. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第5回	Unit 8. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第6回	Unit 9. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第7回	Unit 9. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第8回	1st Quiz and Review	第1回小テスト これまでの復習
第9回	Unit 10. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第10回	Unit 10. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第11回	Unit 11. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第12回	Unit 11. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第13回	2nd Quiz and Review	第2回小テスト これまでの復習
第14回	Unit 12. Lessons A, B, and C	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習
第15回	Unit 12. Lessons E and D	教科書の練習問題 覚えておくべき、使える英語表現の演習

担当者から一言
英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語IVA（展開コース）（人文⑤）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

この授業で用いるテキストは、「書きたくなる、あるいは書くにふさわしいような話題について」、「聞いたり話したり、という口頭コミュニケーション活動も行いながら」、「クラスメートとアドバイスを交換しながら」、「英語的なパラグラフとして表現する練習をする」ために作られたものである。クラスでは、さまざまなアクティビティーによって、ライティングとスピーキングを中心に英語の運用能力を総合的に高めることを目標とする。また、読むことでの英語のインプットを増やすために、易しい多読用図書を読んでリーディング・ジャーナルに記録していく。課題やクラスでのアクティビティーに積極的に取り組んで、英語力を伸ばしていってもらいたい。

到達目標

（1）英語のパラグラフを書く力を養う。
（2）多読によって英語を英語のまま読めるようになる。
（3）自分が書いた英文を発表する中で、相手に伝わるスピーキング力を身につける。
（4）積極的に英語でコミュニケーションする経験を積む。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標（1）について、ライティング課題（40%）によって評価する。 到達目標（2）について、リーディング・ジャーナル（20%）によって評価する。 到達目標（3）について、Oral presentation（20%）によって評価する。

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週１回のクラスだけではできません。多読などの自宅学習に積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	構造から学べるパラグラフライティング入門	静 哲人	松柏社	9784881985373
2				
3				

教科書は、必ず初回授業から持ってくること。英和・和英辞典は、電子辞書または紙の辞書を準備しておくこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語が苦手だという自覚のある人は、できるだけ早く個人面談に来てください。特別扱いはしませんが、アドバイスと応援をします。

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（人文⑤）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業の進め方・評価方法の説明、自己紹介、English activities
第2回	Unit 1 A Paragraph as a Product	テキスト内容の確認と発展、English activities
第3回	Unit 2 Writing a Topic Sentence	テキスト内容の確認と発展、English activities
第4回	Unit 3 Writing Supporting Sentences	テキスト内容の確認と発展、English activities
第5回	Unit 4 Writing a Concluding Sentence	テキスト内容の確認と発展、English activities
第6回	The Process of Paragraph Writing	テキスト内容の確認と発展、English activities
第7回	Unit 5 Explaining Your Character	テキスト内容の確認と発展、English activities
第8回	Unit 6 Describing Your Daily Life	テキスト内容の確認と発展、English activities
第9回	Unit 7 Expressing an Opinion	テキスト内容の確認と発展、English activities
第10回	Unit 8 Giving Advice and Instructions	テキスト内容の確認と発展、English activities
第11回	Unit 9 Comparing and Contrasting	テキスト内容の確認と発展、English activities
第12回	Unit 10 Explaining Japanese Culture	テキスト内容の確認と発展、English activities
第13回	Unit 11 Describing Data Expressed in Graphs	テキスト内容の確認と発展、English activities
第14回	Unit 12 Summarizing What You Have Read	テキスト内容の確認と発展、English activities
第15回	Oral presentation	Summary of the class

担当者から一言
ライティングは総合力です。リーディングでインプットされた表現をどんどん取り入れ、自分が書いたものを声に出して読み、伝わりやすさを耳で確認し、クラスで口頭発表することでフィードバックを得られます。クラスメートの書いたものを参考にし、お互いにアドバイスし合って、英語を

講義名	英語IVB（展開コース）（人文⑤）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

この授業では、リーディングを中心に英語の全般的な運用力を総合的に高めることを目的とする。テキストは、文化、社会、テクノロジー、環境、経済の５つの分野にわたるトピックを扱ったもので、これを用いて、現代社会のさまざまな側面について、英語で読み、考え、発表する活動に取り組んでもらいたい。また、毎週必ずテキストの音源等を聞いてリスニング・ジャーナルに記録し、クラスでのアクティビティーに積極的に参加することで、リスニングとスピーキングの力も伸ばしていきたい。期末課題として、小グループ単位でテキストの内容についての英語プレゼンテーションを行う。

到達目標

（１）必要に応じて辞書を使いながら、英文の内容を確実に理解する力を養う。
（２）英語の音とリズムに慣れ、リスニング力を向上させる。
（３）英語で読んだり調べたりしたトピックについて、その内容を人に伝えるスピーキング力を向上させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25%	到達目標（１）（３）について、期末プレゼンテーションによって評価する。
レポート課題		
上記以外	75%	到達目標（１）（２）（３）について、予習（15%）、クイズ（25%）、TOEICスコア（10%）によって評価する。 到達目標（２）について、リスニング・ジャーナルの提出（15%）によって評価する。 到達目標（３）について、授業への参加度（10%）によって評価する。

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週１回のクラスだけではできません。英語を聞いたり読んだりする活動に、自宅や通学時にも積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Understanding Our New Challenges	Dave Rear, 杉藤久志	成美堂	9784791934263
2				
3				

英和辞典（電子辞書または紙の辞書）と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（人文⑤）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業の進め方の説明 担当ユニットの決定
第2回	Group activities	担当ユニットの内容確認と発表に向けての話し合い English activities
第3回	Unit #1	クイズ テキスト内容の確認と発展
第4回	Unit #2	クイズ テキスト内容の確認と発展
第5回	Unit #3	クイズ テキスト内容の確認と発展
第6回	Unit #4	クイズ テキスト内容の確認と発展
第7回	Unit #5	クイズ テキスト内容の確認と発展
第8回	Mid-term preview	グループ発表の準備状況確認 English activities
第9回	Unit #6	クイズ テキスト内容の確認と発展
第10回	Unit #7	クイズ テキスト内容の確認と発展
第11回	Unit #8	クイズ テキスト内容の確認と発展
第12回	Unit #9	クイズ テキスト内容の確認と発展
第13回	Unit #10	クイズ テキスト内容の確認と発展
第14回	Unit #11	クイズ テキスト内容の確認と発展
第15回	期末プレゼンテーション準備	クイズ、English activities

担当者から一言
専門分野の国際的な研究を理解し、それに基づいて自分の研究を進めるためには、英語の文章を確実に読み取る力が必要です。また、理解した内容をわかりやすく人に伝える力も欠かせません。このクラスで、そのための第一歩を踏み出しましょう！

講義名	英語ＩＡ（国際a）							担当教員	山本　薫
講義コード	1120505	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業の目標は，英語の４技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して，英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語　Ｉ　」は国際コミュニケーション学科の１年生前期配当の英語関連必修科目のうちの１科目である。

（山本担当）本授業では、リスニングに特化した教科書を用いてリスニングの原則を学びながら、正確な発音を身につけ、リスニング力を強化することを目指す。授業では、音読を繰り返し行い、発音練習とプレゼンテーションの仕方も学ぶ。

到達目標

(1)日常の英語対話を聞いて理解できる。
(2)多様な場面における英語を聞いて，完全ではないもののある程度理解できる。
(3)対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造，語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
(4)正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	３０	リスニング実力試験と発音テストを行う（詳細は授業中に指示する）。
レポート課題	１０	英字新聞等を読み、重要語をUSPOにアップロード提出すること（合計15回分）。
上記以外	６０	授業内での発表（発音）の正確さ（＝どれだけ音読練習しているか）を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。予習ができていない場合は出席点を失う。

授業外学習

予習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	リスニングで学ぶ現代の社会事情 Social Issues in a Contemporary World	杉森　直樹 / 杉森　幹彦 / Harry Dauer / ヒルド　麻美 /	成美堂	9784791910397
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（国際a）							担当教員	山本　薫
講義コード	1120505	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Unit 1　Food and Global Culture	初回は、オリエンテーションとして、これからどのように授業をすすめていくかをテクストのunit 1を用いて説明する。
第2回	Unit 2　Global Wealth and Poverty	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第3回	Unit 3　Ageing Society	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第4回	Unit 4 Education	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第5回	Unit 5　Crime	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第6回	Unit 6　Smoking	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第7回	Unit 7　Gender	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第8回	Unit 8　Population	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第9回	Unit 9　Environmental Issues	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第10回	Unit 10　Recycling	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第11回	Unit 11　Energy Problems	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第12回	Unit 12　Technology	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第13回	Unit 13　Questions on the Data—Part 1	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第14回	Unit 14　Questions on the Data—Part 2	トピックに関連したダイアログとパッセージを聞き取り、内容が把握できているかをチェックする設問と作業を行う。
第15回	Unit 15　世界の英語	英・米以外の英語の発音を聞き取り、比較する。

担当者から一言

講義名	英語ＩＢ（国際a）							担当教員	HAIG, John Havens※
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

This class will combine lecture with pair- and small-group activities loosely tied to the topic of studying abroad in the US or another English-speaking locale. Students are expected to have done the assigned reading and to have completed other assigned class preparations (e.g., viewing Youtube selections, writing reaction paragraphs, or listening to audio excerpts) before the beginning of class. There will be frequent short quizzes at the beginning of class and students will submit a daily self-evaluation at the end of each class. The self-evaluations will be graded on a 0, 1, 2 scale, where 0 means it was not turned in; 1 means it was too short, off-topic, or fragmentary; and 2 means it was satisfactory. The scoring does not depend on the content; flattering the instructor will not improve the score.

到達目標

Objectives:
At the end of the course, students should be able to:
-explain in their own terms in a written or oral format cultural, academic, and social differences a study-abroad student may expect to encounter.
-role play the part of a study-abroad student at a party, in a class, in a shopping situation, or other commonly expected environment.
-identify the use of compliments, humor, and improvisation in English conversational interactions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Daily Quizzes. 25%
レポート課題	55%	Self-evaluation at the end of each class (10%), Homework assignments (some written, some oral) (15%). Class activities, role plays, group work, class participation (30%).
上記以外	20%	Final presentation. Topics to be developed in class.

Grading will follow the Common Standard Evaluation Rubric developed for the Core Curriculum English Classes. Copies of the rubrics will be distributed to students early in the semester.

授業外学習

There are assigned readings for each meeting. Students are expected to have read the assignments in preparation for discussions and activities in class. Listening and viewing homework will also be assigned as appropriate.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	WHY? Study Abroad in the USA: What to expect and prepare for.	Matsuno, Mike.	Amazon	9781521038499
2				
3				

Order textbook at amazon.co.jp. If you have trouble ordering, please see the instructor.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（国際a）							担当教員	HAIG, John Havens※
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation, Course overview (pp. 9-14)	What is study abroad? What is it not? Why study abroad?
第2回	Active learning (pp. 51-60)	Life Skills. Common sense isn't common!
第3回	Use it to the fullest (pp. 61-73)	English proficiency comes from use: presentation skills, listening skills
第4回	Social skills (pp.74-78, 84-93)	Small talk, keeping abreast of current events
第5回	More skills (pp. 79 -83)	Giving and receiving compliments
第6回	Making friends (pp. 94-99)	Out of your comfort zone, finding common interests
第7回	Stay positive! Risk Taking (pp. 100-104)	Recognize and deal with culture shock, homesickness, loneliness. Calculated risk taking, reaching out.
第8回	Creativity (pp.104 -110)	There's more than one way to skin a cat. (An idiom that has nothing to do with cats, by the way) Maintaining a sense of humor.
第9回	Curiosity, spontaneity (pp. 114 -119)	Motivation, Keeping up with changing circumstances.
第10回	Struggles (pp. 124-128)	Managing expectations, finding a way.
第11回	Dealing with failure (pp. 129-132)	The best way to learn. Building confidence.
第12回	Change (pp. 132-139)	Changing circumstances bring new opportunities. Make the most of them.
第13回	Input and output (pp. 140-147)	You get out what you put in. Don't stand back and wait.
第14回	Putting it all together (pp. 148-155)	
第15回	Final presentations	

担当者から一言

講義名	英語ＩＡ（国際b）							担当教員	山本　薫
講義コード	1120507	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業の目標は，英語の４技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して，英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語　Ｉ　」は国際コミュニケーション学科の１年生前期配当の英語関連必修科目のうちの１科目である。

（山本担当）本授業では、アナウンス、コマーシャル、スピーチなどのダイアローグの聞き取りを通して、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、リスニング力を強化することを目指す。授業では自然な英語の語句のつながりに着目しながら音読を徹底的に繰り返し行い、英語の発音・表現・構造を自分のものにする。

到達目標

(1)日常の英語対話を聞いて理解できる。
(2)多様な場面における英語を聞いて，完全ではないもののある程度理解できる。
(3)対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造，語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
(4)正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	３０	リスニング実力試験と発音テストを行う（詳細は授業中に指示する）
レポート課題	１０	英字新聞等を読み、重要語をUSPOにアップロード提出すること（合計15回分）。
上記以外	６０	テクスト予習の達成度。授業内での発表（発音）の正確さ（＝どれだけ音読練習しているか）を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。予習ができていない場合は出席点を失う。

授業外学習

予習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Listening Steps　「英語の音を鍛えるリスニング・ステップ－１語からパッセージへ」	米山明日香 / Lindsay Wells	金星堂	978-4-7647-4039-6
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（国際b）							担当教員	山本　薫
講義コード	1120507	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Unit 1　Travel [eɪ] 音の連結	初回は、オリエンテーションとして、これからどのように授業をすすめていくかをテクストのunit 1を用いて説明する。
第2回	Unit 2　College Life ① [r] 弱形	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第3回	Unit 3　Shopping [l] 強形	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第4回	Unit 4　College Life ② [ə] 弱化①	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第5回	UUnit 5 Hotel [æ] 弱化②－－音の脱落	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第6回	Unit 6　Train [ʃ] r音化	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第7回	Unit 7 Restaurant [f][v] 同じ音の連	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第8回	Unit 8 College Life ③ [ʌ] portと	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第9回	Unit 9 Leisure [ɚ：][ɜ：] 強勢（スト	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第10回	Unit 10　Traffic [ʧ][ʤ] rainとtrain	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第11回	Unit 11 Business ① [ɵ][ð] 語頭と語末	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第12回	Unit 12 Clinic [ŋ] 語末の子音脱落と母	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第13回	Unit 13 Business ② [ɪ|i|iː][ʊ|u|uː]	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第14回	Unit 14 News [oʊ][əʊ] イントネーショ	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。
第15回	Unit 15 Business ③ [ɪə][eə][ʊə] イ	表題のトピックについて、コロケーション（語のつながり）・語彙増強を行いながら、会話・部分聞き取りを行う。自由会話で学んだ事柄を実践する。

担当者から一言

講義名	英語ＩＢ（国際b）							担当教員	HAIG, John Havens※
講義コード	1120508	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

This class will combine lecture with pair- and small-group activities loosely tied to the topic of studying abroad in the US or another English-speaking locale. Students are expected to have done the assigned reading and to have completed other assigned class preparations (e.g., viewing Youtube selections, writing reaction paragraphs, or listening to audio excerpts) before the beginning of class. There will be frequent short quizzes at the beginning of class and students will submit a daily self-evaluation at the end of each class. The self-evaluations will be graded on a 0, 1, 2 scale, where 0 means it was not turned in; 1 means it was too short, off-topic, or fragmentary; and 2 means it was satisfactory. The scoring does not depend on the content; flattering the instructor will not improve the score.

到達目標

Objectives:
At the end of the course, students should be able to:
-explain in their own terms in a written or oral format cultural, academic, and social differences a study-abroad student may expect to encounter.
-role play the part of a study-abroad student at a party, in a class, in a shopping situation, or other commonly expected environment.
-identify the use of compliments, humor, and improvisation in English conversational interactions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Daily Quizzes. 25%
レポート課題	55%	Self-evaluation at the end of each class (10%), Homework assignments (some written, some oral) (15%). Class activities, role plays, group work, class participation (30%).
上記以外	20%	Final presentation. Topics to be developed in class.

Grading will follow the Common Standard Evaluation Rubric developed for the Core Curriculum English Classes. Copies of the rubrics will be distributed to students early in the semester.

授業外学習

There are assigned readings for each meeting. Students are expected to have read the assignments in preparation for discussions and activities in class. Listening and viewing homework will also be assigned as appropriate.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	WHY? Study Abroad in the USA: What to expect and prepare for.	Matsuno, Mike.	Amazon	9781521038499
2				
3				

Order textbook at amazon.co.jp. If you have trouble ordering, please see the instructor.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（国際b）							担当教員	HAIG, John Havens※
講義コード	1120508	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation, Course overview (pp. 9-14)	What is study abroad? What is it not? Why study abroad?
第2回	Active learning (pp. 51-60)	Life Skills. Common sense isn't common!
第3回	Use it to the fullest (pp. 61-73)	English proficiency comes from use: presentation skills, listening skills
第4回	Social skills (pp.74-78, 84-93)	Small talk, keeping abreast of current events
第5回	More skills (pp. 79 -83)	Giving and receiving compliments
第6回	Making friends (pp. 94-99)	Out of your comfort zone, finding common interests
第7回	Stay positive! Risk Taking (pp. 100-104)	Recognize and deal with culture shock, homesickness, loneliness. Calculated risk taking, reaching out.
第8回	Creativity (pp.104 -110)	There's more than one way to skin a cat. (An idiom that has nothing to do with cats, by the way) Maintaining a sense of humor.
第9回	Curiosity, spontaneity (pp. 114 -119)	Motivation, Keeping up with changing circumstances.
第10回	Struggles (pp. 124-128)	Managing expectations, finding a way.
第11回	Dealing with failure (pp. 129-132)	The best way to learn. Building confidence.
第12回	Change (pp. 132-139)	Changing circumstances bring new opportunities. Make the most of them.
第13回	Input and output (pp. 140-147)	You get out what you put in. Don't stand back and wait.
第14回	Putting it all together (pp. 148-155)	
第15回	Final presentations	

担当者から一言

講義名	英語ⅡA（国際a）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1120515	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test.
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（国際a）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1120515	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.
第4回	Family & Friends	Quiz 2, Talking about your family, memory game 1, song 1.
第5回	Family & Friends	Talking about your friends and learning to learn 2.
第6回	Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.
第7回	Around Town	Getting to know Shiga, song 2.
第8回	School & Free Time	Quiz 4, School life, part-time jobs and schedules
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	School & Free Time	Free time and hobbies. Comparing Japanese / American college life.
第11回	What's Going On?	Quiz 5, Talking on the phone, leaving messages.
第12回	What's Going On?	Making invitations and suggestions, song 3.
第13回	Numbers & Money	Quiz 6, Numbers and money.
第14回	Numbers & Money	Do the math!
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語ⅡB（国際a）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120516	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students in pairs or small groups perform one of the TV scripts studied earlier in class. Students write two pages about some events. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able to speak English with: (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct.
Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	50% Story Writing. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students meet with the teacher individually to show and read aloud the stories they wrote from the Have You Ever? game.
レポート課題		
上記以外	50	50% Skit Performance. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students in pairs or small groups perform one of the TV scripts studied earlier in class. Higher grades for memorized performances.

授業外学習

Homework 1 hour/week: Practice your skit (4 hours). Write your Have You Ever stories (4 hours). Read a movie textbook from the library and watch the movie (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（国際a）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120516	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Q & A Spring card game.	Listen for information needed to answer questions.
第2回	Four of a Kind card game.	Give original answers to everyday questions.
第3回	Saturday Night Live: Cheeseburger Shop.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第4回	Saturday Night Live: Hospital Visit, France 1944.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第5回	Monty Python: Argument Lesson.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第6回	Monty Python: Cheese Shop.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第7回	Fork, Grannies, Mind, Parrot, Spam.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第8回	What Animal Am I ?	Describe animals. Decide on a TV show skit for your performance.
第9回	Have You Ever grid game.	Discover a pattern to things your classmates have done. Write short stories for some of the topics.
第10回	Top Ten game.	Ask and answer questions about things in categories. Write and show your Have You Ever stories. Rehearse your skit some more.
第11回	Kinds of Things game.	Describe and guess what objects belong in what category. Write and show your sentences/stories. Keep rehearsing your skit.
第12回	Oklahoma!	Dialogue in the movie, “Oklahoma!”.
第13回	Movie Songs: Oliver, King & I, Easter Parade.	Movie songs. Skit performances & read aloud to the teacher your corrected “Have You Ever” stories.
第14回	What's My Hobby or Sport?	Describe activities. Skit performances and read aloud your “Have You Ever” stories.
第15回	Final Answer Game.	Ask and answer questions in a quiz game. Skit Performances and read aloud your stories.

担当者から一言

講義名	英語ⅡA（国際b）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1120517	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test.
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（国際b）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1120517	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.
第4回	Family & Friends	Quiz 2, Talking about your family, memory game 1, song 1.
第5回	Family & Friends	Talking about your friends and learning to learn 2.
第6回	Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.
第7回	Around Town	Getting to know Shiga, song 2.
第8回	School & Free Time	Quiz 4, School life, part-time jobs and schedules
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	School & Free Time	Free time and hobbies. Comparing Japanese / American college life.
第11回	What's Going On?	Quiz 5, Talking on the phone, leaving messages.
第12回	What's Going On?	Making invitations and suggestions, song 3.
第13回	Numbers & Money	Quiz 6, Numbers and money.
第14回	Numbers & Money	Do the math!
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語ⅡＢ（国際b）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120518	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students in pairs or small groups perform one of the TV scripts studied earlier in class. Students write two pages about some events. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able to speak English with: (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct.
Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	50% Story Writing. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students meet with the teacher individually to show and read aloud the stories they wrote from the Have You Ever? game.
レポート課題		
上記以外	50	50% Skit Performance. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students in pairs or small groups perform one of the TV scripts studied earlier in class. Higher grades for memorized performances.

授業外学習

Homework 1 hour/week: Practice your skit (4 hours). Write your Have You Ever stories (4 hours). Read a movie textbook from the library and watch the movie (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（国際b）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120518	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Q & A Spring card game.	Listen for information needed to answer questions.
第2回	Four of a Kind card game.	Give original answers to everyday questions.
第3回	Saturday Night Live: Cheeseburger Shop.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第4回	Saturday Night Live: Hospital Visit, France 1944.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第5回	Monty Python: Argument Lesson.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第6回	Monty Python: Cheese Shop.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第7回	Fork, Grannies, Mind, Parrot, Spam.	Read, watch and practice the dialogue from comedy TV show skits.
第8回	What Animal Am I ?	Describe animals. Decide on a TV show skit for your performance.
第9回	Have You Ever grid game.	Discover a pattern to things your classmates have done. Write short stories for some of the topics.
第10回	Top Ten game.	Ask and answer questions about things in categories. Write and show your Have You Ever stories. Rehearse your skit some more.
第11回	Kinds of Things game.	Describe and guess what objects belong in what category. Write and show your sentences/stories. Keep rehearsing your skit.
第12回	Oklahoma!	Dialogue in the movie, “Oklahoma!”.
第13回	Movie Songs: Oliver, King & I, Easter Parade.	Movie songs. Skit performances & read aloud to the teacher your corrected “Have You Ever” stories.
第14回	What's My Hobby or Sport?	Describe activities. Skit performances and read aloud your “Have You Ever” stories.
第15回	Final Answer Game.	Ask and answer questions in a quiz game. Skit Performances and read aloud your stories.

担当者から一言

講義名	英語IIIA（国際a）							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120525	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。英語という外国語の学習を通して、さまざま学問に通じる視野を広げられるようになることが当科目の価値です。

到達目標

①解釈力：意味を踏まえて二段落以上の英文を相手に伝えるように音読できる。
②聴解力：五文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
③伝達力：国際問題についての自分の考えを三分間以上英語で発表できる。
④記述力：一段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
⑤教養力：ひとつの国際的な課題に関して知識を広げ一分間以上日本語・英語を問わず説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①音読テスト（テスト期間に実施）20%←到達目標①を評価 ②聴解テスト（授業内小テスト)20%←到達目標②を評価 ③グループ発表（第15回の授業で実施）20%←到達目標③を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（国際a）							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120525	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Education and Gender　前編	テキスト13-15頁 小テスト
第3回	Education and Gender　後編	テキスト16-18頁 小テスト
第4回	Drinking Water　前編	テキスト25-27頁 小テスト
第5回	Drinking Water　後編	テキスト28-30頁 小テスト
第6回	Terrorism　前編	テキスト43-45頁 小テスト
第7回	Terrorism　後編	テキスト46-48頁 小テスト
第8回	ワークショップ	傾聴の体験
第9回	Genocide and Crimes against Humanity　前編	テキスト63-65頁 小テスト
第10回	Genocide and Crimes against Humanity　後編	テキスト66-68頁 小テスト
第11回	Landmines　前編	テキスト69-71頁 小テスト
第12回	Landmines　後編	テキスト72-74頁 小テスト
第13回	Refugees　前編	テキスト75-77頁 小テスト
第14回	Refugees　後編	テキスト78-80頁 小テスト
第15回	まとめ	グループ発表

担当者から一言

講義名	英語III B（国際a）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1120526	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、イギ　リスとアメリカの文学作品を取り上げ　た教科書を用い、文章の読解を通じて英語の精読力（必要に応じて辞書を用い、大意をつかむだけでなく、確信をもって読むことができる力）を高めることを目標とする。また、文学作品のテキストの中の英語の音の響きとリズ　ム、文体の違いとその効果、レトリックと技法など　についても理解してもらいたい。
クラスで　は、担当者による発表を行い、映像資料など　で　理解を深め、作品の歴史的・文化的背景について学ぶ。さらに、相手に伝わるように音読する練習をすることで、スピーキング力の向上を図る。

到達目標

（1）やや複雑な英語の文章を精確に読みとる力をつける。
（2）英語の語りの技法、文体、リズムなどについて理解する。
（3）ある程度暗記ができるくらいまで、短い英語の文章を何度も音読して、英語の音とリズムに慣れる。
（4）英米の文学作品のいくつかについて、その歴史的、文化的背景を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標（1）（2）（3）（4）について、期末試験で評価
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標（1）について、毎週の宿題（20%）およびグループ発表（15%）で評価 到達目標（3）について、各週のクイズ（15%）で評価 到達目標（4）について、グループ発表（10%）で評価

正当な理由がなく全クラスの1／3以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書の予習は必須です。必要に応じて翻訳を参考にしてかまいませんが、なぜそういう訳になるのか、自分で納得できるだけの読解力を期待しています。分からないところを見つけてくることが、予習の目的です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	映画化された英米文学24：そのさわりを読む	行方昭夫、河島弘美	音羽書房鶴見書店	9784755303760
2				
3				

英和辞典（電子辞書または紙の辞書）と教科書は初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小説の技巧	デイヴィッド・ロッジ	白水社	9784560046340
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（国際a）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1120526	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自己紹介、授業の進め方、評価方法の説明、担当グループの決定
第2回	Romeo and Juliet by William Shakespeare	テキストの内容確認、English activities
第3回	Pride and Prejudice by Jane Austen	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第4回	Jane Eyre by Charlotte Brontë	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第5回	Wuthering Heights by Emily Brontë	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第6回	The Scarlet Letter by Nathaniel Hawthorne	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第7回	Great Expectations by Charles Dickens	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第8回	Little Women by Louisa May Alcott	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第9回	Washington Square by Henry James	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第10回	Adventures of Huckleberry Finn by Mark Twain	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第11回	"A Scandal in Bohemia" by Conan Doyle	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第12回	Pygmalion by George Bernard Shaw	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第13回	A Passage to India by E. M. Forster	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第14回	The Grapes of Wrath by John Steinbeck	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第15回	まとめ	クイズ、振り返り、English activities

担当者から一言
英語（言語）を学ぶということは、新しい世界の見方や自己表現の方法を手に入れるということです。ことばの学習を通して、いろいろな発見を楽しみましょう！

講義名	英語IIIA（国際b）							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120527	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。英語という外国語の学習を通して、さまざま学問に通じる視野を広げられるようになるのが当科目の価値です。

到達目標

①解釈力：意味を踏まえて二段落以上の英文を相手に伝えるように音読できる。
②聴解力：五文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
③伝達力：国際問題について自分の考えを三分間以上英語で発表できる。
④記述力：一段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
⑤教養力：ひとつの国際的な課題に関して知識を広げ一分間以上日本語・英語を問わず説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①音読テスト（テスト期間に実施）20%←到達目標①を評価 ②聴解テスト（授業内小テスト)20%←到達目標②を評価 ③グループ発表（第15回の授業で実施）20%←到達目標③を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（国際b）							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120527	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Education and Gender　前編	テキスト13-15頁 小テスト
第3回	Education and Gender　後編	テキスト16-18頁 小テスト
第4回	Drinking Water　前編	テキスト25-27頁 小テスト
第5回	Drinking Water　後編	テキスト28-30頁 小テスト
第6回	Terrorism　前編	テキスト43-45頁 小テスト
第7回	Terrorism　後編	テキスト46-48頁 小テスト
第8回	ワークショップ	傾聴の体験
第9回	Genocide and Crimes against Humanity　前編	テキスト63-65頁 小テスト
第10回	Genocide and Crimes against Humanity　後編	テキスト66-68頁 小テスト
第11回	Landmines　前編	テキスト69-71頁 小テスト
第12回	Landmines　後編	テキスト72-74頁 小テスト
第13回	Refugees　前編	テキスト75-77頁 小テスト
第14回	Refugees　後編	テキスト78-80頁 小テスト
第15回	まとめ	グループ発表

担当者から一言

講義名	英語III B（国際b）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1120528	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、イギ　リスとアメリカの文学作品を取り上げ　た教科書を用い、文章の読解を通じて英語の精読力（必要に応じて辞書を用い、大意をつかむだけでなく、確信をもって読むことができる力）を高めることを目標とする。また、文学作品のテキストの中の英語の音の響きとリズ　ム、文体の違いとその効果、レトリックと技法など　についても理解してもらいたい。
クラスで　は、担当者による発表を行い、映像資料など　で　理解を深め、作品の歴史的・文化的背景について学ぶ。さらに、相手に伝わるように音読する練習をすることで、スピーキング力の向上を図る。

到達目標

（1）やや複雑な英語の文章を精確に読みとる力をつける。
（2）英語の語りの技法、文体、リズムなどについて理解する。
（3）ある程度暗記ができるくらいまで、短い英語の文章を何度も音読して、英語の音とリズムに慣れる。
（4）英米の文学作品のいくつかについて、その歴史的、文化的背景を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標（1）（2）（3）（4）について、期末試験で評価
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標（1）について、毎週の宿題（20%）およびグループ発表（15%）で評価 到達目標（3）について、各週のクイズ（15%）で評価 到達目標（4）について、グループ発表（10%）で評価

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

教科書の予習は必須です。必要に応じて翻訳を参考にしてかまいませんが、なぜそういう訳になるのか、自分で納得できるだけの読解力を期待しています。分からないところを見つけてくることが、予習の目的です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	映画化された英米文学24：そのさわりを読む	行方昭夫、河島弘美	音羽書房鶴見書店	9784755303760
2				
3				

英和辞典（電子辞書または紙の辞書）と教科書は初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小説の技巧	デイヴィッド・ロッジ	白水社	9784560046340
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（国際b）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1120528	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自己紹介、授業の進め方、評価方法の説明、担当グループの決定
第2回	Romeo and Juliet by William Shakespeare	テキストの内容確認、English activities
第3回	Pride and Prejudice by Jane Austen	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第4回	Jane Eyre by Charlotte Brontë	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第5回	Wuthering Heights by Emily Brontë	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第6回	The Scarlet Letter by Nathaniel Hawthorne	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第7回	Great Expectations by Charles Dickens	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第8回	Little Women by Louisa May Alcott	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第9回	Washington Square by Henry James	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第10回	Adventures of Huckleberry Finn by Mark Twain	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第11回	"A Scandal in Bohemia" by Conan Doyle	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第12回	Pygmalion by George Bernard Shaw	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第13回	A Passage to India by E. M. Forster	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第14回	The Grapes of Wrath by John Steinbeck	クイズ、担当グループ発表、テキストの内容確認、English activities
第15回	まとめ	クイズ、振り返り、English activities

担当者から一言
英語（言語）を学ぶということは、新しい世界の見方や自己表現の方法を手に入れるということです。ことばの学習を通して、いろいろな発見を楽しみましょう！

講義名	英語IVA（国際a）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120535	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

In some classes, students write original sentences for games and play the games. In other classes, students write more complete stories. Students can work by themselves or with a partner or in groups of 3. In Action Picture classes, students dictate stories to each other. The teacher goes around the classroom to look at students' writing and explains any mistakes. Students pay attention to the teacher during the explanations and so improve their writing ability by learning from their own mistakes.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	Portfolio. Collect all your writings for each week and show them all to the teacher. The teacher will check to see that you have written all the topics and how well you wrote them, and give you a grade. *Show your writings to the teacher every week, not just in the last few weeks.(Writing Objective 1 = 25%. 2 =
レポート課題		
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 1 hour per week. Write your original sentences and story.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（国際a）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120535	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Q & A Card Game.	Write original sentences for a question-and-answer game.
第2回	A-Z Alphabet Game.	Write original sentences for words in categories. *Show your writing of last week to the teacher.
第3回	Childhood Cards.	Write about your childhood and school days, prompted by picture cards. *Show your writing of last week to the teacher.
第4回	Three Questions Board Game.	Write original sentences for the topics on the board. *Show your writing of last week to the teacher.
第5回	Question Spiral Board Game.	Write questions and answers using the topics on the board. *Show your writing of last week to the teacher.
第6回	Trip to Italy.	Write about a trip to Italy using picture cards for ideas about what to say. *Show your writing of last week to the teacher.
第7回	Never Ending Story.	Write a story about everyday events using picture cards. *Show your writing of last week to the teacher.
第8回	Action English Pictures A&B.	Dictation. Check your own writing. *Show your writing of last week to the teacher.
第9回	Action English Pictures C&D.	Dictation. Check your own writing. *Show your writing of last week to the teacher.
第10回	Second Look Pictures.	Find the differences in two similar pictures. Check your own answers.
第11回	Christmas songs.	Read, say, listen.
第12回	Ladders Game	Write about 10 "Final Answer" style questions. Ask your partner a question when he or she lands at the bottom or top of a ladder.
第13回	Continue writing your portfolio.	Continue writing your portfolio collection of writings. *Show your writing of last week to the teacher.
第14回	Portfolio Grading.	Show the teacher your writing portfolio. Read aloud some of your writing to the teacher.
第15回	Portfolio Grading.	Show the teacher your writing portfolio. Read aloud some of your writing to the teacher.

担当者から一言

講義名	英語IVB（国際a）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120536	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

This class will focus on essay writing and various types of essays. Students will use class time to learn how to write essays, complete preliminary writing, and give feedback to their peers. Homework will mainly consist of writing an essay for peer review.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech,
apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Midterm: Students will write an essay in class during week 8 on one of several topics. Students will be graded according to the writing rubric.
レポート課題	25	Final presentation: Students will present their final essay to their peers. Students will be graded according to the speaking and writing rubrics. Due weeks 14 and 15.
上記以外	40	Final essay: Students will write one essay on a selection of topics. Students are also free to choose their own topic. Students will be graded according to the writing rubric. Due week 14.

欠席が４回を超える場合は評価の対象としない。
Students who miss 4 classes will not receive a passing grade for this class.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Essays: From Paragraph to Essay	Dorothy E. Zemach, Lisa H. Ghulldu	Macmillan	978-0-2304-1592-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（国際a）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120536	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Class and syllabus introduction, introduction to the writing process, pre-writing, and paragraph and essay structure.
第2回	Week 2	Introduction to peer editing and descriptive essays.
第3回	Week 3	Peer feedback on descriptive essays.
第4回	Week 4	Introduction to opinion-based essays.
第5回	Week 5	Peer feedback on opinion-based essays.
第6回	Week 6	Introduction to timed writing and compare/contrast essays.
第7回	Week 7	Peer feedback on compare/contrast essays.
第8回	Week 8	Midterm - timed essay writing.
第9回	Week 9	Introduction to problem/solution essays.
第10回	Week 10	Peer feedback on problem/solution essays.
第11回	Week 11	Final essay topic introduced, pre-writing activities (brainstorming).
第12回	Week 12	Final essay rough draft due, peer feedback on rough draft.
第13回	Week 13	Final presentation practice.
第14回	Week 14	Final presentation, final essay due.
第15回	Week 15	Final essay presentation (continue if necessary), reflection activities.

担当者から一言
I'm looking forward to meeting you all and learning more about you. I am excited to teach and learn from you, as well as watching you teach and learn from your peers. Feel free to email or drop by my office any time.

講義名	英語IVA（国際b）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120537	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

In some classes, students write original sentences for games and play the games. In other classes, students write more complete stories. Students can work by themselves or with a partner or in groups of 3. In Action Picture classes, students dictate stories to each other. The teacher goes around the classroom to look at students' writing and explains any mistakes. Students pay attention to the teacher during the explanations and so improve their writing ability by learning from their own mistakes.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	Portfolio. Collect all your writings for each week and show them all to the teacher. The teacher will check to see that you have written all the topics and how well you wrote them, and give you a grade. *Show your writings to the teacher every week, not just in the last few weeks.(Writing Objective 1 = 25%. 2 =
レポート課題		
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 1 hour per week. Write your original sentences and story.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（国際b）							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120537	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Q & A Card Game.	Write original sentences for a question-and-answer game.
第2回	A-Z Alphabet Game.	Write original sentences for words in categories. *Show your writing of last week to the teacher.
第3回	Childhood Cards.	Write about your childhood and school days, prompted by picture cards. *Show your writing of last week to the teacher.
第4回	Three Questions Board Game.	Write original sentences for the topics on the board. *Show your writing of last week to the teacher.
第5回	Question Spiral Board Game.	Write questions and answers using the topics on the board. *Show your writing of last week to the teacher.
第6回	Trip to Italy.	Write about a trip to Italy using picture cards for ideas about what to say. *Show your writing of last week to the teacher.
第7回	Never Ending Story.	Write a story about everyday events using picture cards. *Show your writing of last week to the teacher.
第8回	Action English Pictures A&B.	Dictation. Check your own writing. *Show your writing of last week to the teacher.
第9回	Action English Pictures C&D.	Dictation. Check your own writing. *Show your writing of last week to the teacher.
第10回	Second Look Pictures.	Find the differences in two similar pictures. Check your own answers.
第11回	Christmas songs.	Read, say, listen.
第12回	Ladders Game	Write about 10 "Final Answer" style questions. Ask your partner a question when he or she lands at the bottom or top of a ladder.
第13回	Continue writing your portfolio.	Continue writing your portfolio collection of writings. *Show your writing of last week to the teacher.
第14回	Portfolio Grading.	Show the teacher your writing portfolio. Read aloud some of your writing to the teacher.
第15回	Portfolio Grading.	Show the teacher your writing portfolio. Read aloud some of your writing to the teacher.

担当者から一言

講義名	英語IVB（国際b）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120538	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

This class will focus on essay writing and various types of essays. Students will use class time to learn how to write essays, complete preliminary writing, and give feedback to their peers. Homework will mainly consist of writing an essay for peer review.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech,
apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	Midterm: Students will write an essay in class during week 8 on one of several topics. Students will be graded according to the writing rubric.
レポート課題	25	Final presentation: Students will present their final essay to their peers. Students will be graded according to the speaking and writing rubrics. Due weeks 14 and 15.
上記以外	50	Final essay: Students will write one essay on a selection of topics. Students are also free to choose their own topic. Students will be graded according to the writing rubric. Due week 14.

欠席が４回を超える場合は評価の対象としない。
Students who miss 4 classes will not receive a passing grade for this class.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Essays: From Paragraph to Essay	Dorothy E. Zemach, Lisa H. Ghulldu	Macmillan	978-0-2304-1592-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（国際b）							担当教員	Armando Duarte
講義コード	1120538	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Week 1	Class and syllabus introduction, introduction to the writing process, pre-writing, and paragraph and essay structure.
第2回	Week 2	Introduction to peer editing and descriptive essays.
第3回	Week 3	Peer feedback on descriptive essays.
第4回	Week 4	Introduction to opinion-based essays.
第5回	Week 5	Peer feedback on opinion-based essays.
第6回	Week 6	Introduction to timed writing and compare/contrast essays.
第7回	Week 7	Peer feedback on compare/contrast essays.
第8回	Week 8	Midterm - timed essay writing.
第9回	Week 9	Introduction to problem/solution essays.
第10回	Week 10	Peer feedback on problem/solution essays.
第11回	Week 11	Final essay topic introduced, pre-writing activities (brainstorming).
第12回	Week 12	Final essay rough draft due, peer feedback on rough draft.
第13回	Week 13	Final presentation practice.
第14回	Week 14	Final presentation, final essay due.
第15回	Week 15	Final essay presentation (continue if necessary), reflection activities.

担当者から一言
I'm looking forward to meeting you all and learning more about you. I am excited to teach and learn from you, as well as watching you teach and learn from your peers. Feel free to email or drop by my office any time.

講義名	ドイツ語ＩＡ（国際）							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1120541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL101								

授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、５分から１０分程度の音楽や映像を提示したりする。

到達目標

発音、語順、動詞（現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞）、名詞類（性・数・格）、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（５）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	（２）と（３）に関しては筆記試験（３０％）で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	（１）に関しては学期末の課題（模擬試験：２０％）、（３）に関しては小テスト（１０％）、（４）に関しては口述試験（３０％）、（５）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：１０％）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン１場面で学ぶドイツ語（ＣＤ付）	佐藤修子/ハイケ・パーペンティン/下田恭子/ゲーザ・オルデハー	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語ＩＡ（国際）							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1120541	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の説明、辞書紹介、発音練習（アルファベート）　など
第2回	発音練習（１）	表現：挨拶
第3回	発音練習（２）	基数；表現：自己紹介(1)
第4回	現在人称変化	表現：自己紹介(2),他人を紹介する
第5回	語順	肯定文、疑問文、否定文；sein, haben
第6回	冠詞、名詞の性	会話練習：レストランで飲み物を注文する
第7回	名詞の複数形	文法＋表現
第8回	人称代名詞の格変化	会話練習：３格と４格の練習
第9回	前置詞	会話練習：待ち合わせをする
第10回	話法の助動詞	文法＆表現＋会話練習
第11回	命令形	文法＆表現＋会話練習
第12回	分離動詞	会話練習：予定を尋ねる
第13回	zu-不定詞（１）	文法＆表現
第14回	zu-不定詞（２）	会話練習
第15回	まとめ	課題（模擬試験）＋口述試験

担当者から一言
言語を習得するのには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語ＩＢ（国際）							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1120542	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL102								

授業概要

ドイツ語ＩＡとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では、ドイツ語ＩＡで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（２）と（３）に関しては筆記試験（５０％）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	（１）に関しては学期末の課題（模擬試験：１０％）、（３）に関しては小テスト（１０％）、（４）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：３０％）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン1．場面で学ぶドイツ語（CD付）	佐藤修子 / ハイケ・パーペンティン / 下田恭子 / ゲーザ・	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語ＩＢ（国際）							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1120542	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	アルファベート	発音練習
第2回	挨拶表現(名前・出身・住所)	会話練習
第3回	基数	会話練習
第4回	動詞の変化	会話練習
第5回	不規則動詞の変化・語順	会話練習
第6回	冠詞・名詞の性・gern	会話練習
第7回	名詞の複数形	会話練習【レストランでの注文】
第8回	人称代名詞3格と4格	会話練習
第9回	前置詞	会話練習【待ち合わせをする】
第10回	話法の助動詞	会話練習
第11回	命令形	会話練習
第12回	分離動詞	会話練習
第13回	zu 不定詞	会話練習
第14回	前期の復習（1)	会話練習
第15回	前期の復習（2)	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語ＩＩＡ（国際）							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1120551	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL201								

授業概要

ドイツ語Ｉで習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、文法事項の確認、会話の練習（プリント教材）、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、５分から１０分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。

到達目標

zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（５）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	（２）と（３）に関しては筆記試験（３０％）で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	（１）に関しては学期末の課題（模擬試験：２０％）、（３）に関しては小テスト（１０％）、（４）に関しては口述試験（３０％）、（５）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：１０％）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン２コンパクト 場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーペンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語ＩＩＡ（国際）							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1120551	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	ドイツ語ＩＡの復習（１）
第2回	zu-不定詞	ドイツ語Ｉの復習（２）
第3回	三基本形、過去形	文法＆表現
第4回	現在完了形	文法＆表現＋会話練習
第5回	疑問詞、形容詞	文法＆表現＋会話練習
第6回	形容詞の比較変化	文法＆表現＋会話練習
第7回	再帰表現、非人称表現	文法＆表現
第8回	分詞	文法＆表現
第9回	受動態	文法＆表現
第10回	副文（１）	文法＆表現
第11回	副文（２）	文法＆表現＋会話練習
第12回	指示代名詞、関係代名詞	文法＆表現
第13回	関係文＋接続法	文法＆表現
第14回	接続法	文法＆表現＋会話練習
第15回	まとめ	課題（模擬試験）＋口述試験

担当者から一言
言語を習得するのには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語ＩＩＢ（国際）							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1120552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL202								

授業概要

ドイツ語Ｉ同様、ドイツ語ＩＩAとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では引き続き、ドイツ語ＩＩAで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。また文法と語彙の知識に合わせ、より複雑な表現も身につけていくようにする。ドイツ語Ｉ同様、今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ある程度複雑な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（２）と（３）に関しては筆記試験（５０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	（１）に関しては学期末の課題（模擬試験：１０%）、（３）に関しては小テスト（１０%）、（４）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：３０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト　場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語ＩＩＢ（国際）							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1120552	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ドイツ語ＩＢ の復習（１）	会話練習
第2回	ドイツ語ＩＢ の復習（２）	会話練習
第3回	レストランで	会話練習
第4回	ホテルで	会話練習
第5回	街で	会話練習
第6回	旅行と交通	会話練習
第7回	天気	会話練習
第8回	健康と体	会話練習
第9回	贈り物と招待	会話練習
第10回	色と衣服	会話練習
第11回	履歴と学校制度	会話練習
第12回	ゴミと環境	会話練習
第13回	祝祭と祝日	会話練習
第14回	後期の復習（1）	会話練習
第15回	後期の復習（2）	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	フランス語ＩＡ（国際）							担当教員	橋本　周子
講義コード	1120561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL111								

授業概要

この授業では、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

（1）フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
（2）フランス語の基礎的な単語を修得できている。
（3）授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
（4）分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	８０	到達目標に示す（1）（2）については、定期試験（６０%）および１課が済むごとに実施する小テスト（２０%）によって評価する。
レポート課題		
上記以外	２０	（3）（4）については宿題を期限通りに済ませているかの確認（２０%）によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。
小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語ＩＡ（国際）							担当教員	橋本　周子
講義コード	1120561	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL111								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	簡単なあいさつ アルファベ
第2回	（１課前半）	あいさつをする 自己紹介をする
第3回	（１課後半）	
第4回	（２課前半）	家族を紹介する 人物について尋ねる
第5回	（２課後半）	
第6回	（３課前半）	ものや場所を描写する（１） 人物を描写する
第7回	（３課後半）	
第8回	これまでの復習	
第9回	（４課前半）	好き嫌いについて言う 趣味や時間割について話す
第10回	（４課後半）	
第11回	（５課前半）	過去のことについて話す 気持ちを表す
第12回	（５課後半）	
第13回	（６課前半）	日常のことや過去について話す 頻度を表す
第14回	（６課後半）	
第15回	これまでの復習	
担当者から一言		

講義名	フランス語ＩＢ（国際）							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1120562	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	101FRL112								

授業概要

この授業では、フランス語の文法の基礎を学び、自然な日常会話が出来るようになることを目標とします。

授業の中では学生がフランス語を話す時間を最大限に作り、楽しくてアクティブなクラスになるよう、ペアーで発音と会話を練習します。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

この授業ではフランス語で書かれている教科書を使用します。生徒には積極的な授業への参加と習慣的に学習に取り組む姿勢を期待します。

到達目標

この授業では４つのスキル（聞く・話す・読む・書く）に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語ＩB・フランス語IIBを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	小テスト（語彙／会話） ＋

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語ＩＢ（国際）							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1120562	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	101FRL112								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Leçon 0: On commence!	アルッファベット ０～２０の数
第2回	Leçon 1: Bienvenue! (1)	挨拶する 自己紹介
第3回	Leçon 1: Bienvenue! (2)	挨拶する 自己紹介
第4回	Leçon 2: Qui est-ce? (1)	ある人について質問する ある人の説明する
第5回	Leçon 2: Qui est-ce? (2)	人について質問する 人の説明する
第6回	Leçon 3: Ça va bien? (1)	歳、住所、電話番号を聞く 消息を聞く
第7回	Leçon 3: Ça va bien? (2)	歳、住所、電話番号を聞く 消息を聞く
第8回	Leçon 4: Arrêt sur...	まとめ： 自己紹介
第9回	Leçon 5: Trouvez l'objet (1)	家にあるものの名前を覚える ものの位置を説明する
第10回	Leçon 5: Trouvez l'objet (2)	家にあるものの名前を覚える ものの位置を説明する
第11回	Leçon 6: Portrait-robot (1)	所有の言い方 色
第12回	Leçon 6: Portrait-robot (2)	所有の言い方 色
第13回	Leçon 7: Shopping (1)	洋服の買い物 ものの特徴を説明する
第14回	Leçon 7: Shopping (2)	洋服の買い物 ものの特徴を説明する
第15回	Leçon 8: Révisions et test de conversation final	まとめ 会話テスト

担当者から一言

講義名	フランス語ＩＩＡ（国際）							担当教員	橋本　周子
講義コード	1120571	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL211								

授業概要

前期に引き続き、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

（１）フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
（２）フランス語の基礎的な単語を修得できている。
（３）授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
（４）分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	８０	到達目標に示す（１）（２）については、定期試験（６０%）および１課が済むごとに実施する小テスト（２０%）によって評価する。
レポート課題		
上記以外	２０	（３）（４）については宿題を期限通りに済ませているかの確認（２０%）によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。
小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語ＩＩＡ（国際）							担当教員	橋本　周子
講義コード	1120571	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL211								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	（７課前半）	日常や過去の状況について話す 時の表現（１）
第2回	（７課後半）	
第3回	（８課前半）	未来の計画について話す 評価する
第4回	（８課後半）	
第5回	（９課前半）	交通機関について尋ねる 比較する
第6回	（９課後半）	
第7回	これまでの復習	
第8回	（１０課前半）	誘う 道を尋ねる/示す
第9回	（１０課後半）	
第10回	（１１課前半）	活動を提案する（２） 誘いを受ける/断る
第11回	（１１課後半）	
第12回	（１２課前半）	人物を描写する（２） 印象や気持ちを言う
第13回	（１２課後半）	
第14回	これまでの復習	
第15回	応用練習	

担当者から一言

講義名	フランス語ＩＩＢ（国際）							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1120572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講		
ナンバリング番号	201FRL212								

授業概要

この授業はフランス語ＩＢの続きです。

到達目標

この授業では４つのスキル（聞く・話す・読む・書く）に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語ＩＢ・フランス語ＩＩＢを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	小テスト（語彙／会話） ＋

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語ＩＩＢ（国際）							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1120572	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講		
ナンバリング番号	201FRL212								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Leçon 9: Appartement à louer (1)	自宅を説明する 見取り図に位置を示す
第2回	Leçon 9: Appartement à louer (2)	自宅を説明する 見取り図に位置を示す
第3回	Leçon 10: C'est par où? (1)	道を尋ねる 道を説明する
第4回	Leçon 10: C'est par où? (2)	道を尋ねる 道を説明する
第5回	Leçon 11: Bon voyage! (1)	ホテルの部屋の設備 ホテルの予約の表現
第6回	Leçon 11: Bon voyage! (2)	ホテルの部屋の設備 ホテルの予約の表現
第7回	Leçon 13: Un aller simple (1)	時間を尋ねる、時間を言う 日付を言う
第8回	Leçon 13: Un aller simple (2)	時間を尋ねる、時間を言う 日付を言う
第9回	Leçon 14: À Londres (1)	仕事について話す
第10回	Leçon 14: À Londres (2)	仕事について話す
第11回	Leçon 15: Le dimanche matin (1)	活動、趣味、スポーツについて話す 週末何をするか説明する
第12回	Leçon 15: Le dimanche matin (2)	活動、趣味、スポーツについて話す 週末何をするか説明する
第13回	Leçon 17: On fait des crêpes? (1)	朝ご飯に何を食べるか言う・聞く 料理を作るために必用な材料を言う
第14回	Leçon 17: On fait des crêpes? (2)	朝ご飯に何を食べるか言う・聞く 料理を作るために必用な材料を言う
第15回	Leçon 18: Il est comment?	昨日したことを言う 自分の意見を表現する

担当者から一言

講義名	中国語ＩＡ（国際）							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1120581	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL121								

授業概要

中国語ＩＡは中国語の基礎を学びます。先ず徹底して発音の習得に努め、簡単な日常の挨拶語などを学びます。それと同時に基本文型（文法知識）はもちろんのこと、簡単なリスニングを含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて解いていきます。

到達目標

（1）中国語の発音を習得する。
（2）基本文型を学び、簡単なコミュニケーションができるようになる。
（3）中国語検定試験の準4級レベルに達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標（1）（2）（3）について、筆記試験（発音に関するリスニング問題を含む）を行う。（100%）
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編　実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語ＩＡ（国際）							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1120581	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101FRL121								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	これから学ぶ中国語とは？ （1）普通話（標準語）について
第2回	発音練習（Ｉ）	（1）声調（高低アクセント）について （2）母音（単韻母と複韻母）について
第3回	発音練習（II）	（1）子音（声母）について （2）有気音と無気音について
第4回	発音練習（III）	声調の組み合わせ
第5回	第6課　お茶をお飲みになりますか？	（1）人称代名詞 （2）ＳＶＯ句（動詞述語文）
第6回	第7課　中国の勉強に来ました。	（1）連動文 （2）疑問詞疑問文
第7回	第8課　花園アパートはとても近い。	（1）形容詞述語文 （2）“是”字文
第8回	第9課　お名前は？	（1）姓と名前の尋ね方 （2）二重目的語文
第9回	第10課　自己紹介	復習問題を解く。
第10回	第11課　貴社はどちらですか？	（1）方位詞 （2）動詞“在”
第11回	第12課　食堂があります。	（1）所有・所属、存在を表す“有”字文 （2）名量詞
第12回	第13課　何月何日ですか？	（1）年月日の表現法 （2）疑問数詞
第13回	第14課　私の一日	（1）時間・時刻表現 （2）介詞“在”と介詞構造の位置
第14回	第15課　メーデー	復習問題を解く。
第15回	第16課　紅茶にしますかそれともウーロン茶にしますか？	（1）名詞連語 （2）形容詞＋“的”

担当者から一言

講義名	中国語ＩＢ（国際）							担当教員	呉　凌非
講義コード	1120582	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL122								

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

（1）文法を理解すること
（2）語彙を覚えること
（3）正確な発音を身につけること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	（1）文法を理解すること　40% （2）語彙を覚えること　10% （3）正確な発音を身につけること　10%
レポート課題	30%	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語ーー初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語ＩＢ（国際）							担当教員	呉　凌非
講義コード	1120582	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL122								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第１回　基礎発音（１）	主に四声の勉強をします。
第2回	第２回　基礎発音（２）	主に母音の勉強をします。
第3回	第３回　基礎発音（３）	主に子音の勉強をし、発音全体をまとめます。
第4回	第４回　どうぞよろしく	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第5回	第５回　人称代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第6回	第６回　花がすきですか	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第7回	第７回　指示代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第8回	第８回　だれに手紙を書くの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第9回	第９回　存在表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第10回	第10回　本屋は何時に開くの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第11回	第11回　数量表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第12回	第12回　風邪を引いたの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第13回	第13回　過去形の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第14回	第14回　映像教材	映像を見ながら、単語や文の聞き取りの勉強をします。
第15回	第15回　まとめ	これまで勉強してきた内容を整理し、まとめます。

担当者から一言
継続は力なり。

講義名	中国語ＩＩＡ（国際）							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1120591	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL221								

授業概要

中国語ＩＩＡは、中国語ＩＡと同じテキストを使用し、引き続き中国語の基本文型（文法知識）を学びます。その過程で簡単なリスニングなどを含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて解きます。

到達目標

（1）中国語で自己紹介ができるようになる。
（2）簡単な中国語を」聴き取り、応答ができるようになる。
（3）中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標（1）（2）（3）について、筆記試験（リスニング問題を含む）を行う。（100%）
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編　実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語ＩＩＡ（国際）							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1120591	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201FRL221								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第18課　彼は背が高い。	(1) 主述述語文 (2) 2つの“了”
第2回	第19課　少し熱があります。	(1) 変化を表す語気助詞“了” (2) 副詞“有点/有些”
第3回	第20課　日記	復習問題を解く。
第4回	第21課　泳げますか？	(1) 助動詞“会”“能”“可以”“想” (2) 概数の表し方
第5回	第22課　何をお買いになりますか？	(1) 助動詞“要”“該” (2) 動詞の重ね型と“一下”
第6回	第23課　見たことがありません。	(1) 動態助詞“过” (2) 可能性を表す“会”と“能”
第7回	第24課　どこで買ったの？	(1) “是～Ｖ的”構文 (2) 介詞“離”
第8回	第25課　彼は映画おたくです。	練習問題を解く。
第9回	第26課　小説を読んでいます。	(1) 動作の持続表現 (2) 疑問詞の不定用法
第10回	第27課　つめたすぎだ。	(1) 動態助詞“着” (2) “太……了”
第11回	第28課　持って帰りなさい。	(1) 単純方向補語 (2) 複合方向補語
第12回	第29課　サッカーボールが飛んできた。	存現文について
第13回	第30課　私が代講します。	復習問題を解く。
第14回	第31課　歌いすぎだよ。	様態補語について
第15回	第32課　断水	(1) 結果補語 (2) 名詞の場所化

担当者から一言

講義名	中国語ＩＩＢ（国際）							担当教員	呉　凌非
講義コード	1120592	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL222								

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

（1）文法を理解すること
（2）語彙を覚えること
（3）正確な発音を身につけること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	（1）文法を理解すること　40% （2）語彙を覚えること　10% （3）正確な発音を身につけること　10%
レポート課題	30%	小テスト・宿題・レポートで評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語ー初級編	呉　凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	中国語ＩＩＢ（国際）							担当教員	呉　凌非
講義コード	1120592	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL222								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第１回　ご家族は何人？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第2回	第２回　受け身文の勉強	受け身文、前置詞文、時間副詞などの文法知識を学習します。
第3回	第３回　勉強しているの？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第4回	第４回　進行形の勉強	中国語の進行形、経験表現、補語などの文法知識を学習します。
第5回	第５回　何科目を選んだ？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第6回	第６回　使役文の勉強	使役文、伝言表現、程度補語などの文法知識を学習します。
第7回	第７回　クイズを当てる	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第8回	第８回　動詞の重ね型の勉強	動詞の重ね型、可能補語、反復疑問文などの文法知識を学習します。
第9回	第９回　プレゼント	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第10回	第10回　願望表現、アドバイス表現	願望表現、アドバイス表現などの文法知識を学習します。
第11回	第11回　カラオケ	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第12回	第12回　可能表現の勉強	中国語可能表現の学習をします。
第13回	第13回　一緒に日本に行こう	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第14回	第14回　慣用表現の勉強	重要日常慣用表現の学習。
第15回	第15回　まとめ	これまで勉強してきた内容を復習し、まとめます。

担当者から一言
継続は力なり。

講義名	朝鮮語ＩＡ（国際）							担当教員	河　かおる
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL131								

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
なお、授業は、朝鮮語ＩＡとＩＢが同じテキストを用いて一体的に進行する。
授業計画は朝鮮語ＩＡとＩＢをあわせた30回分の計画。

到達目標

(1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
(2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
(3)ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
(4)400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
(5)漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
(6)決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
(7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
(8)過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	(1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3)ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本　ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語ＩＡ（国際）							担当教員	河　かおる
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL131								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	第１課　ハングル、母音
第2回	文字と発音	第２課　1.子音の発音（１）
第3回	文字と発音	第２課　２.合成母音（１）、子音の発音（２）
第4回	文字と発音	第３課　合成母音（２）
第5回	文字と発音	第４課　終声
第6回	文字と発音	第５課　表記、漢字語
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第７回までの学習内容の確認テスト
第9回	第１課	私は～です（指定詞と名詞文）
第10回	第１課	私は～です（会話と練習）
第11回	第２課	それは何ですか（疑問文と答え方）
第12回	第２課	それは何ですか（会話と練習）
第13回	第３課	これは私の家族写真です（ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名）
第14回	第３課	これは私の家族写真です（会話と練習）
第15回	第４課	あの建物の裏にあります。（存在文、位置名詞）
第16回	第４課	あの建物の裏にあります（道案内）
第17回	第５課	街でショッピングをします。（動詞文と語尾、朝・昼・夜）
第18回	第５課	街でショッピングをします。（会話と練習）
第19回	第５課	街でショッピングをします。（一日の行動）
第20回	第６課	正門前で会って一緒に行きましょう（ヘヨ体）
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう（語尾）
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう（会話と練習）
第23回	第７課	夏だから冷麺はいかがですか（店や場所の名前、語尾）
第24回	第７課	夏だから冷麺はいかがですか（会話と練習）
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね（固有数詞、尊敬表現、語尾、ㅂ変則用言）
第26回	第８課	ピョンヤン冷麺にしますね（料理の注文）
第27回	第９課	今日忙しいですか（으語幹、願望、勧誘、推量意思）
第28回	第９課	今日忙しいですか（電話の練習）
第29回	第10課	ご馳走様でした（過去形、逆接、漢数詞）
第30回	第10課	ご馳走様でした（会話と練習）
担当者から一言		

講義名	朝鮮語ＩＢ（国際）							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL132								

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
なお、授業は、朝鮮語ＩＡとＩＢが同じテキストを用いて一体的に進行する。
授業計画は朝鮮語ＩＡとＩＢをあわせた30回分の計画。

到達目標

(1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
(2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
(3)ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
(4)400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
(5)漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
(6)決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
(7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
(8)過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	(1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3)ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1)文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2)発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本　ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語ＩＢ（国際）							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL132								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	第１課　ハングル、母音
第2回	文字と発音	第２課　1.子音の発音（１）
第3回	文字と発音	第２課　２.合成母音（１）、子音の発音（２）
第4回	文字と発音	第３課　合成母音（２）
第5回	文字と発音	第４課　終声
第6回	文字と発音	第５課　表記、漢字語
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第７回までの学習内容の確認テスト
第9回	第１課	私は～です（指定詞と名詞文）
第10回	第１課	私は～です（会話と練習）
第11回	第２課	それは何ですか（疑問文と答え方）
第12回	第２課	それは何ですか（会話と練習）
第13回	第３課	これは私の家族写真です（ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名）
第14回	第３課	これは私の家族写真です（会話と練習）
第15回	第４課	あの建物の裏にあります。（存在文、位置名詞）
第16回	第４課	あの建物の裏にあります（道案内）
第17回	第５課	街でショッピングをします。（動詞文と語尾、朝・昼・夜）
第18回	第５課	街でショッピングをします。（会話と練習）
第19回	第５課	街でショッピングをします。（一日の行動）
第20回	第６課	正門前で会って一緒に行きましょう（ヘヨ体）
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう（語尾）
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう（会話と練習）
第23回	第７課	夏だから冷麺はいかがですか（店や場所の名前、語尾）
第24回	第７課	夏だから冷麺はいかがですか（会話と練習）
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね（固有数詞、尊敬表現、語尾、ㅂ変則用言）
第26回	第８課	ピョンヤン冷麺にしますね（料理の注文）
第27回	第９課	今日忙しいですか（으語幹、願望、勧誘、推量意思）
第28回	第９課	今日忙しいですか（電話の練習）
第29回	第10課	ご馳走様でした（過去形、逆接、漢数詞）
第30回	第10課	ご馳走様でした（会話と練習）

担当者から一言
ここに添付した音声ファイルはダウンロードして、予習復習に使ってください。

講義名	朝鮮語ⅡA（国際）							担当教員	河　かおる
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL231								

授業概要

朝鮮語ⅠA・ⅠBで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
なお、授業は朝鮮語ⅡAとⅡBで同じテキストを用いて一体的に進行する。
授業計画は、朝鮮語ⅡAとⅡBをあわせた30回分の計画。

到達目標

(1)ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
(2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
(3)決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
(4)注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
(5)ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
(6)簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	(1)ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3)決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1)ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本　ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本　ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語ⅡA（国際）							担当教員	河　かおる
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL231								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください（固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現）
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください（会話と練習）
第3回	第12課	美術教室に通っています。（～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄷ変則用言）
第4回	第12課	美術教室に通っています（会話と練習）
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが（時刻、条件、不可能、許可、禁止）
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが(会話と練習)
第7回	第14課	若い人に人気があります（現在連体形、確認疑問、同時進行、ㅎ変則用言）
第8回	第14課	若い人に人気があります（会話と練習）
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに（過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止）
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに（会話と練習）
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか（未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調）
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか（会話と練習）
第13回	第17課	その代わり僕と一緒に映画を見に行くんですよ（計画、予定、義務、否定の経験）
第14回	第17課	その代わり僕と一緒に映画を見に行くんですよ（会話と練習）
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト
第16回	第18課	朝鮮時代に来たみたいです(婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)
第17回	第18課	朝鮮時代に来たみたいです(会話と練習)
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ（身に着けるもの、ヘ体、～ている途中で、間接疑問）
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ（会話と練習）
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです（お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続）
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです（会話と練習）
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか（確認、～以来、価値、交通機関）
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか（会話と練習）
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね（性格・気分、～のとおりに、譲歩、使役、～さえすれば）
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね（会話と練習）
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい（ハンダ体、受身、料理のレシピ）
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい（会話と練習）
第28回	第24課	私はもう自信がつきました。（さまざまな引用文）
第29回	第24課	スピーチをする
第30回	スピーチテスト	

担当者から一言

講義名	朝鮮語ⅡB（国際）							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL232								

授業概要

朝鮮語ⅠA・ⅠBで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
なお、授業は朝鮮語ⅡAとⅡBで同じテキストを用いて一体的に進行する。
授業計画は、朝鮮語ⅡAとⅡBをあわせた30回分の計画。

到達目標

(1)ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
(2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
(3)決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
(4)注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
(5)ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
(6)簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	(1)ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3)決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1)ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本　ハングルマダン	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55648-2
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本　ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語ⅡＢ（国際）							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201FRL232								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください（固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現）
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください（会話と練習）
第3回	第12課	美術教室に通っています。（～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄷ変則用言）
第4回	第12課	美術教室に通っています（会話と練習）
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが（時刻、条件、不可能、許可、禁止）
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが(会話と練習)
第7回	第14課	若い人に人気があります（現在連体形、確認疑問、同時進行、ㅎ変則用言）
第8回	第14課	若い人に人気があります（会話と練習）
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに（過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止）
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに（会話と練習）
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか（未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調）
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか（会話と練習）
第13回	第17課	その代わり僕と一緒に映画を見に行くんですよ（計画、予定、義務、否定の経験）
第14回	第17課	その代わり僕と一緒に映画を見に行くんですよ（会話と練習）
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト
第16回	第18課	朝鮮時代に来たみたいです(婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)
第17回	第18課	朝鮮時代に来たみたいです(会話と練習)
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ（身に着けるもの、ヘ体、～ている途中で、間接疑問）
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ（会話と練習）
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです（お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続）
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです（会話と練習）
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか（確認、～以来、価値、交通機関）
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか（会話と練習）
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね（性格・気分、～のとおりに、譲歩、使役、～さえすれば）
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね（会話と練習）
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい（ハンダ体、受身、料理のレシピ）
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい（会話と練習）
第28回	第24課	私はもう自信がつきました。（さまざまな引用文）
第29回	第24課	スピーチをする
第30回	スピーチテスト	

担当者から一言

講義名	リーディング（中級） a							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120620	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG302,137ENG202								

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐる見識を広げておくことも読解力の助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることができるようになるのが当科目の価値です。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます

到達目標

①辞書を引きながら2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙を養うことができる。
②本文を1段落の英語でパラフレーズし、英文の要点の判読に不可欠な論理を養うことができる。
③本文の一部を英語の1図表で説明し、英文の読解に不可欠な思考を養うことができる。
④1段落分の英語の文脈を把握し、英文の音読に不可欠な表現を磨くことができる。
⑤本文の内容をめぐる自らの考えを200語の英語にまとめ、英文の熟読に不可欠な視野を養うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①セルフ・スタディ・ガイドの提出(宿題）20%←到達目標①を評価 ②要約テスト（授業内小テスト）20%←到達目標②を評価 ③ソーシャル・テスティング（第7回・第14回の授業で実施）20%←到達目標③を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リーディング（中級） a							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120620	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG302,137ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Hidden Miracles	テキスト8-17頁 小テスト
第3回	Sleep Matters	テキスト24-33頁 小テスト
第4回	Cyborg Tech	テキスト40-49頁 小テスト
第5回	Happy Planet	テキス56-65頁 小テスト
第6回	Career Paths	テキスト72-81頁 小テスト
第7回	ソーシャル・テスティングと音読テスト	グループでのテスト
第8回	ビブリオ・バトル	個人発表
第9回	Text Generation	テキスト88-97頁 小テスト
第10回	Barriers and Bridges	テキスト104-113頁 小テスト
第11回	Personality Types	テキスト120-129頁 小テスト
第12回	Smart Thinking	テキスト136-145頁 小テスト
第13回	Facing Fear	テキスト152-161頁 小テスト
第14回	ソーシャル・テスティングと音読テスト	グループでのテスト
第15回	まとめ	グループ・プロジェクト発表

担当者から一言

講義名	リーディング（中級）b							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120621	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG302,137ENG202								

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐる見識を広げておくことも読解力の助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることができるようになるのが当科目の価値です。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます

到達目標

①辞書を引きながら2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙を養うことができる。
②本文を1段落の英語でパラフレーズし、英文の要点の判読に不可欠な論理を養うことができる。
③本文の一部を英語の1図表で説明し、英文の読解に不可欠な思考を養うことができる。
④1段落分の英語の文脈を把握し、英文の音読に不可欠な表現を磨くことができる。
⑤本文の内容をめぐる自らの考えを200語の英語にまとめ、英文の熟読に不可欠な視野を養うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①セルフ・スタディ・ガイドの提出(宿題）20%←到達目標①を評価 ②要約テスト（授業内小テスト）20%←到達目標②を評価 ③ソーシャル・テスティング（第7回・第14回の授業で実施）20%←到達目標③を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リーディング（中級）b							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1120621	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG302,137ENG202								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Hidden Miracles	テキスト8-17頁 小テスト
第3回	Sleep Matters	テキスト24-33頁 小テスト
第4回	Cyborg Tech	テキスト40-49頁 小テスト
第5回	Happy Planet	テキス56-65頁 小テスト
第6回	Career Paths	テキスト72-81頁 小テスト
第7回	ソーシャル・テスティングと音読テスト	グループでのテスト
第8回	ビブリオ・バトル	個人発表
第9回	Text Generation	テキスト88-97頁 小テスト
第10回	Barriers and Bridges	テキスト104-113頁 小テスト
第11回	Personality Types	テキスト120-129頁 小テスト
第12回	Smart Thinking	テキスト136-145頁 小テスト
第13回	Facing Fear	テキスト152-161頁 小テスト
第14回	ソーシャル・テスティングと音読テスト	グループでのテスト
第15回	まとめ	グループ・プロジェクト発表

担当者から一言

講義名	英語会話（中級）a /							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120630	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad. The course focuses on coaching the key skills that are necessary to successfully handle the anticipated academic challenges. This includes: expressing opinions and giving reasons, note taking, making presentations and writing essays. The course aims to simulate these challenges in order to give students opportunities to acquire both practical experience and skills coaching in a supportive, situated-learning environment.

到達目標

The course objectives focus on the further development of English skills required for academic/study abroad contexts. The course aims for students to:

1. State personal opinions clearly and confidently during class discussions.

2. Write grammatically correct paragraphs and short essays.

3. Design and deliver an effective 'academic-style' presentation supported by visual aids.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	Writing Assignments: Personal Bio (10%), Essay (30%)
レポート課題	20	Group Presentation.
上記以外	40	Final Test

Students are required to complete two writing assignments and a group presentation. The final test will focus on academic reading comprehension and short paragraph writing.

授業外学習

This challenging, fast-paced course is designed to test both the language and study skills of participating students. The intention is to expose individual problems that need to be addressed in preparation for a study abroad experience.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語会話（中級）a /							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120630	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Getting Started	Course Overview, Grammar Review and Practice (Past/Present/Future forms)
第2回	The Personal Bio	Writing a classmate's personal bio (mixing past/present/future tenses). Interview techniques and asking follow-up questions.
第3回	Academic Writing I	Understanding academic essay/report structures. A seven-step plan for essay writing. The essay assignment-getting started.
第4回	Discussion & Debate Skills I	Expressing opinions. Supporting opinions with reasons.
第5回	In the News I	Using English language news articles and video for self-study.
第6回	Academic Writing II	Paragraph structure: topic sentences, supporting sentences, concluding sentences and transitions. Essay assignment progress check.
第7回	Lecture Simulation	Strategies for note-taking and summarising. Asking questions to check comprehension.
第8回	Expressive Speech Workshop	Understanding and using expressive qualities of speech and communication: Rhythm, intonation, stress and gesture.
第9回	Discussion & Debate Skills II	Agreeing and Disagreeing. When and how to be 'tactful'. Argument and persuasion strategies. Molding opinions and using leading questions.
第10回	Presentation Skills Workshop	Introduction to effective techniques for academic-style presentations. Presentation structure. Useful phrases. Tips for designing visual content
第11回	In the News II	Writing techniques used by journalists for short articles. Group work exercise: 'The News Team'.
第12回	Japan Today: The Big Debate	Students will discuss and debate a selection of questions on issues facing contemporary Japanese society.
第13回	Study Abroad Workshop	Understanding Cultural Differences: Relativism, stereotypes and norms. The study abroad experience: Expectations, preparations and 'settling in'.
第14回	Group Presentations	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback.
第15回	Group Presentations/ Course Review	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback. Course Review and final questions.

担当者から一言
Students will be provided with all the materials. Students will be expected to participate actively in class discussions.

講義名	英語会話（中級）b /							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120631	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad. The course focuses on coaching the key skills that are necessary to successfully handle the anticipated academic challenges. This includes: expressing opinions and giving reasons, note taking, making presentations and writing essays. The course aims to simulate these challenges in order to give students opportunities to acquire both practical experience and skills coaching in a supportive, situated-learning environment.

到達目標

The course objectives focus on the further development of English skills required for academic/study abroad contexts. The course aims for students to:

1. State personal opinions clearly and confidently during class discussions.

2. Write grammatically correct paragraphs and short essays.

3. Design and deliver an effective 'academic-style' presentation supported by visual aids.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	Writing Assignments: Personal Bio (10%), Essay (30%)
レポート課題	20	Group Presentation.
上記以外	40	Final Test

Students are required to complete two writing assignments and a group presentation. The final test will focus on academic reading comprehension and short paragraph writing.

授業外学習

This challenging, fast-paced course is designed to test both the language and study skills of participating students. The intention is to expose individual problems that need to be addressed in preparation for a study abroad experience.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語会話（中級）b /							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120631	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Getting Started	Course Overview, Grammar Review and Practice (Past/Present/Future forms)
第2回	The Personal Bio	Writing a classmate's personal bio (mixing past/present/future tenses). Interview techniques and asking follow-up questions.
第3回	Academic Writing I	Understanding academic essay/report structures. A seven-step plan for essay writing. The essay assignment-getting started.
第4回	Discussion & Debate Skills I	Expressing opinions. Supporting opinions with reasons.
第5回	In the News I	Using English language news articles and video for self-study.
第6回	Academic Writing II	Paragraph structure: topic sentences, supporting sentences, concluding sentences and transitions. Essay assignment progress check.
第7回	Lecture Simulation	Strategies for note-taking and summarising. Asking questions to check comprehension.
第8回	Expressive Speech Workshop	Understanding and using expressive qualities of speech and communication: Rhythm, intonation, stress and gesture.
第9回	Discussion & Debate Skills II	Agreeing and Disagreeing. When and how to be 'tactful'. Argument and persuasion strategies. Molding opinions and using leading questions.
第10回	Presentation Skills Workshop	Introduction to effective techniques for academic-style presentations. Presentation structure. Useful phrases. Tips for designing visual content
第11回	In the News II	Writing techniques used by journalists for short articles. Group work exercise: 'The News Team'.
第12回	Japan Today: The Big Debate	Students will discuss and debate a selection of questions on issues facing contemporary Japanese society.
第13回	Study Abroad Workshop	Understanding Cultural Differences: Relativism, stereotypes and norms. The study abroad experience: Expectations, preparations and 'settling in'.
第14回	Group Presentations	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback.
第15回	Group Presentations/ Course Review	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback. Course Review and final questions.

担当者から一言
Students will be provided with all the materials. Students will be expected to participate actively in class discussions.

講義名	Integrated English a							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG303,237PEN207								

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad. The course focuses on coaching the key skills that are necessary to successfully handle the anticipated academic challenges. This includes: expressing opinions and giving reasons, note taking, making presentations and writing essays. The course aims to simulate these challenges in order to give students opportunities to acquire both practical experience and skills coaching in a supportive, situated-learning environment.

到達目標

The course objectives focus on the further development of English skills required for academic/study abroad contexts. The course aims for students to:

1. State personal opinions clearly and confidently during class discussions.

2. Write grammatically correct paragraphs and short essays.

3. Design and deliver an effective 'academic-style' presentation supported by visual aids.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	Writing Assignments: Personal Bio (10%), Essay (30%)
レポート課題	20	Group Presentation.
上記以外	40	Final Test

Students are required to complete two writing assignments and a group presentation. The final test will focus on academic reading comprehension and short paragraph writing.

授業外学習

This challenging, fast-paced course is designed to test both the language and study skills of participating students. The intention is to expose individual problems that need to be addressed in preparation for a study abroad experience.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Integrated English a							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG303,237PEN207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Getting Started	Course Overview, Grammar Review and Practice (Past/Present/Future forms)
第2回	The Personal Bio	Writing a classmate's personal bio (mixing past/present/future tenses). Interview techniques and asking follow-up questions.
第3回	Academic Writing I	Understanding academic essay/report structures. A seven-step plan for essay writing. The essay assignment-getting started.
第4回	Discussion & Debate Skills I	Expressing opinions. Supporting opinions with reasons.
第5回	In the News I	Using English language news articles and video for self-study.
第6回	Academic Writing II	Paragraph structure: topic sentences, supporting sentences, concluding sentences and transitions. Essay assignment progress check.
第7回	Lecture Simulation	Strategies for note-taking and summarising. Asking questions to check comprehension.
第8回	Expressive Speech Workshop	Understanding and using expressive qualities of speech and communication: Rhythm, intonation, stress and gesture.
第9回	Discussion & Debate Skills II	Agreeing and Disagreeing. When and how to be 'tactful'. Argument and persuasion strategies. Molding opinions and using leading questions.
第10回	Presentation Skills Workshop	Introduction to effective techniques for academic-style presentations. Presentation structure. Useful phrases. Tips for designing visual content
第11回	In the News II	Writing techniques used by journalists for short articles. Group work exercise: 'The News Team'.
第12回	Japan Today: The Big Debate	Students will discuss and debate a selection of questions on issues facing contemporary Japanese society.
第13回	Study Abroad Workshop	Understanding Cultural Differences: Relativism, stereotypes and norms. The study abroad experience: Expectations, preparations and 'settling in'.
第14回	Group Presentations	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback.
第15回	Group Presentations/ Course Review	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback. Course Review and final questions.

担当者から一言
Students will be provided with all the materials. Students will be expected to participate actively in class discussions.

講義名	Integrated English b							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG303,237PEN207								

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad. The course focuses on coaching the key skills that are necessary to successfully handle the anticipated academic challenges. This includes: expressing opinions and giving reasons, note taking, making presentations and writing essays. The course aims to simulate these challenges in order to give students opportunities to acquire both practical experience and skills coaching in a supportive, situated-learning environment.

到達目標

The course objectives focus on the further development of English skills required for academic/study abroad contexts. The course aims for students to:

1. State personal opinions clearly and confidently during class discussions.

2. Write grammatically correct paragraphs and short essays.

3. Design and deliver an effective 'academic-style' presentation supported by visual aids.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	Writing Assignments: Personal Bio (10%), Essay (30%)
レポート課題	20	Group Presentation.
上記以外	40	Final Test

Students are required to complete two writing assignments and a group presentation. The final test will focus on academic reading comprehension and short paragraph writing.

授業外学習

This challenging, fast-paced course is designed to test both the language and study skills of participating students. The intention is to expose individual problems that need to be addressed in preparation for a study abroad experience.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Integrated English b							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1120633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG303,237PEN207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Getting Started	Course Overview, Grammar Review and Practice (Past/Present/Future forms)
第2回	The Personal Bio	Writing a classmate's personal bio (mixing past/present/future tenses). Interview techniques and asking follow-up questions.
第3回	Academic Writing I	Understanding academic essay/report structures. A seven-step plan for essay writing. The essay assignment-getting started.
第4回	Discussion & Debate Skills I	Expressing opinions. Supporting opinions with reasons.
第5回	In the News I	Using English language news articles and video for self-study.
第6回	Academic Writing II	Paragraph structure: topic sentences, supporting sentences, concluding sentences and transitions. Essay assignment progress check.
第7回	Lecture Simulation	Strategies for note-taking and summarising. Asking questions to check comprehension.
第8回	Expressive Speech Workshop	Understanding and using expressive qualities of speech and communication: Rhythm, intonation, stress and gesture.
第9回	Discussion & Debate Skills II	Agreeing and Disagreeing. When and how to be 'tactful'. Argument and persuasion strategies. Molding opinions and using leading questions.
第10回	Presentation Skills Workshop	Introduction to effective techniques for academic-style presentations. Presentation structure. Useful phrases. Tips for designing visual content
第11回	In the News II	Writing techniques used by journalists for short articles. Group work exercise: 'The News Team'.
第12回	Japan Today: The Big Debate	Students will discuss and debate a selection of questions on issues facing contemporary Japanese society.
第13回	Study Abroad Workshop	Understanding Cultural Differences: Relativism, stereotypes and norms. The study abroad experience: Expectations, preparations and 'settling in'.
第14回	Group Presentations	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback.
第15回	Group Presentations/ Course Review	Small groups will deliver a short academic-style presentation. Class Q&A and tutor feedback. Course Review and final questions.

担当者から一言
Students will be provided with all the materials. Students will be expected to participate actively in class discussions.

講義名	リスニング（中級） a							担当教員	Graham Jones※
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG301								

授業概要

This class will use real-life examples of spoken English from around the world to help students improve their listening skills.

到達目標

Students will:
(1) Learn about the key features of spoken English, and why these are important for listening
(2) Practise their listening skills with a variety of real-world examples
(3) Think about the best ways to improve their listening skills

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	Listening test - students will listen to examples of spoken English and identify: (a) The overall message and gist (b) The mood and intention of the speaker
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

Reviewing class notes - 3 hours
Listening to examples of spoken English (internet links provided) - 9 hours

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials (eg, notes and internet links) will be provided by the teacher

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング（中級） a							担当教員	Graham Jones※
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG301								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Listening 1	Introduction; aims and objectives
第2回	Listening 2	The schwa sound (1)
第3回	Listening 3	Sentence stress and rhythm (1)
第4回	Listening 4	Speed, intonation and volume (1)
第5回	Listening 5	Native and non-native English (1)
第6回	Listening 6	Formal and informal English (1)
第7回	Listening 7	Active listening (1)
第8回	Listening 8	Mid-term review; feedback
第9回	Listening 9	The schwa sound (2)
第10回	Listening 10	Sentence stress and rhythm (2)
第11回	Listening 11	Speed, intonation and volume (2)
第12回	Listening 12	Native and non-native English (2)
第13回	Listening 13	Formal and informal English (2)
第14回	Listening 14	Active listening (2)
第15回	Listening 15	Final review

担当者から一言

講義名	リスニング（中級）b							担当教員	Graham Jones※
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG301								

授業概要

This class will use real-life examples of spoken English from around the world to help students improve their listening skills.

到達目標

Students will:
(1) Learn about the key features of spoken English, and why these are important for listening
(2) Practise their listening skills with a variety of real-world examples
(3) Think about the best ways to improve their listening skills

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	Listening test - students will listen to examples of spoken English and identify: (a) The overall message and gist (b) The mood and intention of the speaker
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

Reviewing class notes - 3 hours
Listening to examples of spoken English (internet links provided) - 9 hours

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials (eg, notes and internet links) will be provided by the teacher

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング（中級）b							担当教員	Graham Jones※
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG301								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Listening 1	Introduction; aims and objectives
第2回	Listening 2	The schwa sound (1)
第3回	Listening 3	Sentence stress and rhythm (1)
第4回	Listening 4	Speed, intonation and volume (1)
第5回	Listening 5	Native and non-native English (1)
第6回	Listening 6	Formal and informal English (1)
第7回	Listening 7	Active listening (1)
第8回	Listening 8	Mid-term review; feedback
第9回	Listening 9	The schwa sound (2)
第10回	Listening 10	Sentence stress and rhythm (2)
第11回	Listening 11	Speed, intonation and volume (2)
第12回	Listening 12	Native and non-native English (2)
第13回	Listening 13	Formal and informal English (2)
第14回	Listening 14	Active listening (2)
第15回	Listening 15	Final review

担当者から一言

講義名	ディベート＆ディスカッションａ/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120650	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ディベート＆ディスカッションａ/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120650	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	- Orientation - Introduction to discussion skills
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	- Class tasks & discussion: Aspects of Japanese pop culture. HW: Read article(s) & prepare for Week 3 discussion.
第3回	Theme 1 discussions	- Group discussions: Pop culture article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 4 discussion.
第4回	Students' research (a) discussions	- Group discussions: Student articles (1) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 5 discussion.
第5回	Students' research (b) discussions	- Group discussions: Student articles (2)
第6回	Debating skills	- Debating skills activities - Choose debate teams and topics
第7回	Theme 1 debate	- Group debates (1)
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	- Class tasks & discussion: Challenges facing 21st Japan HW: Read article(s) & prepare for Week 9 discussion.
第9回	Theme 2 discussion	- Group discussions: Japanese society article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 10 discussion.
第10回	Students' research (a) discussion	- Group discussions: Student articles (3) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 11 discussion.
第11回	Students' research (b) discussion	- Group discussions: Student articles (4) - Choose debate teams and topics
第12回	Theme 2 debate	- Group debates (2)
第13回	Presentation I	- Presentation preparation and practice HW: Group A students prepare and practice for presentations
第14回	Presentation II	- Student presentations (Group A) HW: Group B students prepare and practice for presentations
第15回	Presentation III	- Student presentations (Group B) - Feedback and course evaluation

担当者から一言

講義名	ディベート＆ディスカッションb /							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ディベート＆ディスカッションb /							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	- Orientation - Introduction to discussion skills
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	- Class tasks & discussion: Aspects of Japanese pop culture. HW: Read article(s) & prepare for Week 3 discussion.
第3回	Theme 1 discussions	- Group discussions: Pop culture article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 4 discussion.
第4回	Students' research (a) discussions	- Group discussions: Student articles (1) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 5 discussion.
第5回	Students' research (b) discussions	- Group discussions: Student articles (2)
第6回	Debating skills	- Debating skills activities - Choose debate teams and topics
第7回	Theme 1 debate	- Group debates (1)
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	- Class tasks & discussion: Challenges facing 21st Japan HW: Read article(s) & prepare for Week 9 discussion.
第9回	Theme 2 discussion	- Group discussions: Japanese society article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 10 discussion.
第10回	Students' research (a) discussion	- Group discussions: Student articles (3) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 11 discussion.
第11回	Students' research (b) discussion	- Group discussions: Student articles (4) - Choose debate teams and topics
第12回	Theme 2 debate	- Group debates (2)
第13回	Presentation I	- Presentation preparation and practice HW: Group A students prepare and practice for presentations
第14回	Presentation II	- Student presentations (Group A) HW: Group B students prepare and practice for presentations
第15回	Presentation III	- Student presentations (Group B) - Feedback and course evaluation

担当者から一言

講義名	Introduction to Discussion & Debate a							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120653	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207								

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate a							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120653	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	- Orientation - Introduction to discussion skills
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	- Class tasks & discussion: Aspects of Japanese pop culture. HW: Read article(s) & prepare for Week 3 discussion.
第3回	Theme 1 discussions	- Group discussions: Pop culture article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 4 discussion.
第4回	Students' research (a) discussions	- Group discussions: Student articles (1) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 5 discussion.
第5回	Students' research (b) discussions	- Group discussions: Student articles (2)
第6回	Debating skills	- Debating skills activities - Choose debate teams and topics
第7回	Theme 1 debate	- Group debates (1)
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	- Class tasks & discussion: Challenges facing 21st Japan HW: Read article(s) & prepare for Week 9 discussion.
第9回	Theme 2 discussion	- Group discussions: Japanese society article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 10 discussion.
第10回	Students' research (a) discussion	- Group discussions: Student articles (3) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 11 discussion.
第11回	Students' research (b) discussion	- Group discussions: Student articles (4) - Choose debate teams and topics
第12回	Theme 2 debate	- Group debates (2)
第13回	Presentation I	- Presentation preparation and practice HW: Group A students prepare and practice for presentations
第14回	Presentation II	- Student presentations (Group A) HW: Group B students prepare and practice for presentations
第15回	Presentation III	- Student presentations (Group B) - Feedback and course evaluation

担当者から一言

講義名	Introduction to Discussion & Debate b							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120654	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207								

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Discussion Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate b							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120654	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	- Orientation - Introduction to discussion skills
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	- Class tasks & discussion: Aspects of Japanese pop culture. HW: Read article(s) & prepare for Week 3 discussion.
第3回	Theme 1 discussions	- Group discussions: Pop culture article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 4 discussion.
第4回	Students' research (a) discussions	- Group discussions: Student articles (1) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 5 discussion.
第5回	Students' research (b) discussions	- Group discussions: Student articles (2)
第6回	Debating skills	- Debating skills activities - Choose debate teams and topics
第7回	Theme 1 debate	- Group debates (1)
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	- Class tasks & discussion: Challenges facing 21st Japan HW: Read article(s) & prepare for Week 9 discussion.
第9回	Theme 2 discussion	- Group discussions: Japanese society article(s) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 10 discussion.
第10回	Students' research (a) discussion	- Group discussions: Student articles (3) HW: Group leaders find own article and prepare materials for Week 11 discussion.
第11回	Students' research (b) discussion	- Group discussions: Student articles (4) - Choose debate teams and topics
第12回	Theme 2 debate	- Group debates (2)
第13回	Presentation I	- Presentation preparation and practice HW: Group A students prepare and practice for presentations
第14回	Presentation II	- Student presentations (Group A) HW: Group B students prepare and practice for presentations
第15回	Presentation III	- Student presentations (Group B) - Feedback and course evaluation

担当者から一言

講義名	エッセイ・ライティング/							担当教員	John Rippey
講義コード	1120670	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing and for exposure to the thoughts of other people about writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length. The course also offers an opportunity for an editing experience; over the course of the semester, class members collaborate in creating the English writing journal of the Department of Intercultural Communications.

到達目標

(1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
(2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
(3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
(4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	エッセイ・ライティング/							担当教員	John Rippey
講義コード	1120670	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction to Course and Personal Narratives	Discussion of the course content, approach, and writing jounnal project. Close reading and discussion of several personal narratives.
第2回	Personal Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original personal narratives.
第3回	Personal Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of personal narratives.
第4回	Introduction to Speculative Essay	Reading aloud of personal narratives. Close reading and discussion of several speculative essays.
第5回	Speculative Essay, First Draft	Brainstorming on first drafts of original speculative essays.
第6回	Speculative Essay, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of speculative essays.
第7回	Introduction to Fictional Narrative	Reading aloud of speculative essays. Close reading and discussion of several short stories.
第8回	Fictional Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original short stories.
第9回	Fictional Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of short stories.
第10回	Introduction to Extended Dialogue	Reading aloud of fictional narratives. Close reading and discussion of several extended dialogues.
第11回	Extended Dialogue, First Draft	Brainstorming on first drafts of original extended dialogues.
第12回	Extended Dialogue, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of extended dialogues.
第13回	Journal Editing (1)	Reading aloud of extended dialogues. Planning and designing a journal of English writing for the Department of Intercultural Communications.
第14回	Journal Editing (2)	Editing and ordering submissions to the department journal of English writing.
第15回	Journal Editing (3)	Final preparations for the department writing journal.

担当者から一言
Writing is an especially fulfilling mode of communication. In addition to writing, the course involves large amounts of reading and discussion. Class members collaborate closely throughout the semester and in producing a publication.

講義名	Essay Writing							担当教員	John Rippey
講義コード	1120675	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG402,237ENG206								

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing and for exposure to the thoughts of other people about writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length. The course also offers an opportunity for an editing experience; over the course of the semester, class members collaborate in creating the English writing journal of the Department of Intercultural Communications.

到達目標

(1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
(2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
(3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
(4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Essay Writing							担当教員	John Rippey
講義コード	1120675	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG402,237ENG206								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction to Course and Personal Narratives	Discussion of the course content, approach, and writing jounnal project. Close reading and discussion of several personal narratives.
第2回	Personal Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original personal narratives.
第3回	Personal Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of personal narratives.
第4回	Introduction to Speculative Essay	Reading aloud of personal narratives. Close reading and discussion of several speculative essays.
第5回	Speculative Essay, First Draft	Brainstorming on first drafts of original speculative essays.
第6回	Speculative Essay, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of speculative essays.
第7回	Introduction to Fictional Narrative	Reading aloud of speculative essays. Close reading and discussion of several short stories.
第8回	Fictional Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original short stories.
第9回	Fictional Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of short stories.
第10回	Introduction to Extended Dialogue	Reading aloud of fictional narratives. Close reading and discussion of several extended dialogues.
第11回	Extended Dialogue, First Draft	Brainstorming on first drafts of original extended dialogues.
第12回	Extended Dialogue, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of extended dialogues.
第13回	Journal Editing (1)	Reading aloud of extended dialogues. Planning and designing a journal of English writing for the Department of Intercultural Communications.
第14回	Journal Editing (2)	Editing and ordering submissions to the department journal of English writing.
第15回	Journal Editing (3)	Final preparations for the department writing journal.

担当者から一言
Writing is an especially fulfilling mode of communication. In addition to writing, the course involves large amounts of reading and discussion. Class members collaborate closely throughout the semester and in producing a publication.

講義名	留学英語対策基礎講座/							担当教員	John Rippey
講義コード	1120685	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

到達目標

(1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408838
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key, CD	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408845
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	留学英語対策基礎講座/							担当教員	John Rippey
講義コード	1120685	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test and academic Engish, confirmation of study strategies.
第2回	Academic Vocabulary	Review of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第7回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第8回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第9回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第10回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第11回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第12回	Reading Exercises (4)	Reading passages and comprehension questions.
第13回	Grammar Exercises (4)	Structure and written expression questions.
第14回	Listening Exercises (4)	Listening passages and comprehension questions.
第15回	Review	Comprehensive review of all coursework.

担当者から一言
This course offers students academic credit for guided, individual TOEFL ITP study done over the summer break. The coursework consists mainly of compulsory and regularly-spaced homework assignments.

講義名	Intermediate Academic English							担当教員	John Rippey
講義コード	1120686	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG403,137PEN102								

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

到達目標

(1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408838
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key, CD	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408845
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English							担当教員	John Rippey
講義コード	1120686	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG403,137PEN102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test and academic Engish, confirmation of study strategies.
第2回	Academic Vocabulary	Review of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第7回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第8回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第9回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第10回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第11回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第12回	Reading Exercises (4)	Reading passages and comprehension questions.
第13回	Grammar Exercises (4)	Structure and written expression questions.
第14回	Listening Exercises (4)	Listening passages and comprehension questions.
第15回	Review	Comprehensive review of all coursework.

担当者から一言
This course offers students academic credit for guided, individual TOEFL ITP study done over the summer break. The coursework consists mainly of compulsory and regularly-spaced homework assignments.

講義名	留学英語対策講座 I /							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120690	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This course will focus on academic English skills (Reading, Writing, Listening & Speaking) and aspects of language knowledge (Grammar & Vocabulary), which are important for both the paper-based TOEFL and the IELTS tests. We will also practise test-taking strategies that can help students gain the highest score possible for study abroad applications.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL and IELTS scores for study abroad applications.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	留学英語対策講座 I /							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120690	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Listening skills (1)	
第3回	Reading skills (1)	
第4回	Writing skills (1)	
第5回	Speaking skills (1)	
第6回	Question design assessment (1)	
第7回	Listening skills (2)	
第8回	Reading skills (2)	
第9回	Writing skills (2)	
第10回	Question design assessment (2)	
第11回	Speaking skills (3)	
第12回	Listening skills (3)	
第13回	Reading skills (3)	
第14回	Writing skills (3)	
第15回	Question design assessment (3)	

担当者から一言

講義名	Advanced Academic English I							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120695	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG304,137PEN209								

授業概要

This course will focus on academic English skills (Reading, Writing, Listening & Speaking) and aspects of language knowledge (Grammar & Vocabulary), which are important for both the paper-based TOEFL and the IELTS tests. We will also practise test-taking strategies that can help students gain the highest score possible for study abroad applications.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL and IELTS scores for study abroad applications.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English I							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120695	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG304,137PEN209								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Listening skills (1)	
第3回	Reading skills (1)	
第4回	Writing skills (1)	
第5回	Speaking skills (1)	
第6回	Question design assessment (1)	
第7回	Listening skills (2)	
第8回	Reading skills (2)	
第9回	Writing skills (2)	
第10回	Question design assessment (2)	
第11回	Speaking skills (3)	
第12回	Listening skills (3)	
第13回	Reading skills (3)	
第14回	Writing skills (3)	
第15回	Question design assessment (3)	

担当者から一言

講義名	留学英語対策講座II /							担当教員	John Rippey
講義コード	1120700	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, listening, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL iBT Test	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-324812-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	留学英語対策講座II /							担当教員	John Rippey
講義コード	1120700	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction, Strategies for Reading	Overview of the TOEFL-iBT test, study strategies, and course materials.
第2回	Stategies for the Listening Section	Homework reading review, overview and practice of listening section.
第3回	Strategies for the Speaking Section	Homework listening review, overview and practice of speaking section.
第4回	Strategies for the Writing Section	Homework reading review, overview and practice of writing section.
第5回	Structuring the Independent Speaking Task	Homework listening review, independent speaking task exercises
第6回	Structuring the Integrated Writing Task	Homework reading review, integrated writing task (read, listen, then write) exercises
第7回	Structuring the Integrated Speaking Task	Homework listening review, integrated speaking task (read, listen, then speak) exercises
第8回	Structuring the Independent Writing Task	Homework reading review, independent writing task exercises
第9回	Structuring the Integrated Speaking Task	Homework listening review, integrated speaking task (listen then speak) exercises
第10回	Strengthening Integrated Writing Ability	Homework reading review, integrated writing task (read, listen, then speak) exercises
第11回	Strengthening Speaking Ability	Homework listening review, independent and integrated speaking task exercises
第12回	Strengthening Writing Ability	Homework reading review, integrated and independent writing task exercises
第13回	Polishing Speaking and Writing Skills	Homework listening review, speaking and writing section practice
第14回	Review	Overview of all coursework and preview of the final examination.
第15回	Plans of Study	Consultation and generation of individual plans for future TOEFL study.

担当者から一言
Homework is assigned each week and characteristically consists of TOEFL reading or listening sections. The TOEFL-iBT is a challenging test, and this course involves a relatively heavy workload.

講義名	Advanced Academic English II							担当教員	John Rippey
講義コード	1120705	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG404,137PEN210								

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, listening, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL iBT Test	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-324812-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English II							担当教員	John Rippey
講義コード	1120705	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG404,137PEN210								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction, Strategies for Reading	Overview of the TOEFL-iBT test, study strategies, and course materials.
第2回	Stategies for the Listening Section	Homework reading review, overview and practice of listening section.
第3回	Strategies for the Speaking Section	Homework listening review, overview and practice of speaking section.
第4回	Strategies for the Writing Section	Homework reading review, overview and practice of writing section.
第5回	Structuring the Independent Speaking Task	Homework listening review, independent speaking task exercises
第6回	Structuring the Integrated Writing Task	Homework reading review, integrated writing task (read, listen, then write) exercises
第7回	Structuring the Integrated Speaking Task	Homework listening review, integrated speaking task (read, listen, then speak) exercises
第8回	Structuring the Independent Writing Task	Homework reading review, independent writing task exercises
第9回	Structuring the Integrated Speaking Task	Homework listening review, integrated speaking task (listen then speak) exercises
第10回	Strengthening Integrated Writing Ability	Homework reading review, integrated writing task (read, listen, then speak) exercises
第11回	Strengthening Speaking Ability	Homework listening review, independent and integrated speaking task exercises
第12回	Strengthening Writing Ability	Homework reading review, integrated and independent writing task exercises
第13回	Polishing Speaking and Writing Skills	Homework listening review, speaking and writing section practice
第14回	Review	Overview of all coursework and preview of the final examination.
第15回	Plans of Study	Consultation and generation of individual plans for future TOEFL study.

担当者から一言
Homework is assigned each week and characteristically consists of TOEFL reading or listening sections. The TOEFL-iBT is a challenging test, and this course involves a relatively heavy workload.

講義名	English for Business							担当教員	Fuisting Bjorn※
講義コード	1120715	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG405,237PEN308								

授業概要

In this course the emphasis is on communication in business situations. Students will develop their oral and communication skills. They will learn the some key business skills such as introduction, business presentations and discussing graphs.

By the end of this course you should be able to:
-be comfortable meeting business partners
-be able to make bookings and requests
-be able to discuss graphs
-be able to make a short business presentation

到達目標

This is a 3 day Business English course and the focus will be on communication and pair/group work.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Attendance & active participation: 40% Quizzes & homework: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Handouts will be provided.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English for Business							担当教員	Fuisting Bjorn※
講義コード	1120715	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	301ENG405,237PEN308								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Class 1	Introductions and small talk
第2回	Class 2	Making bookings and requests
第3回	Class 3	Business emails
第4回	Class 4	Introduction to business presentations
第5回	Class 5	Discussing graphs and charts
第6回	Class 6	Presentation outlines and slides
第7回	Class 7	Presentation practice and peer feedback
第8回	Class 8	Business Presentations

担当者から一言

講義名	メディアの英語/							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120720	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

この授業では、生きた英語４技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ（1939）の脚本を一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy.
Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).
Write your comments for each class (9 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン　スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show ' s Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay ' s Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	メディアの英語/							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120720	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Love of the Land	ガイダンス。授業の概要、成績評価の方法について。映画の「Love of the Land (土地への愛情)」の朗読、視聴。コメントを書く
第2回	Twelve Oaks	先週の復習。Twelve Oaks (トゥエルヴ･オークス)の朗読、視聴、コメントを書く
第3回	Young Widow	Young Widow (若い未亡人)の朗読、視聴、コメントを書く
第4回	When the war is over	When the war is over (戦争が終わったら)の朗読、視聴、コメントを書く
第5回	Panic in Atlanta	Panic in Atlanta (大混乱のアトランタ)の朗読、視聴、コメントを書く
第6回	Going Home	Going Home (故郷に帰る)の朗読、視聴、コメントを書く
第7回	Yankee Deserter	Yankee Deserter (北軍の脱走兵) の朗読、視聴、コメントを書く
第8回	Ashley Returns	Ashley Returns (アシュレーの帰還)の朗読、視聴、コメントを書く
第9回	Shantytown Attack	Shantytown Attack (貧民街の襲撃) の朗読、視聴、コメントを書く
第10回	Marriage to Rhett	Marriage to Rhett (レットとの結婚) & Tomorrow Is Another Day (明日はまた新しい日) の朗読、視聴、コメントを書く
第11回	Went with the Wind	参考エッセイを朗読、テレビ・パロディを視聴。演技のためのシーンの選択
第12回	Rehearsal	ペア又はグループで選択したシーンのリハーサル
第13回	Performance	ひとつのグループが演技をし、他の学生が評価をする
第14回	Commentary	Part 1のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
第15回	Commentary	Part 2のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴

担当者から一言

講義名	English in Media							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120725	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG305,337LAC208								

授業概要

この授業では、生きた英語４技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ（1939）の脚本を一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy.
Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).
Write your comments for each class (9 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン　スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show ' s Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay ' s Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English in Media							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120725	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	301ENG305,337LAC208								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Love of the Land	ガイダンス。授業の概要、成績評価の方法について。映画の「Love of the Land (土地への愛情)」の朗読、視聴。コメントを書く
第2回	Twelve Oaks	先週の復習。Twelve Oaks (トゥエルヴ･オークス)の朗読、視聴、コメントを書く
第3回	Young Widow	Young Widow (若い未亡人)の朗読、視聴、コメントを書く
第4回	When the war is over	When the war is over (戦争が終わったら)の朗読、視聴、コメントを書く
第5回	Panic in Atlanta	Panic in Atlanta (大混乱のアトランタ)の朗読、視聴、コメントを書く
第6回	Going Home	Going Home (故郷に帰る)の朗読、視聴、コメントを書く
第7回	Yankee Deserter	Yankee Deserter (北軍の脱走兵) の朗読、視聴、コメントを書く
第8回	Ashley Returns	Ashley Returns (アシュレーの帰還)の朗読、視聴、コメントを書く
第9回	Shantytown Attack	Shantytown Attack (貧民街の襲撃) の朗読、視聴、コメントを書く
第10回	Marriage to Rhett	Marriage to Rhett (レットとの結婚) & Tomorrow Is Another Day (明日はまた新しい日) の朗読、視聴、コメントを書く
第11回	Went with the Wind	参考エッセイを朗読、テレビ・パロディを視聴。演技のためのシーンの選択
第12回	Rehearsal	ペア又はグループで選択したシーンのリハーサル
第13回	Performance	ひとつのグループが演技をし、他の学生が評価をする
第14回	Commentary	Part 1のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
第15回	Commentary	Part 2のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

（1）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
（2）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
（3）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
（4）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
（5）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%）。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（１）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（２）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（１）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（２）	書式
第9回	WORDによる文書作成（３）	表
第10回	WORDによる文書作成（４）	図
第11回	Excelによる表計算（１）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（２）	書式
第13回	Excelによる表計算（３）	関数
第14回	Excelによる表計算（４）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。

到達目標

（1）情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても収得すること。
（2）学術論文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学術論文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても収得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	基本構成と操作	コンピュータの基本構成と操作
第2回	アカウントの設定	情報ネットワークの理論とアカウントの設定
第3回	システムの操作	情報システムとOSおよびファイル操作
第4回	情報検索	Webブラウザの操作と情報検索とネットワーク上でのセキュリティ
第5回	情報収集	インターネットによる情報収集とウィルスおよびスパイウエア
第6回	文献情報検索	図書情報検索と論文および著作等の情報検索
第7回	情報倫理	電子メールの利用と情報倫理としてのメールでのマナー
第8回	文書作成	文書作成ソフトによるレポート作成の基本の習得
第9回	レポートの基本	レポートと学術論文の概念と論文作成の基本
第10回	情報収集と加工	レポートと学術論文の書式と情報収集と加工の基本
第11回	画像等の処理	レポートと学術論文の書式と画像等の処理の基本
第12回	統計データ処理	レポートと学術論文の書式と統計データ処理の基本
第13回	論文の作成のまとめ	レポートと学術論文の作成のまとめ
第14回	課題の作成	レポート課題の作成
第15回	課題のまとめ	レポート課題と学術論文発表のまとめ

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

（1）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
（2）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
（3）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
（4）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
（5）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%）。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（１）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（２）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（１）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（２）	書式
第9回	WORDによる文書作成（３）	表
第10回	WORDによる文書作成（４）	図
第11回	Excelによる表計算（１）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（２）	書式
第13回	Excelによる表計算（３）	関数
第14回	Excelによる表計算（４）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

（1）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
（2）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
（3）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
（4）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
（5）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%）。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（１）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（２）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（１）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（２）	書式
第9回	WORDによる文書作成（３）	表
第10回	WORDによる文書作成（４）	図
第11回	Excelによる表計算（１）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（２）	書式
第13回	Excelによる表計算（３）	関数
第14回	Excelによる表計算（４）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成

担当者から一言

講義名	情報科学概論（人文b）							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（人文b）							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理
第2回	フォルダー作成	データ処理とファイル処理
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用
第9回	統計処理の基本	学術論文の概念と統計処理の基本
第10回	統計データ処理	学術論文の書式と統計データ処理の基本
第11回	グラフの処理	学術論文の書式と統計処理とグラフの処理
第12回	回帰分析	学術論文の書式と回帰分析
第13回	データの検定	学術論文の作成とデータの検定
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ

担当者から一言

講義名	情報科学概論（人文a）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

ンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（８０%）と最終課題の達成度（２０%）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計･データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（人文a）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ２乗値 統計検定
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習

担当者から一言

講義名	情報科学概論（人文c）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

ンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（８０%）と最終課題の達成度（２０%）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計･データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（人文c）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ２乗値 統計検定
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習

担当者から一言

講義名	情報科学概論（人文d）							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（人文d）							担当教員	亀田　彰喜※
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理
第2回	フォルダー作成	データ処理とファイル処理
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用
第9回	統計処理の基本	学術論文の概念と統計処理の基本
第10回	統計データ処理	学術論文の書式と統計データ処理の基本
第11回	グラフの処理	学術論文の書式と統計処理とグラフの処理
第12回	回帰分析	学術論文の書式と回帰分析
第13回	データの検定	学術論文の作成とデータの検定
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ

担当者から一言

講義名	人間探求学（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1150391	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101HUM101								

授業概要

国際コミュニケーション学科での留学を含めた4年間の学びについて、学生自らがヴィジョンを持ち探求してけるよう支援する。対話型の少人数学習の機会も設定しながら、大学で学んでいくためのアカデミック・スキルズを身につけるための導入教育を行う。
※授業計画は昨年度のものなので、一部変更があります。初回の授業で今年度の授業計画を発表します。

到達目標

(1) 研究の基盤となるような基本的な学問的手続きを習得する。
(2) 学問に対する主体的なあり方についての自覚をもつ。
(3) 自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

成績は合否

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1150391	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101HUM101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	・人間探求学のスケジュール ・班分け発表
第2回	レポートの書き方講座	・レポートの書き方講座
第3回	(1)班別指導（レポート）	・CLSプログラム紹介 ・交換・派遣留学の選出基準について
第4回	図書館活用ガイダンスⅠ	図書館活用ガイダンスⅠ
第5回	(2)班別指導	グループによるディベート
第6回	人権研修(学部全体)	人権研修
第7回	(3)班別指導	グループによるディベート
第8回	留学ガイダンス(1)	留学制度全体を説明＋英語圏 交換留学制度および奨学金制度（国際推進室より）
第9回	(4)班別指導	ミニ発表：個別
第10回	アルク自学システム・オリエンテーション	アルク自学システム・オリエンテーション
第11回	(5)班別指導	ミニ発表：個別 総括
第12回	ゼミ紹介(1)	ゼミでの活動紹介
第13回	防犯研修(学部全体)	防犯研修
第14回	ゼミ紹介(2)	ゼミでの活動紹介
第15回	留学ガイダンス(2)	留学経験を持つ先輩による留学実体験の紹介

担当者から一言

講義名	川の未来学							担当教員	村上　修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本科目は，専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる，川の問題をとりあげる。まず，国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に，川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で，川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

到達目標

(1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
(2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
(3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標（1）： ワークシート1（30%） 到達目標（2）： ワークシート2（30%） 到達目標（3）： ワークシート3（40%）

ワークシート1，2，3は，それぞれ第5，10，14回の授業時間内に履修生が記述し，回収される。第6，11，15回に解説が行われ，履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票―市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学―吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋　他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	川の未来学							担当教員	村上　修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	あなたにとって川とは？	川との関わりを再認識し，川の未来を考えることの重要性を意識するようになる。
第2回	川の未来像を決める5W1H	国内における川の未来像の決め方について基本を理解する。
第3回	川の未来像を決める最初の一歩	河川整備基本方針の内容を理解する。
第4回	川の未来像を決める具体的な内容とは？	河川整備計画の内容を理解する。
第5回	ワークシート1	国内における川の未来像の決め方について理解したことを書いてみる。
第6回	ワークシート1の解説	国内における川の未来像の決め方について理解を深める。
第7回	これだけは変えられない？	川の未来像を決める二重構造－河川整備基本方針と河川整備計画との間に存在する問題点を理解する。
第8回	川は「溝」なのか？	河道主義にもとづく川の未来像の決め方について現状と問題点を理解する。
第9回	川の未来像を決める「みんな」とは？	流域委員会の現状と問題点を理解する。
第10回	ワークシート2	川の未来像の決め方における問題点を特定し書いてみる。
第11回	ワークシート2の解説	川の未来像の決め方における問題点について理解を深める。
第12回	国内の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか，新たな方向を示す国内の事例について理解しヒントを得る。
第13回	海外の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか，新たな方向を示す海外の事例について理解しヒントを得る。
第14回	ワークシート3	川の未来像の決め方に対して改善策を案出し書いてみる。
第15回	ワークシート3の解説	川の未来像の決め方に対する改善策について理解を深める。

担当者から一言

講義名	History of Japanese Cinema							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1150540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

'History of Japanese Cinema' is a culture studies course that examines Japan's world-renowned cinematic output over the last one hundred years. The defining developmental periods and 'golden eras' of Japanese cinema will be examined through the work of major studios, auteur directors, and landmark films. The course will contextualise changes within the film industry and aesthetic developments against the socio-cultural background of particular periods (e.g. post-war/late modern, postmodern).

到達目標

This course aims to:

1. Deliver a comprehensive introductory course on the history of Japanese narrative cinema; one tailored for students who are not film majors.

2. Instruct students on approaches to film analysis as a means to broaden their study of Japanese society and culture.

3. Encourage students to develop a scholarly appreciation of film.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	Mid-term paper
レポート課題	40	Presentation
上記以外	40	Final Test

Students are required to complete a film review paper and presentation project. The final test will address key topics and concepts covered in the lectures.

授業外学習

This is a lecture-based course. Due to time limitations, only film clips will be screened in class. Students will be provided with access to lecture materials and readings online.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

No prior film studies knowledge is required. Non-native speakers of English should ideally have a solid intermediate skill level (e.g. TOEFL iBT score of around 70).

履修資格

講義名	History of Japanese Cinema							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1150540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course Overview. An Introduction to Film Studies: Paradigms, Concepts and Theories.
第2回	The Birth of an Industry	Early Developments in Japanese Film. Experimentalism and Art Movements.
第3回	The 1st Golden Age	The 1920's and 1930's: The 1st 'Golden Age' of Japanese Film. Modernist influences. Studios & Genre (Gendai-geki. Jidai-geki)
第4回	Propaganda & Censorship	National policy films and the motion picture law. Post-war occupation and censorship: Critical reactions in Japanese film.
第5回	The 2nd Golden Age Part I	Gendai-geki films. Post-occupation humanism in Japanese film. Director case studies: Mikio Naruse, Yasujiro Ozu.
第6回	The 2nd Golden Age Part 2	Jidai-geki films. Director case studies: Kenji Mizoguchi, Akira Kurosawa.
第7回	Voices of Rebellion	Sun Tribe (taiyozoku) films. Japanese 'New Wave' Cinema. Director Case Studies: Shohei Imamura, Nagisa Oshima.
第8回	Post-Modern Transitions	Studio decline and the rise of independent film. Sex, violence and dark satire in indie film.
第9回	The Yakuza on Film	A Brief History of Yakuza Films. Director Case Studies: Juzo Itami, Takeshi Kitano.
第10回	Monsters, Ghosts and Horror	Tokusatsu and Daikaiju Movies. 'Vengeful Spirits'- Narrative themes in Japanese Horror. Nouvelle horror genre and western remakes.
第11回	A Settled Picture	Genre films and Anime. Current industry Status and notable recent releases.
第12回	The Fictive Japan in Western Film	Representing Japan in Western Film. Semiotics and film analysis.
第13回	Japanese Documentary Films	Styles of documentary (non-fiction film). The value of documentary as ethnography. Documenting Japanese society.
第14回	Group Presentations	Groups will present a critical review of a Japanese film. Class Q&A and feedback.
第15回	Group Presentations/ Course Review	Groups will present a critical review of a Japanese film. Class Q&A and feedback. Course Review and final questions.

担当者から一言
Students should be prepared to do some self-study in order to follow the course. This includes completing background readings and watching films.

講義名	Patterns in Japanese Culture & Society							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1150550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This introductory Japan studies course sets out to critically examine paradigms that have shaped academic and lay perceptions of Japanese social structures, identity and collective consciousness. The selection of topic domains is intended to underpin a broad based contextual analysis of contemporary social issues facing Japan. Concordantly, this enquiry is supported by an interdisciplinary conceptual framework that draws on salient perspectives from sociology, social psychology and cultural studies. The course adopts a simple unit structure and a lecture / seminar format. Students will be expected to participate actively in seminar discussions.

到達目標

1. To introduce the research principles that define interdisciplinary sociocultural studies.
2. To encourage students to adopt an interdisciplinary perspective towards sociocultural studies of Japan.
3. To stimulate informed debate about contemporary issues affecting Japanese society.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	Seminar Participation
レポート課題	40	Essay
上記以外	40	Final Test

Students are required write an essay based on a relevant topic from the course. The final test will require students to answer topic review questions taken from the seminar classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Patterns in Japanese Culture & Society							担当教員	Carl John Boland※
講義コード	1150550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Lecture 1: Geopolitical History	Course Overview / Interdisciplinary Sociocultural Studies / Geopolitics and the shaping of modern Japan.
第2回	Seminar 1: Cross-Cultural Influence	Group work and class discussions. Iitoko-dori / From Japonisme to Cool Japan.
第3回	Lecture 2: Japan Studies	Japan Studies: Paradigms & Debates / Cultural Relativism / Emic & Etic Concepts.
第4回	Seminar 2: 'In the Field'	Ethnography and Fieldwork. Group work and discussions based on lecture 2 and HW readings.
第5回	Lecture 3: The Empire of Signs	Semiotics and Cultural Studies / Filmic Representations of Japan.
第6回	Seminar 3: Food Culture	Analysing Japanese Food Culture / Group work and discussions based on lecture 3 and HW readings.
第7回	Lecture 4: Lensing the Media	Patterns in the Japanese media / Censorship and scandals.
第8回	Seminar 4: Japanese Advertising	Analysing patterns in Japanese advertising / Group work and discussions based on lecture 4 and HW.
第9回	Lecture 5: Social Structure	The Family System / Social Stratification / Wealth & Cultural Capital / Social Order.
第10回	Seminar 5: Beneath the Veneer	Documentary Analysis / Group work and discussions based on lecture 5 and HW.
第11回	Lecture 6: The Japanese Mind	The Self and Social Identity / Collectivism / Emic Psychological Concepts.
第12回	Lecture 7: The Societal Conundrum	Japan's social demographic dilemmas / Economic impacts.
第13回	Seminar 6: Engineering Social Change	Group work and discussion based on lectures 6, 7 and HW.
第14回	Lecture 8: The Road Ahead	Recent Political History / Abenomics / Social Policy / Geopolitics / Regional Security.
第15回	Seminar 7: Japan 2020	Course Review / Group work and discussions / Essay preparation workshop.

担当者から一言
Students must have English skills that allow them to participate actively in class discussions as well as a good standard of academic writing for assignments. Having a TOEFL ibt level of 70 or higher is advisable, or a study abroad experience.

講義名	Model United States of America							担当教員	Benjamin John McCracken※
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

Model USA is an educational simulation in which students will learn about the United States of America (“USA”) and its unique form of government. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a senator from one of the 50 states that make up the USA. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from the USA.

到達目標

(1) Students will learn about US history and how it impact the current policital environment. (2) Students will learn about the US governmental system and the role political parties play in it. (3) Students will learn current events and debate potentail solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate inorder to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their expereince.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for particpation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to activily participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the US. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Model United States of America							担当教員	Benjamin John McCracken※
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course overview
第2回	Basic USA History	Lecture on US history
第3回	US Government I	Lecture on the US governmental system
第4回	US Government II	Lecture on the US governmental system
第5回	Seminar I	Group work - Students will be devided into states and assigned political parties and committees
第6回	Political Parties	Lecture on US political parties
第7回	Seminar II	Group work - Students prepare for presentations on US states and issue presentations
第8回	State Presentations I	Students present on their respective states
第9回	State Presentations II	Students present on their respective states
第10回	Seminar III	Group work - Students prepare for issue presenations
第11回	Issue and disucssion I	Students present and discuss issue in mock debate
第12回	Issue and discussion II	Students present and discuss issue in mock debate
第13回	Issue and discussion III	Students present and discuss issue in mock debate
第14回	Issue and discussion IV	Students present and discuss issue in mock debate
第15回	Review	Course review and essay preperation workshop

担当者から一言
Students will be provided with all materials including handouts that are intended for self-study.

講義名	Model United Nations							担当教員	Benjamin John McCracken※
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

Model United Nations is an educational simulation in which students will learn about the United Nations (UN) and its role in the world. This course requires students to research issues and topics, which they will debate as a representative of from one of of the many nations that make up the UN. Through this process students will build public speaking, debating, and writing skills, in addition to critical thinking, teamwork, and leadership abilities. Students will also learn to empathize and understand people from around the world.

到達目標

(1) Students will learn about the history of the United Nations and how it impacts our world. (2) Students will learn about parlimentary procedure and how issues are debated at the UN. (3) Students will learn current events and debate potentail solutions to these issues. (4) Students will learn to present facts and conduct a debate inorder to reach a solution to a problem.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Students will write a three page paper on their expereince.
上記以外	80	Presentation 30 points x2 and 20 points for particpation in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to activily participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students will need to be aware of current events in the world. Students will need to spend some time outside of class reading online newspapers or doing online research.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Model United Nations							担当教員	Benjamin John McCracken※
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	Course overview
第2回	History of the UN	Introduction to the UN and its history
第3回	Parlimentary Procedure	Introduction to parlimentary procedure and roberts rules of order
第4回	Simulation	Practice simulation
第5回	Seminar I	Group work - Students will be devided into countries and assigned committees
第6回	Seminar II	Lecture on committees. Group work - Students prepare for country presentations
第7回	Seminar III	Group work - Students prepare for country presnetations
第8回	Country Presentations I	Students present on their respective countries
第9回	Country Presentations II	Students present on their respective countries
第10回	Seminar IV	Group work - Students prepare for issue presentations and discussion
第11回	Issue I	Students present and discuss issue in mock debate
第12回	Issue II	Students present and discuss issue in mock debate
第13回	Issue III	Students present and discuss issue in mock debate
第14回	Issue IV	Students present and discuss issue in mock debate
第15回	Review	Course review and essay workshop

担当者から一言
Students will be provided with all materials including handouts that are intended for self-study.

講義名	経済学II（国際経済を含む）							担当教員	村上　一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	212ETC201,214BRM290,337ILA211								

授業概要

現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念、(2)家計、企業、政府の行動理論と現状、(3)マクロ政策の理論と現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門（第5版）	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2	マクロ経済学（第2版）	伊藤元重	日本評論社	
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	経済学II（国際経済を含む）							担当教員	村上　一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	212ETC201,214BRM290,337ILA211								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス、マクロ経済学の概要	ガイダンス、マクロ経済学の概要
第2回	GDPとマクロ経済学の基礎概念	GDPとマクロ経済学の基礎概念
第3回	GDP（国内総生産）の概念と決定メカニズム	GDP（国内総生産）の概念と決定メカニズム
第4回	物価（インフレとデフレ）	物価（インフレとデフレ）
第5回	為替、景気循環	為替、景気循環
第6回	家計の消費と貯蓄行動	家計の消費と貯蓄行動
第7回	企業等の投資行動	企業等の投資行動
第8回	金融と株価	金融と株価
第9回	貨幣の需要と供給	貨幣の需要と供給
第10回	乗数理論とIS-LM分析	乗数理論とIS-LM分析
第11回	経済政策の必要性と有用性	経済政策の必要性と有用性
第12回	政府支出の課題（財政赤字と国債）	政府支出の課題（財政赤字と国債）
第13回	雇用と失業	雇用と失業
第14回	経済成長理論	経済成長理論
第15回	国際マクロ経済、まとめ	国際マクロ経済、まとめ

担当者から一言

講義名	法学概論（国際法を含む）							担当教員	坂田　雅夫※
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	212PEL302,235LAH303,137ILA103								

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のらりくらりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうなってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているんだと理解してもらえるのがこの授業の目標です。

到達目標

（1）ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
（2）公務員試験の法律・政治学関係の問題への基礎的知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『判例法学〔第5版〕』	西村健一郎、西井正弘	有斐閣	9784641184046
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）							担当教員	坂田　雅夫※
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	212PEL302,235LAH303,137ILA103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	講義内容の概説と参考文献一覧表を配布します。
第2回	裁判所や警察に行くことになったら	日本の裁判警察制度の概要
第3回	民法１	さあ、○○さんを裁判に訴えてみよう。
第4回	民法2	結婚、離婚、遺産
第5回	刑事法	警察に捕まった大変だ・・・
第6回	憲法１（国際法１）	人権（私たちはどんな権利を持っているのか）
第7回	憲法２	国会、裁判所、内閣
第8回	国際法２	平和と安全保障１：国際連盟まで
第9回	国際法２	平和と安全保障２：国際連合
第10回	国際法３（憲法3）	平和と安全保障３：平和維持活動（PKO）
第11回	国際法４	貿易
第12回	国際法5	海外投資
第13回	海洋法、日本の抱える領土問題	海に関する国際法。北方領土や竹島のように日本が抱える領土問題
第14回	国際裁判	国際紛争の処理の方法について
第15回	まとめ	全体を概観します。

担当者から一言

講義名	アカデミック・ライティング/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400011	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

Academic writing involves the ability to discuss complex topics following a specified structure. To produce a high quality paper, it is essentially to plan an essay carefully. On this course, we take a ‘process’ approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correct cite and reference sour sources.

到達目標

The goals of this course are as follows:
- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Writing assignments (x 4): 70%
上記以外	30	Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アカデミック・ライティング/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400011	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Academic essay structure (1)	
第2回	Academic essay structure (2)	
第3回	Academic essay structure (3)	
第4回	Opinion essay (1)	
第5回	Opinion essay (2)	
第6回	Opinion essay (3)	
第7回	Opinion essay (4)	
第8回	Compare & contrast essay (1)	
第9回	Compare & contrast essay (2)	
第10回	Compare & contrast essay (3)	
第11回	Compare & contrast essay (4)	
第12回	Cause & effect essay (1)	
第13回	Cause & effect essay (2)	
第14回	Cause & effect essay (3)	
第15回	Cause & effect essay (4)	

担当者から一言

講義名	アカデミック・リスニング/							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400012	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

Outline:
Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates. Students by themselves or with a partner choose 4 discussion or debate topics and write a one-page report on each topic. (5 topics if the class size is small.) The teacher gives advice about grammar and how to make the writing more interesting. Students next read aloud their report to the teacher, who corrects any pronunciation problems. Students next read their reports aloud to other people and have a discussion or a debate. Students write about what the other group said, and read it to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Objectives:
Students will be able to talk about and/or debate topics encountered in everyday life, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	Grading: Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 25% x 4. Report Tests. Each Test has 2 parts, 50% for Speaking and 50% for Writing. Each of the 4 Speaking Objectives is worth 25% of the Speaking part.
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your reports.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

hand-outs

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アカデミック・リスニング/							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400012	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Topics Lists. Class Outline.	Students choose interesting topics from a printed hand-out. Students start to write a one-page report on any interesting topic.
第2回	Write Your Report.	Teacher checks that Students have begun to write their first report.
第3回	Writing Check.	Teacher looks at Students ' writing, gives advice on how to write better and more complex sentences, and corrects any grammar and spelling mistakes.
第4回	Speaking Check.	Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects any pronunciation problems.
第5回	Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第6回	First Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher.
第7回	Second Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第8回	Second Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第9回	Second Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher.
第10回	Third Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第11回	Third Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第12回	Third Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher.
第13回	Fourth Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第14回	Fourth Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate.
第15回	Fourth Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher.

担当者から一言

講義名	Discussion & Debate							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400013	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ENG309								

授業概要

Outline:
Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates. Students by themselves or with a partner choose 4 discussion or debate topics and write a one-page report on each topic. (5 topics if the class size is small.) The teacher gives advice about grammar and how to make the writing more interesting. Students next read aloud their report to the teacher, who corrects any pronunciation problems. Students next read their reports aloud to other people and have a discussion or a debate. Students write about what the other person/group said, and read it to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Objectives:
Students will be able to talk about and/or debate topics encountered in everyday life, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	Grading: Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 25% x 4. Report Tests. Each Test has 2 parts, 50% for Speaking and 50% for Writing. Each of the 4 Speaking Objectives is worth 25% of the Speaking part.
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が４回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your reports.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

hand-outs

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Discussion & Debate							担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400013	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ENG309								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Topics Lists. Class Outline.	Students choose interesting topics from a printed hand-out. Students start to write a one-page report on any interesting topic.
第2回	Write Your Report.	Teacher checks that Students are writing their first report.
第3回	Writing Check.	Teacher looks at Students ' writing, gives advice on how to write better and more complex sentences, and corrects any grammar and spelling mistakes.
第4回	Speaking Check.	Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects any pronunciation problems.
第5回	Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第6回	First Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher. Students write their 2nd report.
第7回	Second Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第8回	Second Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第9回	Second Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher. Students write their 3rd report.
第10回	Third Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第11回	Third Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate. Students write down what the other group said.
第12回	Third Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher. Students write their 4th report.
第13回	Fourth Report Check.	Teacher looks at Students ' writing and gives advice. Students read aloud their writing to the Teacher, who corrects pronunciation.
第14回	Fourth Group Discussion-Debate.	Students read their writing to other Students and have a discussion or a debate.
第15回	Fourth Report Test.	Students show their original writing and read aloud the results of their discussions/debates to the teacher.

担当者から一言

講義名	Academic Writing							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG310								

授業概要

Academic writing involves the ability to discuss complex topics following a specified structure. To produce a high quality paper, it is essentially to plan an essay carefully. On this course, we take a ‘process’ approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correct cite and reference sour sources.

到達目標

The goals of this course are as follows:
- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Writing assignments (x 4): 70%
上記以外	30	Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Academic Writing							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG310								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Academic essay structure (1)	
第2回	Academic essay structure (2)	
第3回	Academic essay structure (3)	
第4回	Opinion essay (1)	
第5回	Opinion essay (2)	
第6回	Opinion essay (3)	
第7回	Opinion essay (4)	
第8回	Compare & contrast essay (1)	
第9回	Compare & contrast essay (2)	
第10回	Compare & contrast essay (3)	
第11回	Compare & contrast essay (4)	
第12回	Cause & effect essay (1)	
第13回	Cause & effect essay (2)	
第14回	Cause & effect essay (3)	
第15回	Cause & effect essay (4)	

担当者から一言

講義名	アジア文化特論Ａ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1400057	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC213								

授業概要

本授業では、「文言」と「白話」の違いを明確にしたうえで、現代中国語（普通話）の源流に位置すると考えられる「白話」が誕生した唐末・五代から、宋・元を経て、明代、清代に成立した白話文献（例えば、『三国演義』『西遊記』『水滸伝』『金瓶梅』『紅楼夢』などの白話小説）の成立過程、作者および作品の言語について時代順に解説するとともに、作品の講読も行います。なお、所謂「漢文」は中国では「文言」と呼ばれ、「白話」とは別物です。

到達目標

（1）高校で学んだ「漢文」と現代中国語に繋がる「白話」の違いを理解する。
（2）唐末・五代から清代までの時代ごとの代表的な白話文献についての知識を身につける。
（3）白話小説を辞書を傍らに置いて読み進められるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	到達目標（1）（2）（3）について、記述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20%	講義ノートを作成し、提出する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国の五大小説（上）	井波律子	岩波新書	978-4-00-431127-0
2	中国の五大小説（下）	井波律子	岩波書店	978-4-00-431128-7
3				

前提学力等

第二外国語とし中国語を履修していること。また、履修は3年次以降が望ましい。

履修資格

講義名	アジア文化特論Ａ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1400057	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337W0C213								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	四大奇書と五大小説	『三国演義』『西遊記』『水滸伝』『金瓶梅』『紅楼夢』の特徴ついて解説します。
第2回	中国語の歴史	中国語の時代区分について解説します。
第3回	近代漢語	古代漢語と近代漢語の違いについて解説します。
第4回	文言と白話	文言と白話について様々な角度から解説します。
第5回	唐末・五代の白話	唐代に行われていた「俗講」と敦煌変文について解説します。
第6回	白話小説誕生	宋代の庶民の娯楽場「瓦舎」で行われていた「説話」（講談）について解説します。
第7回	『西遊記』（Ⅰ）	『西遊記』の成立過程について解説します。
第8回	『西遊記』（Ⅱ）	『西遊記』の作者と言語について解説します。
第9回	『三国演義』（Ⅰ）	『三国演義』の成立過程について解説します。
第10回	『三国演義』（Ⅱ）	『三国演義』の言語について解説します。
第11回	『水滸伝』（Ⅰ）	『水滸伝』の成立過程について解説します。
第12回	『水滸伝』（Ⅱ）	『水滸伝』の作者と言語について解説します。
第13回	『金瓶梅』（Ⅰ）	『金瓶梅』の作者について解説します。
第14回	『金瓶梅』（Ⅱ）	『金瓶梅』の言語について解説します。
第15回	『紅楼夢』	『紅楼夢』の作者と言語について解説します。

担当者から一言

講義名	アジア文化特論Ｂ							担当教員	河　かおる
講義コード	1400058	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC214								

授業概要

朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかみつつ、特に困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。

★5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する予定。休講分は学期末に調整する（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。
　なお、該当する学生の履修登録が無かった場合は、通常どおりのスケジュールで授業を行う。

到達目標

(1) 講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組める。
(2) 朝鮮の近現代史、特に日本とかかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができる。
(3) 講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末レポート　40%
上記以外	60	小レポート　50% 振り返りレポート　10%

授業外学習

ほぼ毎回小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史	田中俊明	昭和堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の植民地支配 ― 肯定・賛美論を検証する	水野直樹・藤永壮・駒込武	岩波書店	
2				
3				

授業内容に関する文献リストを授業で配付する。

前提学力等

3・4回生配当科目だが、前期開講のため、留学の関係で所定の学年で履修しにくいので、2回生での履修も認めている。

履修資格

講義名	アジア文化特論Ｂ							担当教員	河　かおる
講義コード	1400058	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337W0C214								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	どの程度知識があるかについてのグループ・ワーク
第2回	開国と開化をめぐる葛藤	1860年代～1894年
第3回	近代国家樹立の模索	1894～1905年
第4回	植民地化の危機の中で	1905～1910年
第5回	武断政治と三一独立運動	1910～1919年
第6回	「文化政治」と民族運動の展開	1920～1930年
第7回	「満洲事変」と朝鮮／総力戦と朝鮮(1)	1930～1945年
第8回	「満洲事変」と朝鮮／総力戦と朝鮮(2)	1930～1945年
第9回	中間まとめ	
第10回	解放から分断へ	1945～朝鮮戦争
第11回	南北の国家建設	朝鮮戦争後～1970年代
第12回	南北の緊張と交流	1980年代～現在まで
第13回	臣民／国民を管理するシステムの近現代史	映画「住民登録証を引き裂け！」上映
第14回	家族制度の近現代史／「なまえ」をめぐる近現代史	
第15回	期末レポート構想発表会	

担当者から一言

講義名	アジア文化特論Ｃ							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC215								

授業概要

農村が八割以上を占める中国社会は、古今を問わず農民によって動かされてきた。その原動力の裏にはどんな仕組みが存在するであろうか。本講義では、農耕と文明との関係など、基礎的な知識を簡単に回顧したうえで、主として中国の農耕社会とその影響を受けて形勢された周辺地域の農耕社会を比較しながらアジアの農耕社会の仕組みを見ていきたい。また、農村問題通して経済大国ー中国が抱える問題とその行方を講義する。

到達目標

本講義では、世界最大規模の農耕社会を抱える中国の農村の社会構造を歴史的に整理したうえで、農耕大国中国の現状を理解できることを目指したい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に参加すること
レポート課題	30	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席とレスポンスカードによる積極的なやり取りを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化特論Ｃ							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337W0C215								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	世界最大の農耕社会である中国の農村問題を紹介
第2回	農耕と農村の起源	基層知識としての世界における農耕の起源を講義。
第3回	中国文明と農耕	中国における文明の起源と農耕との関係について講義。
第4回	牧畜の起源	農耕と同様な一次生産手段としての牧畜の起源を探ることによって、アジア南北各地の農村の姿を
第5回	新大陸原産穀物と中国	中国における人口の膨張と新大陸原産穀物との関係について講義。
第6回	秘密結社と中国社会（１）	中国社会を動かしてきた秘密結社の仕組みを講義
第7回	秘密結社と中国社会（２）」	中国社会を動かしてきた秘密結社の仕組み講義
第8回	中国における人口問題	人口大国中国を歴史的に考察
第9回	現代中国における人口問題	現代中国における人口問題の構造を講義
第10回	中国農村の貧困問題	中国社会における農村の位置づけを講義
第11回	中国の出稼ぎ労働者	中国の経済発展を支える出稼ぎ労働者について講義。
第12回	中国における戸籍制度（１）	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第13回	中国における戸籍制度（２）	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第14回	中国における戸籍制度（３）	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第15回	まとめ	講義をまとめ

担当者から一言

講義名	アジア文化論Ａ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC105								

授業概要

本授業は、中国近現代史、とりわけ中華人民共和国成立後の中国共産党史および日中関係史（日中国交正常化前後）を鳥瞰し、中国共産党一党独裁の問題、尖閣諸島領有権問題、歴史認識問題、靖国参拝問題、反日教育、一国二制度（香港・マカオ）、台湾問題、少数民族（チベット・ウイグル）問題などの政治・社会的、文化的背景を考察し、現代中国の理解に資することを目的とします。

到達目標

（1）中国共産党に関する基礎的な知識を得ることができる。
（2）日中国交正常化以後の日中関係に関する基礎的な知識を得ることができる。
（3）上記（1）（2）を学ぶことによって現在の日中関係への関心を高め、理解を深めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	到達目標（1）について、論述式（一部穴埋め式）試験を行う。（40%） 到達目標（2）について、論述式（一部穴埋め式）試験を行う。（40%）
レポート課題		
上記以外	20%	受講ノートを提出してもらいます。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論Ａ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137W0C105								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	中国のトピックス	周永康失脚、日中友好人士の拘束などの今の中国へ関心を寄せる。
第2回	中国共産党（Ⅰ）	一党独裁体制の仕組みについて考察する。
第3回	中国共産党（Ⅱ）	一党独裁の正当性について考察する。
第4回	中国共産党（III）	党内の諸問題（党員の腐敗・汚職問題など）について考察する。
第5回	中国共産党（IV）	国家統合問題（Ⅰ） （1）中央と地方の関係、（2）少数民族（チベット族・ウイグル族）の分離・独立運動について考察
第6回	中国共産党史（Ⅰ）	国家統合問題（Ⅱ） （3）香港・マカオ、台湾問題について考察する。
第7回	中国共産党史（Ⅱ）	中華人民共和国の成立、中ソ対立（スターリン批判）について考察する。
第8回	中国共産党史（III）	毛沢東型社会主義について考察する。 1.反右派闘争　2.大躍進運動　3.人民公社化運動
第9回	中国共産党史（IV）	経済調整政策について考察する。 （1）アメリカによる中国封じ込め体制の構築、（2）中ソ関係の悪化
第10回	中国共産党史（Ⅴ）	文化大革命（Ⅰ） （1）社会主義教育運動と階級闘争
第11回	中国共産党史（VI）	文化大革命（Ⅱ） （1）紅衛兵運動の終焉と第9回中国共産党大会
第12回	日中関係史（Ⅰ）	日中国交正常化について考察する。 （1）日中国交正常化以前の国際環境
第13回	日中関係史（Ⅱ）	鄧小平の改革・開放政策と日中関係について考察する。 （1）政府開発援助と円借款事業
第14回	日中関係史（III）	鄧小平後の日中関係について考察する。 （1）胡耀邦・中曽根の「蜜月」時代
第15回	日中関係史（IV）	対日政策決定の変遷について考察する。 （1）冷戦終結、ソ連崩壊
担当者から一言		

講義名	アジア文化論Ｂ							担当教員	河　かおる
講義コード	1400062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC106								

授業概要

　この授業では、隣国「朝鮮」（現在朝鮮半島にある二つの国家およびそれ以前も含む）について、次のような手順で理解を深め、考察していきます。
　前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。
　後半は、韓国・朝鮮に関するトピックを３つとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループ（受講人数が少なければ個人）で調べ、最終的にプレゼンテーションをします。

到達目標

(1)朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。
(2)韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。
(3)韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	
上記以外	70	小レポート　30% プレゼンテーション　30% 振り返りレポート　10%

授業外学習

ほぼ毎回、小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	アジア文化論Ｂ							担当教員	河　かおる
講義コード	1400062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC106								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	・授業のねらいの説明 ・レポート課題についての説明
第2回	朝鮮の「国の呼称の歴史」について①	
第3回	朝鮮の「国の呼称の歴史」について②	
第4回	日本人は朝鮮／朝鮮人をどう呼んできたのか？	
第5回	言語名をめぐる呼称問題；「韓国語」「朝鮮語」「ハングル語」？	
第6回	トピック①2016～2017年にかけての「ロウソク市民革命」について	
第7回	発表会	レポート提出日、レポートの発表会
第8回	レポートの講評	
第9回	トピック②竹島／独島問題	
第10回	トピック③朝鮮語の近現代史／祝祭日に見る韓国・朝鮮・日本	
第11回	トピック④在外コリアン／在韓外国人（韓国の多文化政策）	
第12回	プレゼンテーションの説明／テーマ決め／グループ分け	
第13回	トピック⑤「言論民主化」って？	
第14回	トピック⑥　未定	
第15回	プレゼンテーション(1)	
第16回	プレゼンテーション(2)	補講期間or期末テスト期間

担当者から一言

講義名	アジア文化論Ｃ							担当教員	島村　一平
講義コード	1400063	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC107								

授業概要

【現代モンゴル文化論】
遊牧文化を基層文化とするモンゴル。顔は似ていてもその文化や社会は、農耕社会を基層文化とする日本とは全く異なる。本講義では、現代モンゴルの人々の暮らしや文化、社会などを紹介することで、現代日本に住む我々の文化や暮らしのあり方と比較考察していく。異文化という鏡を通して自文化を知るという視点を養うことを目的としたい。

具体的には遊牧民」だけでなく、日本ではあまり紹介されることの少ない都市に暮らす現代モンゴル人たちの文化や社会も扱っていきたい。

まずは、日本の農村型社会とは全く性質を異にする「遊牧」という生業について概観する。そうした上で、近年の都市化や急速な経済発展の中で揺れ動く遊牧社会の現状も考察する。実は、モンゴル国は人口の約半分（140万人）が首都ウランバートルに集中している。こうした都市社会の実像を知るために、ロックやHipHopといった現代のポピュラー音楽や、都市に蔓延するシャーマニズムを切り口に現代モンゴル社会の持つ諸問題を考察していく。写真や音楽といった資料を多くつかって、立体的に現代モンゴル像を描き出す。

到達目標

(1)遊牧という文化や現代モンゴル社会に関する基礎的な知識がみにつく。
(2)モンゴル文化を見つめることで日本の文化を相対化して見つめなおすことができる。
(3)現代モンゴル社会が抱える諸問題に対して、世界情勢と関連付けながら、批判的に検討する能力が身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式の試験を課す。以下のような基準で採点する。 回答が論理的であるか。
レポート課題		
上記以外		質問は1回につき、1点を加算するものとします。

授業外学習

講義のあとで、レジュメのみならず、教科書の関連部分や参考文献は、各自、図書館で探した上で読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代モンゴルを知るための50章	小長谷有紀・前川愛	明石書店	9784750340432
2	モンゴルの歴史―遊牧民の誕生からモンゴル国まで	宮脇淳子	刀水書房	9784887082441
3	大学生が見た素顔のモンゴル	島村一平	サンライズ出版	9784883256327

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	増殖するシャーマン―モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ	島村一平	春風社	9784861102998
2	草原と鉱石――モンゴル・チベットにおける資源開発と環境問題	棚瀬慈郎・島村一平	明石書店	9784750341682
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

世界史に関する基礎知識があることが望ましい

履修資格

講義名	アジア文化論Ｃ							担当教員	島村　一平
講義コード	1400063	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC107								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	概論：行って見て驚いたモンゴル	顔は似ているけど、これだけ異なるモンゴル人！欧米人以上に徹底的に個人主義？日本よりずっと女性の社会的地位が高い？モンゴルで約6年暮らした講師が、行ってみて驚いたモンゴルを紹介するこ
第2回	モンゴルという国の歴史・地理的概要	この回は、モンゴルの歴史・地理的概況を多くのスライド（写真）を使いながら、紹介していく。日本の4倍の面積に50分の一の人口。意外と少ない遊牧民。ウランバートルは高層ビルだらけ？きっと
第3回	遊牧という生業	モンゴルでは、人口の20%が今も遊牧民として、家畜を引き連れ、季節ごとに移動をしながら暮らしている。この回では、遊牧民の実態を論じていく。
第4回	遊牧民の社会組織ホトアイル	遊牧民は伝統的に「ムラ」つまり定住村落をつくってこなかった。彼らにとっての「ムラ」は、移動式のテント「ゲル」が数件集まる「ホトアイル」と呼ばれるキャンプ集団である。季節ごとにメン
第5回	遊牧、あるいは土地を所有しない文化の行方	移動生活をする遊牧民にとって「土地を所有する」という観念はなかった。したがって「領土」概念もなかったといってよい。そんな彼らの大地との関わり方が、現在グローバル社会の影響で大きく変
第6回	動物を殺すことは罪悪か：遊牧民と動物のかかわり	モンゴル遊牧民は、主に家畜の肉と乳製品で食を満たす。家畜を屠ることは彼らにとって日常である一方で、農耕民のように土地を掘り返すことをタブー視する。この回では、彼らの食肉文化から日本
第7回	民族と宗教から見たモンゴルの歴史Ⅰ	モンゴル民族はロシア・モンゴル、中国に跨る「多国家民族」である。唯一の独立国である「モンゴル国」は、多民族国家でもある。この回では、民族問題と宗教のかかわりを歴史から紐解いていく。
第8回	民族と宗教から見たモンゴルの歴史Ⅱ	前回のつづきである。社会主義時代も密かに実践された宗教、そしてエスニックなコンフリクト。今まで日本であまり紹介されてこなかった、もう一つのモンゴルの姿をみつめる。
第9回	増殖するシャーマン：モンゴル・ブリヤートの世界	ブリヤート人は、ロシア・モンゴル・中国に跨って暮らすモンゴル系のエスニック集団である。90年代以降、彼らの間でシャーマン（霊媒師）が増え続けるという現象から、その背景にある民族問題を
第10回	感染するシャーマン：都市と社会不安	ブリヤート人に始まったシャーマンの増殖現象は、現在、モンゴル全国に広まり、モンゴル国人口の１%近くがシャーマンとなっている。人はなぜシャーマンとなるのか。都市化、社会不安、競争、さ
第11回	ポピュラー音楽から見た現代モンゴル	ロック、HipHop、アイドル。モンゴルの若者たちも日本同様にさまざまなポピュラー音楽を楽しむ。この回では、現代モンゴルのポピュラー音楽を実際に聞きながら、どんなことが歌われているのか、
第12回	反ひきこもり的住居空間としてのゲル	遊牧民にひきこもりはいない？　滋賀県立大が所蔵する遊牧民の移動式住居「ゲル」に実際に触れながら、住居/社会空間としての特徴を考察していく。
第13回	チンギスハーンは誰の英雄なのか：国際比較を通じて	世界史上最大の征服者、チンギスハーン。日本では肯定的に描かれることが多いが、欧米では野蛮で残虐な人物の代名詞である。一方、中国では「中国人」として彼を認識している。チンギスを巡る言
第14回	モンゴル人の子育て	モンゴルの遊牧民の子どもたちは、７－８歳にもなれば馬に乗れるし、炊事や洗濯も大人並にこなす。もちろん学校にも通う。こうした「働き、学ぶ子供」は、どのようにして育つのか。子育ての文
第15回	まとめ	全体をまとめると同時に、ディスカッションを行う。

担当者から一言

講義名	アジア文化論Ｄ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC108								

授業概要

インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。

到達目標

（1）仏教の基本的な概念と考え方についての知識。
（2）仏教の歴史的な展開に関する知識。
（3）内陸アジアにおいて、仏教が果たしてきた役割に関する知識。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	１００	講義内容について十分な理解を得ているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論D							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137W0C108								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	インド社会の特徴	インドの身分制度について
第2回	インド社会の特徴	インドの身分制度と結婚、差別について。
第3回	バラモン教	仏教以前のインド思想史
第4回	仏教の誕生	ダンマパダとスッタニパータ：初期経典について
第5回	初期仏教から大乗仏教へ	インドの石窟寺院について
第6回	中観思想	大乗仏教の基本概念と中観思想
第7回	唯識・密教	唯識思想、本覚思想、密教の基本的考え方
第8回	チベットへの仏教伝来	吐蕃王国による仏教の国教化
第9回	仏教教団の成立	四大宗派の成立
第10回	ゲルク派の隆盛	ツォンカパによる仏教改革とダライラマ政権の誕生
第11回	帝国主義とチベット（１）	チベット近代史
第12回	帝国主義とチベット（２）	チベット近代史
第13回	中央アジアにおけるチベット仏教（１）	内陸アジアにおけるチベッ仏教の展開
第14回	中央アジアにおけるチベット仏教（２）	内陸アジアにおけるチベッ仏教の展開
第15回	中央アジアにおけるチベット仏教（３）	内陸アジアにおけるチベッ仏教の展開

担当者から一言

講義名	異文化交流史							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400071	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337MUS206								

授業概要

この講義では、アジアにおける人と物の交流がどのようパターンで行われてきたのかを中国とモンゴル、中国と満洲との関係から立体的に捉えていきたい。常に現代に着目して、歴史と今日との間に行き来することによって立体的な多民族、多文化地域社会の姿を描き出したい。

到達目標

万里の長城と柳条辺墻を挟んだ中国大陸における人と物の交流を歴史的視点から理解できることを目指す。多民族、多文化が交錯する該当地域における複雑な現状に関してもある程度の視点を持てるようにしたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	異文化交流史							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400071	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337MUS206								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	東アジアにおける「境界線」	中国の北部地域、内モンゴルや東北満洲地域には数千年にわたって構築されてきた各種の「境界
第3回	レンガ茶と遊牧民	お茶は中国が原産地。レンガ茶とは北方遊牧民が飲むミルク茶のもとで、中国本土が原産地であ
第4回	資源開発とモンゴルの安全保障	モンゴルは資源開発の時代を迎えている。それは中国の経済発展によるものだが、内モンゴルはそれ以前から中国の資源供給地であった。この「資源」で結ぶ中国と「モンゴル」の歴史的関係を講
第5回	「黄砂」はどこから来ているのか	内陸地域の自然環境の変化と人間活動の関係から「黄砂」の発生メカニズムを講義。
第6回	中国における砂漠化問題と乳製品市場	中国の経済発展の中で急成長する乳製品市場とその背景にある内陸部の砂漠化問題を講義。
第7回	中国のエネルギー問題とモンゴル	石油や石炭などエネルギー資源をキワードに、中国にとっての内モンゴルとモンゴル国の意義を講
第8回	現代に生きるチンギス・ハーン（一）	ユ-ラシア大陸各地に深い影響を及ぼしたチンギス・ハーンの現代的意義を講義。
第9回	現代に生きるチンギス・ハーン（二）	ユ-ラシア大陸各地に深い影響を及ぼしたチンギス・ハーンの現代的意義を講義。
第10回	クビライ・ハーンを新しいモンゴル国	民主化以後のモンゴル国におけるクビライ・ハーンの再認識過程を講義。
第11回	「満洲」とは何か（一）	地域としての「満洲」の地政学的位置づけ、歴史的経緯を講義。
第12回	「満洲」とはなにか（二）	地域としての「満洲」の地政学的位置づけ、歴史的経緯を講義。
第13回	「ノモンハン事件」の過去と現在	日本、中国、ロシアと「モンゴル」にとっての「ノモンハン事件」の意義を講義。
第14回	現代のシルク―ロード	中国の経済発展を背景とするシルク―ロードの現代的なあり方を講義。
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	移民社会論Ａ							担当教員	窪田　暁※
講義コード	1400072	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

現代世界の特徴のひとつに国境を越える人の移動があげられる。そのほとんどが労働移民とよばれる人びとだが、彼らはなぜ移民となり、移民先でどのように暮らしているのだろうか。
この授業ではまず、移民の発生要因を世界経済の構造、移民の社会的ネットワーク、移民個人という三つのレベルから捉えることを目標とする。次に、アメリカのドミニカ系移民や日本国内の移民を事例に、移民が本国の文化を移住先にもちこんで生活世界を構築している現状ついて検討する。また、移民の言語使用の実態から浮かびあがるホスト社会の移民への対応をアメリカ、フランス、日本の事例を中心に考察する。とくに、ここ数年で顕在化するようになった移民をめぐる具体的な問題（テロ事件、差別、移民のこどもたちの言語習得等）を事例として、移民をうけいれるホスト社会のありかたについて検討していきたい。
こうした作業を通して、世界中で進行するグローバル化がもたらす問題を発見し、自分たちが生きている社会や文化について理解を深めることをめざす。

到達目標

(1)　グローバル化の影響で増加する移民の発生要因についての基本的な知識を獲得する。
(2)　移民の日常的な実践について学び、ホスト社会や故郷の人びとに与える影響について考える能力を身につける。
(3)　文化的背景の異なる移民について学ぶことで、自分たちが生きている社会や文化の価値観を相対化して眺める視点を獲得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	すべての授業内容の理解度を確認する。
レポート課題	30%	到達目標（２）（３）について、授業内容をふまえて考察するための課題を課す。
上記以外	10%	授業ごとにコメントペーパーの提出を課すことで、授業内容を理解し、自分なりの考察を深められているかを確認する。

授業外学習

移民社会について他人事ではなく、自身が生きる社会の問題として捉えることができるように、日ごろからニュースや文献などによって情報収集をしておくこと。そのうえで、自分の問題意識を明確にしておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	移民社会論Ａ							担当教員	窪田　暁※
講義コード	1400072	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	グローバル化が進行するなかで、今後ますます増加する移民とどのようにむきあうべきか、ここではまず世界的な移民の概要を把握する。
第2回	移民とはどのような人びとか	歴史的な経緯と現代世界のグローバルな状況を概観し、そのなかに移民を位置づけることである。つぎに、ここでは、移民を受け入れる国家は移民をどのようにあつかっているのかについて、西欧諸国
第3回	国際移民の発生要因①－世界経済システム	現在の国際労働移民の背景には19世紀までに確立された近代の国民国家が大きく関わっており、国民を保護するために存在する諸制度が「他者」としての移民を排除する要因にもなっていることについ
第4回	国際移民の発生要因②－社会的ネットワーク	「なぜ特定の地域から多くの移民が発生し、特定の地域に多くの移民が集中するのか」という問いについて考える。
第5回	国際移民の発生要因③－個人の意思決定	ここでは、移民個々の移住要因に注目し、なにが個人の意思決定に影響をおよぼしているのかについて、具体的な事例から検討する。
第6回	移民の日常生活①－トランスナショナル・コミュニティ	今回は、実際に移民が移住先でどのような生活を送っているのかについて見ていきたい。移民という国境を越えて移動する人びとについて考える際に、既存の国民国家の枠組みでは理解できないことを
第7回	移民の日常生活②－移民の文化的実践	今回の授業では、移民が移住先にもちこむ出身社会の文化がどのように維持され、またそれがいかに変化しているのかについてみていきたい。
第8回	移民の日常生活③－送金と一時帰国	今回の授業では、移民と出身社会の関係を送金と一時帰国に注目して考えてみたい。本国の文化を実践することが、移住先でいきぬく支えになると同時に、アイデンティティを確認するために重要な役
第9回	移民送り出し社会の変容	前回にひきつづき、移民と出身社会との関係について考える。
第10回	多民族社会としての日本：歴史と現状	今回の授業では、日本における移民についてみていきたい。その際、前提として日本は歴史的に多民族社会であったという点を確認しておきたい。そのために、まず日本への移民についての歴史をふり
第11回	日本の移民コミュニティ：中南米、アジアからの移民	今回の授業では、日本の移民コミュニティをとりあげ、①国内の移民コミュニティの特徴、②日本に特有の移民をめぐる問題について考えていきたい。その際、移民と言語問題について多言語社会とい
第12回	日本の移民コミュニティと移民言語	今回の授業では、前回の授業で検討した移民と言語についてより具体的に検討する。とくに、移民のこどもたちにとっての母語がどのような機能を
第13回	フランスにおける移民「問題」①－移民の包摂と排除	2015年にパリで発生したイスラム教徒によるテロ事件を手がかりにして、ホスト社会による移民の包摂と排除について、国家統合の理念と異文化理解のジレンマを検討する。
第14回	フランスにおける移民「問題」②－フランスの公立学校－	前回に引き続き、移民の包摂と排除について考察する。今回はとくにフランスの公立学校における移民の子弟の実態を事例にとりあげる。
第15回	まとめ	今回の授業では、この授業で学んだことを振り返りながら、移民をとおして浮かびあがる現代世界とはどんなものなのかについて考えてみたい。

担当者から一言
先入観や偏見にとらわれずに、世界的な視野で客観的に物事を捉える視点を獲得して欲しい。

講義名	移民社会論Ｃ							担当教員	Borjigin Burensain／河　かおる／根川　幸男※
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337MUS205								

授業概要

日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をぬきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満州、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどについて、概要とともに、いくつかの地域を取り上げて具体的に学ぶ。

到達目標

(1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。
(2)授業で扱う具体的な地域への移民について、その特徴を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	期末プレゼンテーション　30% 期末レポート　30%
上記以外	40	小レポートなど　30% 振り返りレポート　10%

授業外学習

課題レポート

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	海を渡った日本人	岡部牧夫	山川出版社	978-4634545601
2				
3				

講義内容に関連する文献リストを授業で配付する

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	移民社会論Ｃ							担当教員	Borjigin Burensain／河　かおる／根川　幸男※
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337MUS205								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	日本人の海外移民について
第2回	近代日本人移民のはじまり	ハワイ移民
第3回	からゆきさん	
第4回	植民地への移民	朝鮮(1)
第5回	植民地への移民	朝鮮(2)
第6回	アメリカ・メキシコ移民の発展と排日	
第7回	滋賀県からカナダへの移民(1)	映画「バンクーバーの朝日」上映
第8回	滋賀県からカナダへの移民(2)	
第9回	南米移民(1)	
第10回	南米移民(2)	
第11回	満州移民(1)	
第12回	満州移民(2)	
第13回	満州移民の引揚と戦後	
第14回	朝鮮移民の引揚と戦後	
第15回	戦後移民と日系社会の発展	
第16回	期末プレゼンテーション(1)	
第17回	期末プレゼンテーション(2)	

担当者から一言

講義名	イングリッシュレクチャーA/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the ‘systems' and ‘skills’ that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーA/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation / Introduction to Language	
第2回	First language acquisition I	
第3回	First language acquisition II	
第4回	Introduction to SLA SLA contexts	
第5回	SLA theory & language teaching I	
第6回	SLA theory & language teaching II	
第7回	SLA theory & language teaching III	
第8回	SLA theory & language teaching IV	
第9回	Individual differences in SLA I	
第10回	Individual differences in SLA II	
第11回	Types of second language knowledge I	
第12回	Types of second language knowledge II	
第13回	Types of second language knowledge III	
第14回	Types of second language knowledge III	
第15回	Final test Course feedback	

担当者から一言

講義名	イングリッシュレクチャーB/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400082	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

On this course we will explore the past, present and future of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Participation: 30% Weekly quizzes: 35%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーB/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400082	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation The history of English in 30	
第2回	Early history: Romans and Celts	
第3回	Anglo-Saxons & Old English	
第4回	The Vikings & Old English	
第5回	Norman French and the beginning of Middle English	
第6回	The decline of French influence	
第7回	Great writers	
第8回	Standardisation of English	
第9回	American English I	
第10回	American English II	
第11回	Global Englishes I	
第12回	Global Englishes II	
第13回	Modern English	
第14回	Review	
第15回	Final test Course feedback	

担当者から一言

講義名	イングリッシュレクチャーC/							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400083	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This series of lectures aims to overview some basic notions of Cognitive Linguistics and to provide opportunities to realize that linguistic meaning is identified with conceptualization.
本講義では認知言語学の基盤を成す概念を概観し、言語の意味とは話し手の概念化として定義されることを確認する。

到達目標

(1) To appreciate and enjoy intellectual thinking
論理的思考に基づく議論を理解する
(2) To foster objective observation as well as subjective insight
知的気づきに加え、客観的観察・分析を行う能力を涵養する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Final report:50% ((2)50%) 学期末に課す課題レポート：50%（到達目標(2)）
レポート課題		
上記以外	50	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) 議論への参加状況 Tests and reports:30% ((2)30%)

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.
15週からなる講義のうち、4回以上欠席したものは成績評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーC/							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400083	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation and Introduction オリエンテーションとイントロダ	Form and Meaning　（言語）形式と意味
第2回	Prototypes and categories (1) プロトタイプカテゴリー(1)	語彙カテゴリーに関する初期の実証的研究 色彩カテゴリー、鳥というカテゴリー
第3回	Prototypes and categories (2) プロトタイプカテゴリー(2)	カテゴリーの内部構造 ：プロトタイプ、家族的類似性、ゲシュタルト
第4回	Prototypes and categories (3) プロトタイプカテゴリー(3)	文脈依存性と文化モデル
第5回	Levels of categorization (1) カテゴリー化のレベル(1)	生物と具体物の基本レベル・カテゴリー
第6回	Levels of categorization (2) カテゴリー化のレベル(2)	上位・下位レベルカテゴリー
第7回	Levels of categorization (3) カテゴリー化のレベル(3)	基本レベルカテゴリーと基本的経験
第8回	Conceptual Metaphors and metonymies	ことばのあやから概念体系へ
第9回	Semantic Network 意味ネットワーク	感情カテゴリーの構造
第10回	Conceptual metaphors 概念メタファー	思考方法としてのメタファー
第11回	Figure and ground (1) 図と地(1)	図と地、トラジェクター/ランドマーク（認知文法） 初期の前置詞研究
第12回	Figure and ground (2) 図と地(2)	スキーマ的主語かプロトタイプ的主語か 認知的際立ちと認知処理
第13回	The frame and attention approach	フレームとスクリプト 事態フレームと注意対象の顕在化
第14回	Other issues in Cognitive Linguistics その他のテーマ(1)	iconicity 類像性 grammaticalization 文法化
第15回	Other issues in Cognitive Linguistics その他のテーマ(2)	Lexical change and prototyipcality 語彙変化とプロトタイプ性

担当者から一言

講義名	イングリッシュレクチャーD/							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400084	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This is an introduction course of history of immigrants to U.S.A. The purpose of this course is to learn from the history of immigrants to U.S.A. and to broaden viewpoints to understand American society in English. By developing knowledge about the background of immigrants to U.S.A., you will examine the experiences of the immigrants. At the same time, by connecting the history with the present situation, you will find out the relevance to the current issues of the country and other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about the immigrants to U.S.A. to positively participate in pair and group activities. This is a great learning opportunity especially for those who are planning to study abroad in U.S.A. or who has completed studying abroad in U.S.A.

到達目標

(1) To understand the key term of each lecture and illustrate it in 1 English paragraph or more
(2) To carefully listen to each lecture and take notes on 1 topic or more in English
(3) To explain main points of each lecture and describe your finding in 1 English for 5 minutes or more
(4) To critically think about each lecture and express your own opinion in English for 5 minutes or more
(5) To complete each academic reading assignment and summarize it in 1 English paragraph or more

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Definition Quiz (conducted in 6 classes) 20%←Evaluation of Goal #1 (2) Summary Quiz (conducted in 6 classes) 20%←Evaluation of Goal #2 (3) Individual Oral Examination (Conducted in the Exam Week) 20%←Evaluation of Goal #3

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attedance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーD/							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400084	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Guidance	Orientation to the course
第2回	Present Issues	TBA: reading materials Mini-exam
第3回	Early Colonies, Slavery	Reading: pp. 12-22 Mini-exam
第4回	Early Ethnnic Groups	Reading: pp.22-33 Mini-exam
第5回	Early Immigration Conditions	Reading: pp.34-45 Mini-exam
第6回	Irish, Conditions in the U.S.	Reading: pp.46-54 Mini-exam
第7回	Germans, Scandinavians	Reading: pp.55-73 Mini-exam
第8回	Chinese	Reading: pp.73-79 Mini-exam
第9回	Workshop: Cultural Conflict	Experiential learning about cultural conflict
第10回	The Industrial Revolution, New Immigrants	Reading: pp.80-89 Mini-exam
第11回	Immigrants in a New World	Readding: pp.90-101 Mini-exam
第12回	Closing the Gates, Postwar Changes	Reading: pp.102-113 Mini-exam
第13回	Postwar Immigration	Reading: pp.114-125 Mini-exam
第14回	Native Americans	TBA: reading materials Mini-exam
第15回	Wrap-up	Group presentaion

担当者から一言

講義名	イングリッシュレクチャーE/							担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400085	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes.

到達目標

To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The presentation held at the end of the semester will account for 60% of the grade.
上記以外		

Students who abstain from class more than three time will not be considered for evaluation.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Cradle to cradle	William McDonough and Michael Braungart	North Point Press, New York	978-0-86547-587-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sustainable by Design: explorations in theory and practise	Stuart Walker	Earthscan, United Kingdom	9-781-84407-305-4
2	An inconvenient truth	Al Gore	Rodale, New York	978-1-59486-567-1
3				

前提学力等

Ability to read, write and speak English

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーE /							担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400085	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	General introduction to the contemporary global environmental issues and reasons considered to have caused these will be taught.
第2回	Contemporary global environmental issues (1)	Biodiversity: The importance of respecting the biological diversity on earth and their influence on earth ' s environment will be taught.
第3回	Contemporary global environmental issues (2)	Pollution: The issues related to land, water, air, noise and light pollution would be introduced.
第4回	Contemporary global environmental issues (3)	Topics such as (a) why and how population growth help to make predictions for change in population size and growth rates will be introduced.
第5回	Contemporary global environmental issues (4)	Global warming: This natural process by which the Earth's surface is warmed will be explained.
第6回	Solutions to Environmental Issues I	The proposal to solve the environmental issues based on Reduce, Reuse, Recycle and Regulate strategy will introduced.
第7回	Solutions to Environmental Issues II	Product design is a key proposal to solve the environmental issues. The necessity to rethink about the material culture will be discussed.
第8回	Eco-design	The basis of product design at present, their influence on environment will be discussed
第9回	Design and sustainability	The topics such as, “What is sustainable development?”, “The key proposals for “Sustainable Development ”will be introduced.
第10回	Eco-effective Product development (1)	Comparison between production processes, Systematic integration of environmental considerations into product development
第11回	Eco-effective Product development (2)	Identify, highlight, and analyze real and significant environmental impacts and incorporate in product development
第12回	Waste Material Management	The present status of waste material management will be introduced
第13回	Recycling law – E-scrap and waste treatment law	The basic information related to recycling laws will be introduced. Then, the recycling laws of Japan will be introduced and discussed.
第14回	Recycling technologies	Recycling technologies will be introduced with some examples and their effectiveness in solving the environmental issues will also be discussed
第15回	Summary	

担当者から一言
Looking forward to meeting you all. Let us discuss about the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And become capable of discussing Environmental issues in English.

講義名	English Lecture A							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400091	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137LAC101								

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the ‘systems' and ‘skills’ that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture A							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400091	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137LAC101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation / Introduction to Language	
第2回	First language acquisition I	
第3回	First language acquisition II	
第4回	Introduction to SLA SLA contexts	
第5回	SLA theory & language teaching I	
第6回	SLA theory & language teaching II	
第7回	SLA theory & language teaching III	
第8回	SLA theory & language teaching IV	
第9回	Individual differences in SLA I	
第10回	Individual differences in SLA II	
第11回	Types of second language knowledge I	
第12回	Types of second language knowledge II	
第13回	Types of second language knowledge III	
第14回	Types of second language knowledge III	
第15回	Final test Course feedback	

担当者から一言

講義名	English Lecture B							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400092	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC204								

授業概要

On this course we will explore the past, present and future of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceeded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Participation: 30% Weekly quizzes: 35%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture B							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400092	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC204								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation The history of English in 30	
第2回	Early history: Romans and Celts	
第3回	Anglo-Saxons & Old English	
第4回	The Vikings & Old English	
第5回	Norman French and the beginning of Middle English	
第6回	The decline of French influence	
第7回	Great writers	
第8回	Standardisation of English	
第9回	American English I	
第10回	American English II	
第11回	Global Englishes I	
第12回	Global Englishes II	
第13回	Modern English	
第14回	Review	
第15回	Final test Course feedback	

担当者から一言

講義名	English Lecture C							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400093	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC205								

授業概要

This is an introduction course of history of immigrants to U.S.A. The purpose of this course is to learn from the history of immigrants to U.S.A. and to broaden viewpoints to understand American society in English. By developing knowledge about the background of immigrants to U.S.A., you will examine the experiences of the immigrants. At the same time, by connecting the history with the present situation, you will find out the relevance to the current issues of the country and other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about the immigrants to U.S.A. to positively participate in pair and group activities. This is a great learning opportunity especially for those who are planning to study abroad in U.S.A. or who has completed studying abroad in U.S.A.

到達目標

(1) To understand the key term of each lecture and illustrate it in 1 English paragraph or more
(2) To carefully listen to each lecture and take notes on 1 topic or more in English
(3) To explain main points of each lecture and describe your finding in 1 English for 5 minutes or more
(4) To critically think about each lecture and express your own opinion in English for 5 minutes or more
(5) To complete each academic reading assignment and summarize it in 1 English paragraph or more

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Definition Quiz (conducted in 6 classes) 20%←Evaluation of Goal #1 (2) Summary Quiz (conducted in 6 classes) 20%←Evaluation of Goal #2 (3) Individual Oral Examination (Conducted in the Exam Week) 20%←Evaluation of Goal #3

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attedance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture C							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400093	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC205								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Guidance	Orientation to the course
第2回	Present Issues	TBA: reading materials Mini-exam
第3回	Early Colonies, Slavery	Reading: pp. 12-22 Mini-exam
第4回	Early Ethnnic Groups	Reading: pp.22-33 Mini-exam
第5回	Early Immigration Conditions	Reading: pp.34-45 Mini-exam
第6回	Irish, Conditions in the U.S.	Reading: pp.46-54 Mini-exam
第7回	Germans, Scandinavians	Reading: pp.55-73 Mini-exam
第8回	Chinese	Reading: pp.73-79 Mini-exam
第9回	Workshop: Cultural Conflict	Experiential learning about cultural conflict
第10回	The Industrial Revolution, New Immigrants	Reading: pp.80-89 Mini-exam
第11回	Immigrants in a New World	Readding: pp.90-101 Mini-exam
第12回	Closing the Gates, Postwar Changes	Reading: pp.102-113 Mini-exam
第13回	Postwar Immigration	Reading: pp.114-125 Mini-exam
第14回	Immigrants to Japan	TBA: reading materials Mini-exam
第15回	Wrap-up	Group presentaion

担当者から一言

講義名	English Lecture D							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC206								

授業概要

This series of lectures aims to overview some basic notions of Cognitive Linguistics and to provide opportunities to realize that linguistic meaning is identified with conceptualization.
本講義では認知言語学の基盤を成す概念を概観し、言語の意味とは話し手の概念化として定義されることを確認する。

到達目標

(1) To appreciate and enjoy intellectual thinking
論理的思考に基づく議論を理解する
(2) To foster objective observation as well as subjective insight
知的気づきに加え、客観的観察・分析を行う能力を涵養する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Final report:50% ((2)50%) 学期末に課す課題レポート：50%（到達目標(2)）
レポート課題		
上記以外	50	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) 議論への参加状況 Tests and reports:30% ((2)30%)

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.
15週からなる講義のうち、4回以上欠席したものは成績評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture D							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC206								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation and Introduction オリエンテーションとイントロダ	Form and Meaning　（言語）形式と意味
第2回	Prototypes and categories (1) プロトタイプカテゴリー(1)	語彙カテゴリーに関する初期の実証的研究 色彩カテゴリー、鳥というカテゴリー
第3回	Prototypes and categories (2) プロトタイプカテゴリー(2)	カテゴリーの内部構造 ：プロトタイプ、家族的類似性、ゲシュタルト
第4回	Prototypes and categories (3) プロトタイプカテゴリー(3)	文脈依存性と文化モデル
第5回	Levels of categorization (1) カテゴリー化のレベル(1)	生物と具体物の基本レベル・カテゴリー
第6回	Levels of categorization (2) カテゴリー化のレベル(2)	上位・下位レベルカテゴリー
第7回	Levels of categorization (3) カテゴリー化のレベル(3)	基本レベルカテゴリーと基本的経験
第8回	Conceptual Metaphors and metonymies	ことばのあやから概念体系へ
第9回	Semantic Network 意味ネットワーク	感情カテゴリーの構造
第10回	Conceptual metaphors 概念メタファー	思考方法としてのメタファー
第11回	Figure and ground (1) 図と地(1)	図と地、トラジェクター/ランドマーク（認知文法） 初期の前置詞研究
第12回	Figure and ground (2) 図と地(2)	スキーマ的主語かプロトタイプ的主語か 認知的際立ちと認知処理
第13回	The frame and attention approach	フレームとスクリプト 事態フレームと注意対象の顕在化
第14回	Other issues in Cognitive Linguistics その他のテーマ(1)	iconicity 類像性 grammaticalization 文法化
第15回	Other issues in Cognitive Linguistics その他のテーマ(2)	Lexical change and prototyipcality 語彙変化とプロトタイプ性

担当者から一言

講義名	English Lecture E							担当教員	John Rippey
講義コード	1400095	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC212								

授業概要

The title of this course is "Loving Nature." The course introduces ideas and actual practices for living in a more environmentally sustainable manner. Course materials introduce traditional and contemporary approaches to environmentally friendly lifestyles, incorporating a cross-cultural perspective. Students become more familiar with attitudes and practices toward plants, animals, and natural environments in Japan, the United States, as well as other countries and cultures. As part of the coursework, students also innovate novel lifestyle approaches of their own. The course is centered on the question of how to live ethical, happy, and fulfilling lives in the accelerating environmental crisis.

到達目標

(1) Students gain broader and deeper knowledge of the range of traditional and contemporary environmental practices and of how these can be adopted into their own lifestyles.
(2) Students become more familiar with environmentally informed writing in various genres.
(3) Students become more grounded in environmental ethics generally, in general, as well as more conscious of their individual codes of environmental ethics.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	Achievement of learning goal (3) is measured by quality of a final research project (describing firsthand interaction with nature) report.
上記以外	70%	Achievement of learning goal (1) is measured by quality of a midterm paper on a sustainable lifestyle project (30%). Achievement of learning goal (2) is measured by quality of weekly in-class rsponse papers on reading

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture E							担当教員	John Rippey
講義コード	1400095	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC212								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Environmental Ethics in Words and Deeds	Overview of the course concerns, content, materials, environmental policies, and projects.
第2回	Ecological Footprint	Measuring the sizes of our individual and societal footprints.
第3回	Radical Changes	Lifestyle adjustments for the environment.
第4回	Eco Villages	Real-time green communities.
第5回	Cooperative Living	Collaborations in the material world.
第6回	Story-X-Change	Students bring personal objects which they do not need or use, with a written story about the object attached, and hold a mock flea market.
第7回	Imagining Animals	The nonhuman in human language.
第8回	Being an Animal	Commonalities among species.
第9回	Imagining Plants	The exercise of empathy. Also, students present on their individual lifestyle experiments.
第10回	Being a Plant	Life experiences of vegetation.
第11回	What Is a Human?	Digging at the roots of environmental problems.
第12回	Wilderness	Images and realities of nature in the West.
第13回	Satoyama	Images and realities of nature in Japan.
第14回	Presentations (1)	Students present on their research project (nature writing).
第15回	Presentations (2)	Students present on their research project (nature writing).

担当者から一言
This course involves sustained, hands-on environmental projects done outside of class, as well as consistent, compulsory homework reading assignments. The course meets twice a week, on Wednesdays (2nd period) and Fridays (1st period); the first class meeting is

講義名	English Lecture F							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400096	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437LAC312								

授業概要

This is an introduction course of Peace and Conflict Studies. The purpose of this course is to learn about conflict, war, and peace and to broaden viewpoints on global issues towards peacebuilding. By developing knowledge about the background of international conflicts, you will analyze the causes of the conflicts. At the same time, by looking at each problem from the global context, you will find out the relevance to the current issues in other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about international conflicts and to positively participate in pair and group activities. This course will be conducted not to USP standards but to global standards in terms of both the contents and the working language.

到達目標

①To peruse 1 chapter before each class and summarize 3 points of the reading
②To understand 1 key terminology in each class and explain it in 1 paragraph
③To take the lead in 1 class discussion and facilitate it for 3 minutes
④To analyze root causes of 1 conflict and illustrate it in 1 diagram
⑤To complete 1 project for peacebuilding and present it for 10 minutes

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①Submission of Self-Study Guide (week 2-12) 20%←Evaluation of Goal #1 ②Definition Quiz (week 2-12) 20%←Evaluation of Goal #2 ③Facilitation of a class discussion (week 13) 20%←Evaluation of Goal #3

If you are late for a class and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attedance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yoursef with online video (YouTube) in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Building Peace: Sustainable Reconciliation in Divided Societies	John Paul Lederach	United States Institute of Peace Press	1-878379-73-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture F							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400096	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437LAC312								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Guidance	Orientation to the course
第2回	Conflict Analysis	Readig: an article Mini-exam
第3回	Global Overview	Reading: pp. 3-10 Mini-exam
第4回	Characteristics of Deeply Divided Societies	Reading: pp. 11-18 Mini-exam
第5回	Reconciliation: The Building of Relationship	Reading: pp. 23-35 Mini-exam
第6回	Structure: Lenses for the Big Picture	Reading: pp. 37-61 Mini-exam
第7回	Process: The Dynamics and Progression of Conflict	Reading: pp. 63-71 Mini-exam
第8回	An Integrated Framework for Peacebuilding	Reading: pp. 73-85 Mini-exam
第9回	Resources: Making Peace Possible	Reading: pp. 87-97 Mini-exam
第10回	Coordination: Points of Contact	Reading: pp. 99-106 Mini-exam
第11回	Preparation for Peacebuilding	Reading: pp. 107-127 Mini-exam
第12回	Strategic and Responsive Evaluation	Reading: pp. 129-148 Mini-exam
第13回	Conclusion	Reading: pp. 149-152
第14回	Conference on Conflict Analysis	Group presentation
第15回	Conference on Peacebuilding Strategy	Individual presentation

担当者から一言

講義名	English Lecture G							担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400097	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437LAC313								

授業概要

In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes.

到達目標

To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The presentation held at the end of the semester will account for 60% of the grade.
上記以外		

Students who abstain from class more than three time will not be considered for evaluation.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Cradle to cradle	William McDonough and Michael Braungart	North Point Press, New York	978-0-86547-587-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sustainable by Design: explorations in theory and practise	Stuart Walker	Earthscan, United Kingdom	9-781-84407-305-4
2	An inconvenient truth	Al Gore	Rodale, New York	978-1-59486-567-1
3				

前提学力等

Ability to read, write and speak English

履修資格

講義名	English Lecture G							担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400097	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437LAC313								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	General introduction to the contemporary global environmental issues and reasons considered to have caused these will be taught.
第2回	Contemporary global environmental issues (1)	Biodiversity: The importance of respecting the biological diversity on earth and their influence on earth ' s environment will be taught.
第3回	Contemporary global environmental issues (2)	Pollution: The issues related to land, water, air, noise and light pollution would be introduced.
第4回	Contemporary global environmental issues (3)	Topics such as (a) why and how population growth help to make predictions for change in population size and growth rates will be introduced.
第5回	Contemporary global environmental issues (4)	Global warming: This natural process by which the Earth's surface is warmed will be explained.
第6回	Solutions to Environmental Issues I	The proposal to solve the environmental issues based on Reduce, Reuse, Recycle and Regulate strategy will introduced.
第7回	Solutions to Environmental Issues II	Product design is a key proposal to solve the environmental issues. The necessity to rethink about the material culture will be discussed.
第8回	Eco-design	The basis of product design at present, their influence on environment will be discussed
第9回	Design and sustainability	The topics such as, “What is sustainable development?”, “The key proposals for “Sustainable Development ”will be introduced.
第10回	Eco-effective Product development (1)	Comparison between production processes, Systematic integration of environmental considerations into product development
第11回	Eco-effective Product development (2)	Identify, highlight, and analyze real and significant environmental impacts and incorporate in product development
第12回	Waste Material Management	The present status of waste material management will be introduced
第13回	Recycling law – E-scrap and waste treatment law	The basic information related to recycling laws will be introduced. Then, the recycling laws of Japan will be introduced and discussed.
第14回	Recycling technologies	Recycling technologies will be introduced with some examples and their effectiveness in solving the environmental issues will also be discussed
第15回	Summary	

担当者から一言
Looking forward to meeting you all. Let us discuss about the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And become capable of discussing Environmental issues in English.

講義名	英語学概論							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ENG203								

授業概要

英語学の下位領域のうち，音韻論、形態論，統語論，意味論，語用論の5領域を中心に基礎的な知識を身につける。加えて英語の歴史的変遷（古英語、中英語、近代英語）について音韻、形態、統語の観点から概観する。
英語表現の構造理解に必要な基本的な知識を身につけ，英文を客観的に考察する力を身につけることを目指す。これに加え，英語で書かれた教科書を使用することで，論理的議論の展開を理解できる英文読解力も併せて養うことを目指す。

到達目標

(1)形態論，統語論，意味論，語用論の4領域の区別とそれぞれの領域の基本的知識を理解する。
(2)構成素と言語の階層性を踏まえ構造的多義性の生じるメカニズムを理解する。
(3)概念的意味と連想的意味の区別を理解し，分析的にことばの意味理解ができる。
(4)メタファーおよびメトニミーという概念を踏まえて多義性および意味のネットワークを理解する。
(5)間接発話行為および会話の協調原則などを踏まえた意味理解ができる。
(6)英文による論理的議論が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	それぞれ到達目標については以下のように配分で評価する。 (1)10%，(2),10%，(3)10%，(4)10%，(5),10%
レポート課題		
上記以外	50	毎回の講義箇所の予習（専門的語彙の確認および概要のまとめ）(30%)および確認小テスト課題(20%)を評価する。到達目標については以下のような配分で評価する。 (1)5%，(2),5%，(3)5%，(4)5%，(5)5%，(6)20%)

4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントするものとする。

授業外学習

英語学という専門的科目を英文で書かれたテキストを利用して学習する科目である。理論的、抽象的レベルでの思考が求められるため、入念な予習は不可欠である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	First Steps in English Linguistics 2nd Edition 英語言語学の第一歩	影山太郎ほか（編）	くろしお出版	978-487424-277-3 C3082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

専門的内容を英語で書かれた教科書で学習するため、英文の基本構造を十分理解している必要がある。

履修資格

講義名	英語学概論							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ENG203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Ch.9: Phonetics and Phonology 音声学・音韻論	授業オリエンテーション ・国際共通語としての英語とは
第2回	Ch.3: Morphology 形態論	How Words Are Made: Morphology Dividing Words in to Parts　形態素
第3回	Ch.3: Morphology 形態論	How Words Are Made: Morphology Derivation　派生
第4回	Ch.4: Semantics 1 意味論 I	How Words Mean 語彙の意味
第5回	Ch.4: Semantics 1 意味論 I	How Words Mean 語彙の意味
第6回	Ch.4: Semantics 1 意味論 I	How Words Mean 語彙の意味
第7回	Ch.5: Syntax 1 統語論 I	How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム
第8回	Ch.5: Syntax 1 統語論 I	How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム
第9回	Ch.5: Syntax 1 統語論 I	How Phrases Are Formed: Syntax 1 句および文の組み上がりのメカニズム
第10回	Ch.7: Semantics 2 意味論 II	How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味
第11回	Ch.7: Semantics 2 意味論 II	How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味
第12回	Ch.7: Semantics 2 意味論 II	How Sentences Mean: Semantics 2 文の意味
第13回	Ch.2: How　English has changed 英語史	How English has changed over the Century 英語の歴史的変遷（古英語・中英語・近代英語）
第14回	Ch.8: Pragmatics 語用論	How to Communicate with Other people: Pragmatics 言語の使用・コミュニケーション
第15回	Ch.8: Pragmatics 語用論	How to Communicate with Other people: Pragmatics 言語の使用・コミュニケーション

担当者から一言
高等学校までに学習した学校文法の延長ないしは、より高度な語法学習といった運用能力を高める内容ではなく、英語という言語をどのように分析するかという「ことばの研究」を概観する科目です。

講義名	英語文献講読Ａ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ILA207								

授業概要

Kate Foxの“Watching the English”を読み、文化人類学の手法、基本的なタームについて学ぶ。

到達目標

（1）文化人類学の考え方、基本的なタームに関する知識。
（2）英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳すことができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	テキストの精読、発表（原則毎回）を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Watching the English	Kate Fox	Hodder & Stougton	978 1 444 78520 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読Ａ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ILA207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	当該部分の読解と解説
第2回	Introduction	当該部分の読解と解説
第3回	Introduction	当該部分の読解と解説
第4回	Introduction	当該部分の読解と解説
第5回	Introduction	当該部分の読解と解説
第6回	Introduction	当該部分の読解と解説
第7回	The Weather	当該部分の読解と解説
第8回	The Weather	当該部分の読解と解説
第9回	The Weather	当該部分の読解と解説
第10回	The Weather	当該部分の読解と解説
第11回	Grooming -talk	当該部分の読解と解説
第12回	Grooming -talk	当該部分の読解と解説
第13回	Grooming -talk	当該部分の読解と解説
第14回	Grooming -talk	当該部分の読解と解説
第15回	Grooming -talk	当該部分の読解と解説

担当者から一言

講義名	英語文献講読Ｂ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ILA208								

授業概要

Kate Foxの“Watching the English”を読み、文化人類学の手法、基本的なタームについて学ぶ。

到達目標

（1）文化人類学の考え方、基本的なタームに関する知識。
（2）英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳すことができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	テキストの精読、発表（原則毎回）を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Watching the English	Kate Fox	Hodder & Stougton	978 1 444 78520 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読Ｂ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337ILA208								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第2回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第3回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第4回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第5回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第6回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第7回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第8回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第9回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第10回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第11回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第12回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第13回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第14回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第15回	Pub-talk	当該部分の購読と解説

担当者から一言

講義名	英米文学概論							担当教員	山本　薫
講義コード	1400107	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC207								

授業概要

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。今日のグローバルな言語である英語と英語社会の背後にあるアングロ・アメリカンの思想的・文化的源流を辿り、その歴史的変化を学ぶ。また、英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。毎回の授業では、英米の代表的な文学作品を取り上げ、時代背景の中で作家・作品を位置づけ、映画化された作品も用いながら理解を深める。授業は原典からの抜粋を用いて進めるが、受講生は翻訳でもかまわないので取り上げる作品は読んでおくことが望ましい。

到達目標

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。今日のグローバルな言語である英語と英語社会の背後にあるアングロ・アメリカンの思想的・文化的源流を辿り、その歴史的変化を学ぶ。また、英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	０	なし
レポート課題	４０	授業で取り上げた文学作品を最低2点選び、その感想文を提出すること。その他、映画やドラマについての感想文は、内容と提出数に応じて加点する。
上記以外	６０	＊リスポンスペーパーの内容（授業に対する理解度と自分の考えが表現できているかを評価）

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で評価を受ける資格を失う）。

授業外学習

時代の雰囲気や背景を理解する、つまり、異文化理解のためにも、できる限り原典を原書あるいは翻訳で読み、映画化・ドラマ化されたものもなるべく観ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なテクストはすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

特になし。英語そのものについての説明はすべてこちらが行います。英語を訳させたり音読させたりはしません。

履修資格

講義名	英米文学概論							担当教員	山本　薫
講義コード	1400107	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC207								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	授業の進め方とノートの取り方、レポート課題の要点について説明。
第2回	古英語・中英語	アーサー王伝説 ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』
第3回	シェイクスピア（16世紀～17世紀初め）	シェイクスピア『ロミオとジュリエット』『ハムレット』『リア王』 ジョン・ミルトン『失楽園』
第4回	小説の勃興　１８世紀	ダニエル・デフォー『ロビンソン・クルーソー』 ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』
第5回	ロマン主義の時代（19世紀前期）	ジェイン・オースティン　『分別と多感』映画『いつか晴れた日に』 『高慢と偏見』
第6回	ヴィクトリア朝時代（19世紀中期・後期）	チャールズ・ディケンズは『オリバー・ツイスト』 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
第7回	20世紀前半	ジョウゼフ・コンラッド『闇の奥』　映画『地獄の黙示録』
第8回	20世紀後半以降	カズオ・イシグロ　『日の名残り』『わたしを離さないで』
第9回	アメリカ植民地時代の文学（17－18世紀）	ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』
第10回	アメリカの小説（１９世紀前半）	エドガー・アラン・ポー『アッシャー家の崩壊』『モルグ街の殺人』 ヘンリー・デイヴィッド・ソロー『ウォールデン-森の生活』
第11回	アメリカの詩	ウォルト・ホィットマン『草の葉』 エミリー・ディキンソン詩集
第12回	19世紀リアリズム小説	マーク・トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』『ハックルベリー・フィンの冒険』
第13回	20世紀小説	アーネスト・ヘミングウェイ『武器よさらば』『誰がために鐘は鳴る』 F・スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』
第14回	世界恐慌から第二次世界大戦	J・D・サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』
第15回	現代のアメリカ小説	コーマック・マッカーシー『血と暴力の国』、『ザ・ロード』

担当者から一言
時代の雰囲気や背景を理解する、つまり、異文化理解のためにも、できる限り原典を原書あるいは翻訳で読み、映画化・ドラマ化されたものもなるべく観ること。

講義名	英米文学講読							担当教員	山本　薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC211								

授業概要

この授業では、2017年にノーベル文学賞を受賞した英国の作家カズオ・イシグロの短編を読み、「日本的なもの」「英国的なもの」、日本と英国の文化的相似点・相違点等イシグロの作品から読み取れるさまざまな問題について議論し、理解を深める。

＊目標

正確な英文読解力・把握力をつける

英国・英国文化はもちろんのこと、日本・日本文化についても理解を深める

問題意識を持って文章を読み、問題提起し、議論を形成する力を養う

到達目標

（1）英文を正確に読みこなす。

（2）作品の歴史的背景を理解する。

（3）上記の読みと理解に基き、自分の考えをまとめ、発表する。

（4）議論を通じて、作品そのものに対する理解及び、異文化理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	各自の読みと授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 （1）どれだけ正確に作品が読めているか （2）テーマ設定がどれだけユニークか
上記以外	60	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

日本語・英語を問わず、いろいろな素材を多読すること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テクストはすべてプリント配布。その他必要なテクストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

中級以上の英文読解力と世界史の知識がある程度は必要ですが、それよりも海外の小説を読んでみたいという意欲があることが大事です。英文読解力と世界史の知識について不安がある場合は事前に問い合わせてください。

履修資格

講義名	英米文学講読							担当教員	山本　薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC211								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	作者カズオ・イシグロの作品と人生、短編作品の歴史的背景を概観し、毎回の授業のすすめかたを説明する。
第2回	短編　'A Family Supper'　読解	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第3回	短編　'A Family Supper'　読解	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第4回	短編　'A Family Supper'	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第5回	短編　‘A Village After Dark’	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第6回	短編　‘A Village After Dark’	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第7回	短編　‘A Village After Dark’	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第8回	短編　‘A Village After Dark’	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第9回	短編　‘A Village After Dark’	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第10回	短編　‘A Village After Dark’	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第11回	短編　‘A Village After Dark’	物語の内容・背景・人物関係・心理について、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第12回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第13回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第14回	Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall	イシグロの英語を精読し、発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第15回	まとめ	これまでの議論の内容をもとに、エッセイを作成する際のポイントを解説。

担当者から一言

講義名	欧米文化特論Ａ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1400221	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC209								

授業概要

欧米文化論Aが現代のドイツ文化を広く取り扱うのに対して、欧米文化特論Aはドイツ語の歴史的変遷をたどることでドイツ文化についての理解を深めることをねらいとしている。主としてドイツ語史、ドイツ文化史、ドイツ文学史、メディア学の観点からドイツの言語・文化・社会がどのように変化したかを概観し、技術の進歩や社会の変化が言語にどのような影響を与えてきたのかについて考える。また文化の担い手が交代してきたことや文化の中心地が移動したことがドイツ語の標準語の成立に果たした役割についても言及する。

到達目標

ドイツ語の歴史についての素養を身につける。また習得した知識に基づいて情報収集を行い、自分の考えをより正確にまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。（1）講義内容を正しく理解し整理することができる。（2）講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また（3）その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	（3）に関してはレポート（７０%）の成績により評価する。
上記以外	30	（1）に関してはノートのコピーの提出（１０%）、（2）に関しては口頭でのミニ報告（２０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

最初の授業で参考文献リストを配布するので、興味のあるテーマを見つけて、それらの関連図書を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総論ドイツ語の歴史	ヴィルヘルム・シュミット著／西本美彦 他訳	朝日出版社	978-4255002699
2	ドイツ文学案内	手塚富雄／神品芳夫	岩波書店	978-4003500033
3	物語ドイツの歴史	阿部謹也	中央公論社	978-4121014207

参考図書リストは授業中に配布する。

前提学力等

ドイツ語やドイツ史に関する基礎知識があり、それらの分野に対する関心があることが望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化特論Ａ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1400221	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337W0C209								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ドイツ語の先史時代（１）	ゲルマンとドイツ
第2回	ドイツ語の先史時代（２）	印欧語研究
第3回	中世初期のドイツ語（１）	ドイツ語の時代区分と地理的区分
第4回	中世初期のドイツ語（２）	古高ドイツ語
第5回	中世盛期のドイツ語（１）	古高ドイツ語から中高ドイツ語へ
第6回	中世盛期のドイツ語（２）	叙事詩
第7回	中世末期のドイツ語（１）	恋愛抒情詩
第8回	中世末期のドイツ語（２）	韻文作品から散文作品へ
第9回	近代初期のドイツ語（１）	初期新高ドイツ語；グーテンベルクの印刷術
第10回	近代初期のドイツ語（２）	ルターの聖書
第11回	近代中期のドイツ語	規範としての文法
第12回	近代後期のドイツ語	ドイツ語研究の発展
第13回	現代ドイツ語	第二次世界大戦以降のドイツ語
第14回	まとめ（１）	ミニ報告（１）
第15回	まとめ（２）	ミニ報告（２）

担当者から一言
ただ授業を聞くだけでなく、授業で得た情報をもとにして、さらに自分で文献にあたって内容を深めてください。卒業論文のテーマ探しのヒントにもなると思います。

講義名	欧米文化特論Ｂ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1400222	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC210								

授業概要

「ことばと食」をテーマに、近代フランスの美食文化について講義を行う。今日、フランスがその高度な食文化を誇る背景として、食を様々な角度から語る「ことば」の豊富さが不可欠の要素として挙げられる。授業では食をめぐる様々な言説の歴史をたどり、歴史的知識を学ぶとともに、食について考えるための視点を養う。また授業で提示された主題の中から、自らの関心に最も合うものを見出し、それに関して自ら調べ、考えることも求める。
（「フランス文化論」と一部内容をあえて重複させつつ、より詳細な内容へ踏み込むつもりである。）

到達目標

（１）フランス近代の美食文化の歴史について知識を得る。
（２）自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
（３）自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	１００	到達目標で示す（１）（２）については期末レポート（７０%）、（３）についてはミニ発表（３０%）で評価する。 １００点満点で採点し、６０点以上を合格とする。 ※ミニ発表については、受講人数に応じて発表時間の設定は変動するが、およそ１０分～１５分を予定している。発表
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント配布。参考書：橋本周子『美食家の誕生』（名古屋大学出版会）；八木尚子『フランス料理と批評の歴史』（中央公論新社）；

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献などは授業内で適宜、指示する。また必要なものはプリントにして配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化特論Ｂ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1400222	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337W0C210								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	
第2回	料理書の世界１	
第3回	料理書の世界２	
第4回	料理書の世界３	
第5回	美食批評１	
第6回	美食批評２	
第7回	美食批評３	
第8回	哲学者と食１	
第9回	哲学者と食２	
第10回	哲学者と食３	
第11回	文学と食１	
第12回	文学と食２	
第13回	文学と食３	
第14回	総括１	講義全体の内容を振り返りながら総括を行う。
第15回	総括２	講義全体の内容を振り返りながら総括を行う。

担当者から一言
フランス語を履修していることが望ましいが、必須ではない。 フランス語の文献を用いを積極的に学びたいものには原語資料も配布する。

講義名	欧米文化特論Ｃ							担当教員	山本　薫
講義コード	1400223	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC211								

授業概要

この授業では、ヨーロッパ思想史の大家マーティン・ジェイの視覚論をテクストにし、科学革命とルネッサンスによって始まる近代において西欧文化の中で支配的であった視覚及び「視覚的なもの」について議論を通して理解を深める。西欧近代において、視覚が聴覚、触覚、味覚、嗅覚という人間の感覚の中でいかに中心化されてきたかを学び、現代日本に生きる我々自身もいかに視覚中心的な考えに影響されているかについて考える。授業ではジェイの英語論文の日本語訳を用いるが、必要に応じて英語の原典を参照する。

到達目標

（１）卒論の準備として、海外の評論を正確に読みこなす。

（２）西欧の思想・文化を理解する。

（３）上記の読みと理解に基き、自分の考えをまとめ、発表する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	０	なし
レポート課題	４０	授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 （１）どれだけ正確に評論が読めているか
上記以外	６０	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テクストはすべてプリント配布。その他必要なテクストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

中級以上の英文読解力と世界史の知識がある程度は必要ですが、実際に授業中に読むのは日本語訳です。なによりも海外の評論を読んでみたいという意欲があることが大事です。英文読解力と世界史の知識について不安がある場合は事前に問い合わせてください。

履修資格

講義名	欧米文化特論Ｃ							担当教員	山本　薫
講義コード	1400223	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC211								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	思想史を概略し、議論をする上で必要なキーワードについて説明する。
第2回	ハル・フォスター編『視覚論』	日本人訳者による本書のあとがきを用いて、内容をあらかじめ概観する。発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第3回	ハル・フォスター編『視覚論』	日本人訳者による本書のあとがきを用いて、内容をあらかじめ概観する。発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第4回	おさらい	本文を読む前に、ここまでの授業で学んだ事柄をおさらいする。受講者の質問を受け付ける。
第5回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第6回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第7回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第8回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第9回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第10回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第11回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第12回	マーティン・ジェイ「近代性における『視の制度』」	発表者の問題提起の後、全員で議論し、理解を深める。
第13回	期末レポートのためのおさらい	ここまでの授業で学んだ事柄をおさらいする。受講者の質問を受け付ける。
第14回	期末レポートのためのおさらい	各自のレポートのテーマを発表し、質疑応答を行う。
第15回	まとめ	これまでの議論の内容をもとに、エッセイを作成する際のポイントを解説。

担当者から一言

講義名	欧米文化特論D							担当教員	John Rippey
講義コード	1400224	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC212								

授業概要

This course surveys the history of the United States by exploring the historical experiences of four social groups: Native Americans, African Americans, laborers, and women. The course takes a cultural or people's history approach to the topic, focusing on the viewpoints of ordinary people and considering issues of ethnicity, race, class, and gender in American society. Students discuss readings and draw connections between historical phenomenon and contemporary events. Students write a research paper about a specific topic in American history of their own choice.

到達目標

(1) Students broaden and deepen their knowledge and understanding of the history of the United States in general terms, and of the historical experiences of four groups of Americans (Native Americans, Aftican Americans, working class Americans, and women) in particular.
(2) Students develop their ability to research, analyze, and interpret social and cultural issues for both historical significance and contemporary relevance, and to communicate their interpretations to others.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly, in-class response papers to reading assignments and discussion topics.
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final research paper (40%) and presentation on the research paper (10%).

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	A Young People's History of the United States: Columbus to the War on Terror	Howard Zinn, adapted by Rebecca Stefoff	Seven Stories Press	978-1583228692
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化特論D							担当教員	John Rippey
講義コード	1400224	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337WOC212								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Introduction to people's history of the United States, overview of course topics and materials.
第2回	Native Americans in the American Colonial Period	Native American experiences and culture through the Revolutionary War
第3回	African Americans in the American Colonial Period	African American experiences and culture through the Revolutionary War.
第4回	Laborers in the Precolonial and Colonial Periods	Lives and conditions of laborers before and after coming to America.
第5回	Women in the Precolonial and Colonial Periods	American women's lives and standing through the Revolutionary War.
第6回	Native Americans in the 19th Century U.S.	American Indian experiences: removal, assimilation, resistance.
第7回	African Americans in the 19th Century U.S.	Slavery, abolition, civil war, emancipation, reconstruction.
第8回	Laborers in the 19th Century U.S.	Industrialization, unionization, immigration.
第9回	Women in the 19th Century U.S.	Women's roles, economics, education.
第10回	Native Americans in the 20th Century U.S.	Re-evaluation of traditional culture, self-determination.
第11回	African Americans in the 20th Century U.S.	The civil rights movement, black power.
第12回	Laborers in the 20th Century U.S.	Great Depression, New Deal, immigration, working poor.
第13回	Women in the 20th Century U.S.	Suffrage, feminism, women's liberation, politics
第14回	Research Paper Presentations	Each student presents and leads a class discussion on her/his research paper topic (half of the class members).
第15回	Research Paper Presentations	Each student presents and leads a class discussion on her/his research paper topic (half of the class members).

担当者から一言
The course involves regular compulsory homework assignments, characteristically readings from the textbook, and weekly class discussions.

講義名	欧米文化論Ａ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1400225	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC101								

授業概要

歴史、社会問題、環境政策、芸術運動などをテーマに取り上げてヨーロッパの一員であるドイツをさまざまな角度から考察する。その際、ただドイツ文化の知識を得るばかりではなく、ものの見方を身につける練習をする。

到達目標

ドイツ語の文化圏について幅広い知識を身につける。文化をさまざまな視点から観察する力を身につけるとともに、授業で得た知識をもとに情報を収集し、自分の考えをまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。（１）講義内容を正しく理解し整理することができる。（２）講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また（３）その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	（３）に関してはレポート（７０%）の成績により評価する。
上記以外	30	（１）に関してはノートのコピーの提出（１０%）、（２）に関しては口頭でのミニ報告（２０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

興味のあるテーマを見つけて、積極的にその関連図書を参照して理解を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新ドイツの街角から－ドイツ文化事情－	高橋憲	郁文堂	978-4261012408
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論Ａ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1400225	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ヨーロッパにおけるドイツ	ヨーロッパ、EU、ユーロ圏、シェンゲン協定など。
第2回	食文化	伝統 vs グローバル化（1）
第3回	マイスター制度	伝統 vs グローバル化（２）
第4回	教育制度＆ボランティア制度	伝統 vs グローバル化（３）
第5回	環境政策・環境教育（１）	未来に向けての取り組み（１）
第6回	環境政策・環境教育（２）	未来に向けての取り組み（２）
第7回	歴史教育・歴史認識	過去の克服
第8回	東西ドイツの分断と再統一（１）	二つのドイツ（１）
第9回	東西ドイツの分断と再統一（２）	二つのドイツ（２）
第10回	移民と社会統合	少子高齢化と労働力
第11回	選挙制度	選挙が実生活に及ぼす影響
第12回	祭事	伝統
第13回	デザイン	伝統と革新
第14回	まとめ（１）	ミニ報告（１）
第15回	まとめ（２）	ミニ報告（２）

担当者から一言
ただ授業を聞くだけでなく、授業で得た情報をもとにして、さらに自分で文献にあたって内容を深めてください。卒業論文のテーマ探しのヒントにもなると思います。

講義名	欧米文化論Ｂ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1400226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC102								

授業概要

フランス文化について、以下三つを軸として講義します。
１：　フランスの文化を考えるうえで不可欠となる、この国の歴史や、基本的理念について概観する。
２：　「食」を主たる題材として、文化を学問的に扱うとはどのようなことかを体験する。
３：　異文化について学びながら、自らの文化との比較の視座を養う。

なお、講義の後半では、ミニ発表を予定しています。発表のテーマについては講義で扱うものに限定しません（そのため講義では、様々なテーマについて紹介する機会を持ちます）。授業を通じ、それぞれが選んだテーマを自分たちなりに調べ、考えることを求めます。

到達目標

（１）文化について学問的に考えることの面白さを知る。
（２）自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
（３）自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	５０	到達目標で示す（１）（２）については期末レポート（５０%）
上記以外	５０	（２）についてはミニ発表（５０%）

※ミニ発表については、受講人数に応じて発表時間の設定は変動するが、およそ１０分～１５分を予定している。発表資料を作成し、授業時間を用いて発表をしてもらう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考図書、その他資料について、授業中に紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論Ｂ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1400226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137W0C102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	フランスという国のなりたち	文化を考えるうえで不可欠な、フランス史の全体の流れを概観する。
第2回	フランスという国のなりたち	「自由」「平等」「友愛」など、現代フランスの礎をなす概念について考える。
第3回	フランスという国のなりたち	
第4回	食の歴史１	
第5回	食の歴史２	
第6回	食の歴史３	
第7回	食の歴史４	
第8回	食の現在１	
第9回	食の現在２	
第10回	食の現在３	
第11回	食の現在４	
第12回	比較の観点１	
第13回	比較の観点２	
第14回	総括とミニ発表１	講義全体の総括を行う
第15回	総括とミニ発表２	講義全体の総括を行う

担当者から一言

講義名	欧米文化論Ｃ							担当教員	山本　薫
講義コード	1400227	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC103								

授業概要

この授業では、19世紀的末以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら議論し、理解することを目指す。必要に応じて、映画化された英国小説もあわせて用い、映像を通して理解を深める。

到達目標

(1)19世紀的末以降の英国の小説・映画の中で描かれる英国文化の（授業計画で挙げた）さまざまな側面についての議論を通して、「英国人気質」(Britishness)について理解する。
(2)(1)で考察した英国文化の諸側面を、ヨーロッパ大陸の文化と比較しながら相対化しつつ理解を深める。
(3)「英国人気質」(Britishness)考察を通して異文化理解、また自国文化の理解についてそれぞれ独自の考えを構築する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	授業中の板書及び授業内の議論内容をしっかりメモし、自分なりのノートをつくり、それを基に期末レポートを作成すること。講義を基に自分なりの英国文化理解ができているかを評価する。
上記以外	60	リスポンス・ペーパーの内容（授業に対する理解度と自分なりの英国像が構築できているかを評価：50点）。 授業中にあげた小説や映画についてのエッセーを、提出数と内容に応じて評価する（10点まで）。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。

授業外学習

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んだりみたりすることを勧める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テクストは必要に応じてすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

受講資格ではないが、受講には世界史の知識が必要である。授業での紹介するが、世界史についての本を事前に読んでおくことが望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化論Ｃ							担当教員	山本　薫
講義コード	1400227	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	授業の進め方とノートの取り方、レポート課題の要点について説明。
第2回	'Britishness'について	『日の名残り』を見ながら、イメージの「英国的気質」について考える。
第3回	ヨーロッパ大陸との比較	ジョージ・オーウェルの英国論をたよりに、「英国的気質」を知り、大陸的な文化というコンテクストで理解する
第4回	Multicultural Britain	映画『ロンドン・リバー』『』を見ながら移民問題について考える。
第5回	Languages, dialects	例えば映画『リトルダンサー（ビリー・エリオット）』、
第6回	Homes, gardens and the countryside	ガーデニングの文化的考察
第7回	Ａｒｔ: Music	ビートルズ、ローリング・ストーン、デヴィッド・ボウイ、コールド・プレイ、ブラー、ワン・ダイレクションを概観する。
第8回	Art: Fashionその他	ヨーロッパとの比較において、英国のファッションや絵画を概観する。
第9回	Food	英国の食文化の歴史的変遷を辿り、悪名高い英国料理の実際を知る。
第10回	Fantasy	『ハリー・ポッター』『シャーロック・ホームズ』に見る英国的想像力を考える。
第11回	Sports	サッカー、ラグビー、テニスに見る階級
第12回	Politics and government	英国の保守と革新について
第13回	Social Class	映画『この自由な世界で』を見ながら今のロンドンにおける労働者事情と移民問題を考える。
第14回	田舎と都会	英国を舞台とする多くの映画や文学作品にみられる田舎と都会の対比を概観する。
第15回	'Britishness'とまとめ	対仏戦争を通して形成されてきた英国（人）のアイデンティティについて

担当者から一言
異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んだりみたりすることを勧める。

講義名	欧米文化論Ｄ							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400228	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137WOC104								

授業概要

この科目の目的はアフリカ系アメリカ人の歴史を学ぶことによって現在のアメリカ社会の問題を見極め、その解決を見通す視野を養うことです。アメリカ文化という異文化を理解する鍵はアフリカ系アメリカ人の歴史にあります。アフリカ系アメリカ人の歴史についての見識を広げる受信力と、その知識をもとにアメリカ社会の問題を提起する発信力の両方を磨きます。そのために欠かせないのがアフリカ系アメリカ人の歩みを自分自身に引きよせて問題意識を持って調べる力です。探究心を高め、得た知見を活かし、日本を含めた世界の諸地域の課題とアフリカ系アメリカ人の課題とを結びつけられるようになることが当科目の価値です。積極的に相互の学びを深めていくために、ペア・ワークやグループ・ワークを中心にした参加型の形態で授業を進めます。アメリカ留学を目指している人・アメリカ留学をひかえている人・アメリカ留学を終えた人の受講を歓迎します。

到達目標

受信力：アフリカ系アメリカ人の歴史の一時代の経緯を1段落以上の日本語で解説できる。
受信力：アフリカ系アメリカ人の歴史の一時代の意義を1段落以上の日本語で記述できる。
発信力：アフリカ系アメリカ人の歴史上のターニングポイントについて1分間以上日本語で説明できる。
発信力：アフリカ系アメリカ人の歴史上の出来事と現今のアメリカ社会の課題を3分間以上日本語で発表できる。
探究心：アフリカ系アメリカ人をめぐる12の問題を広く異文化理解や多様性受容の問題に位置づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	①理解テスト（授業内小テスト）20%←到達目標①を評価 ②解釈テスト（授業内小テスト）20%←到達目標②を評価 ②個別口頭試問（テスト期間に実施）20%←到達目標③を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象にしません。参加型の授業は遅刻や欠席によって自らとクラスメイトの学習の双方の効果を損なうからです。

授業外学習

毎回テキストを読み込んで内容をまとめてくることを授業出席の大前提とします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アメリカ黒人の歴史	本田創造	岩波書店	4-00-430165-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論Ｄ							担当教員	谷口　真紀
講義コード	1400228	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137W0C104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス：異文化理解の手立てとしてのアフリカ系アメリカ人の	授業の進め方の相互確認
第2回	プロローグ：「アメリカ黒人とは」	テキスト1-16頁 小テスト
第3回	「植民地時代の奴隷制度」	テキスト17-40頁 小テスト
第4回	「独立革命」	テキスト41-57頁 小テスト
第5回	「南部の綿花王国」	テキスト59-74頁 小テスト
第6回	「奴隷廃止運動」	テキスト75-99頁 小テスト
第7回	「南北戦争」	テキスト101-124頁 小テスト
第8回	「南部の再建と黒人差別制度」	テキスト125-144頁 小テスト
第9回	「近代黒人解放運動」	テキスト145-165頁 小テスト
第10回	「公民権闘争の開幕」	テキスト167-186頁 小テスト
第11回	「黒人革命」	テキスト187-229頁 小テスト
第12回	ワークショップ：異文化理解・多様性受容	「青い目・茶色い目」
第13回	「アメリカ黒人の現在」	テキスト231-252頁 小テスト
第14回	エピローグ：アメリカ・アフリカを含む世界の諸地域・日本をつな	資料配布 小テスト
第15回	まとめ	グループ発表

担当者から一言

講義名	海外留学							担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237SAB201								

授業概要

世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニ ケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるという点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自の体験についての自己省察を深めてゆくための働きかけをする。

到達目標

(1) 留学先の大学で語学力を向上させる。
(2) 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。
(3) 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

留学帰国後、「海外留学単位認定申請書」に必要事項を記入し、ゼミ指導教員の確認印をもらい、CommunicationLoungeに提出する。トータルの滞在期間、ミニレポートの提出状況等を学科において総合的に判断し、概ね1か月1単位を目安として認定する単位数を学科で決定める。

授業外学習

留学中にレポート課題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

留学先大学が求める語学力をクリアしていること。

履修資格

講義名	海外留学							担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237SAB201								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	留学制度についての説明。 留学の意義、海外に滞在中気を付けるべき点などに関する説明をおこなう。

担当者から一言

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業種別	実習		
ナンバリング番号	137BAC101-C								

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習。テーマごとに班編成をし、事前学習、現地でのフィールドワークをおこなう。最終プレゼンテーションでは、実習の成果を英語で発表する。

到達目標

(1)文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。
(2)地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。
(3)個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。
(4)調査結果を発表する能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	実習への参加状況、議論への参加、 最終的なプレゼンテーションの状況によって総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業種別	実習		
ナンバリング番号	137BAC101-C								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	班分けをし、全体の計画について説明する。
第2回	班別学習（１）	事前学習
第3回	班別学習（２）	事前学習
第4回	班別学習（３）	事前学習
第5回	班別学習（４）	事前学習
第6回	班別学習（５）	事前学習
第7回	班別学習（６）	事前学習
第8回	班別実習（１）	現地でのフィールドワーク
第9回	班別実習（２）	現地でのフィールドワーク
第10回	班別実習（３）	現地でのフィールドワーク
第11回	班別実習（４）	現地でのフィールドワーク
第12回	班別実習（５）	現地でのフィールドワーク
第13回	班別実習（６）	現地でのフィールドワーク
第14回	班別実習（７）	現地でのフィールドワーク
第15回	班別実習（８）	現地でのフィールドワーク
第16回	班別実習（９）	現地でのフィールドワーク
第17回	班別実習（１０）	現地でのフィールドワーク
第18回	班別実習（１１）	現地でのフィールドワーク
第19回	班別実習（１２）	現地でのフィールドワーク
第20回	班別実習（１３）	現地でのフィールドワーク
第21回	班別実習（１４）	現地でのフィールドワーク
第22回	班別実習（１５）	現地でのフィールドワーク
第23回	班別実習（１６）	現地でのフィールドワーク
第24回	班別実習（１７）	現地でのフィールドワーク
第25回	班別学習（７）	最終プレゼンテーションの準備
第26回	班別学習（８）	最終プレゼンテーションの準備
第27回	班別学習（９）	最終プレゼンテーションの準備
第28回	班別学習（１０）	最終プレゼンテーションの準備
第29回	最終プレゼンテーション（１）	英語で成果発表を行う。
第30回	最終プレゼンテーション（２）	英語で成果発表を行う。

担当者から一言

講義名	基礎演習Ⅰ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400421	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237TUT101								

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
年度はじめの学科オリエンテーションにおいて詳しく説明する。

到達目標

(1) 各学問分野への理解を深める。
(2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
(3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習Ⅰ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400421	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237TUT101								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	基礎演習の位置づけについて。 各ゼミの担当者による説明をおこなう。

担当者から一言

講義名	基礎演習II（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400422	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237TUT102								

授業概要

原則として基礎演習Ｉから継続して同じゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
海外留学中の学生も履修し、インターネット等を通じて指導を受ける。

到達目標

(1) 各学問分野への理解を深める。
(2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
(3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	発表および討論への参加状況、学問の基本的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習Ⅱ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400422	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237TUT102								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	研究演習Ⅰ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400611	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437TUT305								

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成に向けての文献収集、調査研究を行い、実際に章立てをおこなってみる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習Ⅰ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400611	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437TUT305								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	研究演習II（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437TUT306								

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習Ⅱ（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1400612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437TUT306								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	言語接触論							担当教員	呉　凌非
講義コード	1400632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC209								

授業概要

基本的には、異文化が接触すれば、言語の接触も伴い、その結果として、外来語が生まれます。異文化の接触を地層調査に類似する考え方で通時的に調査するこ とで、外来語の発生についてみることができます。とくに日中間の文化交流が多く、外来語の発生も多いです。それらの外来語の発生の様相、そして現在日中両 言語のなかでどのように使われているかなどを講義します。

到達目標

（1）言語学関連の基礎知識を習得すること
（2）外来語に関連する基礎知識を習得すること
（3）日中ことばの交流に関連する知識を習得すること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合によって判断します。
レポート課題	25%	授業態度、課題、出席などによって判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書を使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の際に説明します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと。

履修資格

講義名	言語接触論							担当教員	呉　凌非
講義コード	1400632	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC209								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	講義の流れ、予備知識などについて説明します。
第2回	方法論	言語接触論の勉強に関連する方法論について紹介します。
第3回	言語学理論（1）	言語学の基礎知識について講義をする。
第4回	言語学理論（2）	言語学の基礎知識について講義をする。
第5回	言語学理論（3）	言語学理論（3）
第6回	語彙形成（1）	一般的な意味における語彙形成について講義をします。
第7回	語彙形成（2）	一般的な意味における語彙形成について講義をします。
第8回	語彙形成（3）	一般的な意味における語彙形成について講義をします。
第9回	外来語（1）	外来語についての面々を講義します。
第10回	外来語（2）	外来語についての面々を講義します。
第11回	言語接触の必然性（1）	言語が接触するメカニズムについて講義します。
第12回	言語接触の必然性（2）	言語が接触するメカニズムについて講義します。
第13回	日中言葉の交流史（1）	日本語と中国語の交流を外来語の視点から紹介します。
第14回	日中言葉の交流史（2）	日本語と中国語の交流を外来語の視点から紹介します。
第15回	日中言葉の交流史（3）	日本語と中国語の交流を外来語の視点から紹介します。

担当者から一言
すべての学問は分類に始まる。

講義名	現代英文法							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC203								

授業概要

英語圏への留学する学生にとって、高校で教わった学校文法（規範文法）のみでは不十分な部分が少なくない。この授業では現代言語学の知見を参考に日本語と対照比較ながら英語の文法・語法を学習する。

到達目標

(1)類似した語彙・表現の意味的違いを理解できる。
(2)冠詞および名詞を正しく用いることができる。
(3)提示構文などの構文を正しく用いることができる。
(4)「情報構造」を理解できる。
(5)英文で書かれた英語語法説明を読み理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	学期末試験(1)-(5)
レポート課題		
上記以外	30%	授業内での口頭による試問（日本語和訳、内容確認ほか）(5)

４回以上欠席したものは評価対象としない。理由のない遅刻はその程度に拘わらず欠席としてカウントする。

授業外学習

事前に課題文献を予習し、和訳およびその要旨を答えられるように準備すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

関連する教材は印刷媒体または、PDF電子媒体で事前に配布する。パワーポイント資料を用いて講義を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Practical English Usage third edition	Michael Swan	Oxford	0-19-442-98-1
2				
3				

実践的英語の語法などを知るのに有用な文法書。

前提学力等

２回生以降の英語圏への留学学生を念頭においた授業のため、１年次での履修は原則的に認めない。

履修資格

講義名	現代英文法							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400633	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237LAC203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス 情報構造	受動態
第2回	情報構造	倒置
第3回	情報構造	存在表現
第4回	使役構文	主語＋Make/Let/Have＋目的語＋原型　構文
第5回	使役構文	迂言的使役と関連構文表現
第6回	認知的際立ちと構文表現	二重目的語構文と与格構文
第7回	認知的際立ちと構文表現	その他の類似した意味の構文表現 Spray/load 交替
第8回	認知的際立ちと構文表現	接触動詞構文 Have a walk構文
第9回	中間まとめ	中間まとめ
第10回	移動表現の日英対照 衛星・動詞枠付け言語	衛星枠付け言語と動詞枠付け言語の類型論のエッセンス
第11回	移動表現の日英対照 衛星・動詞枠付け言語	衛星枠付け言語と動詞枠付け言語の類型論のエッセンス
第12回	対人関係の関わる日英の言語表現	感じのよい英語表現
第13回	丁寧な過去形表現 Attitudinal Use of the Past	過去形を用いる慣習化した丁寧表現
第14回	日本語の複合動詞表現の英語の対応構文	結果構文、描写構文
第15回	まとめ	総括

担当者から一言

講義名	英語学基礎							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400634	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ENG101								

授業概要

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、 講義およびディスカッションにはできるだけ英語を使用します。受講者は、割り当てられた担当部分の内容を分かりやすく英文レポートにまとめ、英語で発表することが求められます。それぞれの発表の後、発表者の理解に間違いはないか等ディスカッションを行います。なお、英語母語話者による講義を聴き取る能力を維持、向上させるため、課題は論文にかぎらず、音声データを聞き取りも含みます。
授業内容については、認知言語学にとどまらずその他の多くの学問領域に影響を与えている文献・論文（英語）および英語講義音声データを使用し、人の思考や概念化について考えます。

到達目標

(1)論理的な英文の内容を聴き取れる。
(2)論理的な英文の内容を正確に読み取れる。
(3)理解した内容を踏まえて英語で説明することができる。
(4)英語で議論に参加できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(1):20%　(2):20%　(3):10%
上記以外	50	到達目標(3)(4)：20% 読書課題(Reading Assignment)箇所のプレゼン 到達目標(5)　：30% プレゼン内容についての質疑応答・議論

4回以上欠席したものは評価対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントする。

授業外学習

徹底した予習を行い、読書指定箇所の内容を十分にお見込み理解しておくこと。プレゼン担当の場合は、必要に応じてパワーポイント、配布資料等を事前に準備し授業に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料は印刷またはPDF電子媒体で事前に配布。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、15回の内6回は英語による言語学講義の音声データを事前に聴き取り、その内容を理解整理して授業に臨むことが必要である。そのため十分な英語聴解能力および英語でのプレゼンおよびディスカッションが求め

履修資格

講義名	英語学基礎							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400634	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ENG101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	異文化について、以下の題材でウオーミングアップ You and I are Equals in Polite Fictions in Collision(1-5)
第2回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 1	下記の英語講義音声データをについて英語で内容確認を行う。 Lecture 1 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第3回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 1	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 1 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第4回	読解資料　(Lindner (1981))	下記の論文の前半輪読 Lindner,S(1981:305-323) What goes up doesn't necessarily come down
第5回	読解資料　(Lindner (1981))	下記の論文の後半輪読 Lindner,S(1981:305-323) What goes up doesn't necessarily come down
第6回	読解資料（Dewell (1994))	下記の論文輪読するにあたっての予備的導入講義 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第7回	読解資料（Dewell (1994))	下記の論文の前半輪読 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第8回	読解資料（Dewell (1994))	下記の論文の後半輪読 Dewell(1994: 351-380)Over again: Image-schema transformations in semantic analysis
第9回	読解資料（Fillmore (1982))	下記の論文輪読するにあたっての予備的導入講義 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第10回	読解資料（Fillmore (1982))	下記の論文の前半輪読 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第11回	読解資料（Fillmore C(1982))	下記の論文の後半輪読 Fillmore C(1982: 239-262) Frame Semantics
第12回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 2	下記の英語講義音声データをについて英語で内容確認を行う。 Lecture 2 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第13回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 2	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 2 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第14回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 3	下記の英語講義音声データをについて英語で内容確認を行う。 Lecture 3 in Ten Lectures on cognitive linguistics
第15回	聴解資料（Lakoff (2007)より） Lecture 3	下記の英語講義音声データをもとに英語で議論を行う。 Lecture 3 in Ten Lectures on cognitive linguistics

担当者から一言
日本語による解説といった講義形態をできるだけ避け、言語学・英語学の基礎をトピックに留学先で培った英語力を結局的に駆使してディスカッションする授業実践を目指す。なお、プレゼンテーションについては、正確な理解に基づいた文法的に的確な表現(accuracy)を、ディスカッション

講義名	日本語教育基礎							担当教員	安本　博司※
講義コード	1400635	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137LAC102								

授業概要

この授業では、日本語教育の現状の理解、また日本語教育に関わる知識を増やし、それらを基に学生が主体的に授業に参加できる環境をつくっていく。具体的には、教案の作成、模擬授業などを通して、日本語教育の現場では、どのような教え方がされているのか、体験してもらう。

到達目標

(1)　日本語学習者のニーズを知り、日本語教育の現状を理解する
(2)　普段、話している、聞いている日本語を意識し、客観的に捉える習慣を身につける
(3)　日本語を教えるための基礎、方法（教え方の一例）を学び、実践で使えるようになる
(4)　日本語教育を通して、異文化理解、多文化共生の重要性を認識できるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	０％	
レポート課題	０％	
上記以外	１００％	・模擬授業での発表　40% ・日本語教育に関する知識を問う小テスト（２回）　20% ・平常点（態度、出席、授業への参加度）　40%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

１．日本語教育に関する小テストを２回実施するため、授業の復習は必須である
２．模擬授業前の各グループの準備状況いかんによって、授業外で準備が必要になることもある

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語初級Ｉ　第２版　本冊	スリーエーネットワーク　編著	スリーエーネットワーク	978-4-88319-603-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	日本語教育基礎							担当教員	安本　博司※
講義コード	1400635	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137LAC102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・授業の進め方、評価方法などの説明 ・日本語教育と国語教育の違い理解する
第2回	日本語教育の現状	・国内外の日本語教育の現状を知る ―国内外の学習者数、学習者のニーズの把握など―
第3回	教授法	・教授法の紹介とその背景にある理論を知る ・国内の日本語教育機関でどのような教授法が主として採用されてきたのか概観する
第4回	使用教材と教具の使い方	・市販されている日本語テキスト（対象者、目的、特徴など）や教具の使い方についての説明
第5回	教え方のデモンストレーション	・入門/初級学習者に対して、教育現場では、実際にどのように教えているのか、テキストを用いて一例を示す
第6回	教案作成①	・教案の作成の基礎を学ぶ ・いくつかの教案を見て、その教案を検討する
第7回	教案作成②	・グループに分かれて、初級の文型導入、練習を考え、教案を作成する
第8回	教案に対するフィードバック	・出来上がった教案は、各グループで共有し、検討する ・教案に対するフィードバック（改善点など提示）
第9回	教案作成③	・グループに分かれて、中級の文型導入、練習を考え、教案を作成する
第10回	教案に対するフィードバック	・出来上がった教案は、各グループで共有し、検討する ・教案に対するフィードバック（改善点など提示）
第11回	模擬授業の準備①	・作成した教案を基に、実際の授業を意識して、教具の選定、教材の作成をおこなう ・必要に応じて教案を修正する
第12回	模擬授業の準備②	・作成した教案を基に、実際の授業を意識して、教具の選定、教材の作成をおこなう ・必要に応じて教案を修正する
第13回	模擬授業①	・各グループによる授業 ・学生相互のフィードバック
第14回	模擬授業②	・各グループによる授業 ・学生相互のフィードバック
第15回	まとめ　フィードバック	教師からのフィードバック

担当者から一言

講義名	国際関係論							担当教員	赤尾　光春※
講義コード	1400861	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

イスラエル・パレスチナ紛争（中東紛争）は、世界で最も解決が困難な紛争の一つと言える。この紛争の性格を深く理解するためには、一方の当事者であるイスラエル国家を支えるユダヤ人社会の歴史と文化とともに、その建国を推進したユダヤ人の「帰還運動」としてのシオニズムの理解が不可欠である。本授業では、主としてユダヤ人の宗教文化との関わりから、シオニズム運動の誕生からイスラエルの建国までの歴史を辿ることを通して、中東紛争の解決を困難にしている諸要因の理解を深める。※ 授業計画については一部変更になることもある。

到達目標

（1）中東紛争の当事者の一方であるユダヤ人の社会とその文化についての基本的な知識について学習する。（2）近現代ヨーロッパ史においてユダヤ人が置かれてきた社会政治状況についての理解を深める。（3）中東紛争およびイスラエル国家をめぐる諸状況についての基本的な知識を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容に基づいて、各トピックについての基本的な認識が身についているかどうか、各自なりの考察を展開できるかどうかを評価する。
上記以外	30	15回の授業のうち数回ほどリアクションペーパーを課し、出席点の代わりとする。

授業外学習

配布した資料をよく読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ディアスポラから世界を読む	臼杵陽・赤尾光春・早尾貴紀	明石書店	4750330116
2	シオニズムの解剖	臼杵陽・赤尾光春・早尾貴紀	人文書院	9784409230473
3	ユダヤ人と自治	赤尾光春・向井直己	岩波書店	400025426X

前提学力等

履修資格

講義名	国際関係論							担当教員	赤尾　光春※
講義コード	1400861	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ユダヤ人とは誰か？	ユダヤ人の定義について様々な角度から検討する。
第2回	ディアスポラ（民族離散）とは何か？	民族離散を意味する「ディアスポラ」という概念に関する様々な議論を紹介する。
第3回	古代ユダヤ教の成立	一神教の源流としてのユダヤ教がいかにして生まれ、どのような特徴をもっているのかを概説する。
第4回	ユダヤ教の暦と儀礼	ユダヤ教徒の日常生活を規定しているユダヤ教の儀礼や祭日について概説する。
第5回	「旧約聖書」とイスラエルの地	ユダヤ人と神との関係、とくに「約束の地」とユダヤ民族との関係が、ユダヤ教においてどのように考えられてきたのかを、「旧約聖書」等のユダヤ教の聖典から概説する。
第6回	中世キリスト教世界における反ユダヤ主義	中世のヨーロッパ・キリスト教世界に離散したユダヤ人が居住先でどのような社会的境遇に置かれてきたのかを概観する。
第7回	啓蒙主義とユダヤ人解放の行方	ヨーロッパの近代化とともに展開された「ユダヤ人解放」の流れとともに、それがどのような歴史的帰結をもたらしたのかを概観する。
第8回	ドイツ・ユダヤ関係の屈折	ドイツにおけるユダヤ人の社会的境遇の推移とともにドイツ人とユダヤ人の関係がいかに展開されたのかを概観する。
第9回	ポグロム（ユダヤ人虐殺）とロシア・ユダヤ社会の再編	ロシア帝国におけるユダヤ人をめぐる諸状況を、19世紀末に生じたポグロム（ユダヤ人虐殺）を中心に概観する。
第10回	世紀転換期における「ユダヤ政治」の展開	ロシアにおけるポグロムと反動政治の復活を受けて中東欧諸国で展開されたユダヤ人の政治運動の諸潮流について概観する。
第11回	シオニズム運動の胎動	ロシアにおけるパレスチナ帰還運動とともにテオドール・ヘルツルが推進した国際的なシオニズム運動の展開について概観する。
第12回	第二次世界大戦とホロコースト	両大戦間期におけるヨーロッパのユダヤ人が置かれた諸状況とともに、ナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺について概観する。
第13回	イスラエルの独立とパレスチナ人の「ナクバ」	1948年のイスラエル独立へと至る歴史的経緯とともに、イスラエル建国がパレスチナ人にもたらした破局について概観する。
第14回	イスラエル：国家と社会	イスラエルという国家の諸特徴について概観する。
第15回	インティファーダと中東紛争の行方	20世紀末から21世紀初頭について活発化したパレスチナ人による抵抗運動の展開とともに、イスラエルや世界のユダヤ人社会がいかに反応したのかについて概観する。

担当者から一言

講義名	英語E-learning A							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400965	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337PEN309								

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
3年次末：700～800点
4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、毎週2時間、１セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯に、学内の端末から、あるいは、学外接続が可能であるので、どこで学習をしてもよい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning A							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400965	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337PEN309								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回		

担当者から一言

講義名	英語E-learning B							担当教員	John Rippey
講義コード	1400966	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437PEN205								

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
4年次末：730～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

１　学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
２　クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
３　1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の４．５．にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して１単位を認定する。単

授業外学習

４　クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy2スタンダードコース・スーパースタンダードコース			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning B							担当教員	John Rippey
講義コード	1400966	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437PEN205								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Self-study Session 1	Two hours of online practice.
第2回	Self-study Session 2	Two hours of online practice.
第3回	Self-study Session 3	Two hours of online practice.
第4回	Self-study Session 4	Two hours of online practice.
第5回	Self-study Session 5	Two hours of online practice.
第6回	Self-study Session 6	Two hours of online practice.
第7回	Self-study Session 7	Two hours of online practice.
第8回	Self-study Session 8	Two hours of online practice.
第9回	Self-study Session 9	Two hours of online practice.
第10回	Self-study Session 10	Two hours of online practice.
第11回	Self-study Session 11	Two hours of online practice.
第12回	Self-study Session 12	Two hours of online practice.
第13回	Self-study Session 13	Two hours of online practice.
第14回	Self-study Session 14	Two hours of online practice.
第15回	Self-study Session 15	Two hours of online practice.

担当者から一言

この演習は目標とするTOEICスコアの高得点を目指すので、学生の主体的・積極的取り組みが求められる。
Students in this course must contact the teacher directly (each student must individually visit the teacher in his office, room A1-

講義名	英語E-learning C							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400967	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437PEN206								

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2（スパースタンダードコースプラス）を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
１．学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
２．クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
３．1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の４．５．にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して１単位を認定する。単位は「認定」の評価で出す。
４．クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。
５．学習がはかどらない学生に対しては、クラス管理者からその旨伝える。また、学習法の効率が悪い学生に対しては、クラス管理者が個別にCALL教室での個別指導を適宜行う。

到達目標

TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。
＊12月TOEICテスト（IP）を受験
到達目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
1年次末：450～600点
2年次末：600～700点
3年次末：700～800点
4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	学習実績

単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。なお。特別な理由なく２回以上、週あたり求められている２時間の学習実績が実施されない場合は当該学期での単位認定は行わない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning C							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400967	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437PEN206								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第2回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第3回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第4回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第5回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第6回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第7回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第8回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第9回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第10回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第11回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第12回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第13回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第14回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第15回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績

担当者から一言
2時間の学習実績を確認するため、アルクログイン後のトップページ（本人名および学習総合時間が表示されている画面）をスクリーンショット等で取り、小熊宛に添付ファイルで毎週月曜日に提出すること。

講義名	実践英語演習Ｅ/							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400975	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
3年次末：700～800点
4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、毎週2時間、１セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯に、学内の端末から、あるいは、学外接続が可能であるので、どこで学習をしてもよい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 E /							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400975	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回		

担当者から一言

講義名	実践英語演習Ｆ/							担当教員	John Rippey
講義コード	1400976	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
4年次末：730～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

１　学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
２　クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
３　1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の４．５．にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して１単位を認定する。単

授業外学習

４　クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy2スタンダードコース・スーパースタンダードコース			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 F /							担当教員	John Rippey
講義コード	1400976	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Self-study Session 1	Two hours of online practice.
第2回	Self-study Session 2	Two hours of online practice.
第3回	Self-study Session 3	Two hours of online practice.
第4回	Self-study Session 4	Two hours of online practice.
第5回	Self-study Session 5	Two hours of online practice.
第6回	Self-study Session 6	Two hours of online practice.
第7回	Self-study Session 7	Two hours of online practice.
第8回	Self-study Session 8	Two hours of online practice.
第9回	Self-study Session 9	Two hours of online practice.
第10回	Self-study Session 10	Two hours of online practice.
第11回	Self-study Session 11	Two hours of online practice.
第12回	Self-study Session 12	Two hours of online practice.
第13回	Self-study Session 13	Two hours of online practice.
第14回	Self-study Session 14	Two hours of online practice.
第15回	Self-study Session 15	Two hours of online practice.

担当者から一言

この演習は目標とするTOEICスコアの高得点を目指すので、学生の主体的・積極的取り組みが求められる。
Students in this course must contact the teacher directly (each student must individually visit the teacher in his office, room A1-

講義名	実践英語演習Ｇ/							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400977	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2（スパースタンダードコースプラス）を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、１セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
１．学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
２．クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
３．1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の４．５．にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して１単位を認定する。単位は「認定」の評価で出す。
４．クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。
５．学習がはかどらない学生に対しては、クラス管理者からその旨伝える。また、学習法の効率が悪い学生に対しては、クラス管理者が個別にCALL教室での個別指導を適宜行う。

到達目標

TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。
＊12月TOEICテスト（IP）を受験
到達目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
1年次末：450～600点
2年次末：600～700点
3年次末：700～800点
4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	学習実績

単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。なお。特別な理由なく２回以上、週あたり求められている２時間の学習実績が実施されない場合は当該学期での単位認定は行わない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習Ｇ/							担当教員	小熊　猛
講義コード	1400977	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第2回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第3回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第4回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第5回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第6回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第7回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第8回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第9回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第10回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第11回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第12回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第13回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第14回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績
第15回	ALC NetAcademy2 スーパースタンダードコースプラ	スーパースタンダードコースプラスを週あたり２時間以上の学習実績

担当者から一言
2時間の学習実績を確認するため、アルクログイン後のトップページ（本人名および学習総合時間が表示されている画面）をスクリーンショット等で取り、小熊宛に添付ファイルで毎週月曜日に提出すること。

講義名	実践英語対策講座/							担当教員	John Rippey
講義コード	1400979	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achivement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 0131408836
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語対策講座/							担当教員	John Rippey
講義コード	1400979	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test, academic English, and study strategies.
第2回	Practice Test	Students take a model TOEFL ITP test as a pre-test.
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Academic Vocabulary	Overview of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks.
第7回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第8回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第9回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第10回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第11回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第12回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第13回	Achievement Review	Comprehensive review of all coursework.
第14回	Proficiency Review	Review for a model TOEFL ITP test to be taken as a post-test.
第15回	Plans of Study	Students generate individual study plans for the summer and fall.

担当者から一言
This is a relatively demanding course, requiring consistent effort. Weekly homework assignments characteristically involve thoughtful completion of reading, listening, and/or grammar exercises.

講義名	Introduction to Academic English							担当教員	John Rippey
講義コード	1400981	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137PEN101								

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achivement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 0131408836
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Academic English							担当教員	John Rippey
講義コード	1400981	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137PEN101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test, academic English, and study strategies.
第2回	Practice Test	Students take a model TOEFL ITP test as a pre-test.
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Academic Vocabulary	Overview of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks.
第7回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第8回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第9回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第10回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第11回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第12回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第13回	Achievement Review	Comprehensive review of all coursework.
第14回	Proficiency Review	Review for a model TOEFL ITP test to be taken as a post-test.
第15回	Plans of Study	Students generate individual study plans for the summer and fall.

担当者から一言
This is a relatively demanding course, requiring consistent effort. Weekly homework assignments characteristically involve thoughtful completion of reading, listening, and/or grammar exercises.

講義名	Debating Global Issues							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400985	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337PEN411								

授業概要

In this course, students will prepare for, and participate in, the 2018 Japanese English United Nations held at Kindai University from Friday June 22nd to Sunday 24th. Each student will be assigned a UN member country, which they will represent at the conference. To prepare, students need to learn about their country and how the United Nations operates. A "position paper" on a given topic must also be completed before the conference.

Participation in an English MUN is a very challenging, but rewarding, experience. Consequently, this course is recommended for confident speakers of English who are willing to work hard.

The dates of the preparation sessions will be scheduled in April, after discussions with participating students.

到達目標

The aims of this course include the following:
- To learn about global issues
- To understand the workings of the United Nations
- To conduct research on contemporary global issues
- To practise English discussion and debating skills
- To participate in an international environment with students from many countries

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 100%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook. Materials will be distributed in class and/or by email.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Debating Global Issues							担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400985	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337PEN411								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Orientation Learning about the UN	
第2回	Country research	
第3回	Topic research (1)	
第4回	Topic research (2)	
第5回	MUN Procedures (1)	
第6回	MUN Procedures (2)	
第7回	Writing a position paper (1)	
第8回	Writing a position paper (2)	

担当者から一言

講義名	西洋史							担当教員	村上　司樹※
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ILA104								

授業概要

歴史は暗記科目ではありません。授業でお話しするのは「単にマニアックな昔ばなし」ではないのです。学ぶのは「現在の西洋をつくってきた積み重ね」です。有名な人物、法律、戦いなどの名前、あるいは711年とか1492年といった年代を、むやみやたらと「暗記する」必要はありません。西洋の文化や習慣、現代日本の私たちがそこから受けている影響について「知る」こと、その知識で「考える」ことが目的です。街なみや食生活、考え方や感じ方にいたるまで、この世界に歴史をもたないものなどありません。現在を知り、未来を考えるためのヒントとして、過去を学んでほしいと思います

到達目標

いまある西洋の風景・文物・習慣などの、あるいは日本人にとって身近な外来文化の、具体的な背景である西洋史の知識を身につける。またそれを確認するための、説得力ある説明の方法も身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	具体的・論理的に説明できているかどうか。論述１問のみ。持ち込み可。
レポート課題	30%	具体的・論理的に説明できているかどうか。形式・採点基準は試験と同様。書き方については、あらかじめ具体的な手引きを配布し、毎回の授業でも折にふれて説明する。
上記以外	30%	毎回提出するレスポンス・ペーパー。具体的・論理的に説明しようとしているかどうか。書き方については、初回授業で説明し、具体例も示したうえ、毎回の授業でも折にふれて説明する。

人名や年号のこまかい暗記も美文を書く才能も必要ありません。課題は少なくありませんが、課題を出す以上、それを評価に変える方法は教えます。出席点はいっさいありませんが、遅刻や欠席によるペナルティもありません。誤っているところ、足りないところを探してマイナスするという減点主義もとりません。教室に来て座っているだけでは１点のプラスにもなりませんが、何かを書いてマイナスになることもない授業です。

授業外学習

以下2つです。第1には、プリントにはあらかじめ目を通しておき、授業後も2回以上読み返すこと。第2に「自分には知識が足りない」と感じるなら、紹介された文献に目を通すこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使いませんが、例えば「自分は世界史を履修していなかったので知識がありません」という方は、高校の教科書や以下に紹介する参考書を

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学で学ぶ西洋史［古代・中世］	服部良久・南川高志・山辺規子	ミネルヴァ書房	978-4623045921
2	ヨーロッパの歴史　欧州共通教科書	フレデリック・ドリューシュ（木村尚三朗監修・花上克己訳）	東京書籍	978-4487761708
3	子どもたちに語るヨーロッパ史	ジャック・ル・ゴフ（前田耕作監訳・川崎万里訳）	筑摩書房	978-4480092465

「知識が足りない」「同じ疑問から脱け出せない」という人ほど参考書を読みません。負のループは断ち切りましょう。各回の個別内容についての

前提学力等

くりかえしますが暗記は不要です。しかし例えばスポーツ観戦でも、ルールや選手について豊かな知識を持っている方が適切なコメントや奥深い感想を語ることができますし、なにより本人自身がゲームを楽しめます。ですからどうぞ手間暇を惜しまず、参考書を手にとってください。高校世界

履修資格

講義名	西洋史							担当教員	村上　司樹※
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137ILA104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	授業全体のまえおき	この授業のルール、評価はプラス主義で、具体性について
第2回	歴史を学ぶにあたって	学ぶとは無知による偏見から脱け出すこと、「昔だから何でもひどかった」というのは偏見、論理性について
第3回	ローマの伝統	ヨーロッパ文明の３つの水源、時代も立場をこえて「お手本」とされつづけた古代ローマ、ひとつは政治と法制の仕組みづくり
第4回	ローマの伝統	もうひとつは言語および文字文化、古代ローマ人の言語が中世・近世のヨーロッパを結びつけた、古代ローマ帝国はヨーロッパ帝国ではなかった
第5回	ゲルマン人	ヨーロッパ文明の第2の水源、日本人がイメージする「西洋人」の典型、肉・ビール・ズボンをもたらしたゲルマン人
第6回	ゲルマン人	ヨーロッパ各国・各地方の地名の由来に、王侯貴族の人名にも、古代には水と油のように異質だったローマとゲルマン
第7回	キリスト教	ヨーロッパ文明の第3の水源、ファーストネームの圧倒的大多数を占める、パンとワインはキリスト教とともに
第8回	キリスト教	日曜日と西暦と世界の終末と、とはいえヨーロッパで生まれた宗教ではない、ローマとゲルマンを結びつけたキリスト教
第9回	世界史のなかの中世ヨーロッパ	中世は「暗黒時代」？、世界史的視野でみれば「発展途上」、実態はむしろ「成長の時代」
第10回	封建制	がんじがらめの上下関係？、ヨーロッパ貴族は「上品」「もの静か」という思いこみ、本来は「戦う者」身分
第11回	封建制	分裂は社会の流れだった、共倒れを防ぐためにゆずり合う、パワーバランスで変化する契約関係
第12回	教会の支配	一方的に教義を押しつけて人びとをあやつったわけではない、例えばクリスマス・ツリー、キリスト教や教会の側も現地に適応した
第13回	教会の支配	騎士道を生みだしたの教会のイニシアティヴ、魔女狩りをめぐる誤解、むしろ科学の発展をあと押し
第14回	社会経済的成長	本来は農村中心の文明、「肉食＝豊か」というのは思いこみ、ヨーロッパ経済における「北」側優位のはじまり
第15回	社会経済的成長	機械化と大量生産は水車から始まった、領主制とは単なる抑圧・搾取ではない、現代までつづくコミュニティのあり方はここから

担当者から一言
歴史が教えてくれるのは、「すべては表裏一体」ということです。この授業も例外ではありません。テストにレポート、レスポンス・ペーパーと、3つの論述課題がありますが、「やることが多い」とのみ考えるのは一面的。裏返せば「単位取得のチャンスが多い」とも言えるからです。またみ

講義名	卒業研究論文（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1401821	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437GTH401								

授業概要

発展演習Ⅰ・Ⅱ、研究演習Ⅰ・Ⅱでの指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究を深め、その成果を論文として提出する。

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文に対して、学科で定めた「卒業研究審査基準」に基づいて審査をおこなう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究論文（国際コミュニケーション）							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1401821	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437GTH401								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	多民族社会論Ｂ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401862	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区域の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル＝遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多民族社会論Ｂ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401862	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	「モンゴル世界」の多様性（１）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第3回	「モンゴル世界」の多様性（２）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第4回	「モンゴル世界」の多様性（３）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第5回	中国領「モンゴル族」（１）	中国領内各地に分散居住する「モンゴル族」の状況を講義。
第6回	中国領「モンゴル族」（２）	
第7回	内モンゴル自治区の成り立ち（１）	内モンゴル自治区の成り立ちを歴史的、現代的に捉えて講義。
第8回	内モンゴル自治区の成り立ち（２）	
第9回	モンゴル帝国とユーラシア（１）	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第10回	モンゴル帝国とユーラシア（２）	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第11回	元朝の中国統治と多民族社会の形成（１）	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第12回	元朝の中国統治と多民族社会の形成（２）	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第13回	現代中国の民族問題（１）	現代中国の民族問題を講義。
第14回	現代中国の民族問題（２）	現代中国の民族問題を講義。
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	多民族社会論Ｃ/							担当教員	河　かおる
講義コード	1401863	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多民族社会という観点から理解する。
前半は、特に在日コリアンの歴史と現状について中心的に扱う。後半は、1990年代以後に増加し、滋賀県や近隣府県でも在住外国人の首位を占める在日ブラジル人とその家族について中心的に扱う。

★5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は土曜日等に集中講義で行う予定（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。
　ただし、該当する学生の履修登録がない場合は、通常どおり4月から毎週授業を行う。

★授業計画は、一部順序が入れ替わる可能性があります。講義の初回にシラバスを示します。

到達目標

(1)日本における少数民族問題について理解する。
(2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末課題（プレゼンテーション、レポート）
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人ー法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	
2				
3				

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多民族社会論Ｃ/							担当教員	河　かおる
講義コード	1401863	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	先住民族①	
第3回	先住民族②	
第4回	在日コリアン①	「著名人」人物伝
第5回	在日コリアン②	統計データから歴史と現状をみる
第6回	在日コリアン③	歴史（戦前編）
第7回	在日コリアン④	歴史（戦後編）
第8回	在日コリアン⑤	歴史 ― 滋賀県の事例
第9回	在日ブラジル人①	
第10回	在日ブラジル人②	
第11回	在日ブラジル人③	
第12回	在日ブラジル人④	
第13回	在日ブラジル人⑤	
第14回	難民問題	
第15回	期末レポート構想発表	

担当者から一言

講義名	多文化社会論Ａ							担当教員	河　かおる
講義コード	1401865	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137MUS101-C								

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多民族社会という観点から理解する。
前半は、特に在日コリアンの歴史と現状について中心的に扱う。後半は、1990年代以後に増加し、滋賀県や近隣府県でも在住外国人の首位を占める在日ブラジル人とその家族について中心的に扱う。

★5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は土曜日等に集中講義で行う予定（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。
　ただし、該当する学生の履修登録がない場合は、通常どおり4月から毎週授業を行う。

★授業計画は、一部順序が入れ替わる可能性があります。講義の初回にシラバスを示します。

到達目標

(1)日本における少数民族問題について理解する。
(2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末課題（プレゼンテーション、レポート）
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人ー法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	
2				
3				

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論Ａ							担当教員	河　かおる
講義コード	1401865	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137MUS101-C								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	先住民族①	
第3回	先住民族②	
第4回	在日コリアン①	「著名人」人物伝
第5回	在日コリアン②	統計データから歴史と現状をみる
第6回	在日コリアン③	歴史（戦前編）
第7回	在日コリアン④	歴史（戦後編）
第8回	在日コリアン⑤	歴史 ― 滋賀県の事例
第9回	在日ブラジル人①	
第10回	在日ブラジル人②	
第11回	在日ブラジル人③	
第12回	在日ブラジル人④	
第13回	在日ブラジル人⑤	
第14回	難民問題	
第15回	期末レポート構想発表	

担当者から一言

講義名	多文化社会論B							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401866	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137MUS102								

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区域の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル＝遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論B							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401866	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137MUS102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	「モンゴル世界」の多様性（1）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第3回	「モンゴル世界」の多様性（2）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第4回	「モンゴル世界」の多様性（3）	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第5回	中国領「モンゴル族」（1）	中国領内各地に分散居住する「モンゴル族」の状況を講義。
第6回	中国領「モンゴル族」（2）	
第7回	内モンゴル自治区の成り立ち（1）	内モンゴル自治区の成り立ちを歴史的、現代的に捉えて講義。
第8回	内モンゴル自治区の成り立ち（2）	
第9回	モンゴル帝国とユーラシア（1）	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第10回	モンゴル帝国とユーラシア（2）	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第11回	元朝の中国統治と多民族社会の形成（1）	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第12回	元朝の中国統治と多民族社会の形成（2）	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第13回	現代中国の民族問題（1）	現代中国の民族問題を講義。
第14回	現代中国の民族問題（2）	現代中国の民族問題を講義。
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	チベット語基礎Ⅰ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA113								

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話Ⅰ	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

原則、後期のチベット語基礎Ⅱを引き続いて受講できる者。

履修資格

講義名	チベット語基礎Ⅰ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA113								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第2回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第3回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第4回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第5回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第6回	代名詞	文法についての解説と練習
第7回	連結動詞	文法についての解説と練習
第8回	連結動詞の否定形、疑問形	文法についての解説と練習
第9回	存在・所有を表す動詞	文法についての解説と練習
第10回	存在・所有を表す動詞の否定形、疑問形	文法についての解説と練習
第11回	助詞	文法についての解説と練習
第12回	助詞	文法についての解説と練習
第13回	一般動詞	文法についての解説と練習
第14回	一般動詞	文法についての解説と練習
第15回	形容詞と指示代名詞	文法についての解説と練習

担当者から一言

講義名	チベット語基礎II							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA114								

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	授業での発表状況、習熟度によって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話Ｉ	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

チベット語基礎Ｉを既に受講済みの者に限る。

履修資格

講義名	チベット語基礎II							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA114								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	形容詞と指示代名詞	文法についての解説と練習
第2回	後置詞	文法についての解説と練習
第3回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第4回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第5回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第6回	疑問代名詞	文法についての解説と練習
第7回	反語文	文法についての解説と練習
第8回	形容詞節の作り方	文法についての解説と練習
第9回	不定詞	文法についての解説と練習
第10回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第11回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第12回	意志動詞と無意志動詞	文法についての解説と練習
第13回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる
第14回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる
第15回	チベット文購読	実際にチベット文を読んでみる

担当者から一言

講義名	中国語コミュニケーションＩＡ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1402081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA109								

授業概要

本授業は中国語ＩＡおよび中国語ＩＩＢの単位を取得した学生を対象に、中国語ＩＩＡおよび中国語ＩＩＢと並行開講され、既習の文法知識（基本文型）を整理・復習しながら、作文・読解を中心としたテキストに沿って、大量の練習問題を解いて行きます。

到達目標

（1）簡単な文章を読み、書くことができるようになる。
（2）簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
（3）中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標（1）（2）（3）について、筆記試験を行う。（100%）
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ　中国語作文（改定版）	郭春貴ほか	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーションＩＡ							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1402081	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA109								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	“是”字文	繋詞について
第2回	“有”字文	「所属」「所有」「存在」を表す動詞“有”について
第3回	“在”の用法	動詞“在”と介詞“在”について
第4回	復習（Ｉ）	復習問題を解く。
第5回	形容詞述語文	形容詞述語文における文法的制約について
第6回	動詞述語文	動詞述語文の文法的制約について
第7回	連動文	（1）構造と文法的意味について （2）兼語文との違い
第8回	名詞述語文	述語（名詞・名詞連語）の制限について
第9回	復習（II）	復習問題を解く。
第10回	当否疑問文	反復疑問文との違いについて
第11回	疑問詞疑問文	疑問詞の非疑問用法について
第12回	疑問数詞疑問文	疑問数詞“几”と“多少”の違いについて
第13回	反復疑問文	当否疑問文との違いについて
第14回	選択疑問文	（1）反復疑問文との違いについて （2）省略疑問文について
第15回	復習（III）	復習問題を解く。

担当者から一言

講義名	中国語コミュニケーションＩＢ							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402082	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA110								

授業概要

この授業は学生が中国語ＩＡ・ＩＢを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

到達目標
（１）文法を理解すること
（２）語彙を覚えること
（３）文章の読解力を身につけること
（４）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	７５％	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	２５％	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉　凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語ＩＢ、中国語ＩＩＢを履修した上で、本科目を履修することが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーションＩＢ							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402082	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA110								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	２本のロウソク	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第2回	主語、謂語、賓語	文を構成する主語、述語、目的語について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第3回	うり２つ	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第4回	定語、状語、補語	文を構成する名詞修飾語、動詞修飾語、補語について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第5回	成語故事	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第6回	時間表現と場所表現	文を構成する時間成分、場所成分について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第7回	私は彼女の父親じゃない	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第8回	同伴者、目的	文を構成する同伴成分、目的成分について説明し、中国語文の構造について勉強する。
第9回	ハッピーニューイヤー	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第10回	主動文、受け身文、使役文	文のパターンの視点から、主動文、受け身文、使役文の３通りに分けられます。それにつて説明します。
第11回	悲観と楽観	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第12回	形容詞のいろいろ	中国語の形容詞についてまとめて説明します。
第13回	新婚	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第14回	「把」などの勉強	「把」を含むいくつかの慣用表現の勉強をします。
第15回	まとめ	これまで学んだ知識を整理し、まとめます。

担当者から一言
君欲善其事、必先利其器。

講義名	中国語コミュニケーションⅡA							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1402083	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA225								

授業概要

本授業は中国語ＩＡ、中国語ＩＢ、中国語コミュニケーションＩＡおよび中国語コミュニケーションＩＢの単位を取得した学生を対象に、初級レベルの能力の維持・強化を図り、中級レベルの到達を目指します。

到達目標

（1）中国語ＩＡおよび中国語ⅡＡで学んだ文型が口頭で表現できるようになる。
（2）少し複雑な表現ができるようになる。
（3）比較的容易な読み物の内容を辞書を引きながら理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標（1）（2）（3）について、筆記試験を行う。（100%）
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ　中国語作文（改訂版）	郭春貴ほか	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーションII A							担当教員	地蔵堂　貞二
講義コード	1402083	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA225								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	動態助詞“了”	(1) 動作・行為の完了 (2) 否定副詞“没（有）”と“了”の消失
第2回	語気助詞“了”	(1) 事態・状況の変化 (2) 否定副詞“没（有）”
第3回	動態助詞“ ”着	(1) 動作の持続 (2) 状態の持続
第4回	動態助詞“过”と特殊な補語“过”	(1) 経験を表す場合と表さない場合 (2) 否定形の違い。
第5回	復習（I）	復習問題を解く。
第6回	強調構文	“是……V的”構文 “他昨天来了”と“他是昨天来的”の違いについて
第7回	構造助詞	(1) 定語のマーカー“的” (2) 状語のマーカー“地”
第8回	復習（II）	復習問題を解く。
第9回	助動詞（I）	意志・願望の助動詞“想”と“要”について
第10回	助動詞（II）	義務・必然の助動詞“要”と“該”について
第11回	助動詞（III）	可能の助動詞“会” (1) 練習を経て得られる能力
第12回	助動詞（IV）	可能の助動詞“能” (1) 性能・備わっている能力
第13回	助動詞（V）	可能の助動詞“可以” (1) 条件・許可
第14回	可能補語	可能の助動詞を用いた文との異同について
第15回	復習（III）	復習問題を解く。

担当者から一言

講義名	中国語コミュニケーションII B							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402084	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA226								

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーションⅠBを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文 法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

（1）文法を理解すること
（2）語彙を覚えること
（3）文章の読解力を身につけること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	７５％	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	２５％	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉　凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語コミュニケーションⅠBを履修していることが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーションII B							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402084	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA226								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	困難と成功	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第2回	疑問文のいろいろ	中国語のさまざまな疑問文について勉強します。
第3回	新しい社長	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第4回	テンス・アスペクトの勉強	中国語のテンス・アスペクトについて勉強します。
第5回	珍重な魚	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第6回	可能表現のいろいろ	中国語のさまざまな可能表現について勉強します。
第7回	箱に入ってもらえませんか	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第8回	「要」などの使い方	中国語の「要」などの助動詞について勉強します。
第9回	愛している	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第10回	複文のいろいろ	中国語のさまざまな複文について勉強します。
第11回	梁啓超の物語	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第12回	敬語表現の勉強	中国語の敬語表現について勉強します。
第13回	お母さん、どこにいるの？	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第14回	前置詞の勉強	中国語の前置詞について勉強します。
第15回	まとめ	これまでならった知識を復習し、まとめます。

担当者から一言
君欲善其事、必先利其器。

講義名	中国語コミュニケーションⅡＤ/							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402086	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

（1）中国語による作文力を高めること
（2）中国語会話力を鍛えること
（3）中国語語彙量を増強すること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	７５％	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	２５％	出席、課題、学習態度などに基づいて判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーションⅡD/							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402086	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	講義の概要と進行について説明します。
第2回	シチュエーション１　紹介する	「自己紹介」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第3回	シチュエーション２　郵便局で	「郵便局で」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第4回	シチュエーション３　レストランで	「レストランで」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第5回	シチュエーション４　電話をかける	「電話をかける」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第6回	シチュエーション５　病院で	「病院で」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第7回	シチュエーション６　許可を求める	「許可を求める」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第8回	シチュエーション７　露天商とのやり取り	「露天商とのやり取り」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第9回	シチュエーション８　大学事務関係とのやり取り	「大学事務関係の方とのやり取り」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第10回	シチュエーション９　道を聞く	「道の聞き方」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第11回	シチュエーション１０　忘れ物の問い合わせ	「忘れ物の問い合わせ」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第12回	シチュエーション１１　苦情	「苦情を言う」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第13回	シチュエーション１２　友達を誘う	「友達を誘う」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第14回	シチュエーション１３　趣味を紹介する	「趣味を紹介する」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第15回	シチュエーション１４　別れ際のことば	「別れ際」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。

担当者から一言
加油！！

講義名	中国語留学対策							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402087	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA227								

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

（1）中国語による作文力を高めること
（2）中国語会話力を鍛えること
（3）中国語語彙量を増強すること
（4）宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	７５％	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	２５％	出席、課題、学習態度などに基づいて判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	中国語留学対策							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402087	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA227								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	講義の概要と進行について説明します。
第2回	シチュエーション１　紹介する	「自己紹介」のシチュエーションを連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第3回	シチュエーション２　郵便局で	「郵便局で」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第4回	シチュエーション３　レストランで	「レストランで」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第5回	シチュエーション４　電話をかける	「電話をかける」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第6回	シチュエーション５　病院で	「病院で」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第7回	シチュエーション６　許可を求める	「許可を求める」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第8回	シチュエーション７　露天商とのやり取り	「露天商とのやり取り」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第9回	シチュエーション８　大学事務関係とのやり取り	「大学事務関係の方とのやり取り」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第10回	シチュエーション９　道を聞く	「道の聞き方」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第11回	シチュエーション１０　忘れ物の問い合わせ	「忘れ物の問い合わせ」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第12回	シチュエーション１１　苦情	「苦情を言う」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第13回	シチュエーション１２　友達を誘う	「友達を誘う」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第14回	シチュエーション１３　趣味を紹介する	「趣味を紹介する」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。
第15回	シチュエーション１４　別れ際のことば	「別れ際」のシチュエーション」を連想し、作文を書かせ、発表させて、ミスなどを訂正し、自由に言えるまで練習します。

担当者から一言
加油！！

講義名	朝鮮語コミュニケーションＩＡ							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402151	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA111								

授業概要

朝鮮語ＩＡ・ＩＢで学んだ語彙・文法を基礎にして、決まり文句を用いた様々な場面でのあいさつやあいづち・質問などの会話、買い物など日常生活に必要な会話、様々な公共機関を利用する際の会話などを中心に、文章語とは異なる口語表現を学ぶ。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、会話を中心に学習する。

到達目標

(1)ハングル能力検定試験4級レベルの基本文法を理解できる。
(2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
(3)ハングル能力検定試験4級レベルの様々な語尾や表現を用いて会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	

授業外学習

聞き取り、慣用句の暗記、学んだ表現を用いてスピーキングなど

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版　韓国語の世界へ　初中級編	李潤玉ほか	朝日出版社	978-4-255-55644-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語ＩＡ・ＩＢを履修済みであること。またはハングル能力検定試験５級合格程度の学力を有していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーションＩＡ							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402151	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA111								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第1課	何年度入学ですか
第2回	第2課	韓国語を一生懸命勉強するつもりです
第3回	第3課	あの靴、ちょっと見せてください
第4回	第4課	よく行く韓国料理のお店があれば紹介してください
第5回	第5課	一緒に撮った写真を添付しました
第6回	第6課	発表の時間に遅れてすみません
第7回	第7課	暑い夏にサムゲタンを食べます
第8回	中間まとめ	
第9回	第8課	重くないので一人でしますよ
第10回	第9課	パソコンちょっと借りてもいいですか
第11回	第１０課	リムジンバスの方がいいでしょうね
第12回	第11課	陶磁器を作ってみましたか
第13回	第12課	韓国の会社に就職しようと思っています
第14回	まとめ1	
第15回	まとめ2	

担当者から一言

講義名	朝鮮語コミュニケーションＩＢ							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1402152	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA112								

授業概要

朝鮮語ＩＡ・ＩＢで学んだ語彙・文法を基礎にして、辞書を積極的に活用しながら朝鮮語（韓国語）の文章を読み理解した上で、内容について発表したり話しあうことで表現力を身につける。

到達目標

(1)朝鮮語の文章の講読能力をつける。正確に日本語に訳せることも含む。
(2)理解した内容についての朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる（文字・口頭）。
(3)朝鮮語で説明したり、朝鮮語で自分の意見を述べたりできる力をつける。
(4)特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(１)について、択一式・論述式試験を行う。(10%) 到達目標(２)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10%)
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標各項目について、小テスト・到達確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)15%、(2)15%(、3)10%、(4)20%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。
文章理解の確認については最初の何回かは日本語訳の提出により評価する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国文化を読む	曺美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55614-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ハングルが読めることと、最低限過去形までの文法事項を理解していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーションＩＢ							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1402152	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA112								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	授業概要、評価などの説明、	漢字起源の単語について（１） 説明の仕方を学ぶ
第2回	第１課　韓国料理の特徴（１）	単語テスト 音読および日本語訳
第3回	第１課　韓国料理の特徴（２）	確認問題 リスニング教材「天気と季節」
第4回	第２課　食事作法（１）	単語テスト 本文の訳読
第5回	第２課　食事作法（２）	確認問題 リスニング教材「家」
第6回	第３課　住宅事情（１）	単語テスト 本文の訳読
第7回	第３課　住宅事情（２）	確認問題 リスニング教材「交通と生活」
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	
第9回	第４課　誕生日と記念行事（１）	単語テスト 本文の訳読
第10回	第４課　誕生日と記念行事（２）	確認問題 リスニング教材「ショッピング」
第11回	第５課　キャンパスライフ（１）	単語テスト 本文の訳読
第12回	第５課キャンパスライフ　（２）	確認問題 リスニング教材「日常生活」
第13回	第６課　余暇の過ごし方（１）	単語テスト 本文の訳読
第14回	第６課　余暇の過ごし方（２）	確認問題 リスニング教材「趣味と余暇活動」
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言
音読はこの授業の根幹です。毎回チェックはできませんが、必ず家で音読の練習を心がけてください。

講義名	朝鮮語コミュニケーションⅡA							担当教員	河　かおる
講義コード	1402153	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA228								

授業概要

映画や韓国のインターネットメディアの記事（音源・文字）をテキストにして、読解力・聴解力をつける。さらに映画や記事を通じて現代韓国のホット･イシューについての理解を深めると同時に、記事の内容について朝鮮語（韓国語）で意見を述べたり質問をしたりするコミュニケーション能力をつける。 TOPIKⅠ（1〜2級）もしくはハングル能力検定試験3級レベルを目標に、聴解と読解を中心に学習する。

到達目標

(1) TOPIKⅠ（1〜2級）レベルの文法を理解できる。
(2) TOPIKⅠ（1〜2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
(3) 単語の範囲にとどまらず、連語など組合せとして用いられる表現や、使用頻度の高い慣用句なども理解し、使用することができる。
(4) パソコンのキーボードで朝鮮語のタイピングができる。
(5) 私的で身近な話題ばかりではなく、親しみのある社会的出来事についても話題にできる。
(6) 辞書を用いてニュースや映画のシーンを読解、聴解することができる。
(7) 学習した記事の内容について、質問や意見を表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) TOPIKⅠ（1〜2級）レベルの文法を理解できる。 (2) TOPIKⅠ（1〜2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
レポート課題	10	パソコンのタイピングで朝鮮語でレポートを書く
上記以外	60	●発表　20% ・鑑賞した映画について感想や意見を発表できる。 ●小テスト　20%

授業外学習

毎回の予習
毎回の小テストの準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語能力試験　初級対策単語集	金珉秀	駿河台出版社	978-4-411-03047-4
2				
3				

前提学力等

朝鮮語ⅠA・ⅠB、朝鮮語ⅡA・ⅡB、朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBを履修済みであること。もしくは、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーションⅡA							担当教員	河　かおる
講義コード	1402153	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA228								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	Web辞書、辞書アプリの使い方ガイダンス タイピングのガイダンス
第2回	記事1	・予習を前提に、記事の意味、文法要素、単語や表現を確認していく。 ・一つの記事を読み終わるごとに、感想・意見・質問などを朝鮮語（韓国語）で発表しあう。
第3回	記事2	同上
第4回	記事3	同上
第5回	記事4	同上
第6回	記事5	同上
第7回	到達確認テストおよび解説、事後説明	ハングル能力検定試験4級の過去問を使用し、そのレベルに達しているかを確認する。
第8回	映画1	映画「明日へ」上映
第9回	映画2	感想の発表（タイピングして事前に提出） 主なシーンの台詞の確認・練習
第10回	映画3	줄거리についてのQ&A
第11回	記事6	記事1～5と同じ
第12回	記事7	同上
第13回	記事8	同上
第14回	記事9	同上
第15回	記事10	同上

担当者から一言

講義名	朝鮮語コミュニケーションⅡB							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1402154	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA229								

授業概要

朝鮮語コミュニケーションⅠBで学んだことを基礎に、日記やレポートなど、比較的長いまとまりのある文を書く力を養う。

到達目標

(1)韓国語能力試験（TOPIK)２級、ハングル能力検定試験３級合格程度の作文の力を身につける。
(2)留学した際に、試験の答案やレポートを書けるようになるために、辞書を駆使しながら自分が表現したいことを文章で書き表す力を身につける。
(3)朝鮮語でなされた他人の意見を理解し、それに対すして自分の意見を朝鮮語で述べることができるようにする。
(4)特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)(2)について、論述式試験を行う。(30%) 到達目標(4)について、択一式試験を行う。(10%)
レポート課題	20%	到達目標(1)(2)について、レポート課題を課す。(20%)
上記以外	40%	到達目標各項目について、小テスト・到達度確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)(2)10%、(3)20%、(4)10%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国文化を読む	曺美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55614-7
2				
3				

朝鮮語コミュニケーションⅠBと同じ教科書である。IB参加者は新たに購入する必要はない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ハングルが読めることと、最低限過去形までの文法事項を理解していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーションII B							担当教員	松井　聖一郎※
講義コード	1402154	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA229								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	文章で自分の意見を表現する	第６課までの内容確認 リスニング教材「運動と生活」
第2回	第７課　スポーツ(1)	単語テスト 本文の訳読
第3回	第７課　スポーツ(２)	確認問題 リスニング教材「病気と治療」
第4回	第８課　健康と美容(１)	単語テスト 本文の訳読
第5回	第８課　健康と美容(２)	確認問題 リスニング教材「旅行と観光」
第6回	第９課　秋夕とお正月(１)	単語テスト 本文の訳読
第7回	第９課　秋夕とお正月(２)	確認問題 リスニング教材「服と外見」
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	
第9回	第11課　伝統衣装の韓服(１)	単語テスト 本文の訳読
第10回	第11課　伝統衣装の韓服(２)	確認問題 リスニング教材「社会生活」
第11回	第12課　韓国の結婚式(１)	単語テスト 本文の訳読
第12回	第12課　韓国の結婚式(２)	確認問題 リスニング教材「感情と表現」
第13回	第13課　韓国人の感情表現(１)	単語テスト 本文の訳読
第14回	第13課　韓国人の感情表現(２)	確認問題 リスニング教材「職業と適性」
第15回	まとめ	

担当者から一言
朝鮮語コミュニケーションＩＢに比べ文字中心の授業になるが、各自家で教科書本文の音読を怠らないよう。

講義名	朝鮮語コミュニケーションⅡD/							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402156	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

朝鮮語コミュニケーションⅠAで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIKⅠ（1〜2級）合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

(1) TOPIKⅠ（1〜2級）レベルの文法を理解できる。
(2) TOPIKⅠ（1〜2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
(3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０％	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	３０％	授業内容の復習
上記以外	２０％	口頭試験、作文能力の確認

授業外学習

テキストの問題（宿題）単語、会話テスト（小試験）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語ⅠA・ⅠB、朝鮮語ⅡA・ⅡB、朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験（TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーションⅡD/							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402156	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	바빠서 전화를 못 했어요	理由、原因に関する表現
第2回	바빠서 전화를 못 했어요	関連文型表現
第3回	취미가 뭐예요?	仮定、条件に関する表現
第4回	취미가 뭐예요?	関連文型表現
第5回	인사동에는 어떻게 가지요?	意図に関する表現
第6回	인사동에는 어떻게 가지요?	関連文型表現
第7回	復習　５,６,７課	
第8回	감기는 다 나았어요?	前提、前置きに関する表現
第9回	감기는 다 나았어요?	関連文型表現
第10回	연휴에는 뭘 할 거예요?	意図に関する表現
第11回	연휴에는 뭘 할 거예요?	関連文型表現
第12回	비가 많이 오는 것 같군요	推測に関する表現
第13回	비가 많이 오는 것 같군요	関連文型表現
第14回	復習　９,１０,１１課	
第15回	불고기 만들 줄 아세요?	能力の有無に関する表現
第16回	復習	関連文型表現 まとめ

担当者から一言

講義名	朝鮮語留学対策							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402157	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA230								

授業概要

朝鮮語コミュニケーションⅠAで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIKⅠ（1〜2級）合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

(1) TOPIKⅠ（1〜2級）レベルの文法を理解できる。
(2) TOPIKⅠ（1〜2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
(3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０％	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	３０％	授業内容の復習
上記以外	２０％	口頭試験、作文能力の確認

授業外学習

テキストの問題（宿題）単語、会話テスト（小試験）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語ⅠA・ⅠB、朝鮮語ⅡA・ⅡB、朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験（TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーションⅠA・ⅠBも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語留学対策							担当教員	崔　眞善※
講義コード	1402157	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA230								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	바빠서 전화를 못 했어요	理由、原因に関する表現
第2回	바빠서 전화를 못 했어요	関連文型表現
第3回	취미가 뭐예요?	仮定、条件に関する表現
第4回	취미가 뭐예요?	関連文型表現
第5回	인사동에는 어떻게 가지요?	意図に関する表現
第6回	인사동에는 어떻게 가지요?	関連文型表現
第7回	復習　５,６,７課	
第8回	감기는 다 나았어요?	前提、前置きに関する表現
第9回	감기는 다 나았어요?	関連文型表現
第10回	연휴에는 뭘 할 거예요?	意図に関する表現
第11回	연휴에는 뭘 할 거예요?	関連文型表現
第12回	비가 많이 오는 것 같군요	推測に関する表現
第13回	비가 많이 오는 것 같군요	関連文型表現
第14回	復習　９,１０,１１課	
第15回	불고기 만들 줄 아세요?	能力の有無に関する表現
第16回	復習	関連文型表現 まとめ

担当者から一言

講義名	通訳ガイド講座							担当教員	石井　隆之※
講義コード	1402203	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437LAC313								

授業概要

通訳案内士試験では、外国語の運用力とともに日本の歴史や地理、文化の知識も必要とされますが、合格すれば有資格の観光ガイドとしての道が開けます。また、国際協力やビジネス、さらに、通訳者や翻訳家、そして英会話教育の方面に進む場合でも、この資格は有利です。
授業では、英語の通訳案内士を目指すに当たり、その基礎となる英文解釈力、英作文力、日本事象説明力という基本3能力を身に付け、さらに、英文解釈に必要な語彙力、英作文に必要な文法力、日本事象に必要な文化力（＝日本文化の知識）に磨きをかけます。特に、今期は「日本の宗教」を日本事象の総合テーマとします。
また、ガイド業務の様々な場面で実際に使われる文例パターンを取り上げたり、1次対策（筆記）や2次対策（面接）の練習を実際に行ったり、現実のガイドの場面を想定した訓練を行ったりすることを通じて、この資格の傾向と対策について具体的にお話したいと思います。
講義の第13回目と第14回目には、日本文化などを中心とした発表（英語によるプレゼン）の機会も設けます。
「オタワ」（面白く、ためになり、分かりやすい）授業を目指しますので、積極的な授業参加を希望します。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

(1) 通訳案内士試験の概要を把握しながら、受験の準備ができる。
(2) 通訳ガイド業務に必要な日本の地理や歴史、文化の概略を確認できる。
(3) 通訳ガイド業務（英語）に求められる「英語による基礎的なコミュニケーション」ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	文法力　１０％ 英文解釈力　１０％ 英作文力　１０％
レポート課題		
上記以外	60%	各回の課題への取り組み　２０％ プレゼン　２０％ ※以上が到達目標（２）に関係する

授業外学習

１．授業で出されたテーマに関する研究を宿題とします。無理のない分量の宿題にします。
２．小テストは特に行いませんが、各回の授業で、演習（主として課題に取り組んだり、試験問題を解くこと）、または、実践的練習（ペアやグ

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の宗教の知識と英語を身につける	石井隆之	ベレ出版	978-4-86064-266-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本講座を受けるにあたって、TOEICスコアでは６００点以上（英検では2級以上）が望ましいですが、将来的に通訳案内士の資格を取りたい学生、また、英語力を向上させたいという熱意のある学生は、TOEICスコアや資格に関係なく受け付けます。

履修資格

講義名	通訳ガイド講座							担当教員	石井　隆之※
講義コード	1402203	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	437LAC313								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	私自身の自己紹介 通訳ガイド試験の概要
第2回	英文法力の向上を考える	英語の特徴を言語学の立場から語る 文法問題演習
第3回	英単語力の増強を考える	英単語の覚え方と通訳ガイド用単語に触れる 単語問題演習
第4回	英文解釈力の上達を考える（1）	日本事象関連の英文を読む（1） 英文解釈問題演習（1）
第5回	英文解釈力の上達を考える（2）	日本事象関連の英文を読む（2） 英文解釈問題演習（2）
第6回	英作文能力の熟達を考える（1）	日本事象関連の日本語を訳す（1） 英作文問題演習（1）
第7回	英作文能力の熟達を考える（2）	日本事象関連の日本語を訳す（2） 英作文問題演習（2）
第8回	自由英作文能力の習得を考える（1）	日本文化プチ講義（1） 自由英作文問題演習（1）
第9回	自由英作文能力の習得を考える（2）	日本文化プチ講義（2） 自由英作文問題演習（2）
第10回	自由英作文能力の習得を考える（3）	日本文化プチ講義（3） 自由英作文問題演習（3）
第11回	邦文試験対策	地理歴史・一般常識はどんな試験か？ 邦文試験模擬演習
第12回	面接試験対策	面接試験のコツと役立つ英語表現 面接試験模擬演習
第13回	プレゼンテーション（1）	個人またはグループでの発表（1） 質疑応答（1）
第14回	プレゼンテーション（2）	個人またはグループでの発表（2） 質疑応答（2）
第15回	通訳ガイド講座の総まとめ	英語の面白さと文化の奥深さ 通訳ガイド試験合格に向けて

担当者から一言
「英語の学習」は「英語」の学習ではありません。英語を学習することによって、日本語と比較できるので、日本語の知識も身につき、さらに、外国人の考え方、外国の文化も知ることができ、また、それと比較し、日本文化も学べます。

講義名	ドイツ語コミュニケーションＩＡ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1402281	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA105								

授業概要

ドイツ語ＩとII（全学共通教育科目）で身につけた文法の知識を活用し、読解練習、聞き取り、書き取り、作文を通じてさらに高度なコミュニケーション能力を総合的に身につけることを目指す。授業の進め方に関して言えば、音読および訳出の練習、文法事項の確認を行う。

到達目標

海外留学先での日常生活などに必要となるドイツ語の運用能力（「読む・書く・聞く」能力）を身につけることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って簡単な文章を読解したり、（２）作文したりすることができる。（３）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（４）朗読された文章を聞いて、指定された語彙を書き取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	（３）に関しては筆記試験（６０%）の成績で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	（１）に関しては読解練習（２０%）、（２）に関しては作文（１０%）、（４）に関しては聞き取り練習（１０%）の成績で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

ドイツ留学を計画している人は特に語彙や表現を積極的に増やしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン２コンパクト 場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーペンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介します。

前提学力等

ドイツ語ＩＡとＩＢ（全学共通教育科目）を履修していること。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーションＩＡ							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1402281	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA105								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	既習文法の復習
第2回	自己紹介（１）	表現＋既習文法の復習
第3回	自己紹介（２）	作文
第4回	レストラン	読解練習
第5回	Eメール（１）	読解練習＋聞き取り練習
第6回	Eメール（２）	作文
第7回	旅行	読解練習＋聞き取り練習
第8回	タクシー	読解練習＋聞き取り練習
第9回	公共交通機関	読解練習＋聞き取り練習
第10回	病院	読解練習＋聞き取り練習
第11回	誕生日	読解練習＋聞き取り練習
第12回	森の幼稚園	読解練習＋聞き取り練習
第13回	環境プロジェクト	読解練習＋聞き取り練習
第14回	ビオ製品	読解練習＋聞き取り練習
第15回	カーニバル	読解練習＋聞き取り練習

担当者から一言
言語を習得するのには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語コミュニケーションＩＢ							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402282	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA106								

授業概要

ドイツ語ＩとII(全学共通教育科目)で身につけた文法の知識、語彙、表現を活用する。主として会話練習、聞き取りに重点を置いてドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけていく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ドイツ（ドイツ語圏）に留学することになっても困らない程度のコミュニケーション能力を習得させることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（1）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（2）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（3）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（4）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	（1）と（2）に関しては筆記試験（３０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	（2）に関しては小テスト（１０%）、（3）に関しては口述試験（３０%）、（4）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：３０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2．コンパクト　場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーションＩＢ							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402282	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA106								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	既習文法の復習（１）	会話練習
第2回	既習文法の復習（２）	会話練習
第3回	日常会話（１）	会話練習+聞き取り練習
第4回	日常会話（２）	会話練習+聞き取り練習
第5回	ドイツの文化と習慣について	会話練習+聞き取り練習
第6回	日常会話（３）	会話練習+聞き取り練習
第7回	日常会話（４）	会話練習+聞き取り練習
第8回	日常会話（５）	会話練習+聞き取り練習
第9回	日常会話（６）	会話練習+聞き取り練習
第10回	日常会話（７）	会話練習+聞き取り練習
第11回	日常会話（８）	会話練習+聞き取り練習
第12回	日常会話（9）	会話練習+聞き取り練習
第13回	日常会話（１０）	会話練習+聞き取り練習
第14回	後期の復習（1）	会話練習
第15回	後期の復習（2）	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡA							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1402283	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA219								

授業概要

読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。その際、一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とする。前半では日本文化に関するドイツ語の文章を取り扱う。後半では国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトピクスをはじめとして、さまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。

到達目標

初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要となる語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（1）ドイツ語で一般教養について書かれた文章を、辞書などを使って読解することができる。（2）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	（2）に関しては筆記試験（６０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	40	（1）に関しては読解練習（４０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてくること。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に紹介します。

前提学力等

ドイツ語Ⅰ(A,B)、Ⅱ(A,B)（全学共通教育科目）を履修していること。またドイツ語コミュニケーションⅠ(A,B)を履修していることが望ましい（履修していることを前提としたレベルの授業内容となっています）。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡA							担当教員	吉村　淳一
講義コード	1402283	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA219								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス＆文法（１）	初級文法の復習／指示代名詞／関係代名詞
第2回	文法（２）	接続法
第3回	日本の文化（１）	読解練習
第4回	日本の文化（２）	読解練習
第5回	日本の文化（３）	読解練習
第6回	日本の文化（４）	読解練習
第7回	歴史＆地理（１）	読解練習
第8回	歴史＆地理（２）	読解練習
第9回	歴史＆地理（３）	読解練習
第10回	社会（１）	読解練習
第11回	社会（２）／芸術	読解練習
第12回	文化（１）	読解練習
第13回	文化（２）	読解練習
第14回	文化（３）／社会（３）	読解練習
第15回	歴史＆地理（４）	読解練習

担当者から一言
言語を習得するのには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡＢ							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402284	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA220								

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢ）やドイツ語コミュニケーションＩＡ、ＩＢで身につけた知識を応用し、より高度な会話練習を行う。また留学生活で必要となる表現を学習する。聞き取り練習、書き取り練習やスピーチの練習などを通じて日常生活を始めとしてさまざまな状況に対応できるようにドイツ語の運用能力を磨く。

到達目標

留学先の国で生活するのに必要なドイツ語の運用能力を身につける。より高度なドイツ語文法の知識を応用してただ単純な短い日常会話文だけではなく、コミュニケーションの相手の意見を正確に把握することをめざす。相手に自分の考えを様々なドイツ語の表現を組み合わせて論理的に伝えたりすることができるようになることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）習得したドイツ語の表現や文法の知識を文章の読解や作文に応用することができる。（２）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（３）習得した文法の知識を活用してドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）と（２）に関しては筆記試験（５０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	（２）に関しては小テスト（１０%）、（３）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：４０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語Ⅰ(A,B)、Ⅱ(A,B)（全学共通教育科目）を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーションⅠ(A,B)を履修していることが望ましい（ドイツ語コミュニケーションⅠA/Bを履修していることを前提としたレベルの授業となっている）。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡＢ							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402284	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA220								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習＋会話練習
第2回	人の格好、人格について	会話練習
第3回	服装について	会話練習
第4回	長文（1）	読解練習、聞き取り練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	長文（２）	読解練習、聞き取り練習
第7回	動詞と前置詞の組み合わせ	会話練習
第8回	接続法	会話練習
第9回	比較級	会話練習
第10回	現在完了形、受動態	会話練習
第11回	長文（３）	読解練習、聞き取り練習
第12回	過去完了形	会話練習
第13回	家族について	会話練習
第14回	復習（１）	会話練習
第15回	復習（２）	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡD/							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402286	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢ）やドイツ語コミュニケーションＩＡ、ＩＢで身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（1）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（2）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（3）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（4）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	（1）と（2）に関しては筆記試験（３０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	（2）に関しては小テスト（１０%）、（3）に関しては口述試験（３０%）、（4）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：３０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語Ⅰ(A,B)、Ⅱ(A,B)（全学共通教育科目）を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーションⅠ(A,B)を履修していることが望ましい（ドイツ語コミュニケーションⅠA/Bを履修していることを前提としたレベルの授業となっている）。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーションⅡD/							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402286	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習＋会話練習
第2回	人について	会話練習＋聞き取り練習
第3回	意見を表現する練習	会話練習
第4回	ドイツの諺	会話練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	漫画の制作	作文練習
第7回	日本の物をドイツ語で説明する	会話練習
第8回	日本とドイツを比較する	会話練習
第9回	長文	読解練習、聞き取り練習
第10回	ドイツの生活について	会話練習
第11回	若者のドイツ語、方言について	会話練習
第12回	テーマを決めて発表する練習（1）	会話練習
第13回	テーマを決めて発表する練習（2）	会話練習
第14回	復習（1）	会話練習
第15回	復習（2）	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語留学対策							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402287	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA221								

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢ）やドイツ語コミュニケーションＩＡ、ＩＢで身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（1）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（2）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（3）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（4）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	（1）と（2）に関しては筆記試験（３０%）の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	（2）に関しては小テスト（１０%）、（3）に関しては口述試験（３０%）、（4）に関しては会話練習（学生や教員とのペア練習：３０%）の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語Ⅰ(A,B)、Ⅱ(A,B)（全学共通教育科目）を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーションⅠ(A,B)を履修していることが望ましい（ドイツ語コミュニケーションⅠA/Bを履修していることを前提としたレベルの授業となっている）。

履修資格

講義名	ドイツ語留学対策							担当教員	Anja Sliwa※
講義コード	1402287	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA221								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習＋会話練習
第2回	人について	会話練習＋聞き取り練習
第3回	意見を表現する練習	会話練習
第4回	ドイツの諺	会話練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	漫画の制作	作文練習
第7回	日本の物をドイツ語で説明する	会話練習
第8回	日本とドイツを比較する	会話練習
第9回	長文	読解練習、聞き取り練習
第10回	ドイツの生活について	会話練習
第11回	若者のドイツ語、方言について	会話練習
第12回	テーマを決めて発表する練習（1）	会話練習
第13回	テーマを決めて発表する練習（2）	会話練習
第14回	復習（1）	会話練習
第15回	復習（2）	会話練習

担当者から一言
気軽に質問をしてください。

講義名	人間文化論Ａ							担当教員	細馬　宏通／奥村　万寿美／塚本　礼仁／ 藤木　庸介／Borjigin Burensain
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD102,134NUT102,135LAH2011,37BAC102								

授業概要

人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5つのレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。

到達目標

(1)人間の文化に関する知識を幅広く身につけ、理解できる。
(2)学問領域を越えて、多様なできごとに興味と関心を持つ態度を持つことができる。
(3)自分の領域で直面している問題に対して、他領域の人々とディスカッションを行い、柔軟な思考と判断を行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート課題（学生による学科間ディスカッションによるもの）
上記以外	50	各対談時のリスポンスペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論Ａ							担当教員	細馬　宏通／奥村　万寿美／塚本　礼仁／藤木　庸介／Borjigin Burensain
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD102,134NUT102,135LAH2011,37BAC102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	この講義の進め方に関するガイダンス。
第2回	国際コミュニケーション×人間関係	第2回～第11回は各学科から一人の教員が対談形式の講義を行います。学科の組み合わせの日取りは変更される場合があります。教員の組み合わせと講義タイトルは4月のオリエンテーション時に伝え
第3回	地域文化×生活デザイン	
第4回	地域文化×国際コミュニケーション	
第5回	生活デザイン×国際コミュニケーション	
第6回	生活栄養×国際コミュニケーション	
第7回	生活デザイン×人間関係	
第8回	地域文化×人間関係	
第9回	生活栄養×人間関係	
第10回	生活デザイン×生活栄養	
第11回	地域文化×生活栄養	
第12回	各学科によるまとめ（１）	生活栄養学科まとめ／地域文化学科まとめ ／生活デザイン学科まとめ
第13回	各学科によるまとめ（２）	国際コミュニケーション学科まとめ ／人間関係学科まとめ／次週の準備
第14回	学生自身によるディスカッション	各5学科から最低1人を含むチームを作り、他学科の学生との討議を行います。
第15回	ディスカッションをまとめる	レポートをまとめるためのガイダンス。

担当者から一言

講義名	人間文化論Ｂ							担当教員	小熊　猛／京樂　真帆子／塚本　礼仁／ 濱崎　一志／Martin Hawkes／横田　祥子
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD103,134NUT103,135LAH2021,37BAC103								

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
　文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ちながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。
　本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論Ｂ							担当教員	小熊　猛／京樂　真帆子／塚本　礼仁／ 濱崎　一志／Martin Hawkes／横田　祥子
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD103,134NUT103,135LAH2021,37BAC103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	「異国」との交流	3回の講義の概要を説明する。「異」なるモノとの出会い、時空間の歴史学的認識について、「国風文化」論の再検討を行う。（京樂真帆子）
第2回	「異界」との交流	「異」なるモノとの出会い、時空間の歴史学的認識について、「百鬼夜行」を通して再検討する。（京樂真帆子）
第3回	「異性」との交流	「異」なるモノとの出会い、時空間の歴史学的認識について、性の多様性を確認した上で、異性への呼びかけを和歌に詠んでもらう。（京樂真帆子）
第4回	Starbucksの文化地理	スターバックスの世界展開を素材として、地理学の立場から、文化の交流・交差、受容・反発という問題にアプローチする。（塚本礼仁）
第5回	蒲焼の文化地理	日本人が好むウナギの蒲焼を素材として、地理学の立場から、文化の交流・交差、受容・反発という問題にアプローチする。（塚本礼仁）
第6回	地域イメージの文化地理	人びとが抱く地域イメージを素材として、地理学の立場から、文化の交流・交差、受容・反発という問題にアプローチする。（塚本礼仁）
第7回	アーチの誕生と伝播	メソポタミアで生まれ、ローマ帝国の繁栄とともに広く伝播したアーチ構造であるが、インド亜大陸では11世紀まで採用されることはなかった。建築技術の伝播を文化の選択的取得の視点から論じる。
第8回	仏教東漸	インド亜大陸で生まれた仏教が中央アジア、中国、朝鮮をへて日本に伝来するまでの変遷を建築史的視点で論じる。（濱崎一志）
第9回	滋賀県の民家	滋賀県の民家の特徴と系譜や、その分布域について事例をあげながら論じる。（濱崎一志）
第10回	英語の変遷：英語の外面史	英語の外面史：英語の時代区分 英語は古英語、中英語、近代英語と大別される。それぞれの時代の人々の移動と言語接触、英語とい
第11回	英語の変遷：古英語から中英語へ	古英語から中英語へ 第10回で概観した英語の歴史的変化の古英語から中英語への変化に注目して講義を進める。（小熊
第12回	英語の変遷：中英語から近代英語へ	中英語から近代英語へ 中英語から近代英語は音韻的変化によって区別される。大母音推移に触れながら講義を進める。（小
第13回	Global languages	In this first class, we will explore languages in history that expanded beyond their homelands to become international languages. (Martin Hawkes)
第14回	Global Englishes	In this second class, we will look at the current situation of one language that claims to be a global language - English. (Martin Hawkes)
第15回	The Future of Global Englishes	In the final class, we will look forward to the future of global communication. Will English remain the most important global language? (Martin Hawkes)

担当者から一言

講義名	人間文化論Ｃ							担当教員	宮本　雅子／奥村　万寿美／中村　好孝／ 松嶋　秀明／横田　尚美
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD104,134NUT104,135LAH203								

授業概要

人間文化論Ｃでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題ついて考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系３学科（生活デザイン・生活栄養・人間関係）教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について５回講義する（宮本・横田）。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点をとりあげながら、健康を維持・増進するための食生活について５回講義する（奥村）。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を５回講義する（松嶋・中村）。

到達目標

（宮本・横田）（1）住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。
（奥村）　現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。
（松嶋・中村）（1）家族をみるための視点を身につけることができる。（2）現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	（宮本・横田）到達目標の（1）住宅の中の暮らしとその変化について理解すること、（2）自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる、については、課題レポート（33%：（1）19%、（2）14%）

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の３分の１以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論Ｃ							担当教員	宮本　雅子／奥村　万寿美／中村　好孝／ 松嶋　秀明／横田　尚美
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	133LVD104,134NUT104,135LAH203								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	日本の住まい	日本の住宅について概観する。
第2回	超高齢社会における住環境	超高齢社会における日本の住宅問題について考えるきっかけとする。
第3回	日本のあかり	日本のあかりの歴史について概観し、現代の照明環境について考える。
第4回	ファッション消費環境	衣服は最もからだに近い環境である。その視点から、服と人間とのかかわりについての問題点を考える。
第5回	ファッション産業をとりまく環境	毎日からだに身に着ける服がどのような環境で作られているのか、より広い視野で衣服と環境について考える。
第6回	日本人の食事の変遷	日本人の食文化と食事について解説するとともに，現代の日本人の目指す食事について考察する．
第7回	日本の食糧事情	現在、私たちはどのような食の環境の中に置かれ、どのような食の問題を抱えているのか、食の安全・安心について考える。
第8回	健康食品とサプリメント	近年、いわゆる健康食品やサプリメントが数多く市場に出まわっている。その機能性や摂取法、健康被害にあわないための注意点などについて述べる。
第9回	健康を維持増進するため食生活	生活習慣病予防のために、何を・いつ・どのように食べるのかについて述べる
第10回	「食べる力」＝「生きる力」を育む食育～実践力を育てる～	「食べる力」を育む実践力の強化法について述べる。
第11回	家族のなりたちと人間の心理	進化心理学、あるいは文化心理学の観点から、人間の家族のもつ特殊性、家族の成立する要件などについて外観する。また、そのことが食生活や、住居の問題といかに密接につながっているのかについ
第12回	家族を形成する心理	恋愛から結婚、出産というライフイベントを人はどのように経験し、のりこえていくのか。そこに心理学的にどのような問題が生じていくのかについて家族心理学的観点から述べる。
第13回	家族を維持する心理	出産、育児と、仕事との両立、あるいは父親の育児参加といった問題について、家族心理学的観点から述べる。
第14回	家族関係の歪みがもたらすもの	家族をいとなんでいくうえで遭遇する障害や病理、具体的には愛着の問題、産後うつ、思春期の不適応などについて述べる
第15回	家族関係の社会学	家族関係が社会関係により、いかに相互に影響されあっているのかについて、社会学的観点から述べる。

担当者から一言

講義名	発展演習Ⅰ							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1402621	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337TUT203								

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習Ⅰ							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1402621	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337TUT203								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	発展演習II							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1402622	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337TUT204								

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	１００	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習Ⅱ							担当教員	学科教員／河　かおる／小熊　猛／ 呉　凌非／島村　一平／地蔵堂　貞二／ John Rippey／棚瀬　慈郎／谷口　真紀／ 橋本　周子／Borjigin Burensain／Martin Hawkes／ 山本　薫／吉村　淳一
講義コード	1402622	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	337TUT204								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各ゼミの担当者による説明

担当者から一言

講義名	パブリック・スピーチ/							担当教員	John Rippey
講義コード	1402623	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students first read about and watch examples of public speaking and then extensively practice their own speeches. In this course, students strengthen three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner. All three types of speech are commonly used in educational settings; the course offers preparation for study abroad experiences as well as general strengthening of English productive skills.

到達目標

(1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
(2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
(3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
(4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	パブリック・スピーチ/							担当教員	John Rippey
講義コード	1402623	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of course content and activities.
第2回	Impromptu Speech (1)	Principles and practice.
第3回	Extemporaneous Speech (1)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第4回	Impromptu Speech (2)	Principles and practice.
第5回	Extemporaneous Speech (2)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第6回	Impromptu Speech (3)	Principles and practice.
第7回	Extemporaneous Speech (3)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第8回	Midterm Evaluation	An extemporaneous speech.
第9回	Formal Speech (1)	Peer feedback on speech manuscript.
第10回	Formal Speech (1), continued	Delivery of speech.
第11回	Formal Speech (2)	Peer feedback on speech manuscript.
第12回	Formal Speech (2), continued	Delivery of speech.
第13回	Formal Speech (3)	Peer feedback on speech manuscript.
第14回	Formal Speech (3), continued	Delivery of speech.
第15回	Course Overview	Delivery of final speeches.

担当者から一言
Homework is assigned each week and is compulsory. Students are expected to attend every class meeting; more than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

講義名	Public Speaking							担当教員	John Rippey
講義コード	1402624	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG308								

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students first read about and watch examples of public speaking and then extensively practice their own speeches. In this course, students strengthen three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner. All three types of speech are commonly used in educational settings; the course offers preparation for study abroad experiences as well as general strengthening of English productive skills.

到達目標

(1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
(2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
(3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
(4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Public Speaking							担当教員	John Rippey
講義コード	1402624	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337ENG308								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of course content and activities.
第2回	Impromptu Speech (1)	Principles and practice.
第3回	Extemporaneous Speech (1)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第4回	Impromptu Speech (2)	Principles and practice.
第5回	Extemporaneous Speech (2)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第6回	Impromptu Speech (3)	Principles and practice.
第7回	Extemporaneous Speech (3)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第8回	Midterm Evaluation	An extemporaneous speech.
第9回	Formal Speech (1)	Peer feedback on speech manuscript.
第10回	Formal Speech (1), continued	Delivery of speech.
第11回	Formal Speech (2)	Peer feedback on speech manuscript.
第12回	Formal Speech (2), continued	Delivery of speech.
第13回	Formal Speech (3)	Peer feedback on speech manuscript.
第14回	Formal Speech (3), continued	Delivery of speech.
第15回	Course Overview	Delivery of final speeches.

担当者から一言
Homework is assigned each week and is compulsory. Students are expected to attend every class meeting; more than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

講義名	フランス語コミュニケーションＩＡ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1402901	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA107								

授業概要

フランス留学を視野に入れた、初～中級のフランス語の授業です。
前期半年間に学習した初級文法の知識をもとに、より実践的なシチュエーションにおいてのフランス語運用を目指します。ある程度まとまった長さの文章を読解するとともに、簡単な会話の実践、聞き取りや書き取りを行います。文法知識の定着を図りつつ、現地での生活をスムーズに開始できるように準備します。

到達目標

（1）フランス語初～中級程度の文章を理解できる。
（2）授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す（1）については、定期試験（５０%）および１課が済むごとに実施する小テスト（２５%）
レポート課題		
上記以外	25	（2）については毎回の予習が確実にできているかの確認（２５%）によって評価する。

１課済むごとに、確認の小テストを実施する。（※毎回の出席が必須であるが、やむをえない理由で欠席し、小テストが受けられない場合は、その都度教員に相談すること）

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテクスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Les jeunes Francais d'aujourd'hui		朝日出版社	9784255352633
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーションＩＡ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1402901	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	137FLA107								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	１課	「東京のフランス人」【教科書の事前購入・予習が必要です。「授業外学習」の欄を参考のうえ、準備をしてくること。】
第2回	２課	「趣味について語る」
第3回	３課	「フランスでの食生活」
第4回	４課	「日本食のイメージ」
第5回	５課	「ブルターニュの音楽祭」
第6回	これまでのまとめ・復習	
第7回	６課	「パリに住む、地方に住む」
第8回	７課	「クロエの一日」
第9回	８課	「ヴァカンスとアルバイト」
第10回	９課	「演劇との出会い」
第11回	これまでのまとめ・復習	
第12回	１０課	「家庭事情」
第13回	１１課	「就職問題」
第14回	１２課	「バカロレアを受けてからどうする？」
第15回	これまでのまとめ・復習	

担当者から一言

講義名	フランス語コミュニケーションＩＢ							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402902	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講		
ナンバリング番号	137FLA108								

授業概要

この授業で直ぐに使える便利な構造を学ぶ。

様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。

そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話が出来るようになることを目標とします。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	役割演技　X　４　＝　４０ ＋ 参加　＝　１０

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーションⅠB							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402902	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講		
ナンバリング番号	137FLA108								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	シチュエーション＃１： 「パン屋で、菓子屋で」　（１）	Situation 1: à la boulangerie-pâtisserie パン、ケーキ
第2回	シチュエーション＃１： 「パン屋で、菓子屋で」　（２）	Situation 1: à la boulangerie-pâtisserie 商品を頼む
第3回	シチュエーション＃２： 「市場で」　（１）	Situation 2: au marché 野菜、果物、ハーブ
第4回	シチュエーション＃２： 「市場で」　（２）	Situation 2: au marché 量を言う
第5回	ロープレ小テスト　１	Petit test en situation n.1
第6回	シチュエーション＃３： 「食料品店で／スーパーで」	Situation 3: à l ' épicerie/au supermarché 食料品
第7回	シチュエーション＃３： 「食料品店で／スーパーで」	Situation 3: à l ' épicerie/au supermarché 量を言う
第8回	シチュエーション＃４： 「文房具店で」	Situation 4: à la papeterie 文房具
第9回	シチュエーション＃４： 「文房具店で」	Situation 4: à la papeterie ユーロについて
第10回	ロープレ小テスト　２　＋ シチュエーション＃５：	Petit test en situation n.2 ＋
第11回	シチュエーション＃５： 「ホテルで」　（２）	Situation 5: à l ' hôtel ホテル
第12回	ロープレ小テスト　３	Petit test en situation n.3
第13回	シチュエーション＃６： 「駅で」　（１）	Situation 6: à la gare TGVについて
第14回	シチュエーション＃６： 「駅で」　（２）	Situation 6: à la gare TGVの切符を買う
第15回	ロープレ小テスト　４	Petit test en situation n.4

担当者から一言

講義名	フランス語コミュニケーションⅡＡ							担当教員	橋本　周子
講義コード	1402903	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA222								

授業概要

フランス留学を視野に入れた、中級フランス語の授業です。
初級文法で学習した知識を用い、ある程度まとまった長さの文章を読解していきます。文法知識の定着を図りつつ、現代フランスの実情に関する知見も養います。読解が授業の中心となりますが、適切なイントネーションで長文を声に出して読む練習も行います。
なお、進度については、習熟度によって、下記【授業計画】よりも遅く展開する可能性があります。

到達目標

（1）フランス語中級程度の文章を理解できる。
（2）授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す（1）については、定期試験（５０%）および１課が済むごとに実施する小テスト（２５%）
レポート課題	25	（2）については毎回の予習が確実にできているかの確認（２５%）によって評価する。
上記以外		

１課済むごとに、確認の小テストを実施する。（※毎回の出席が必須であるが、やむをえない理由で欠席し、小テストが受けられない場合は、その都度教員に相談すること）

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテクスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	時事フランス語　２０１８年度版（ア・ラ・パージュ）		朝日出版社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーションII A							担当教員	橋本　周子
講義コード	1402903	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	237FLA222								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	１課	【初回参加時に予習が必要。下記「授業外学習」の欄を参照のこと】
第2回	２課	
第3回	３課	
第4回	４課	
第5回	５課	
第6回	これまでのまとめ・復習	
第7回	６課	
第8回	７課	
第9回	８課	
第10回	９課	
第11回	これまでのまとめ・復習	
第12回	１０課	
第13回	１１課	
第14回	１２課	
第15回	１３課	

担当者から一言

講義名	フランス語コミュニケーションⅡＢ							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402904	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	237FLA223								

授業概要

この授業はフランス語コミュニケーションＩＢの続きです。

様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。

そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話が出来るようになることを目標とします。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	役割演技　X　４　＝　４０ ＋ 参加　＝　１０

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーションII B							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402904	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	237FLA223								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	シチュエーション＃１： 「地下鉄の駅で」（1）	Situation 1: dans une station de métro パリの地下鉄
第2回	シチュエーション＃１： 「地下鉄の駅で」（2）	Situation 1: dans une station de métro 道順を尋ねる
第3回	シチュエーション＃２： 「田舎で」（1）	Situation 2: à la campagne 小さな町の建物
第4回	シチュエーション＃２： 「田舎で」（2）	Situation 2: à la campagne 道を尋ねる
第5回	ロープレ小テスト　１	Petit test en situation n.1
第6回	シチュエーション＃３： 「観光協会で」（1）	Situation 3: à l'office du tourisme パリ祭
第7回	シチュエーション＃３： 「観光協会で」（2）	Situation 3: à l'office du tourisme イベントについて情報を求める
第8回	シチュエーション#4: 「スポーツ協会で」（1）	Situation 4: dans une association sportive 活動の登録
第9回	シチュエーション#4: 「スポーツ協会で」（2）	Situation 4: dans une association sportive 活動の登録について情報を求める
第10回	ロープレ小テスト　２　＋ シチュエーション＃５：	Petit test en situation n.2 ＋
第11回	シチュエーション＃５： 「自転車をレンタルする」	Situation 5: louer des vélos 予定を言う「するつもり」
第12回	ロープレ小テスト　３	Petit test en situation n.3
第13回	シチュエーション＃６： 「亡くした物」（1）	Situation 6: un objet perdu 鞄にある物
第14回	シチュエーション＃６： 「亡くした物」（2）	Situation 6: un objet perdu 警察署で亡くしたか盗まれた物を言う
第15回	ロープレ小テスト　４	Petit test en situation n.4

担当者から一言

講義名	フランス語コミュニケーションⅡＤ/							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402906	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業概要

留学を予定している学生やモチベーションが高い学生のための授業です。

次のテーマを学びます：
- 過去の出来事について語る
- 子供の時の思い出を語る
- 有名人の伝記を語る
- 手紙やはがきの返事を書く
- 日本の物語を語る
- 物を描写する
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	プレゼンテーション　X　２　＝　２０ ＋ 文章　X　２　＝　２０

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

去年の教科書とコピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーションⅡD/							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402906	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	過去の出来事（1）	授業の目標 した旅行を物語る:　Voyage à Tahiti
第2回	過去の出来事　（2）	した旅行を物語る：　Voyage à Paris
第3回	過去の出来事　（3）	葉書を書く：　Chère Léa　(Leçon 19)
第4回	子供の時の思い出　（1）	Enfant de la ville (1)　(Leçon 29)
第5回	子供の時の思い出　（2）	Enfant de la ville (2)　(Leçon 29)
第6回	プレゼンテーション＃１	Présentations orales　n.1: «Quand j'étais petit(e)...»
第7回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ　（1）	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (1)
第8回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ　（2）	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (2)
第9回	三面記事　（1）	Fait divers (1)　(Leçon 30)
第10回	三面記事　（2）	Fait divers (2)　(Leçon 30)
第11回	有名人の伝記　（1）	Ma première histoire d'amour (1)　(Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける　（1）
第12回	有名人の伝記　（2）	Ma première histoire d'amour (2)　(Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける　（2）
第13回	物を描写	La 2CV... et autres symboles　(Leçon 32)
第14回	プレゼンテーション＃２	Présentations orales n.2: présenter un objet symbolisant le Japon et son histoire
第15回	将来の計画	Projets d'avenir　(Leçon 34)

担当者から一言

講義名	フランス語留学対策							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402907	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	237FLA224								

授業概要

留学を予定している学生やモチベーションが高い学生のための授業です。

次のテーマを学びます：
- 過去の出来事について語る
- 子供の時の思い出を語る
- 有名人の伝記を語る
- 手紙やはがきの返事を書く
- 日本の物語を語る
- 物を描写する
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	５０	
レポート課題		
上記以外	５０	プレゼンテーション　X　２　＝　２０ ＋ 文章　X　２　＝　２０

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

去年の教科書とコピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語留学対策							担当教員	Gilles Fernandez※
講義コード	1402907	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号	237FLA224								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	過去の出来事（1）	授業の目標 した旅行を物語る:　Voyage à Tahiti
第2回	過去の出来事　（2）	した旅行を物語る：　Voyage à Paris
第3回	過去の出来事　（3）	葉書を書く：　Chère Léa　(Leçon 19)
第4回	子供の時の思い出　（1）	Enfant de la ville (1)　(Leçon 29)
第5回	子供の時の思い出　（2）	Enfant de la ville (2)　(Leçon 29)
第6回	プレゼンテーション＃１	Présentations orales　n.1: «Quand j'étais petit(e)...»
第7回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ　（1）	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (1)
第8回	「からすときつね」、Jean de la Fontaineの寓話のひとつ　（2）	Une fable de Jean de la Fontaine: Le corbeau et le renard (2)
第9回	三面記事　（1）	Fait divers (1)　(Leçon 30)
第10回	三面記事　（2）	Fait divers (2)　(Leçon 30)
第11回	有名人の伝記　（1）	Ma première histoire d'amour (1)　(Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける　（1）
第12回	有名人の伝記　（2）	Ma première histoire d'amour (2)　(Leçon 31) 人生の出来事を時間的に位置付ける　（2）
第13回	物を描写	La 2CV... et autres symboles　(Leçon 32)
第14回	プレゼンテーション＃２	Présentations orales n.2: présenter un objet symbolisant le Japon et son histoire
第15回	将来の計画	Projets d'avenir　(Leçon 34)

担当者から一言

講義名	文化人類学概論Ａ							担当教員	島村　一平
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH204,137BAC104								

授業概要

文化人類学は，異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある．国境を越えて様々な人々が行き交う現代，文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は，益々，重要性を持つものだと考えられる．
　俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。
　本講義ではこうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性がある。

到達目標

１）文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に着けることができる。
２）まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方が身に付く。３）一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性が見いだせるようになる。
４）我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことも理解できるようになる。（日本の文化を相対的に眺めるという視点を身に着けることができるようになる）。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	穴埋め試験・・・文化人類学の基礎的な理論を理解できているか。あるいは著名な文化人類学者の名前なども問う。 記述試験・・・論理的であること。文化人類学の概念を正確に理解できていること。発想にオリジナリティがあるこ
レポート課題	40	論理的であること。文化人類学の用語が正確に理解し、使えていること。ネット情報だけに頼らず、文献も調べていること。
上記以外		授業期間中に発言をした学生は、一回につき1点を加点していきます。

授業外学習

各回の該当する教科書の部分は、事前に読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学カレッジ版	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2	文化人類学キーワード	山下晋司・船曳建夫	有斐閣	978464105886
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	よくわかる文化人類学	綾部恒雄・桑山敬己	ミネルヴァ書房	4623045773
2	よくわかる異文化コミュニケーション	池田理知子	ミネルヴァ書房	9784623056095
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	文化人類学概論Ａ							担当教員	島村　一平
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH204,137BAC104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス：異文化理解の方法論としての文化人類学	文化人類学とは、どのような学問なのかを概観します。さらに、それが異文化理解の方法としてなぜ有効なのかを考えていきます。
第2回	人間と文化	文化人類学の基礎概念である「文化相対主義」について学びます。
第3回	文化人類学と質的研究Ⅰ	文化人類学的フィールドワークでは、「質的な思考」や「質的研究」を重要視します。ここで質的研究とは何なのかを学びます。
第4回	文化人類学と質的研究Ⅱ	文化人類学の方法論であるエスノグラフィーについて学びます。 教科書『カレッジ版文化人類学』第2章p.32－p.49
第5回	ディスカッション	これまでの講義の内容についてディスカッションを行います。テーマは、「自文化を相対化する」「やってみたい質的調査」などを予定しています。
第6回	他者性と西洋近代	「異文化」という言葉に代表される［他者化」の背後に潜む歴史を紐解きます。 ミネルヴァ書房『よくわかる文化人類学』ｐ．174-177
第7回	人生と通過儀礼	われわれは人生の中でさまざまな通過儀礼を経験します。ここでは通過儀礼とは何か、その説明原理である境界理論などを学びます。
第8回	儀礼の構造とコミュニタス	ファンヘネップの「儀礼の構造」論やターナーの「コミュニタス」論を学びます。時間や空間の人為性という概念を理解します。
第9回	宗教と世界観Ⅰ：文化人類学と宗教・邪術	人類にとって普遍的な宗教現象や宗教意識の深奥にまでさかのぼって考察します。今回は、宗教やその大元となる呪術的思考の源泉まで、ふれて人間にとって宗教とは何かという問題に迫っていきま
第10回	宗教と世界観Ⅱ：妖術・シャーマニズム・宗教と民族復興	ここでは災厄の説明原理としての「妖術」やシャーマニズムについて学びます。また、宗教が民族復興と関連していることについて学びます。
第11回	宗教と世界観Ⅲ：グローバル化時代における宗教	この回では、グローバル化する世界と宗教の問題について考えていきます。
第12回	ディスカッション	これまでの講義内容についてディスカッションを行います。テーマは、「近代化と妖術と邪術」「宗教と民族問題」などを予定しています。
第13回	異文化接触	この回では、異文化接触において、コンフリクトがおきるのが当然と思いがちだが、いかにしてコンフリクトが生まれたり、そのきっかけとなる偏見が生まれるのか、そのメカニズムを明らかにしま
第14回	「日本人論」を相対化する	日本人とは何か、という問題について、欧米を中心にした外国のみならず日本でも多くの議論がなされてきました。我々はなぜ「日本人論」がすきなのか。欧米が描く日本人論と何が違うのか。考察を
第15回	ディスカッション	これまでの講義内容についてディスカッションを行います。

担当者から一言

講義名	文化人類学概論Ｂ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402970	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH205,137ILA101								

授業概要

文化人類学において蓄積されてきた知見のうち、１）親族研究、２）医療人類学、３）「死」とそれにまつわるシンボリズムと儀礼の研究を中心に論じる。

到達目標

文化人類学の広範な学問的蓄積の中で、特に親族研究についての理論、知見についての知識の獲得を目指す。また医療人類学や葬送儀礼についても学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	１００	講義で紹介してきた文化人類学の理論や用語、代表的な研究、事例についての理解度を評価基準とする。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学（カレッジ版）	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学概論Ｂ							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402970	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH205,137ILA101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	民族生殖理論	生殖に関する民族的な理論は、文化や時代によって大きく異なる。その文化人類学における研究について概観する。
第2回	親子関係	
第3回	婚姻と家族	
第4回	婚姻と家族	
第5回	婚姻と家族	
第6回	社会的交換	
第7回	社会的交換	
第8回	クラン、リネージ	
第9回	擬制的親子関係	
第10回	日本の家	
第11回	医療人類学	
第12回	医療人類学	
第13回	死についての観念	
第14回	葬送儀礼と先祖観	
第15回	現代医療と死	

担当者から一言

講義名	文化人類学特論							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH206,337ILA205								

授業概要

人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。
また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。

到達目標

性、誕生、死といった人間の普遍的な事象を考察することを通じて、文化の特殊性と、人間存在の普遍性についての考察を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	１００	授業中に紹介した文化人類学のタームや理論についての理解度を評価基準とする。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学特論							担当教員	棚瀬　慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	2300TH206,3371LA205								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	民俗生殖理論	文化人類学における理論の紹介と、具体的事例についての検討
第2回	民俗生殖理論（２）	
第3回	出産の社会的意味	
第4回	生殖医療	
第5回	親子関係	
第6回	様々な家族の形	
第7回	婚姻（１）	
第8回	婚姻（２）	
第9回	婚姻（３）	
第10回	ジェンダーについて	
第11回	性を考える	
第12回	様々な性の形	
第13回	人間と死（１）	
第14回	人間と死（２）	
第15回	人間と死（３）	

担当者から一言

講義名	ポストコロニアル論							担当教員	栢木　清吾※
講義コード	1402991	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

「ポストコロニアル論」とは、過去および現在の植民地主義に由来する数々の負の遺産を理解し、それらの根絶を企図して練り上げられてきた批判的知の集積である。本授業では、フランツ・ファノン、エドワード・サイード、ガヤトリ・スピヴァクといった重要な思想家・理論家の議論を紹介しながら、ポストコロニアルな諸問題の考察に必須となる基本的な概念やキーワードについて概説する。その上で、そうした知見を活かしながら、受講者自身が様々な領域になかにポストコロニアルな問題を発見し、考察できるようになることが、本授業の目的である。中学、高校の教科書で習ったはずの文学作品、新聞やテレビで目にしたはずの事件、毎日の食卓に上がる飲み物や食べ物、観光旅行の定番になっている地域やスポットなどを題材に取りながら、我々の日常世界に偏在する植民地主義の影響と痕跡を浮き彫りにしていきたい。

到達目標

(1) ポストコロニアル論に関わる基礎的な概念やキーワードを理解できる。
(2) 授業内容を踏まえた上で、 自ら課題を設定し、それについて思考し、調査することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	到達目標（1）（2）について、レポート課題を課す。
上記以外	30	到達目標の各項目について、数回にわたってミニッツペーパーの執筆を求める。

授業外学習

初回の授業において、各回の授業で取り上げる主要テクストの一覧を配布する。内容をよりよく理解するために、事前に目を通しておくことが望ましい。また本授業では、補助教材として、映画や小説、漫画、アニメなど様々な作品を紹介する。復習にあたって、レジュメやノートの再読ととも

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定の教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ポストコロニアル理論入門	アーニャ・ルーンバ	松柏社	4881989650
2	ポストコロニアリズム	本橋哲也	岩波書店	400430928X
3				

前提学力等

世界史と日本史（とくに近現代史）に関して高校教科書程度の知識を有していれば、本授業の内容を理解しやすいだろうと思われる。が、それらについて十分に知悉していなければならない、というわけではない。人はいつからでも学び直せるのだから。

履修資格

講義名	ポストコロニアル論							担当教員	栢木　清吾※
講義コード	1402991	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	授業概要の説明	「ポストコロニアル論」の意義と射程、および本授業の進め方について説明する。
第2回	【入門編①】多国籍企業とモノカルチャー経済	旧植民地地域に残存するモノカルチャー経済を事例とし、植民地主義の継続する影響と、それらがグローバル化のなかで再生産されている現状を紹介する。
第3回	【入門編②】近代日本文学史に「植民地暴力」の痕跡を読み取る	夏目漱石や森鴎外など国語教科書で頻繁に取り上げられる近代作家の小説群に、同時代の植民地主義や侵略戦争がどのように書き込まれているかを再発見する。
第4回	【入門編③】ナショナリズム・人種差別・移民排斥	近年、世界中で台頭している排外的なナショナリズムや人種差別、移民排斥運動に潜在するポストコロニアルな諸相について検討する。
第5回	【理論編①】近代資本主義とカリブ世界	エリック・ウィリアムスやC.L.R.ジェイムズの議論を概説しながら、近代的な経済システムの発展と奴隷制の関係について考察する。
第6回	【理論編②】植民地主義と人種／国民的アイデンティティの構築	フランツ・ファノンやベネディクト・アンダーソンの議論を参照しながら、植民地的空間において、国民や「人種」というカテゴリーを基軸とした近代的なアイデンティティが構築されていった過程を
第7回	【理論編③】オリエンタリズム、知、権力	エドワード・サイードの「オリエンタリズム論」と、その基礎となっているミシェル・フーコーの知と権力の関係性に関する議論を概述する。
第8回	【理論編④】歴史叙述とサバルタンの記憶	サバルタン・スタディーズ・グループの歴史研究、とくにグループの代表者であるラナジット・グハの議論の意義について概説する。
第9回	【理論編⑤】ポストコロニアル・ジェンダー論	ガヤトリ・チャクラボルティ・スピヴァクの議論を紹介しながら、ポストコロニアル研究の分野におけるジェンダー論の視点の重要性について解説する。
第10回	【理論編⑥】異種混交性、擬態、抵抗	ホミ・バーバやロバート・ヤングの研究を参照しながら、（ポスト）植民地空間における文化生産やアイデンティティ形成をめぐる複雑性や権力関係について考察する
第11回	【応用編⑦】ディアスポラ論再考	スチュアート・ホールやポール・ギルロイの議論について概説しながら、単純な移民研究や難民研究を越えた次元で展開される「ディアスポラ論」の意義を解説する。
第12回	【応用編①】日本研究にとって、ポストコロニアルとは「いつ・ど	日本と近隣地域のあいだで現出している幾つかの具体的な歴史問題を事例にしながら、ポストコロニアル論の知見を活用する視点を学ぶ。
第13回	【応用編②】「ハーフ」と日本人	近現代の日本社会で「ハーフ」と呼ばれる人びとがどのように扱われてきたのかを通覧しながら、人種差別と性差別の問題の絡まりあいについて考察する。
第14回	【応用編③】ジモトの風景、ポストコロニアルな隣人関係	関西地域における旧植民地出身の移住者コミュニティを事例として、身近な生活環境や隣人関係に潜むポストコロニアルな次元を考察する。
第15回	授業全体の振り返り	授業全体を振り返りながら、全体ディスカッション（質疑応答）を行う。

担当者から一言
ミニッツペーパーなどから得られた受講者の反応によっては、授業の展開（進捗速度や情報量の多寡）を若干変更する事がありえる。そのため、上記の授業計画の順序が前後する可能性もある。

講義名	翻訳文化論							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402992	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC210								

授業概要

翻訳は単なる手作業の一つだと思われがちですが、日本の科学研究に大きく寄与してきた翻訳自体も学問としてとらえることの重要性がかなり認識されてきました。国際コミュニケーション学科の学生は翻訳文化論を通して翻訳の基本を知ることができるのみならず、国際感覚を身につけることもできます。この講義は人間による翻訳とコンピューターによる翻訳の比較をしながら進めていきます

到達目標

（1）言語学関連の基礎知識を習得すること
（2）人間によることばの翻訳に関する知識を習得すること
（3）コンピューターによることばの翻訳に関する知識を理解すること
（4）宿題を提出すること 成績評価

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	７５％	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	２５％	出席、授業態度、課題などで判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の際に紹介します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと

履修資格

講義名	翻訳文化論							担当教員	呉　凌非
講義コード	1402992	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	337LAC210								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	導入	講義全体の流れ、概要などを説明します。
第2回	翻訳学基礎（１）	翻訳学に関するさまざまの視点からどう見られているかについて講義します。
第3回	翻訳学基礎（２）	翻訳学に関するさまざまの視点からどう見られているかについて講義します。
第4回	翻訳学基礎（３）	翻訳学に関するさまざまの視点からどう見られているかについて講義します。
第5回	人間によることばの翻訳（１）	翻訳学の研究内容と翻訳レベルについて講義します。
第6回	人間によることばの翻訳（２）	翻訳の技法について講義します。
第7回	人間によることばの翻訳（３）	実際の翻訳作業における注意点について講義します。
第8回	人間によることばの翻訳（４）	実際の翻訳作業における注意点について講義します。
第9回	コンピューターによることばの翻訳（１）	機械翻訳の歩みについて講義します。
第10回	コンピューターによることばの翻訳（２）	機械翻訳における形態素解析及びフローチャートについて講義します。
第11回	コンピューターによることばの翻訳（３）	機械翻訳における構文解析について講義します。
第12回	コンピューターによることばの翻訳（４）	機械翻訳における意味解析について講義します。
第13回	コンピューターによることばの翻訳（５）	機械翻訳における訳語生成及び曖昧性の解消について講義します。
第14回	実戦翻訳ワークショップ	学生をグループに分けて、与えられた課題を実際に翻訳して、翻訳結果を比較することで、翻訳に対する理解を深めます。

担当者から一言
座標の考え方はフランス数学者ルネ・デカルトが病床で天井を見た際に思いついたそうです。思考する人間になりましょう。

講義名	モンゴル語ＩＡ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403036	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL141,137FLA101								

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている。本講義（ＩＡ）では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法をマスターすることを目的とする。
１Ｂは、会話中心の講義を行うものとする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。そのために学生の学習進度に応じて、教科書以外に映画やポピュラー音楽、民謡の歌詞などを教材に取り入れる。

到達目標

モンゴル語の基礎文法を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	小テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級モンゴル語	塩谷茂樹、Ｅ．プレブジャブ	大学書林	
2				
3				

初回授業に持参するもの：教科書、そして愛と好奇心。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

なし。

履修資格

講義名	モンゴル語ＩＡ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403036	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL141,137FLA101								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	概論	モンゴルはどんな言語なのか。どこで話されているのか。言語の社会歴史的背景を概観する。
第2回	文字	
第3回	文の基本構造 と語の基本構造	
第4回	名詞の形と変化	
第5回	主格	
第6回	指示代名詞	
第7回	人称代名詞	
第8回	疑問代名詞	
第9回	質問文の作り方	
第10回	過去形	
第11回	動詞の否定形	
第12回	属格 与位格 奪格	
第13回	共同格と造格	
第14回	後置詞	
第15回	まとめ	

担当者から一言
人とは違うことがやりたいあなた。スーホの白い馬の馬頭琴が気になる彼女。モンゴルの鉱山開発で一山当てたい山師な君。白鳳が好きでたまらない相撲女子。てか、国コミュ入ったけど、実は英語も苦手だし、ヨーロッパ言語はもうやりたくないという君。みんな歓迎します。楽しく勉強しま

講義名	モンゴル語ＩＢ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403037	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL142,137FLA102								

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。本講義では、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。

到達目標

(1)モンゴル語で基本的な日常会話ができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト 簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	すぐに役立つ　最新モンゴル語会話	近藤和正	テンブックス	9784886960351
2				
3				

教科書と情熱

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル語ＩＢ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403037	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL142,137FLA102								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	サイン　バイノー！	モンゴル語の挨拶
第2回	モンゴル語のアルファベット	
第3回	モンゴル人の名前と「～さん」の言い方	
第4回	「わたしは日本から来ました」	
第5回	お茶をお飲みになりますか	
第6回	映画を見ますか	
第7回	何時に会いましょうか	
第8回	この近くに郵便局はありますか	
第9回	バスで行きましょう	
第10回	復習	
第11回	靴がほしいんですが	
第12回	どんな料理が好きですか	
第13回	日本語がわかりますか	
第14回	もしもし－電話で使う表現	
第15回	おめでとうございます	

担当者から一言
人とは違うことがやりたいあなた。スーホの白い馬の馬頭琴が気になる彼女。モンゴルの鉱山開発で一山当てたい山師な君。白鳳が好きでたまらない相撲女子。てか、国コミュ入ったけど、実は英語も苦手だし、ヨーロッパ言語はもうやりたくないという君。みんな歓迎します。楽しく勉強しま

講義名	モンゴル語ＩＩＡ							担当教員	堀田　あゆみ※
講義コード	1403038	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL143,137FLA215								

授業概要

モンゴル語Ｉで学んだ基礎文法や単語を活用し、さらに実用的な読解能力、筆記能力およびコミュニケーション能力を身につける。さまざまな日常場面で必要とされるモンゴル語特有の表現や発音に慣れるため、受講生にはどんどん声を出してもらう機会をつくる。
また、マナーや年中行事、流行、ゲーム、漫画などを通して、遊牧文化や現代モンゴル社会に対する理解を深める。

到達目標

（１）基礎単語を習得し、正しく発音できる。
（２）初級レベルの文法項目を正しく理解し、自身で使いこなせる。
（３）正書法を正しく理解し、読み書きができる。
（４）辞書を用いて、文章の意味を正しく理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）～（４）について、筆記試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	毎回授業の始めに前回の内容の復習小テストを実施する。

授業時間数の３０％以上を欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

予習は不要。復習はしっかりと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業では、モンゴル語のテキストを随時配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	すぐに役立つモンゴル語会話	近藤和正	TEN　BOOKS	4-88696-008-1
2	入門モンゴル語	タニ ヒロユキ	私家版電子ファイル	
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語Ｉで学んだ語彙および文法事項を習得していること。

履修資格

講義名	モンゴル語ⅡA							担当教員	堀田　あゆみ※
講義コード	1403038	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL143,137FLA215								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	自己紹介	モンゴル語のあいさつ、自己紹介の練習。
第2回	モンゴル地図	モンゴル国の地図の読解：地理について概要を把握する。
第3回	ウランバートル市	首都ウランバートル市内地図の読解。
第4回	モンゴルの住居	文章の読解：都市の住居、草原の住居（ゲル）の機能。
第5回	生活用具	文章の読解：家具や生活用具の配置と機能。
第6回	お金	現地通貨トゥグルクの表記と聞き取り練習。
第7回	さまざまな数字	数字の表記と書き取り練習。
第8回	食事①都市	食材および料理名を通じた動詞の活用法。
第9回	食事②草原	食材および料理名を通じた動詞の活用法。
第10回	5家畜（ウマ、ウシ、ラクダ、ヤギ、ヒツジ）	家畜に関する形容表現。
第11回	モンゴルの遊び	文章の読解：シャガイ（くるぶしの骨）を使った遊び。
第12回	旧正月	文章の読解：旧正月の過ごし方。
第13回	右手尊重のマナー	文章の読解：モンゴル人の身体技法。
第14回	ハダグ（儀礼用絹布）を捧げる伝統	文章の読解：ハダグ（儀礼用絹布）の贈答法。
第15回	モンゴル漫画	くだけた会話の練習。

担当者から一言
授業ではモンゴルの文化や社会事情についてもできるだけ触れていきます。 分からないことがあれば、授業中になんでも質問してください。

講義名	モンゴル語ＩＩＢ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403039	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL144,137FLA216								

授業概要

本講義では、新聞や雑誌、インターネットの文章などを読みながら、文法の定着を目指す。
また、新聞や雑誌を通して、現代モンゴル社会への理解を深めていきたい。
そのほか、インターネットのブログやチャットなどで使われているモンゴル語なども学ぶことで、モンゴル人とインターネットを利用したコミュニケーションをする能力を身につけていく。
実際にモンゴル人ブログに書き込むといったトレーニングにもチャレンジすることも検討している。

到達目標

(1)受講生は、モンゴル語で辞書を使いながら新聞や雑誌、インターネットのサイトを読む能力が身に付く。
(2)ネットでモンゴル人とコミュニケーションする能力も身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	モンゴル語の新聞や雑誌を読解できるか。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト。　作文能力をとう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

与えられたテキストは、わからない単語を辞書で前もって調べておくこと。
予習・復習は忘れずに。

履修資格

講義名	モンゴル語ＩＩＢ							担当教員	島村　一平
講義コード	1403039	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	101FRL144,137FLA216								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	新聞を読もう１	モンゴル語の新聞を読むトレーニングをする。政治経済が中心。
第2回	新聞を読もう2	
第3回	新聞を読もう3	
第4回	新聞を読もう4	
第5回	新聞を読もう5	
第6回	雑誌を読もう１	モンゴル語の雑誌を読むトレーニングをする。ファッション誌や音楽誌などから若者が良く使う表現を学ぶ。占いなども扱う。
第7回	雑誌を読もう２	
第8回	雑誌を読もう３	
第9回	インターネットのモンゴル語１	
第10回	インターネットのモンゴル語2	
第11回	インターネットのモンゴル語3	
第12回	メールを書こう１	
第13回	メールを書こう2	
第14回	メールを書こう3	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	モンゴル語コミュニケーションＩＡ							担当教員	内田　孝※
講義コード	1403051	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA103								

授業概要

この授業では、モンゴル語による様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、基礎的な語彙と初中級レベルの文法の復習・定着練習を中心に行う。家族や友人、買い物などでよく使われる日常的表現や話題に関して、的確な自己表現や場面説明が行えるようにする。

到達目標

（１）基礎単語を習得し、自身で使いこなせる。
（２）初級レベルの文法項目を実際の会話で理解し、また自身で使いこなせる。
（３）初中級レベルの総合的な聴解力を習得している。
（４）辞書を用いて、自分の力で発言・文章の意味を正しく理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標（１）～（３）について、口頭会話による試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標各項目に関連し、小テスト（語彙・文法・会話・読解）、発表を行う。

授業時間数の３分の１以上を欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

自分自身で予習・復習をしっかり行い、既習の語彙・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。
発音練習を繰り返し行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく予定である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションＩＡ							担当教員	内田　孝※
講義コード	1403051	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA103								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	聴解・発声	アルファベット、母音、子音を復習する。
第2回	あいさつ・自己紹介	あいさつ、自己紹介、職業などを用いる表現を学ぶ。
第3回	時間・値段	時間や値段など数字を用いる表現を学ぶ。
第4回	聴解・会話の練習 1	モンゴル語を聞いて理解し、会話する。
第5回	場所・位置	場所・位置をたずねるときに用いる表現を学ぶ。
第6回	注文・買い物	レストランや店で用いる表現を学ぶ。
第7回	聴解・会話の練習 2	モンゴル語を聞いて理解し、会話する。
第8回	依頼・指示	依頼をする、依頼を受ける、依頼を断るときに用いる表現を学ぶ。
第9回	許可	許可を求める、許可を与える、許可しない・禁止するときに用いる表現を学ぶ。
第10回	聴解・会話の練習 3	モンゴル語を聞いて理解し、会話する。
第11回	家・生活	モンゴル人の家を訪問したときに用いる表現を学ぶ。
第12回	感謝・謝る	感謝する、謝るときに用いる表現を学ぶ。
第13回	聴解・会話・読解の練習 1	モンゴル語の聴解・会話・読解の練習を行う。
第14回	聴解・会話・読解の練習 2	モンゴル語の聴解・会話・読解の練習を行う。
第15回	聴解・会話・読解の練習 3	モンゴル語の聴解・会話・読解の練習を行う。

担当者から一言
モンゴルが好き・モンゴルに行きたい・外国や異文化に興味がある、モンゴル語に興味がある・世界のいろいろな言語に関心がある・自分の母語以外の言語を聞いたりしゃべったりしてみたい、自分の考えや気持ち・自分が暮らす社会文化について他者に伝えたい、他者の考えや気持ち・社会文

講義名	モンゴル語コミュニケーションＩＢ							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403052	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA104								

授業概要

モンゴル民族の伝統文字であり、現在の中国領内モンゴル自治区などで使用されている「ウイグル式モンゴル文字」の読み書きができることを目指して基層から教える。

到達目標

ウイグル式モンゴル文字を読み書きできる入門知識を取得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の二の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

フフバートル著、小沢重男監修『モンゴル基礎文法』インタ―ブック、1993

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

モンゴル語関連授業を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションⅠB							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403052	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	137FLA104								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	ウイグル式モンゴル文字やそれの習得に向けた段取りを紹介
第2回	ウイグル式モンゴル文字の音声	
第3回	ウイグル式モンゴル文字の母音（1）	
第4回	ウイグル式モンゴル文字の母音（2）	
第5回	ウイグル式モンゴル文字の子音（1）	
第6回	ウイグル式モンゴル文字の子音（2）	
第7回	ウイグル式モンゴル文字の子音（3）	
第8回	ウイグル式モンゴル文字の子音（4）	
第9回	ウイグル式モンゴル文字の子音（5）	
第10回	ウイグル式モンゴル文字の子音（6）	
第11回	ウイグル式モンゴル文字の子音（7）	
第12回	ウイグル式モンゴル文字の文法（1）	
第13回	ウイグル式モンゴル文字の文法（2）	
第14回	ウイグル式モンゴル文字の文法（3）	
第15回	まとめ	講義のまとめ

担当者から一言

講義名	モンゴル語コミュニケーションⅡA							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403053	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA217								

授業概要

モンゴル民族の伝統文字であり、現在の中国領内モンゴル自治区などで使用されている「ウイグル式モンゴル文字」の読み書きができることを目指して基層から教える。

到達目標

ウイグル式モンゴル文字を読み書きできる入門知識を取得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の二の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

フフバートル著、小沢重男監修『モンゴル基礎文法』インタ―ブック、1993

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーションⅠB」をはじめ、モンゴル語関連授業を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションⅡA							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403053	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA217								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	ウイグル式モンゴル文字やそれの習得に向けた段取りを紹介
第2回	ウイグル式モンゴル文字の文法（1）	
第3回	ウイグル式モンゴル文字の文法（2）	
第4回	ウイグル式モンゴル文字の文法（3）	
第5回	ウイグル式モンゴル文字の文法（4）	
第6回	ウイグル式モンゴル文字の分法（5）	
第7回	ウイグル式モンゴル文字の文法（6）	
第8回	ウイグル式モンゴル文字の文法（7）	
第9回	ウイグル式モンゴル文字の文法（8）	
第10回	ウイグル式モンゴル文字の文法（9）	
第11回	ウイグル式モンゴル文字の文法（10）	
第12回	ウイグル式モンゴル文字の文法（11）	
第13回	ウイグル式モンゴル文字の文法（12）	
第14回	ウイグル式モンゴル文字の文法（13）	
第15回	まとめ	講義のまとめ

担当者から一言

講義名	モンゴル語コミュニケーションⅡB							担当教員	堀田　あゆみ※
講義コード	1403054	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA218								

授業概要

この授業では、モンゴル語コミュニケーションⅠで身につけた文法や会話表現を用いて、より実践的なコミュニケーションに挑戦する。留学生活で遭遇するであろうさまざまな日常場面において、相手の意図をくみ取り自分の言葉で相手に意思を伝える練習をつむ。映像・音楽・ゲーム・まんが・本、および現地の生活に関する情報を取り入れながら、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」能力を伸ばす。受講生には発話する機会をたくさんもうける。

到達目標

（1）基礎単語を習得し、正しく発音できる。
（2）初級レベルの文法項目を実際の会話で理解し、また自身で使いこなせる。
（3）初中級レベルの総合的な聴解力を習得している。
（4）辞書を用いて、文章の意味を正しく理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（1）～（3）について、期末試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60	毎回授業の始めに前回の内容の復習小テスト（語彙・文法・会話・読解）を実施する。

授業時間数の３０％以上を欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

予習は不要。復習はしっかりと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは授業ごとに配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語Ⅰ、Ⅱで学んだ語彙および文法事項を習得していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションII B							担当教員	堀田　あゆみ※
講義コード	1403054	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	237FLA218								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	あいさつ	さまざまな状況における挨拶の練習
第2回	場所	所在を尋ねる
第3回	方角	場所・配置の表現
第4回	バス	バスの乗り降り
第5回	時間	時間の表現、数字の練習
第6回	タクシー	行き先を告げる、運転手との会話練習
第7回	買い物	値段の交渉
第8回	天気	天候、気温についての表現を学ぶ
第9回	食事	注文と会計の練習
第10回	ファッション	衣服にまつわる表現
第11回	訪問	他家を訪問する
第12回	電話	電話での受け答え
第13回	病気	症状を説明する
第14回	学校	学校生活に関する会話の練習
第15回	約束	友人と出かける約束をする

担当者から一言
受講生の興味・関心も反映しながら授業をすすめて行きます。 分からないことがあれば、授業中になんでも質問してください。

講義名	モンゴル語史料講読ＩＡ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された宿題をこなすこと
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーションＩB」「モンゴル語コミュニケーションIIA」「モンゴル語資料講読ＩB]などモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読ＩＡ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403061	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	講義全体の範囲、方法などを紹介
第2回	ウイグル式モンゴル文字の遺産	ウイグル式モンゴル文字の歴史的遺産とその重要性について講義。
第3回	13世紀のモンゴル文字（1）	モンゴル帝国期のモンゴル文字による遺産について講義。
第4回	13世紀のモンゴル文字（2）	モンゴル帝国期のモンゴル文字による遺産について講義。
第5回	北元時代のモンゴル文字（1）	北元時代のモンゴル文字による遺産について講義。
第6回	北元時代のモンゴル文字（2）	北元時代のモンゴル文字による遺産について講義。
第7回	清朝時代のモンゴル語文書（1）	清朝時代のモンゴル語文書
第8回	清朝時代のモンゴル語文書（2）	清朝時代のモンゴル語文書
第9回	清朝時代のモンゴル語文書（3）	清朝時代のモンゴル語文書
第10回	清朝時代のモンゴル語文書（4）	清朝時代のモンゴル語文書
第11回	清朝時代のモンゴル語文書（5）	清朝時代のモンゴル語文書
第12回	清朝時代のモンゴル語文書（6）	清朝時代のモンゴル語文書
第13回	清朝時代のモンゴル語文書（7）	清朝時代のモンゴル語文書
第14回	清朝時代のモンゴル文書（8）	清朝時代のモンゴル語文書
第15回	まとめ	講義をまとめる

担当者から一言

講義名	モンゴル語史料講読ＩＢ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル国と内モンゴルが分離した20世紀におけるウイグル式モンゴル文字の使用状況を把握することを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の一の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーションＩB」「モンゴルコミニュニケーションIIA」「モンゴル語史料講読ＩA]などモンゴル語の関連授業を受けていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読ＩＢ/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403062	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	本講義の趣旨、方法などを紹介
第2回	20世紀のモンゴル文字	清朝末期からモンゴル国の独立、そしてキリル文字導入までのモンゴル文字による遺産を講義。
第3回	中華民国期のモンゴル語出版物講読（１）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第4回	中華民国期のモンゴル出版物講読（２）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第5回	中華民国期のモンゴル語出版物講読（３）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第6回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第7回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第8回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第9回	内モンゴル自治区におけるモンゴル文字文献（１）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第10回	内モンゴル自治区におけるモンゴル文字文献（２）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第11回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（３）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第12回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（４）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第13回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（５）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第14回	中国領モンゴル族のモンゴル文字生活	新疆ウイグル自治区、東北三省など内モンゴル自治区以外に住む中国領モンゴル族の民族文字生活
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	モンゴル語史料講読Ⅰ							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403063	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437FLA331								

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された宿題をこなすこと
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーションⅠB」「モンゴル語コミュニケーションⅡA」「モンゴル語資料講読ⅠB]などモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読Ⅰ							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403063	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437FLA331								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	講義全体の範囲、方法などを紹介
第2回	ウイグル式モンゴル文字の遺産	ウイグル式モンゴル文字の歴史的遺産とその重要性について講義。
第3回	13世紀のモンゴル文字（1）	モンゴル帝国期のモンゴル文字による遺産について講義。
第4回	13世紀のモンゴル文字（2）	モンゴル帝国期のモンゴル文字による遺産について講義。
第5回	北元時代のモンゴル文字（1）	北元時代のモンゴル文字による遺産について講義。
第6回	北元時代のモンゴル文字（2）	北元時代のモンゴル文字による遺産について講義。
第7回	清朝時代のモンゴル語文書（1）	清朝時代のモンゴル語文書
第8回	清朝時代のモンゴル語文書（2）	清朝時代のモンゴル語文書
第9回	清朝時代のモンゴル語文書（3）	清朝時代のモンゴル語文書
第10回	清朝時代のモンゴル語文書（4）	清朝時代のモンゴル語文書
第11回	清朝時代のモンゴル語文書（5）	清朝時代のモンゴル語文書
第12回	清朝時代のモンゴル語文書（6）	清朝時代のモンゴル語文書
第13回	清朝時代のモンゴル語文書（7）	清朝時代のモンゴル語文書
第14回	清朝時代のモンゴル文書（8）	清朝時代のモンゴル語文書
第15回	まとめ	講義をまとめる

担当者から一言

講義名	モンゴル語史料講読II							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437FLA332								

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル国と内モンゴルが分離した20世紀におけるウイグル式モンゴル文字の使用状況を把握することを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の一の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーションⅠB」「モンゴルコミニュニケーションⅡA」「モンゴル語史料講読ⅠA]などモンゴル語の関連授業を受けていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読II							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403064	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	437FLA332								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	本講義の趣旨、方法などを紹介
第2回	20世紀のモンゴル文字	清朝末期からモンゴル国の独立、そしてキリル文字導入までのモンゴル文字による遺産を講義。
第3回	中華民国期のモンゴル語出版物講読（1）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第4回	中華民国期のモンゴル出版物講読（2）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第5回	中華民国期のモンゴル語出版物講読（3）	20世紀初頭にモンゴル文字の出版が始まるが、その中で出された文献を講読。
第6回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第7回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第8回	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読	キリル文字導入以前のモンゴル国におけるモンゴル文字文献の講読
第9回	内モンゴル自治区におけるモンゴル文字文献（1）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第10回	内モンゴル自治区におけるモンゴル文字文献（2）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第11回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（3）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第12回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（4）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第13回	内モンゴル自治区におけるモンゴル語文献（5）	現代内モンゴル自治区におけるモンゴル文献
第14回	中国領モンゴル族のモンゴル文字生活	新疆ウイグル自治区、東北三省など内モンゴル自治区以外に住む中国領モンゴル族の民族文字生活
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	比較宗教論							担当教員	島村　一平
講義コード	1403075	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

グローバル化が進む現在、世界の大都市では、様々な宗教的背景を背負った人々が暮らしている。キリスト教、イスラーム、仏教といった世界宗教のみならず、ヒンズー教やユダヤ教といったエスニックな宗教も国境を越えて世界中のいたるところで信仰されている。また政教分離を謳っているはずの近代国家も、その「世俗性」が再考される時代となっている。例えば、アメリカは、トランプ政権以降、キリスト教原理主義的傾向を強めていると言われる。

しかし、我々はどれだけ宗教について知っているだろうか。俗に日本人は宗教音痴だという。自らの「宗教」に対しても無頓着である一方で、他者の宗教に対する理解もあまりない。しかしグローバル化する世界において、宗教に関する基礎的な教養は、様々な文化的背景を持つ人々と付き合っていく上で必須のものであるといえよう。

そこで本講義では、キリスト教、イスラーム、仏教といった世界宗教を中心に、その成り立ちや基本的な考え方、社会に与えたインパクトなどを平易に解説していこうと思う。基本的に教科書の構成に準じて解説をしていく。　またこの講義は、受講者の予習と積極的な発言を求める。

到達目標

1）キリスト教、仏教、イスラームといった大宗教の基本的な考え方が理解できるようになる。
2）それぞれの宗教が社会に対して、どのような影響を与えたのか、宗教社会学的に考察できるようになる。
3）日本人の信仰形態を世界の諸宗教との比較の中で、位置付けるという視点が獲得できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験 論述式。
レポート課題	40	レポート提出2回
上記以外		授業中発言したものは、一回につき1点を加点する。

授業外学習

教科書は必ず購入し、予習復習すること。参考書もできれば買うことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	世界がわかる宗教社会学入門	橋爪大三郎	筑摩書房	978448042279
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	原始仏典	中村元	筑摩書房	9784480093677
2	コーランを読む	井筒俊彦	岩波書店	9784006002831
3	熱狂する「神の国」アメリカ	松本佐保	文芸春秋	9784166610815

前提学力等

履修資格

講義名	比較宗教論							担当教員	島村　一平
講義コード	1403075	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	概論 本当は怖いユニオンジャック―国旗と国章の比較宗教論	近代国家は、政教分離原則を標榜しているが、果たして実態はどうなのか。この回では、概論として、国旗を題材に世界がいかに「宗教的」なのかを考えていく。
第2回	宗教と宗教社会学	この回では、宗教を相対化する宗教社会学のものの考え方を説明する。
第3回	ユダヤ教	ユダヤ教は、キリスト教の本となった宗教である。イエス・キリストも、そもそもユダヤ教徒だった。この回は、ユダヤ教の歴史と旧約聖書の世界を概観する。
第4回	キリスト教	この回では、キリスト教の基本的な考え方である福音と愛の思想や予定説を見ていく。また三位一体説や聖者崇敬という一見すると多神教的な考え方が生まれてきた背景なども考える。
第5回	宗教改革とプロテスタント	なぜカトリックから叛旗を翻してプロテスタントが生まれたのか。プロテスタンティズムのインパクトと資本主義の成立などを考える。
第6回	現代アメリカとキリスト教原理主義	現在アメリカの人口の三分の一が原理主義的傾向の強い福音派を信仰しているといわれる。この回では、アメリカにおけるキリスト教事情を考える。
第7回	映画にみ現代アメリカのキリスト教原理主義	映画「ジーザス・キャンプ」を見て、議論を行う
第8回	イスラーム	世界十数億の人が信仰するイスラーム。この回ではイスラームの成立過程と基本的な思想を概観する。
第9回	イスラーム化するヨーロッパ	現在、ヨーロッパでは中東からの移民のみならず、元々、キリスト教徒であったが改宗する者も多く出ている。イスラーム国には、こうした元クリスチャンの改宗者が多く参加したといわれる。変わり
第10回	初期仏教	仏教は、そもそも心の安寧　悟りを得るための方法論として始まった。釈尊が仏教を説いたころ、阿弥陀如来や浄土といった概念はなかった。初期仏典の世界を概観する。
第11回	大乗仏教	釈尊の没後、数百年が経ってから徐々に編まれていったのが華厳経や法華経、浄土三部経などに代表される大乗仏典である。しかしこれらは、釈尊の言葉ではなかった（大乗非仏説）。中観派→法華教
第12回	中国と日本の仏教	本来、初期仏教では、出家者は親や家族を捨てて出家し、食べ物を乞いながら生きていかなくてはならなかった。それが中国や日本では、国家から給料を貰って生活する「僧官制」が生まれた。また、
第13回	儒教	儒教は、宗教というより国家統治のための技術論である。言い換えるならば、高級官僚を育てるための教養論であり、救済宗教ではない。中国で生まれた儒教が日本でいかに受容されていったかも含め
第14回	日本人は無宗教か？	この回では、今までの講義を踏まえた上で、日本人がなぜ「無宗教」だといいながらも、神道式に七五三を行い、結婚式はキリスト教風、葬式は仏式なのか、といった問題を議論していきたい。
第15回	まとめ	全体のまとめを行う

担当者から一言